

平成30年度  
県民アンケート調査  
報告書

平成30年11月

奈良県



# 目次

<b>第1章 調査の実施概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査票の配布・回収の状況	3
4. 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項	3
5. 回答者の状況	6
6. 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて	10
<b>第2章 調査結果の分析</b>	<b>11</b>
1. 県民の生活全般について	13
1-1 現在の暮らし向きの実感	13
1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感	18
1-3 1年前と比較して暮らし向きの実感が変化した理由	23
1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無	28
1-5 日頃の生活での悩みや不安の内容	33
1-6 奈良県の住みやすさの評価	35
1-7 将来の奈良県での定住意向	40
1-8 将来的に奈良県に定住したい／したくない理由	45
2. 県民の生活に関する重要度・満足度について	50
2-1 県全体の重要度・満足度・ニーズ得点の順位	50
2-2 県全体の重要度と満足度の関係	53
2-3 地域別の重要度と満足度の関係及び経年比較	66
2-4 県全体と属性別の重要度・満足度の傾向の比較	78
3～11. 県民の生活に関する意識やニーズについて	96
3. 産業・雇用について	96
4. 観光について	123
5. 農業・畜産業について	129
6. 文化振興について	140
7. 健康づくりについて	146
8. スポーツ振興について	150
9. 地域医療について	159
10. 子育て・結婚について	172
11. 奈良県への愛着について	189
12. 回答者に関すること	191
<b>資料 使用した調査票</b>	<b>199</b>



## 第1章 調査の実施概要

---



## 1. 調査の目的

身近な生活に関する事柄についての重要度・満足度のほか、「産業・雇用」や「地域医療」等に関する意識やニーズを把握し、今後の県政運営の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

## 2. 調査の設計

- 調査地域 奈良県全域
- 調査対象 県内在住の満20歳以上の男女・個人
- 調査標本数 5,000人
- 調査抽出法 層化二段無作為抽出法
- 調査方法 郵送配布・郵送回収。調査期間内に、はがきによるお礼状兼督促状の配布1回
- 調査時期 平成30年5月18日（金）～平成30年6月6日（水）

## 3. 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 5,000件
- 回収件数（率） 2,603件（52.1%）
- 有効回答数（率）※1 2,527件（50.5%）

## 4. 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項

### （1）標本抽出計画と集計母数（集計対象数）

今回の調査では、標本数（アンケート送付数）を県下39市町村の母集団構成比（人口比率）に応じて配分しました。ただし、人口が少ない町村については「目標精度15%、信頼度85%」を確保するための最低必要数を考慮して標本抽出率を決定しました。

	標本抽出計画				有効回答	
	母集団※2	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比
地域1（北部）	566,903	49.7%	2,303	46.1%	1,218	48.2%
地域2（西部）	119,136	10.4%	487	9.7%	254	10.1%
地域3（中部）	311,180	27.3%	1,273	25.5%	608	24.1%
地域4（東部）	79,043	6.9%	380	7.6%	197	7.8%
地域5（南東部）	33,907	3.0%	373	7.5%	168	6.6%
地域6（南西部）	30,689	2.7%	184	3.7%	82	3.2%
合計	1,140,858	100.0%	5,000	100.0%	2,527	100.0%

※1 「有効回答数」は、「回収数」から白票、調査期間中に県外へ転居された方の回答票、居住市町村不明・無回答の回答票など無効票76件を除いた集計母数対象件数。「有効回答率」は、調査票配布件数に対する「有効回答数」の比率。

※2 平成29年1月1日現在の住民基本台帳登録人口（20歳以上）

## (2) 地域別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別の集計区分について

調査結果の集計・分析は、県民にとって身近な生活に関する事柄の重要度と満足度のほか、「生活全般の状況」、「産業・雇用」、「観光」、「農業・畜産業」、「文化振興」、「健康づくり」、「スポーツ振興」、「地域医療」、「子育て・結婚」、「奈良県への愛着」について、「地域別」での傾向、回答者の年代や家族構成等の要素に基づく「ライフステージ別」での傾向、出生時から現在までの奈良県での在住状況に基づく「旧住民・新住民別」での傾向、就労地域に基づく「奈良での就労別」での傾向を明らかにすることを特に重視しています。

地域別の集計については、39市町村個々の結果を39市町村間で比較することは困難なため、標本抽出計画で設定した6地域ごとに比較を行っています。また、ライフステージ別や旧住民・新住民別、奈良での就労別の集計についても、以下のように集計区分を整理・集約して行っています。

### 地域の区分

地域1(北部) …… 奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町  
地域2(西部) …… 平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町  
地域3(中部) …… 大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町  
地域4(東部) …… 桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村  
地域5(南東部) …… 吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村  
地域6(南西部) …… 五條市・野迫川村・十津川村

### ライフステージの区分と区分の設定条件

若者 …… 20～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者  
夫婦 …… 20～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者  
育児期 …… 小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者  
教育期前期 …… 小・中学生・高校生・高専生の子どもがいる世帯の回答者  
教育期後期 …… 専門学校生・短大生・予備校生・大学生(院生)の子どもがいる世帯の回答者  
単身高齢者 …… 65歳以上の単身世帯の回答者  
高齢者夫婦 …… 65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者

### 旧住民・新住民の区分と区分の設定条件

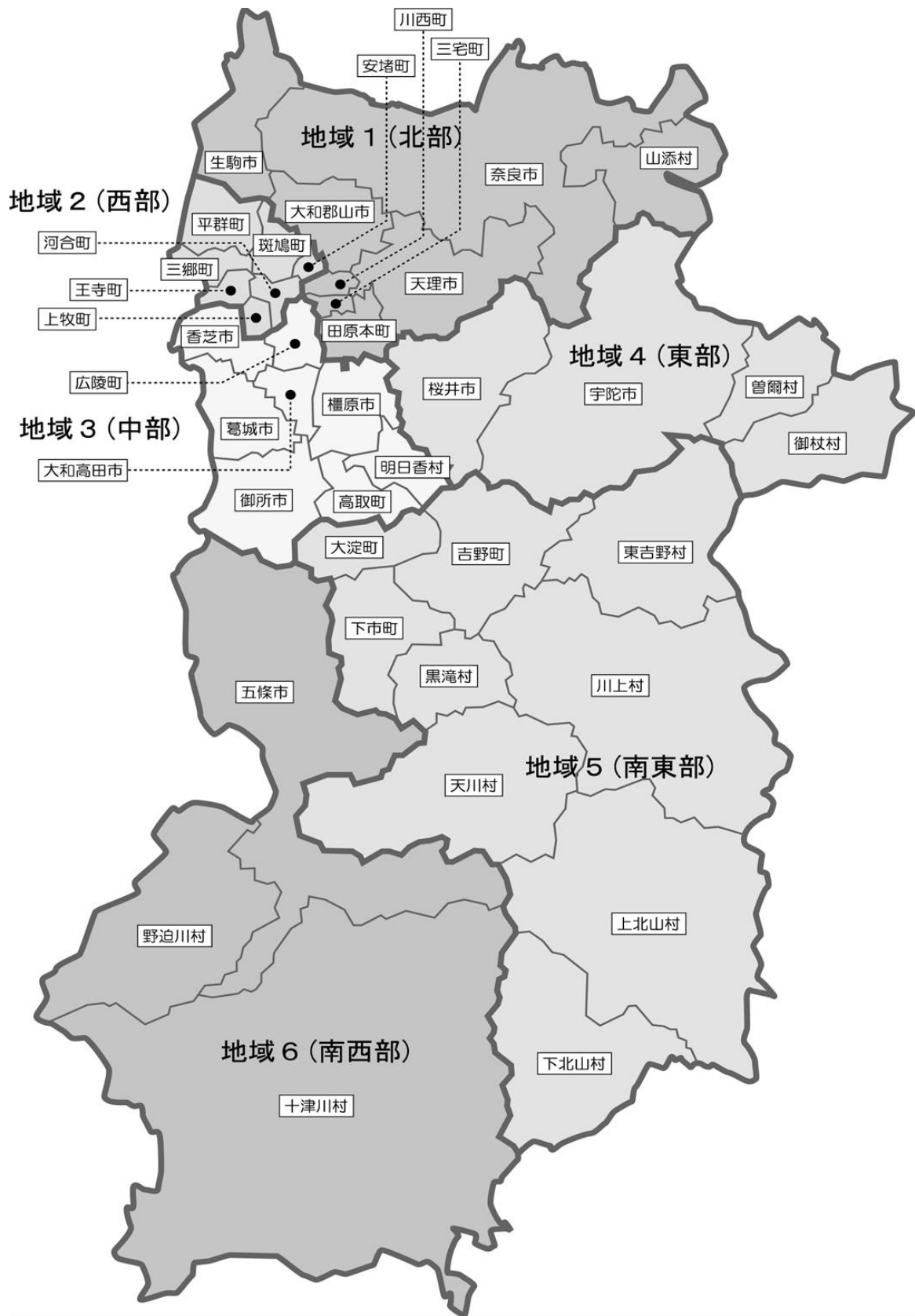
旧住民(奈良県にずっと住んでいる人) …… 生まれたときから奈良県に住んでいる回答者  
新住民(奈良県に新しくきた人) …… 生まれたときは奈良県に住んでおらず、移住してきた回答者

### 奈良での就労の区分と区分の設定条件

奈良県内で働いている人 …… 就労場所が奈良県内の回答者  
奈良県外で働いている人 …… 就労場所が奈良県外の回答者



# 【県地域区分図】



### (3) 調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、調査結果（標本測定値）から母集団の意識や課題、要望を推定することができます。ただ、標本（調査対象）抽出の際に生じる標本誤差を考慮したうえで調査結果を分析し、また母集団の意識や課題、要望を推定する必要があります。

世論調査では、信頼度 95%（同じ調査で標本（調査対象）を変えて行った場合、100 回中 95 回までは同様の結果が得られる（5 回程度は異なる結果が出ることは許容される）と考えてもよい）の水準を求めるのが一般的とされています。

これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差は以下の数式で求められます。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差

N：母集団数（本調査では 1,140,858 人）

P：標本測定値（50%のときに最大）

±1.96：信頼度 95%の時の信頼係数

n：標本数（回収数。本調査では有効回答数 2,527 件）

上記の式に必要な数値をあてはめて計算すると、「ε（標本誤差）=1.95」（小数第 3 位四捨五入）という数値が得られます。このことから、今回と同じ調査を調査対象を変えて行った場合、ある設問のある選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差は±1.95%（48.05%～51.95%）の範囲内であると考えても間違いはないといえます。

## 5. 回答者の状況

属性ごとの有効回答者数と構成比は以下の通りです。

### (1) 地域

地域名	当該市町村名	H30		H29	
		有効回答数	構成比	有効回答数	構成比
地域1(北部)	奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、山添村、川西町、三宅町、田原本町	1,218	48.2%	1,260	48.0%
地域2(西部)	平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、上牧町、王寺町、河合町	254	10.1%	255	9.7%
地域3(中部)	大和高田市、橿原市、御所市、香芝市、葛城市、高取町、明日香村、広陵町	608	24.1%	669	25.5%
地域4(東部)	桜井市、宇陀市、曽爾村、御杖村	197	7.8%	194	7.4%
地域5(南東部)	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、上北山村、下北山村、川上村、東吉野村	168	6.6%	166	6.3%
地域6(南西部)	五條市、野迫川村、十津川村	82	3.2%	82	3.1%
県全体		2,527	100.0%	2,626	100.0%

(2) 性

	H30		H29	
	有効回答数	構成比	有効回答数	構成比
男性	1,007	39.8%	1,087	41.4%
女性	1,476	58.4%	1,532	58.3%
無回答	44	1.7%	7	0.3%
県全体	2,527	100.0%	2,626	100.0%

(3) 年齢

①10歳区分

	H30				構成比	H29	
	有効回答数			無回答		有効回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
20歳代	172	72	100	0	6.8%	174	6.6%
30歳代	213	77	136	0	8.4%	259	9.9%
40歳代	350	136	214	0	13.9%	401	15.3%
50歳代	389	141	248	0	15.4%	424	16.1%
60歳代	622	251	370	1	24.6%	600	22.8%
70歳代以上	734	329	403	2	29.0%	762	29.0%
無回答	47	1	5	41	1.9%	6	0.2%
県全体	2,527	1,007	1,476	44	100.0%	2,626	100.0%

②5歳区分

	H30				構成比	H29	
	有効回答数			無回答		有効回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
20～24歳	78	30	48	0	3.1%	75	2.9%
25～29歳	94	42	52	0	3.7%	99	3.8%
30～34歳	95	26	69	0	3.8%	128	4.9%
35～39歳	118	51	67	0	4.7%	131	5.0%
40～44歳	156	62	94	0	6.2%	196	7.5%
45～49歳	194	74	120	0	7.7%	205	7.8%
50～54歳	176	67	109	0	7.0%	202	7.7%
55～59歳	213	74	139	0	8.4%	222	8.5%
60～64歳	270	112	158	0	10.7%	244	9.3%
65～69歳	352	139	212	1	13.9%	356	13.6%
70歳以上	734	329	403	2	29.0%	762	29.0%
無回答	47	1	5	41	1.9%	6	0.2%
県全体	2,527	1,007	1,476	44	100.0%	2,626	100.0%

(4) 婚姻状況

	H30				構成比	H29	
	有効回答数			無回答		有効回答数	構成比
	男性	女性	無回答				
未婚	369	164	204	1	14.6%	375	14.3%
既婚	1,788	747	1,026	15	70.8%	1,887	71.9%
離婚・死別	328	91	237	0	13.0%	349	13.3%
無回答	42	5	9	28	1.7%	15	0.6%
県全体	2,527	1,007	1,476	44	100.0%	2,626	100.0%

(5) 世帯構成

	H30		H29	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
単身(あなた1人)	222	8.8%	281	10.7%
夫婦のみ	768	30.4%	739	28.1%
2世代家族(親子家庭)	1,155	45.7%	1,195	45.5%
3世代家族(親子孫家庭)	303	12.0%	329	12.5%
その他	55	2.2%	38	1.4%
無回答	24	0.9%	44	1.7%
県全体	2,527	100.0%	2,626	100.0%

(6) 子どもの成長段階(複数回答)

	H30		H29	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
3歳以下	103	4.1%	139	5.3%
4歳以上で小学校入学前	92	3.6%	114	4.3%
小学生	186	7.4%	248	9.4%
中学生	142	5.6%	181	6.9%
高校生・高専生	137	5.4%	164	6.2%
専門学校生・短大生・予備校生・大学生(院生)	180	7.1%	190	7.2%
非該当又は無回答	1,966	77.8%	1,951	74.3%
県全体	2,527	100.0%	2,626	100.0%

(7) ライフステージ(複数回答) ※1

	H30		H29	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
若者	158	6.3%	158	6.0%
夫婦	247	9.8%	236	9.0%
育児期	159	6.3%	213	8.1%
教育期前期	349	13.8%	435	16.6%
教育期後期	180	7.1%	190	7.2%
単身高齢者	123	4.9%	173	6.6%
高齢者夫婦	507	20.1%	501	19.1%
非該当又は無回答	974	38.5%	944	35.9%
県全体	2,527	100.0%	2,626	100.0%

※1 「単身高齢者」、「高齢者夫婦」でいう「高齢者」とは、65歳以上の回答者を指す。  
65歳以上の実有効回答者数は1,086人、構成比は43.0%である。

(8) 旧住民・新住民別

	H30		H29	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
旧住民(奈良県にずっと住んでいる人)	1,360	53.8%	1,393	53.0%
新住民(奈良県に新しくきた人)	1,137	45.0%	1,188	45.2%
無回答	30	1.2%	45	1.7%
県全体	2,527	100.0%	2,626	100.0%

(9) 奈良での就労別

	H30		H29	
	有効 回答数	構成比	有効 回答数	構成比
県内(奈良県内で働いている人)	1,011	40.0%	1,032	39.3%
県外(奈良県外で働いている人)	325	12.9%	335	12.8%
非該当又は無回答	1,191	47.1%	1,259	47.9%
県全体	2,527	100.0%	2,626	100.0%

## 6. 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

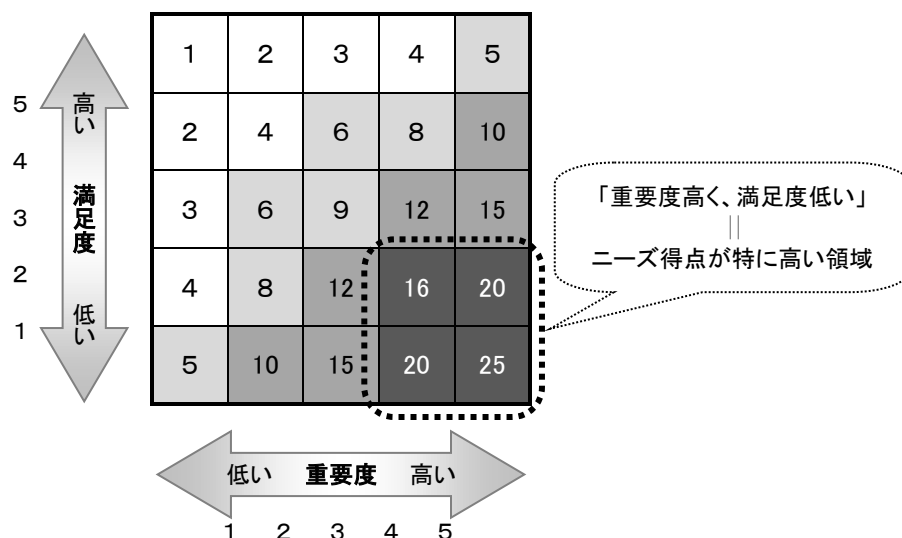
- 経年比較、前年度比較を行った図表にて、四捨五入等の関係上、本報告書に記載した数値と昨年度以前の報告書に記載した数値が一致しない場合があります。
- 比較の際のポイント差は、四捨五入の関係で、報告書に表示する数値の差と一致しない場合があります。
- 問1～問10、問12～問49（設問番号は、巻末「資料 使用した調査票」参照）は百分率（％）による集計で、小数第2位を四捨五入しています。単数回答設問は当該設問の回答比率の合計は、四捨五入の関係で100.0%にならない場合があります。また、複数回答設問は当該設問に回答すべき人数を集計母数としており、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 問1、問2、問5、問7、問8、問15、問18、問19、問28、問30、問33、問34、問37、問38、問39、問41のグラフ横に表示する再集計表の比率は、四捨五入の関係でグラフ中に表示する比率の合計と一致しない場合があります。
- 問11、問38は加重平均（点）による集計で、小数第3位を四捨五入しています。加重平均は、「 $(\text{〈選択肢の回答者数〉} \times \text{〈選択肢ごとの配点（5点～1点）}) \div \text{〈無回答者を除く当該設問の回答者数〉}$ 」により求められます。

図表 加重平均の集計結果の見方

選択肢の配点		1点	2点	3点	4点	5点
設問番号・ 選択肢番号	問11-① 重要度	まったく重要ではない	さほど重要ではない	どちらともいえない	かなり重要	きわめて重要
	問11-② 満足度	ほとんど満たされていない	あまり満たされていない	どちらともいえない	かなり満たされている	十分満たされている
	問38 満足度	ほとんど満たされていない	あまり満たされていない	どちらともいえない	かなり満たされている	十分満たされている

- 問11の重要度と満足度の関係を指標化し分析するため、「ニーズ得点」を算出しています。
- ニーズ得点は、「 $\text{〈重要度〉} \times \text{〈6-満足度〉}$ 」<sup>1</sup>により求められ、重要度が高く、満足度の低い項目ほど高くなります（色の濃いエリア）。

図表 重要度と満足度からみたニーズ得点の配点



<sup>1</sup> ニーズ得点は、項目ごとの全有効回答件数から算出した〈重要度(加重平均)〉、〈満足度(加重平均)〉を用いて求める。

## 第2章 調査結果の分析

---





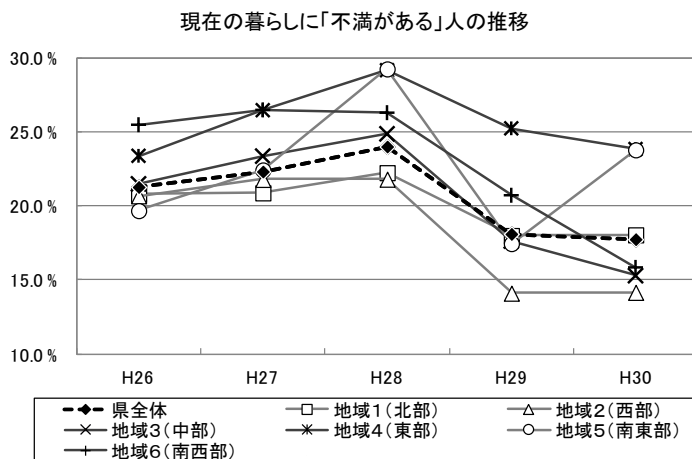
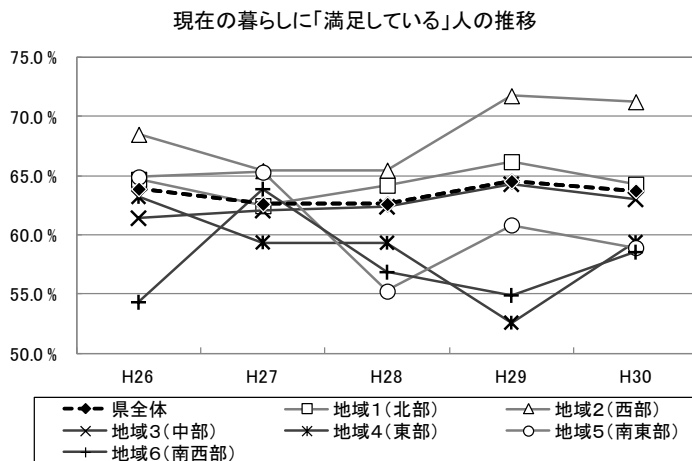
# 1. 県民の生活全般について

## 1-1 現在の暮らし向きの実感（問1）

### （1）経年比較

図表 現在の暮らし向きの実感（経年比較／県全体、地域別）

		満足している	不満である
県全体	H26	63.9%	21.3%
	H27	62.6%	22.3%
	H28	62.6%	24.0%
	H29	64.5%	18.1%
	H30	<b>63.8%</b>	<b>17.8%</b>
地域1(北部)	H26	64.7%	20.8%
	H27	62.5%	20.9%
	H28	64.2%	22.3%
	H29	66.2%	18.0%
	H30	<b>64.3%</b>	<b>18.1%</b>
地域2(西部)	H26	68.5%	20.7%
	H27	65.4%	21.8%
	H28	65.5%	21.8%
	H29	71.8%	14.1%
	H30	<b>71.3%</b>	<b>14.2%</b>
地域3(中部)	H26	61.4%	21.5%
	H27	62.0%	23.4%
	H28	62.4%	24.9%
	H29	64.3%	17.6%
	H30	<b>63.0%</b>	<b>15.3%</b>
地域4(東部)	H26	63.2%	23.4%
	H27	59.4%	26.5%
	H28	59.3%	29.2%
	H29	52.6%	25.3%
	H30	<b>59.4%</b>	<b>23.9%</b>
地域5(南東部)	H26	64.9%	19.7%
	H27	65.3%	22.4%
	H28	55.2%	29.3%
	H29	60.8%	17.5%
	H30	<b>58.9%</b>	<b>23.8%</b>
地域6(南西部)	H26	54.3%	25.5%
	H27	63.9%	26.5%
	H28	56.8%	26.3%
	H29	54.9%	20.7%
	H30	<b>58.5%</b>	<b>15.9%</b>



(注)上記図表は、問1を「満足している」「満足している」「十分とはいえないが一応満足している」と「不満である」「やや不満である」「不満である」に再集計した結果である。母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■県全体

現在の暮らし向きの実感について5カ年の調査結果を比較すると、「満足」（「満足している」+「十分とはいえないが一応満足している」）している人は63%前後で推移しています。一方、「不満」（「やや不満である」+「不満である」）を抱えている人は平成28年度までは増加していましたが、平成29年度からは減少に転じ、平成30年度は17.8%となっています。平成29年度と比較すると、「満足」している人は0.8ポイント減少し、「不満」を抱えている人も0.4ポイント減少しています。

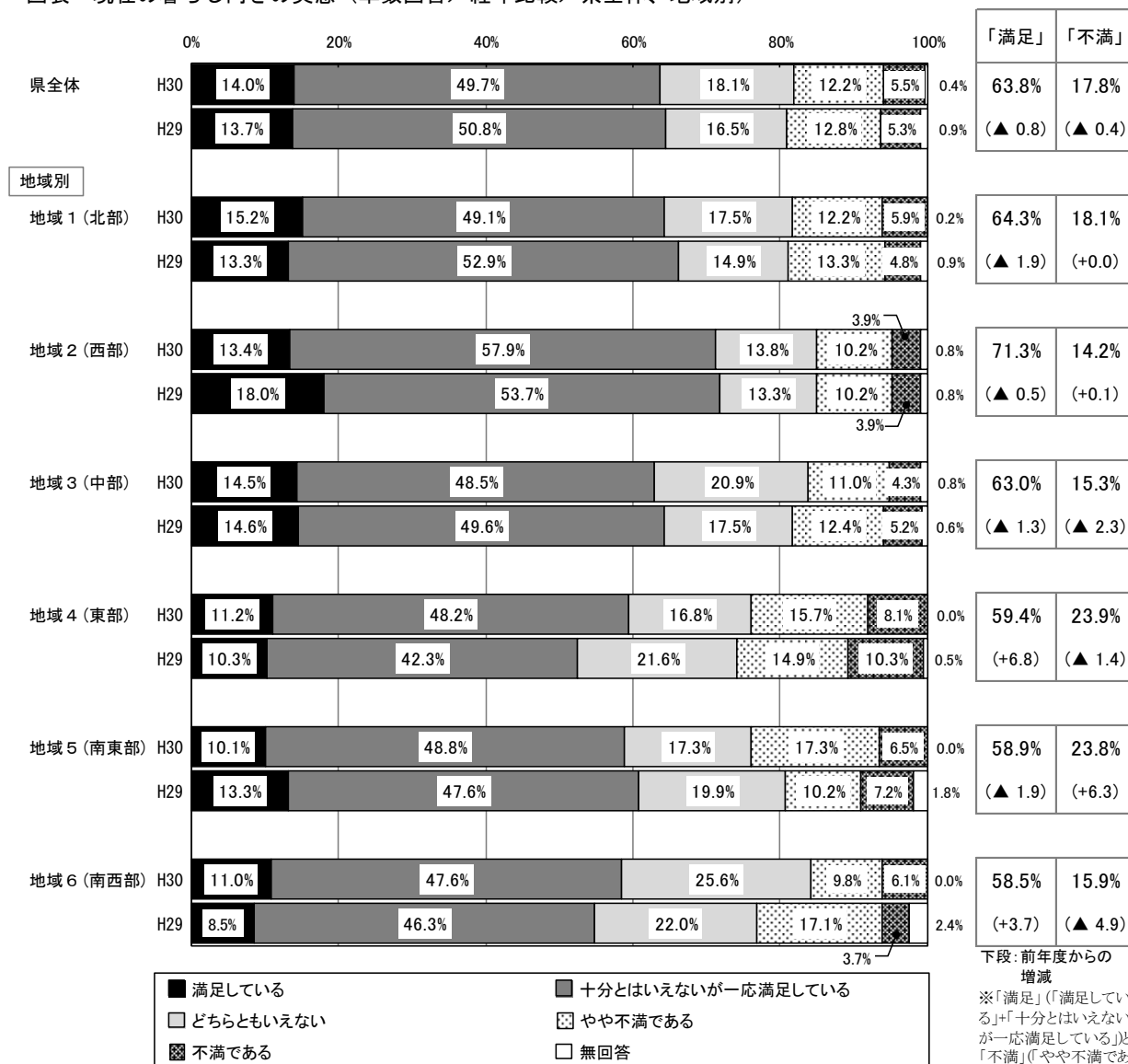
### ■地域別

「満足」している人は、平成26年度と比較すると、『地域6(南西部)』（4.2ポイント増）、『地域2(西部)』（2.8ポイント増）などで増加しています。平成29年度と比較すると、『地域4(東部)』（6.8ポイント増）、『地域6(南西部)』（3.7ポイント増）で増加しています。一方、『地域1(北部)』（1.9ポイント減）、『地域5(南東部)』（1.9ポイント減）などでは減少しています。

「不満」を抱えている人は、平成26年度と比較すると、『地域5(南東部)』（4.1ポイント増）、『地域4(東部)』（0.5ポイント増）で増加しています。平成29年度と比較すると、『地域5(南東部)』（6.3ポイント増）などで増加しています。一方、『地域6(南西部)』（4.9ポイント減）、『地域3(中部)』（2.3ポイント減）などでは減少しています。

## (2) 今年度調査結果

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／経年比較／県全体、地域別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

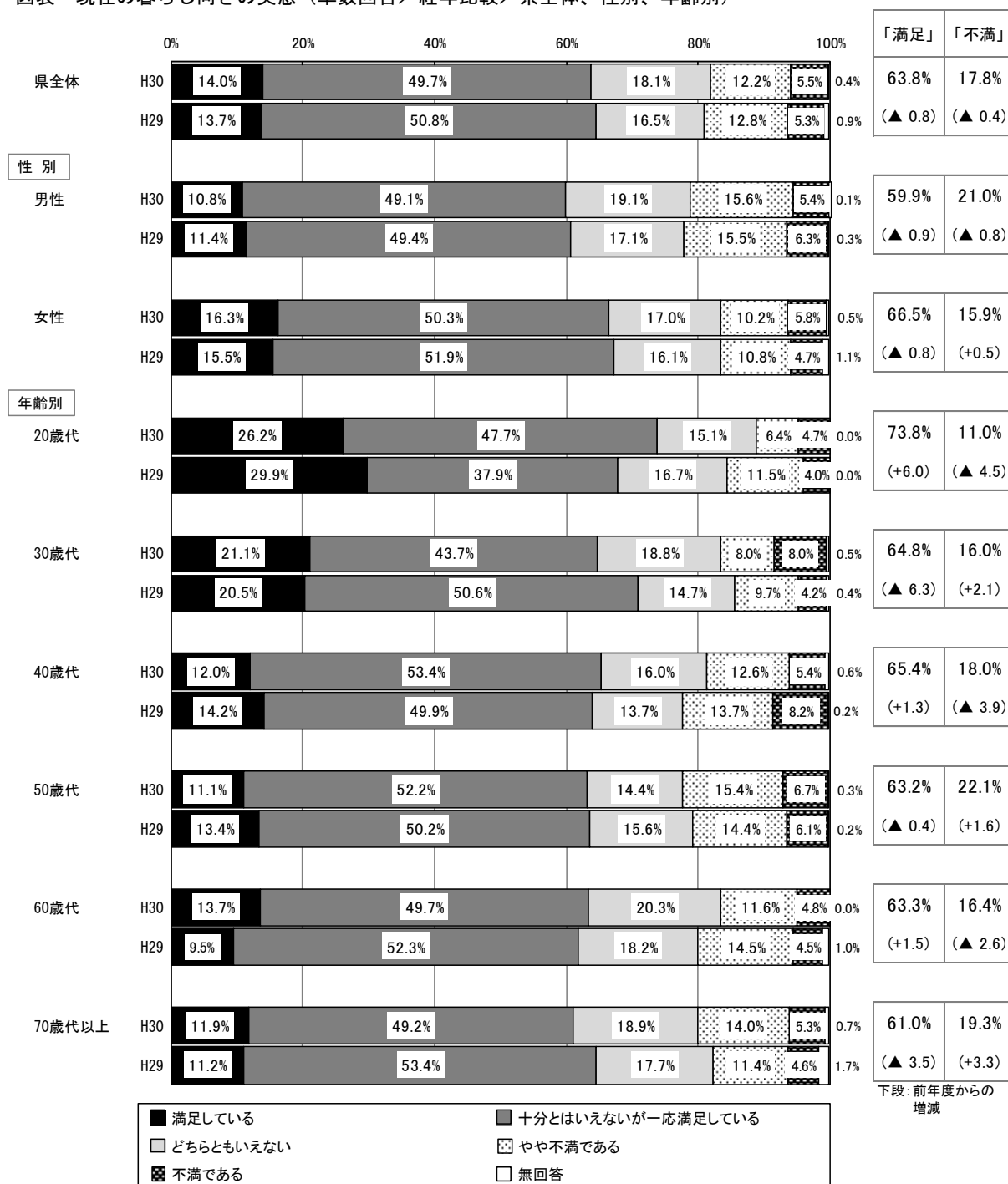
### ■県全体

現在の暮らし向きの実感について、63.8%の人が「満足」しています。一方、17.8%の人が「不満」を抱えています。平成29年度と比較すると、「満足」している人は64.5%から0.8ポイント減少し、「不満」を抱えている人も18.1%から0.4ポイント減少しています。

### ■地域別

「満足」している人が最も多いのは、『地域2(西部)』(71.3%)となっています。一方、「不満」を抱えている人が最も多いのは、『地域4(東部)』(23.9%)、次いで『地域5(南東部)』(23.8%)となっています。平成29年度と比較すると、「満足」している人は『地域4(東部)』(6.8ポイント増)と『地域6(南西部)』(3.7ポイント増)以外の地域では減少しています。一方、「不満」を抱えている人は『地域6(南西部)』(4.9ポイント減)、『地域3(中部)』(2.3ポイント減)、『地域4(東部)』(1.4ポイント減)では減少し、それ以外の3地域では増加しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／経年比較／県全体、性別、年齢別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

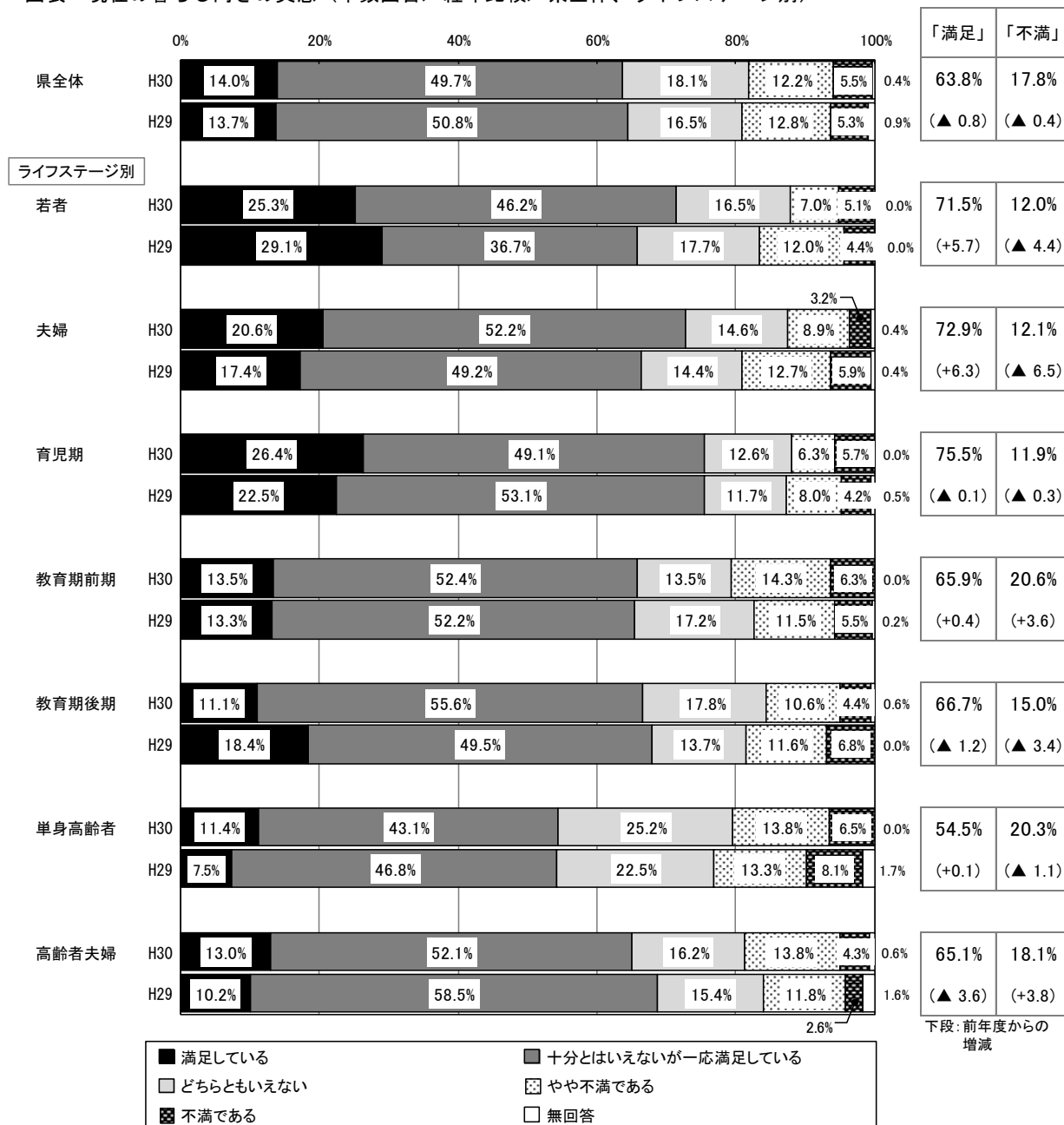
### ■性別

「満足」している人は、『女性』（66.5%）が『男性』（59.9%）と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「満足」している人は『男性』（0.9ポイント減）、『女性』（0.8ポイント減）ともに減少しています。

### ■年齢別

「満足」している人が最も多いのは、『20歳代』（73.8%）、「不満」を抱いている人が最も多いのは、『50歳代』（22.1%）となっています。平成29年度と比較すると、「満足」している人は『20歳代』では6.0ポイント増加している一方で、『30歳代』では6.3ポイント減少しています。「不満」を抱いている人は、『20歳代』（4.5ポイント減）などで減少しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／経年比較／県全体、ライフステージ別）

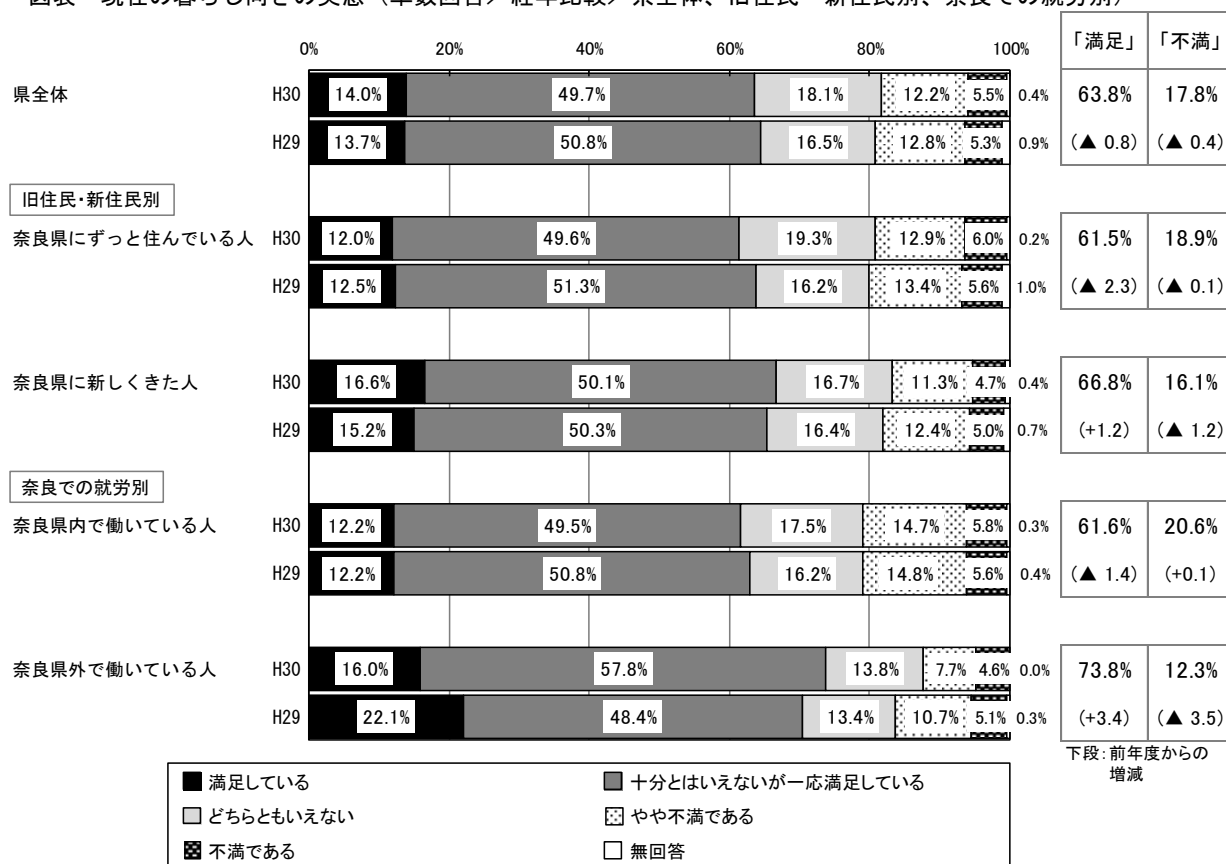


(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■ライフステージ別

「満足」している人が最も多いのは、『育児期』（75.5%）、次いで『夫婦』（72.9%）となっています。一方、「不満」を抱いている人が最も多いのは、『教育期前期』（20.6%）となっています。平成29年度と比較すると、「満足」している人は『夫婦』（6.3ポイント増）、『若者』（5.7ポイント増）などで増加しています。一方、「不満」を抱いている人は『高齢者夫婦』（3.8ポイント増）、『教育期前期』（3.6ポイント増）を除く他のライフステージでは減少しており、『夫婦』（6.5ポイント減）で最も減少しています。

図表 現在の暮らし向きの実感（単数回答／経年比較／県全体、旧住民・新住民別、奈良での就労別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■旧住民・新住民別

「満足」している人は、『奈良県に新しくきた人』(66.8%)が、『奈良県にずっと住んでいる人』(61.5%)と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「満足」している人は『奈良県に新しくきた人』(1.2ポイント増)は増加していますが、『奈良県にずっと住んでいる人』(2.3ポイント減)は減少しています。

### ■奈良での就労別

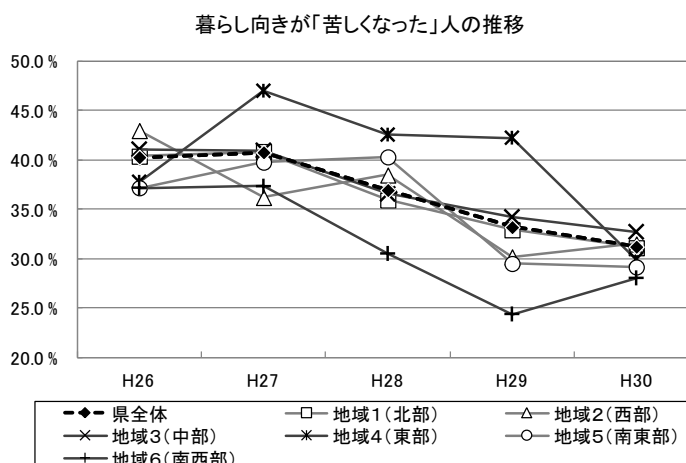
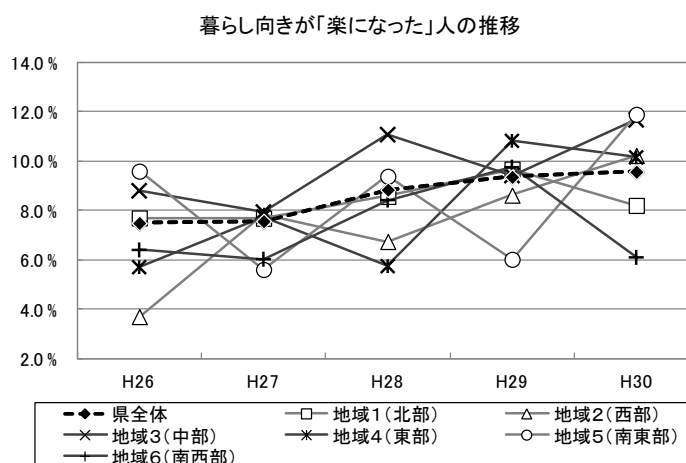
「満足」している人は、『奈良県外で働いている人』(73.8%)が、『奈良県内で働いている人』(61.6%)と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「満足」している人は『奈良県外で働いている人』(3.4ポイント増)は増加していますが、『奈良県内で働いている人』(1.4ポイント減)は減少しています。

## 1-2 1年前と比較した暮らし向きの実感（問2）

### （1）経年比較

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（経年比較／県全体、地域別）

		楽になった	苦しくなった
県全体	H26	7.5%	40.3%
	H27	7.6%	40.8%
	H28	8.8%	37.0%
	H29	9.4%	33.2%
	H30	<b>9.6%</b>	<b>31.2%</b>
地域1(北部)	H26	7.7%	40.4%
	H27	7.7%	40.9%
	H28	8.6%	36.0%
	H29	9.7%	32.9%
	H30	<b>8.2%</b>	<b>31.1%</b>
地域2(西部)	H26	3.7%	43.0%
	H27	7.8%	36.2%
	H28	6.7%	38.5%
	H29	8.6%	30.2%
	H30	<b>10.2%</b>	<b>31.5%</b>
地域3(中部)	H26	8.8%	41.1%
	H27	7.9%	41.0%
	H28	11.1%	36.6%
	H29	9.4%	34.2%
	H30	<b>11.7%</b>	<b>32.7%</b>
地域4(東部)	H26	5.7%	37.8%
	H27	7.8%	47.0%
	H28	5.7%	42.6%
	H29	10.8%	42.3%
	H30	<b>10.2%</b>	<b>29.9%</b>
地域5(南東部)	H26	9.6%	37.2%
	H27	5.6%	39.8%
	H28	9.4%	40.3%
	H29	6.0%	29.5%
	H30	<b>11.9%</b>	<b>29.2%</b>
地域6(南西部)	H26	6.4%	37.2%
	H27	6.0%	37.3%
	H28	8.4%	30.5%
	H29	9.8%	24.4%
	H30	<b>6.1%</b>	<b>28.0%</b>



(注)上記図表は、問2を「楽になった」(「とても楽になった」+「少し楽になった」)と「苦しくなった」(「少し苦しくなった」+「とても苦しくなった」)に再集計した結果である。母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

#### ■県全体

1年前と比較した暮らし向きの実感について5カ年の調査結果を比較すると、「楽になった」(「とても楽になった」+「少し楽になった」)と感じている人は平成27年度まではほぼ横ばいとなっていました。平成28年度以降は増加傾向にあり、今回調査では平成29年度から0.2ポイントの増加となっています。一方、「苦しくなった」(「少し苦しくなった」+「とても苦しくなった」)と感じている人は、平成28年度以降は減少傾向にあり、今回調査では平成29年度から2.0ポイント減少となっています。

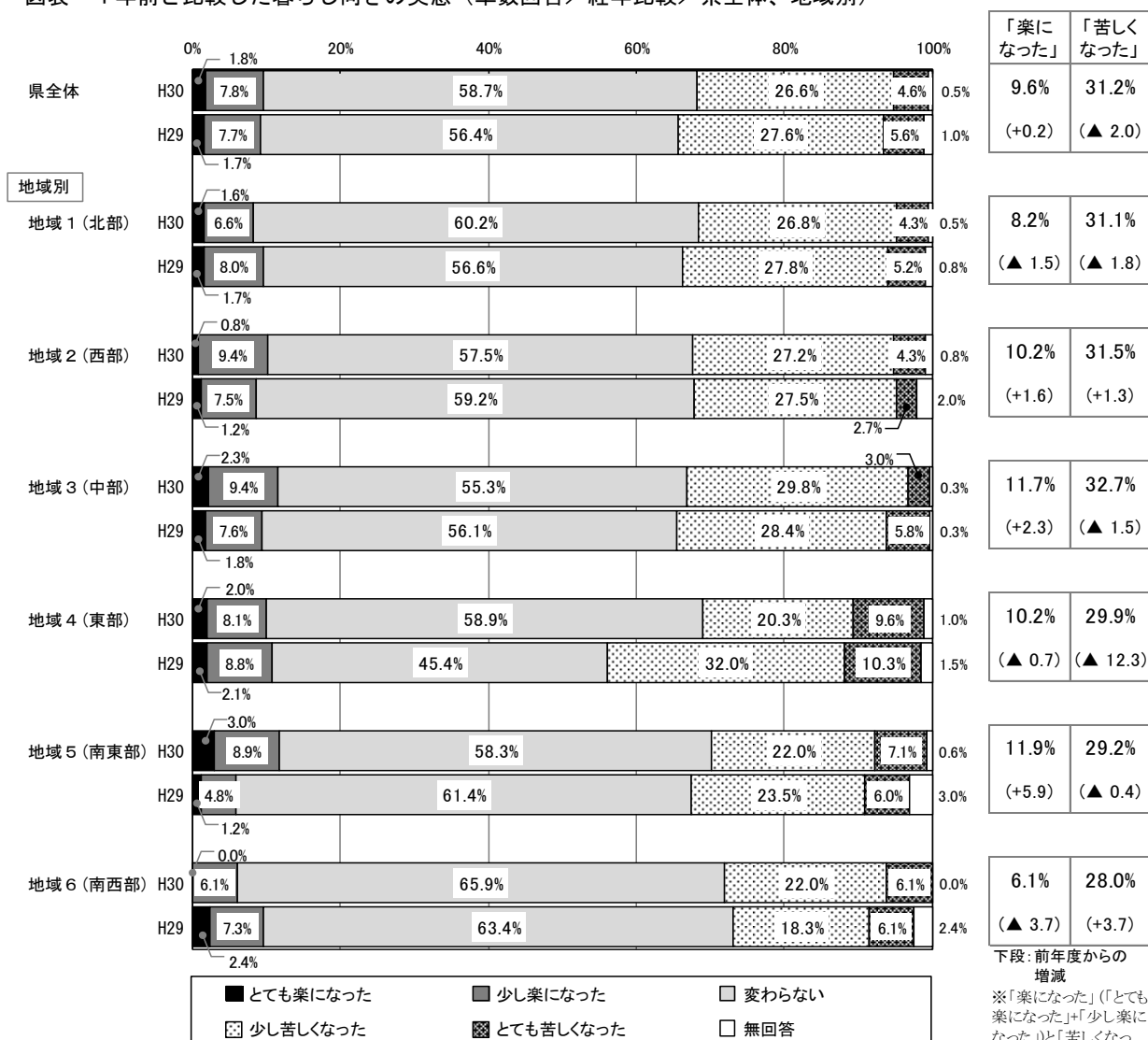
#### ■地域別

「楽になった」と感じている人は、平成26年度と比較すると、『地域6(南西部)』(0.3ポイント減)では減少し、他の地域においては増加しています。平成29年度と比較すると『地域5(南東部)』(5.9ポイント増)などで増加している一方で、『地域6(南西部)』(3.7ポイント減)などでは減少しています。

「苦しくなった」と感じている人は、平成26年度と比較すると、すべての地域で減少しており、『地域2(西部)』(11.5ポイント減)で最も減少しています。平成29年度と比較すると、『地域6(南西部)』(3.7ポイント増)と『地域2(西部)』(1.3ポイント増)で増加している一方で、『地域4(東部)』(12.3ポイント減)などでは減少しています。

## (2) 今年度調査結果

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（単数回答／経年比較／県全体、地域別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

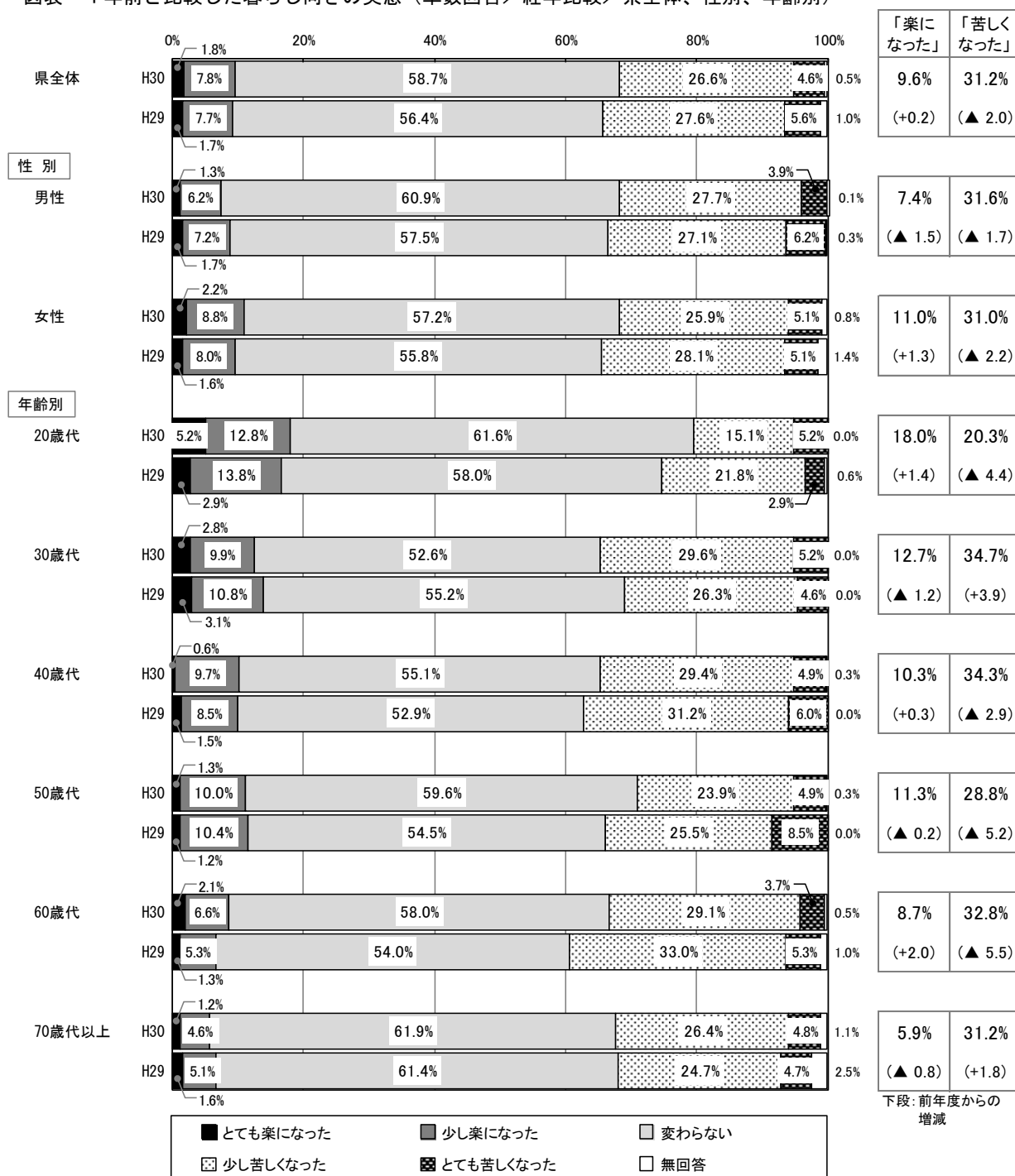
### ■県全体

1年前と比較した暮らし向きの実感について、58.7%の人が「変わらない」と感じています。一方、「楽になった」と感じている人は9.6%、「苦しくなった」と感じている人は31.2%となっています。平成29年度と比較すると、「変わらない」と感じている人(2.3ポイント増)と「楽になった」と感じている人(0.2ポイント増)は増加している一方で、「苦しくなった」と感じている人は33.2%から2.0ポイント減少しています。

### ■地域別

「苦しくなった」と感じている人が最も多いのは、『地域3(中部)』(32.7%)、次いで『地域2(西部)』(31.5%)となっています。一方、「楽になった」と感じている人が最も多いのは、『地域5(南東部)』(11.9%)、次いで『地域3(中部)』(11.7%)となっています。平成29年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は『地域6(南西部)』(3.7ポイント増)、『地域2(西部)』(1.3ポイント増)を除く他の地域で減少しており、『地域4(東部)』(12.3ポイント減)で最も減少しています。一方、「楽になった」と感じている人は『地域5(南東部)』(5.9ポイント増)、『地域3(中部)』(2.3ポイント増)、『地域2(西部)』(1.6ポイント増)で増加しており、他の3地域では減少しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（単数回答／経年比較／県全体、性別、年齢別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■性別

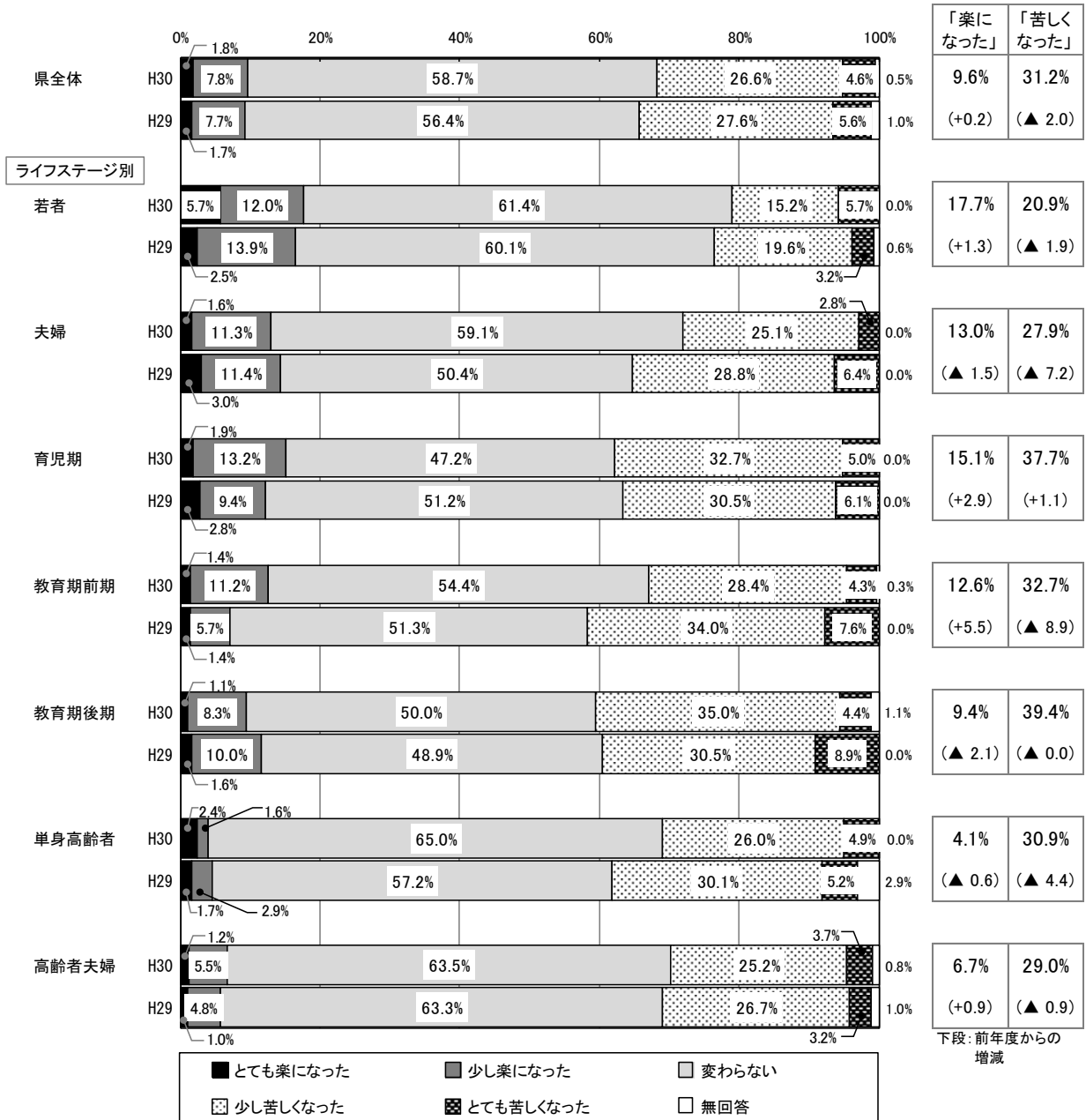
「苦しくなった」と感じている人は、『男性』(31.6%)と『女性』(31.0%)が同程度となっています。平成29年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は『女性』(2.2ポイント減)、『男性』(1.7ポイント減)ともに減少しています。

### ■年齢別

「苦しくなった」と感じている人は、『30歳代』(34.7%)が最も多く、次いで『40歳代』(34.3%)となっています。平成29年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は『30歳代』(3.9ポイント増)と『70歳代以上』(1.8ポイント増)以外の年齢層では減少しています。



図表 1年前と比較した現在の暮らし向きの実感（単数回答／経年比較／県全体、ライフステージ別）

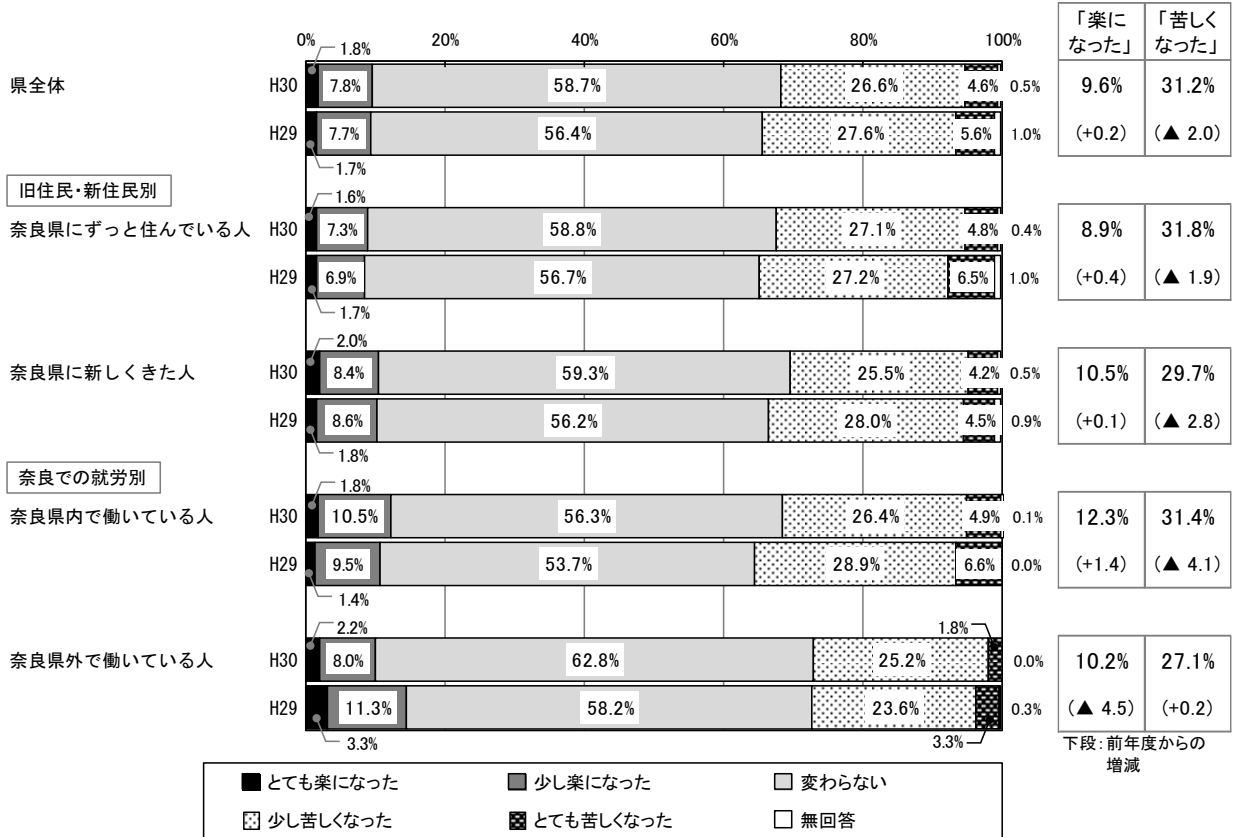


(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■ライフステージ別

「苦しくなった」と感じている人は、『教育期後期』(39.4%)が最も多く、次いで『育児期』(37.7%)となっています。一方、「楽になった」と感じている人は『若者』(17.7%)が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は『育児期』(1.1ポイント増)を除くライフステージで減少しており、『教育期前期』では8.9ポイント減、『夫婦』では7.2ポイント減となっています。一方、「楽になった」と感じている人は『教育期前期』(5.5ポイント増)などで増加しています。

図表 1年前と比較した暮らし向きの実感（単数回答／経年比較／県全体、旧住民・新住民別、奈良での就労別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■旧住民・新住民別

「苦しくなった」と感じている人は、『奈良県にずっと住んでいる人』(31.8%)が、『奈良県に新しくきた人』(29.7%)と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は『奈良県に新しくきた人』(2.8ポイント減)、『奈良県にずっと住んでいる人』(1.9ポイント減)ともに減少しています。

### ■奈良での就労別

「苦しくなった」と感じている人は、『奈良県内で働いている人』(31.4%)が、『奈良県外で働いている人』(27.1%)と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「苦しくなった」と感じている人は『奈良県内で働いている人』(4.1ポイント減)は減少している一方で、『奈良県外で働いている人』(0.2ポイント増)では増加しています。

1-3 1年前と比較して暮らし向きの実感が変化した理由(問3、問4)

(1) 今年度調査結果

図表 1年前と比較して暮らし向きの実感が「楽になった」と答えた理由(5つ以内で複数回答/ 県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別)

(上段:平成30年度結果、下段:前年度からの増減)

※5つ以内で複数回答	母数	た給	減教	かど結	活低家	き就	減ど家	い税	がの有	たか家	そ	無	
		か料	つ育	つ婚	費下族	手業	ったか	が金	増上価	かか業	他	回	
		らや	たに	つ別、	がなの	が、	たかか	減や	増加昇	ら業		答	
		収	かか	かな	減ど減	増就	かか	保	証しに	業や			
		益が	から	ら出	つで少	え職	かか	た除	券な	商			
		が増	かか	産、	た毎や	たな	ら支、	料の	たよ	費な			
		加し	る費	病	か日	かど	家	の支	り	など			
			用が	気	の働	ら	電	払	の	減に			
				な	生	働	な		資	つか			
									産				
									価				
									の				
									時				
									産				
									価				
県全体	242	<b>39.3%</b> (+2.7)	<b>21.1%</b> (+1.2)	<b>19.4%</b> (▲0.1)	15.3% (▲0.6)	14.9% (▲3.8)	12.8% (▲1.4)	8.7% (+1.4)	4.5% (+0.1)	2.9% (+1.3)	20.7% (+2.8)	1.2% (▲1.6)	
地域別	地域1(北部)	100	<b>43.0%</b> (+2.0)	<b>19.0%</b> (▲1.5)	<b>14.0%</b> (▲4.9)	<b>14.0%</b> (▲1.6)	12.0% (▲4.4)	10.0% (▲5.6)	7.0% (▲1.2)	6.0% (+3.5)	2.0% (+0.4)	25.0% (+9.4)	2.0% (▲0.5)
	地域2(西部)	26	<b>30.8%</b> (▲1.0)	<b>34.6%</b> (+25.5)	<b>34.6%</b> (+7.3)	19.2% (+14.7)	11.5% (▲11.2)	11.5% (+5.6)	7.7% (▲1.4)	7.7% (+3.1)	0.0% (+0.0)	11.5% (▲6.6)	0.0% (+0.0)
	地域3(中部)	71	<b>35.2%</b> (+3.5)	18.3% (▲3.9)	<b>21.1%</b> (+3.7)	<b>21.1%</b> (+2.1)	18.3% (▲0.7)	9.9% (▲2.8)	7.0% (+5.5)	2.8% (▲6.7)	5.6% (+5.6)	15.5% (▲6.7)	1.4% (▲3.4)
	地域4(東部)	20	<b>35.0%</b> (▲7.9)	<b>20.0%</b> (▲13.3)	<b>20.0%</b> (▲3.8)	15.0% (▲8.8)	<b>20.0%</b> (+1.0)	<b>20.0%</b> (+5.7)	10.0% (+0.5)	5.0% (+5.0)	5.0% (+0.2)	25.0% (+20.2)	0.0% (▲4.8)
	地域5(南東部)	20	<b>45.0%</b> (+5.0)	<b>20.0%</b> (+10.0)	<b>20.0%</b> (+0.0)	0.0% (+0.0)	<b>20.0%</b> (+0.0)	<b>20.0%</b> (+20.0)	<b>25.0%</b> (+5.0)	0.0% (+0.0)	0.0% (▲10.0)	20.0% (▲20.0)	0.0% (+0.0)
	地域6(南西部)	5	<b>60.0%</b> (+60.0)	<b>40.0%</b> (+40.0)	<b>20.0%</b> (+7.5)	0.0% (▲25.0)	0.0% (▲37.5)	<b>20.0%</b> (▲5.0)	0.0% (▲12.5)	0.0% (▲12.5)	0.0% (+0.0)	40.0% (+15.0)	0.0% (+0.0)
性別	男性	75	<b>45.3%</b> (▲0.0)	<b>16.0%</b> (▲1.5)	<b>17.3%</b> (+2.9)	8.0% (▲7.5)	<b>16.0%</b> (+1.6)	14.7% (▲0.8)	12.0% (+3.8)	9.3% (+0.1)	4.0% (+0.9)	21.3% (+3.8)	1.3% (▲0.7)
	女性	162	<b>37.0%</b> (+6.0)	<b>23.5%</b> (+1.8)	<b>21.0%</b> (▲1.3)	19.1% (+2.9)	13.6% (▲8.0)	12.3% (▲1.2)	7.4% (+0.7)	1.9% (+0.5)	2.5% (+1.8)	19.1% (+0.9)	1.2% (▲2.1)
年齢別	20歳代	31	<b>74.2%</b> (▲1.7)	6.5% (▲3.9)	<b>12.9%</b> (+2.6)	0.0% (▲6.9)	6.5% (▲10.8)	<b>9.7%</b> (+6.2)	3.2% (▲0.2)	3.2% (+3.2)	0.0% (+0.0)	22.6% (+8.8)	3.2% (▲0.2)
	30歳代	27	<b>44.4%</b> (▲16.7)	7.4% (+7.4)	7.4% (+4.6)	7.4% (+1.9)	7.4% (▲14.8)	<b>11.1%</b> (+5.6)	<b>14.8%</b> (+12.0)	3.7% (+3.7)	0.0% (+0.0)	37.0% (+17.6)	0.0% (+0.0)
	40歳代	36	<b>61.1%</b> (+18.6)	<b>25.0%</b> (+10.0)	<b>11.1%</b> (▲21.4)	8.3% (+5.8)	<b>11.1%</b> (▲8.9)	8.3% (▲9.2)	0.0% (▲5.0)	0.0% (▲2.5)	2.8% (+2.8)	22.2% (+7.2)	0.0% (▲5.0)
	50歳代	44	<b>27.3%</b> (+2.8)	<b>43.2%</b> (+4.4)	25.0% (+12.8)	18.2% (▲0.2)	<b>31.8%</b> (+3.2)	6.8% (▲15.6)	2.3% (▲3.8)	6.8% (+0.7)	0.0% (▲2.0)	4.5% (▲7.7)	2.3% (+0.2)
	60歳代	54	<b>33.3%</b> (▲1.7)	18.5% (▲11.5)	<b>20.4%</b> (▲2.1)	18.5% (▲9.0)	11.1% (▲6.4)	<b>20.4%</b> (+10.4)	18.5% (+11.0)	7.4% (▲0.1)	7.4% (+2.4)	18.5% (▲1.5)	1.9% (▲0.6)
	70歳代以上	43	16.3% (+10.4)	<b>18.6%</b> (+1.0)	<b>32.6%</b> (+3.1)	<b>27.9%</b> (+0.5)	14.0% (+6.1)	<b>18.6%</b> (▲1.0)	11.6% (▲4.1)	2.3% (▲5.5)	4.7% (+2.7)	23.3% (▲2.2)	0.0% (▲3.9)
	ライフステージ別(複数回答)	若者	28	<b>78.6%</b> (▲2.2)	7.1% (▲0.5)	7.1% (▲0.5)	0.0% (▲3.8)	7.1% (▲12.1)	3.6% (▲0.3)	3.6% (▲0.3)	3.6% (+3.6)	0.0% (+0.0)	21.4% (+9.9)
夫婦		32	<b>37.5%</b> (+8.1)	18.8% (▲4.8)	18.8% (+4.0)	<b>40.6%</b> (+14.2)	3.1% (▲8.6)	<b>21.9%</b> (+13.1)	9.4% (+3.5)	6.3% (+6.3)	6.3% (+3.3)	12.5% (▲5.1)	3.1% (▲2.8)
育児期		24	<b>66.7%</b> (+12.8)	<b>8.3%</b> (+4.5)	4.2% (▲11.2)	0.0% (+0.0)	<b>8.3%</b> (▲10.9)	4.2% (+0.3)	4.2% (▲7.4)	<b>8.3%</b> (+4.5)	4.2% (+4.2)	33.3% (+2.6)	0.0% (+0.0)
教育期前期		44	<b>50.0%</b> (▲4.8)	<b>15.9%</b> (+9.5)	<b>11.4%</b> (▲8.0)	2.3% (▲4.2)	9.1% (▲3.8)	2.3% (▲13.9)	4.5% (▲8.4)	6.8% (+3.6)	4.5% (+4.5)	27.3% (+7.9)	0.0% (+0.0)
教育期後期		17	<b>23.5%</b> (▲3.7)	<b>41.2%</b> (+0.3)	<b>23.5%</b> (+0.8)	5.9% (▲7.8)	<b>29.4%</b> (+20.3)	0.0% (▲22.7)	5.9% (+1.3)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	11.8% (+7.2)	5.9% (+5.9)
単身高齢者		5	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	0.0% (▲12.5)	<b>60.0%</b> (+10.0)	<b>20.0%</b> (+20.0)	0.0% (+0.0)	0.0% (▲12.5)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	40.0% (+27.5)	0.0% (▲25.0)
高齢者夫婦		34	<b>23.5%</b> (+13.2)	17.6% (▲13.4)	<b>32.4%</b> (+1.3)	<b>26.5%</b> (▲4.6)	11.8% (+4.9)	<b>23.5%</b> (+2.8)	11.8% (▲2.0)	2.9% (▲17.7)	5.9% (+2.4)	14.7% (▲6.0)	0.0% (+0.0)
新旧住民別・奈良での就労別		奈良県にずっと住んでいる人	121	<b>43.0%</b> (+4.3)	<b>19.8%</b> (+0.5)	<b>17.4%</b> (▲2.8)	9.1% (▲6.9)	13.2% (▲7.8)	11.6% (▲0.2)	8.3% (+0.7)	5.8% (+4.9)	4.1% (+2.5)	23.1% (+0.5)
	奈良県に新しくきた人	119	<b>35.3%</b> (▲0.5)	<b>21.8%</b> (+0.7)	<b>21.0%</b> (+2.3)	20.2% (+5.5)	16.0% (▲1.1)	14.3% (▲2.8)	9.2% (+2.7)	3.4% (▲4.0)	1.7% (+0.1)	18.5% (+5.5)	0.8% (▲1.6)
	奈良県内で働いている人	124	<b>41.9%</b> (▲3.6)	<b>27.4%</b> (+11.3)	<b>19.4%</b> (+2.4)	15.3% (+2.8)	17.7% (▲5.5)	15.3% (▲1.6)	12.1% (+5.0)	4.0% (+0.5)	3.2% (+0.5)	15.3% (+1.0)	0.8% (▲1.0)
	奈良県外で働いている人	33	<b>45.5%</b> (▲7.6)	12.1% (▲12.4)	9.1% (▲7.2)	6.1% (▲8.2)	<b>21.2%</b> (+2.8)	3.0% (▲5.1)	3.0% (+1.0)	<b>15.2%</b> (+13.1)	0.0% (▲2.0)	27.3% (+15.0)	3.0% (+3.0)

(注)集計結果は「県全体」の平成30年度の結果が多い順(「その他」を除く)に並べている。  
 太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。  
 また、網掛けは平成29年度よりも5ポイント以上増えた項目(「その他」及び「無回答」を除く)を示している。  
 母数は問2で「楽になった」と答えた人数であり、6~9ページの「5.回答者の状況」とは異なる。

図表 1年前と比較して暮らし向きの実感が「苦しくなった」と答えた理由（5つ以内で複数回答／  
県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

（上段：平成30年度結果、下段：前年度からの増減）

※5つ以内で複数回答	母数	かい	給	い	活	家	え	た	結	か	失	た	利	増	た	家	そ	無
		ら、	料	税	上	族	ど	か	か	か	失	た	利	増	た	家	そ	無
県全体	789	<b>59.4%</b> (+1.6)	<b>37.1%</b> (▲0.7)	<b>31.7%</b> (+1.3)	28.6% (▲2.0)	24.0% (+3.8)	22.6% (+1.5)	19.3% (▲0.8)	17.9% (▲1.2)	5.2% (+0.2)	6.3% (▲2.8)	2.8% (▲0.4)						
地域別	地域1(北部)	379	<b>58.8%</b> (+3.2)	<b>35.1%</b> (▲0.3)	<b>33.2%</b> (+4.3)	27.7% (▲2.4)	24.5% (+4.3)	24.5% (+4.1)	17.9% (▲3.3)	18.7% (▲0.8)	5.0% (+0.9)	7.1% (▲4.7)	1.8% (▲1.8)					
	地域2(西部)	80	<b>55.0%</b> (▲4.7)	<b>35.0%</b> (▲14.4)	25.0% (▲7.5)	26.3% (▲11.4)	<b>32.5%</b> (+10.4)	17.5% (▲0.7)	17.5% (▲7.2)	18.8% (+1.9)	5.0% (+5.0)	3.8% (▲1.4)	3.8% (+1.2)					
	地域3(中部)	199	<b>60.3%</b> (▲0.8)	<b>39.7%</b> (+4.3)	31.7% (▲0.2)	<b>34.2%</b> (+6.7)	19.6% (+2.1)	18.6% (▲6.7)	19.6% (+5.2)	20.1% (+0.9)	4.0% (▲3.0)	4.0% (▲2.1)	2.5% (+0.3)					
	地域4(東部)	59	<b>59.3%</b> (+0.8)	<b>39.0%</b> (▲3.7)	<b>35.6%</b> (▲2.2)	22.0% (▲15.8)	20.3% (▲7.7)	16.9% (▲7.4)	28.8% (▲0.5)	13.6% (▲2.3)	5.1% (+0.2)	10.2% (+1.6)	6.8% (+5.6)					
	地域5(南東部)	49	<b>67.3%</b> (+20.4)	<b>42.9%</b> (+2.0)	28.6% (+8.2)	26.5% (+4.1)	24.5% (+2.0)	<b>34.7%</b> (+24.5)	22.4% (+6.1)	6.1% (▲10.2)	10.2% (+0.0)	10.2% (+0.0)	2.0% (▲6.1)					
	地域6(南西部)	23	<b>60.9%</b> (▲19.1)	<b>39.1%</b> (▲5.9)	26.1% (▲3.9)	26.1% (▲13.9)	<b>30.4%</b> (+25.4)	<b>30.4%</b> (+20.4)	13.0% (▲2.0)	17.4% (▲17.6)	8.7% (▲1.3)	4.3% (▲0.7)	8.7% (+3.7)					
性別	男性	318	<b>65.1%</b> (+2.7)	<b>43.4%</b> (▲0.5)	<b>31.1%</b> (+4.1)	<b>31.1%</b> (▲0.9)	18.2% (+0.0)	25.2% (+3.6)	17.6% (▲1.7)	17.9% (+2.5)	7.5% (+0.6)	5.3% (▲3.2)	1.9% (▲0.0)					
	女性	457	<b>56.0%</b> (+1.5)	<b>33.3%</b> (▲0.4)	<b>32.6%</b> (▲0.3)	27.4% (▲2.4)	27.8% (+6.1)	21.0% (+0.3)	20.4% (▲0.3)	18.4% (▲3.3)	3.5% (▲0.2)	6.6% (▲3.1)	3.1% (▲0.9)					
年齢別	20歳代	35	<b>60.0%</b> (+1.9)	<b>45.7%</b> (+10.8)	20.0% (▲10.2)	<b>42.9%</b> (+5.6)	22.9% (▲2.7)	22.9% (▲2.7)	2.9% (▲4.1)	17.1% (+5.5)	8.6% (+6.2)	8.6% (▲3.1)	0.0% (+0.0)					
	30歳代	74	<b>51.4%</b> (▲8.6)	<b>40.5%</b> (+10.5)	<b>41.9%</b> (▲11.9)	33.8% (▲2.5)	29.7% (+4.7)	8.1% (▲9.4)	5.4% (+0.4)	33.8% (▲12.5)	0.0% (▲2.5)	4.1% (▲0.9)	5.4% (+1.7)					
	40歳代	120	<b>61.7%</b> (+1.9)	31.7% (▲1.2)	<b>33.3%</b> (▲7.6)	24.2% (▲8.7)	16.7% (+1.9)	17.5% (+1.4)	10.0% (▲2.8)	<b>58.3%</b> (+7.3)	4.2% (+2.8)	4.2% (▲3.2)	0.8% (▲1.9)					
	50歳代	112	<b>74.1%</b> (+1.9)	<b>28.6%</b> (▲8.9)	<b>33.0%</b> (+10.8)	27.7% (▲5.7)	25.9% (+4.4)	25.0% (+0.0)	11.6% (▲3.0)	24.1% (▲0.2)	3.6% (▲2.7)	7.1% (+0.2)	3.6% (+2.2)					
	60歳代	204	<b>66.2%</b> (+4.0)	<b>43.1%</b> (+2.7)	32.4% (+6.3)	32.8% (+3.3)	22.1% (+0.8)	<b>35.8%</b> (+8.4)	27.5% (+2.7)	2.9% (▲1.4)	9.8% (+1.5)	6.4% (▲3.2)	0.5% (▲1.7)					
	70歳代以上	229	<b>48.9%</b> (+6.9)	<b>37.6%</b> (▲4.9)	<b>29.3%</b> (+4.7)	24.9% (▲0.1)	26.2% (+7.0)	17.5% (+1.4)	27.5% (▲4.2)	3.1% (+1.7)	3.5% (▲1.0)	6.6% (▲5.9)	4.4% (▲1.4)					
ライフステージ別 (複数回答)	若者	33	<b>60.6%</b> (+5.1)	<b>48.5%</b> (+12.4)	21.2% (▲12.1)	<b>42.4%</b> (+6.3)	21.2% (+1.8)	24.2% (▲0.8)	3.0% (▲5.3)	18.2% (+7.1)	9.1% (+6.3)	9.1% (▲4.8)	0.0% (+0.0)					
	夫婦	69	<b>73.9%</b> (+6.4)	30.4% (▲0.9)	23.2% (+3.9)	<b>33.3%</b> (▲6.4)	21.7% (▲1.2)	<b>33.3%</b> (+4.4)	14.5% (▲2.4)	10.1% (+6.5)	7.2% (+1.2)	2.9% (▲1.9)	1.4% (▲1.0)					
	育児期	60	<b>48.3%</b> (▲10.6)	40.0% (+10.5)	<b>63.3%</b> (▲0.8)	41.7% (+4.5)	26.7% (▲4.1)	3.3% (▲4.4)	1.7% (▲4.7)	<b>58.3%</b> (+10.9)	0.0% (+0.0)	5.0% (▲2.7)	3.3% (▲0.5)					
	教育期前期	114	<b>59.6%</b> (+0.5)	<b>38.6%</b> (+9.3)	36.8% (▲5.1)	27.2% (▲4.9)	14.0% (+1.9)	8.8% (▲3.9)	7.0% (▲4.6)	<b>73.7%</b> (+6.8)	4.4% (+0.5)	0.9% (▲5.8)	2.6% (▲1.2)					
	教育期後期	71	<b>70.4%</b> (+2.4)	<b>35.2%</b> (▲7.5)	25.4% (▲5.3)	22.5% (▲13.5)	11.3% (+1.9)	8.5% (▲8.9)	12.7% (▲16.7)	<b>63.4%</b> (▲0.6)	5.6% (▲1.0)	4.2% (▲1.1)	1.4% (▲2.6)					
	単身高齢者	38	<b>50.0%</b> (▲0.8)	<b>31.6%</b> (+3.7)	<b>28.9%</b> (+10.9)	15.8% (▲0.6)	15.8% (▲3.9)	10.5% (▲4.2)	<b>28.9%</b> (▲0.6)	5.3% (+5.3)	5.3% (+2.0)	10.5% (▲2.6)	7.9% (+3.0)					
	高齢者夫婦	147	<b>52.4%</b> (+13.0)	<b>51.7%</b> (+5.0)	<b>33.3%</b> (+8.0)	29.3% (+5.9)	31.3% (+8.0)	23.1% (+3.8)	27.9% (▲1.4)	1.4% (+0.7)	4.1% (+1.4)	4.1% (▲5.3)	2.0% (▲4.6)					
旧住民・ 新住民別	奈良県にずっと 住んでいる人	433	<b>63.0%</b> (+4.3)	<b>37.2%</b> (▲1.8)	<b>32.6%</b> (+2.1)	29.6% (▲0.4)	25.2% (+3.3)	24.7% (+2.2)	20.3% (+0.1)	17.8% (▲0.7)	6.7% (▲0.1)	6.9% (▲0.7)	2.3% (▲0.9)					
	奈良県に新しく きた人	338	<b>56.2%</b> (▲0.8)	<b>37.9%</b> (+0.6)	<b>31.7%</b> (+0.8)	28.4% (▲2.9)	23.7% (+5.5)	20.4% (+1.0)	17.8% (▲1.9)	18.6% (▲1.8)	3.3% (+0.9)	5.0% (▲5.6)	3.0% (+0.1)					
奈良での 就労別	奈良県内で 働いている人	317	<b>72.9%</b> (+1.8)	<b>36.6%</b> (+1.6)	<b>31.2%</b> (▲1.6)	30.9% (▲3.0)	21.1% (+1.2)	23.0% (+3.1)	17.4% (+4.2)	25.2% (▲1.8)	9.5% (+0.2)	6.9% (+0.9)	1.3% (▲0.7)					
	奈良県外で 働いている人	88	<b>65.9%</b> (+0.4)	<b>36.4%</b> (▲1.4)	27.3% (▲2.7)	<b>29.5%</b> (+0.7)	17.0% (+5.9)	8.0% (▲3.2)	6.8% (▲4.3)	<b>29.5%</b> (+2.9)	0.0% (▲2.2)	4.5% (▲5.5)	3.4% (+0.1)					

(注)集計結果は「県全体」の平成30年度の結果が多い順（「その他」を除く）に並べている。

太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

また、網掛けは平成29年度よりも5ポイント以上増えた項目（「その他」及び「無回答」を除く）を示している。

母数は問2で「苦しくなった」と答えた人数であり、6～9ページの「5.回答者の状況」とは異なる。

## ■県全体

1年前と比較して暮らし向きが「楽になった」（「とても楽になった」+「少し楽になった」）と感じている人に対してその理由を尋ねたところ、「給料や収益が増加したから」（39.3%）が最も多く、次いで「教育にかかる費用が減ったから」（21.1%）、「結婚、出産、病気など特別な出費がなかったから」（19.4%）となっています。平成29年度と比較すると「給料や収益が増加したから」（2.7ポイント増）、「税金や保険料の支払いが減ったから」（1.4ポイント増）などの項目で増加しています。

1年前と比較して暮らし向きが「苦しくなった」（「少し苦しくなった」+「とても苦しくなった」）と感じている人に対してその理由を尋ねたところ、「給料や収益が増えない、または減少したから」（59.4%）が最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えたから」（37.1%）、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」（31.7%）となっています。平成29年度と比較すると「結婚、出産、病気など特別な出費があったから」（3.8ポイント増）、「給料や収益が増えない、または減少したから」（1.6ポイント増）などの項目で増加しています。

## ■地域別

「楽になった」理由をみると、『地域2（西部）』では「教育にかかる費用が減ったから」と「結婚、出産、病気など特別な出費がなかったから」の2項目が同率、他の地域では「給料や収益が増加したから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『地域2（西部）』では「教育にかかる費用が減ったから」（25.5ポイント増）、『地域5（南東部）』では「家や自動車、家電などにかかる支出が減ったから」（20.0ポイント増）が20ポイント以上増加（件数の少ない『地域6（南西部）』を除く）しています。

「苦しくなった」理由をみると、すべての地域で「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『地域5（南東部）』では「失業、退職、病気などで働き手が減ったから」（24.5ポイント増）、「給料や収益が増えない、または減少したから」（20.4ポイント増）、『地域6（南西部）』では「結婚、出産、病気など特別な出費があったから」（25.4ポイント増）、「失業、退職、病気などで働き手が減ったから」（20.4ポイント増）が20ポイント以上増加しています。

## ■性別

「楽になった」理由をみると、『男性』、『女性』ともに「給料や収益が増加したから」が最も多く、次いで『男性』では「結婚、出産、病気など特別な出費がなかったから」、『女性』では「教育にかかる費用が減ったから」となっています。平成29年度と比較すると、『女性』では「給料や収益が増加したから」が6.0ポイント増加しています。

「苦しくなった」理由をみると、『男性』、『女性』ともに「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えたから」となっています。平成29年度と比較すると、『女性』では「結婚、出産、病気など特別な出費がなかったから」が6.1ポイント増加しています。

## ■年齢別

「楽になった」理由をみると、『50歳代』では「教育にかかる費用が減ったから」、『70歳代以上』では「結婚、出産、病気など特別な出費がなかったから」、他の年齢層では「給料や収益が増加したから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『40歳代』では「給料や収益が増加したから」（18.6ポイント増）が15ポイント以上増加しています。

「苦しくなった」理由をみると、すべての年齢層で「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『20歳代』と『30歳代』では「税金や保険料の支払いが増えたから」（20歳代：10.8ポイント増、30歳代：10.5ポイント増）、『50歳代』では「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」（10.8ポイント増）が10ポイント以上増加しています。

## ■ライフステージ別

「楽になった」理由をみると、『夫婦』では「家族の減少や物価の低下などで毎日の生活費が減ったから」、『教育期後期』では「教育にかかる費用が減ったから」、『高齢者夫婦』では「結婚、出産、病気など特別な出費がなかったから」、他のライフステージ（件数の少ない『単身高齢者』を除く）では「給料や収益が増加したから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『教育期後期』では「就業、就職などで働き手が増えたから」が20.3ポイント増加しています。

「苦しくなった」理由をみると、『育児期』では「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」、『教育期前期』では「教育にかかる費用が増えたから」、他のライフステージで「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『高齢者夫婦』では「給料や収益が増えない、または減少したから」（13.0ポイント増）、『若者』では「税金や保険料の支払いが増えたから」（12.4ポイント増）、『育児期』では「教育にかかる費用が増えたから」（10.9ポイント増）、「税金や保険料の支払いが増えたから」（10.5ポイント増）、『単身高齢者』では「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」（10.9ポイント増）が10ポイント以上増加しています。

## ■旧住民・新住民別

「楽になった」理由をみると、どちらの住民においても、「給料や収益が増加したから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『奈良県に新しくきた人』では「家族の減少や物価の低下などで毎日の生活費が減ったから」が5.5ポイント増加しています。

「苦しくなった」理由をみると、どちらの住民においても、「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『奈良県に新しくきた人』では「結婚、出産、病気など特別な出費があったから」が5.5ポイント増加しています。

## ■奈良での就労別

「楽になった」理由をみると、どちらの就労状況においても、「給料や収益が増加したから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『奈良県外で働いている人』では「有価証券などの時価の上昇により、資産が増加したから」（13.1ポイント増）、『奈良県内で働いている人』では「教育にかかる費用が減ったから」（11.3ポイント増）が10ポイント以上増加しています。

「苦しくなった」理由をみると、どちらの就労状況においても、「給料や収益が増えない、または減少したから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『奈良県外で働いている人』では「結婚、出産、病気など特別な出費があったから」が5.9ポイント増加しています。

## (2) 暮らし向きの悪化の程度とその理由 (問2×問4)

図表 暮らし向きの悪化の程度とその理由 (設問間クロス/県全体)

(上段:件数、下段:比率)

順位	問4 暮らし向きの悪化理由	問2 暮らし向きの変化		
		計	少し苦しくなった	とても苦しくなった
1位	1. 給料や収益が増えない、または減少したから	469 59.4%	392 58.3%	77 65.8%
2位	8. 税金や保険料の支払いが増えたから	293 37.1%	236 35.1%	57 48.7%
3位	4. 家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから	250 31.7%	206 30.7%	44 37.6%
4位	7. 家や自動車、家電などにかかる支出が増えたから	226 28.6%	186 27.7%	40 34.2%
5位	5. 結婚、出産、病気など特別な出費があったから	189 24.0%	150 22.3%	39 33.3%
6位	2. 失業、退職、病気などで働き手が減ったから	178 22.6%	147 21.9%	31 26.5%
7位	3. 利率の低下などにより預貯金が目減りしたから	152 19.3%	129 19.2%	23 19.7%
8位	6. 教育にかかる費用が増えたから	141 17.9%	125 18.6%	16 13.7%
9位	9. 家業や商売などにかかる営業経費が増えたから	41 5.2%	34 5.1%	7 6.0%
-	10. その他	50 6.3%	37 5.5%	13 11.1%
	無回答	22 2.8%	18 2.7%	4 3.4%
	合計	789 100.0%	672 100.0%	117 100.0%

(注)上記図表は暮らし向きが「少し苦しくなった」または「とても苦しくなった」と感じている回答者が、どのような理由で暮らし向きが悪化したのかを把握するため、問2と問4のクロス集計を行った結果である。

なお、対象者数は、問2で現在の暮らし向きが「苦しくなった」と回答した人数である。

### ■県全体

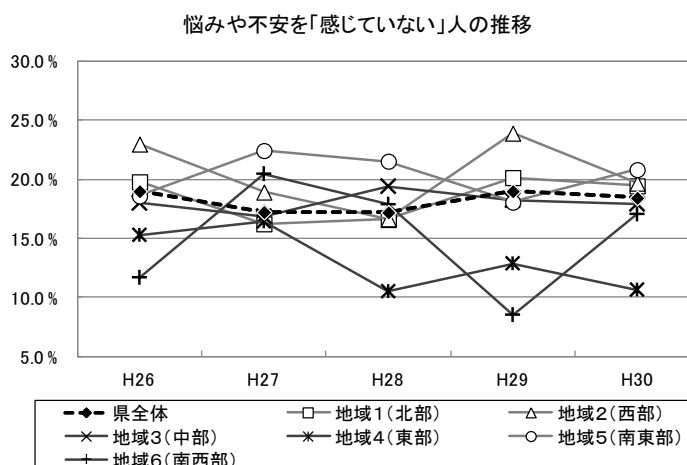
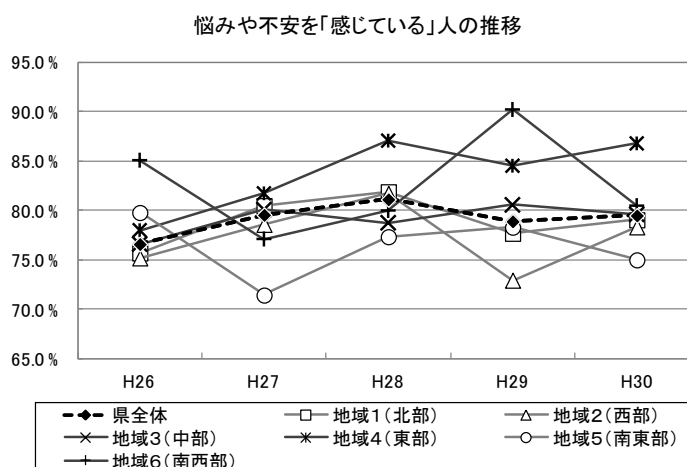
暮らし向きの悪化の理由について、暮らし向きが「とても苦しくなった」と答えた人は「少し苦しくなった」と答えた人に比べて、「税金や保険料の支払いが増えたから」(13.6ポイント差)、「結婚、出産、病気など特別な出費があったから」(11.0ポイント差)が10ポイント以上高くなっており、次いで「給料や収益が増えない、または減少したから」(7.5ポイント差)、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから」(7.0ポイント差)などで差が大きくなっています。

## 1-4 日頃の生活での悩みや不安の有無（問5）

### （1）経年比較

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（経年比較／県全体、地域別）

		悩みや不安を感じている	悩みや不安を感じていない
県全体	H26	76.6%	19.0%
	H27	79.6%	17.2%
	H28	81.1%	17.2%
	H29	78.9%	19.0%
	H30	<b>79.5%</b>	<b>18.4%</b>
地域1(北部)	H26	75.7%	19.8%
	H27	80.5%	16.2%
	H28	81.9%	16.6%
	H29	77.7%	20.2%
	H30	<b>79.1%</b>	<b>19.5%</b>
地域2(西部)	H26	75.2%	23.0%
	H27	78.6%	18.9%
	H28	81.7%	16.7%
	H29	72.9%	23.9%
	H30	<b>78.3%</b>	<b>19.7%</b>
地域3(中部)	H26	76.6%	18.0%
	H27	80.1%	16.9%
	H28	78.8%	19.4%
	H29	80.6%	18.2%
	H30	<b>79.6%</b>	<b>17.9%</b>
地域4(東部)	H26	78.0%	15.3%
	H27	81.7%	16.4%
	H28	87.1%	10.5%
	H29	84.5%	12.9%
	H30	<b>86.8%</b>	<b>10.7%</b>
地域5(南東部)	H26	79.8%	18.6%
	H27	71.4%	22.4%
	H28	77.3%	21.5%
	H29	78.3%	18.1%
	H30	<b>75.0%</b>	<b>20.8%</b>
地域6(南西部)	H26	85.1%	11.7%
	H27	77.1%	20.5%
	H28	80.0%	17.9%
	H29	90.2%	8.5%
	H30	<b>80.5%</b>	<b>17.1%</b>



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

#### ■県全体

日頃の生活での悩みや不安の有無について5カ年の調査結果を比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は平成26年度から増加傾向にあったものが、平成29年度に減少に転じましたが、今回調査ではわずかながら増加しています。平成29年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は0.6ポイント増加し、「悩みや不安を感じていない」と答えた人は0.6ポイント減少しています。

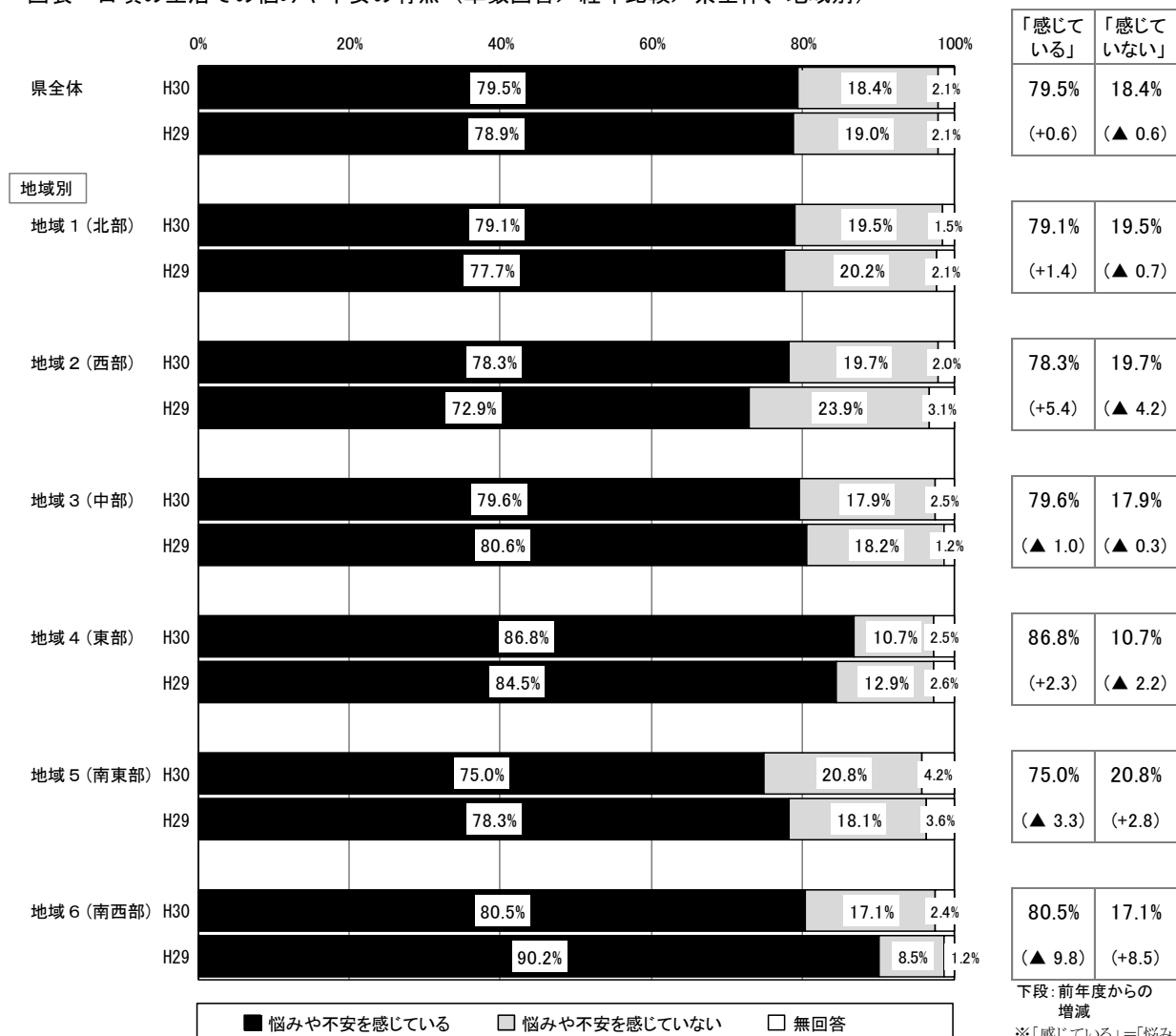
#### ■地域別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、平成26年度と比較すると、『地域5(南東部)』(4.8ポイント減)、『地域6(南西部)』(4.6ポイント減)を除く地域で増加しています。平成29年度と比較すると、『地域2(西部)』(5.4ポイント増)、『地域4(東部)』(2.3ポイント増)、『地域1(北部)』(1.4ポイント増)では増加していますが、他の3地域では減少しています。



## (2) 今年度調査結果

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答／経年比較／県全体、地域別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■県全体

日頃の生活での悩みや不安の有無について、「悩みや不安を感じている」と答えた人は、79.5%で、平成29年度と比較すると0.6ポイント増加しています。

### ■地域別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『地域4(東部)』(86.8%)が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は『地域2(西部)』(5.4ポイント増)、『地域4(東部)』(2.3ポイント増)、『地域1(北部)』(1.4ポイント増)では増加していますが、他の3地域では減少しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答／経年比較／県全体、性別、年齢別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

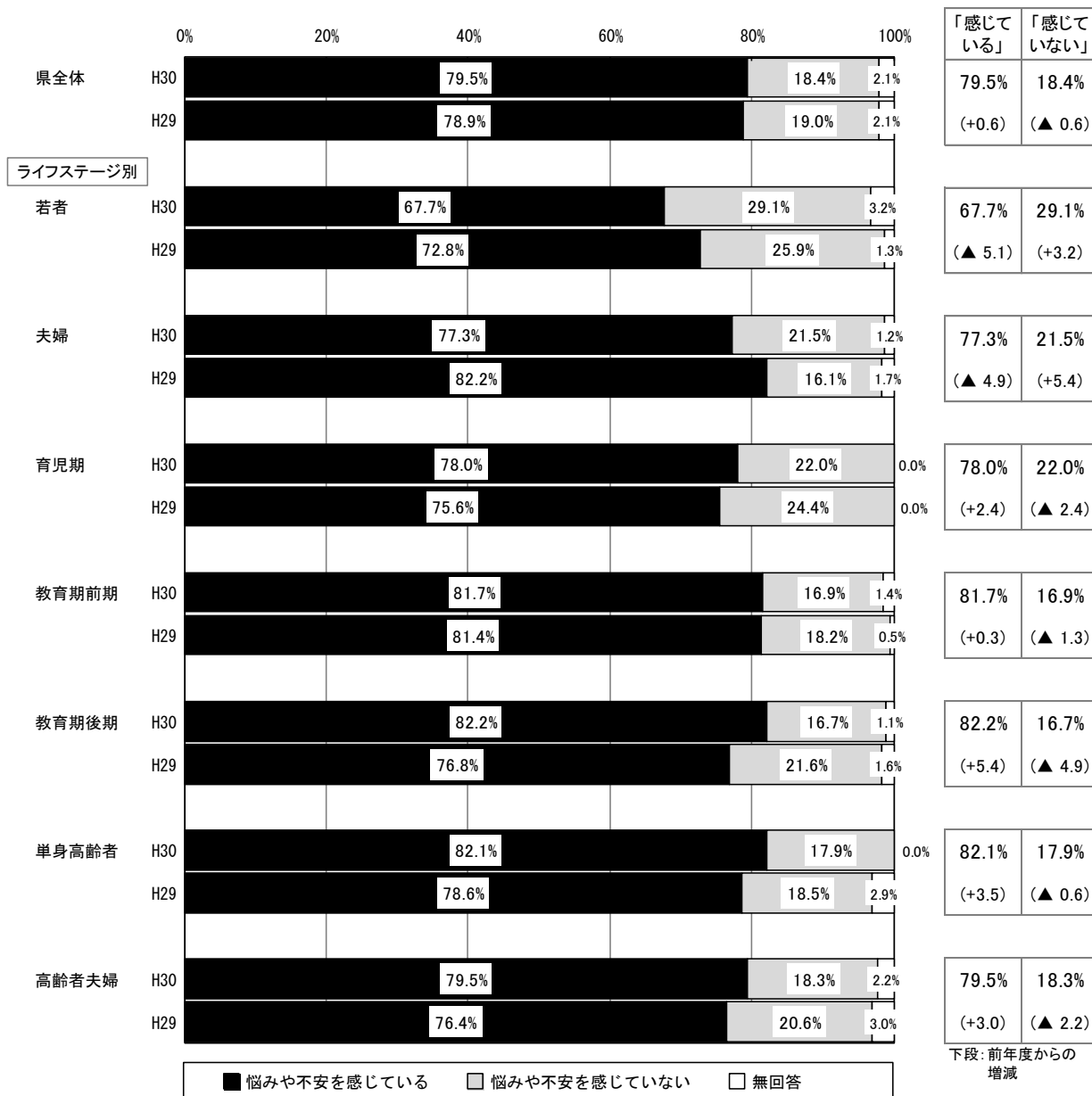
### ■性別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『女性』(80.1%)が『男性』(79.1%)と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は『女性』(1.1ポイント増)、『男性』(0.5ポイント増)ともに増加しています。

### ■年齢別

「悩みや不安を感じている」と答えた人が最も多いのは『50歳代』(85.6%)で、次いで『40歳代』(84.6%)、『30歳代』(79.8%)となっています。平成29年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は『20歳代』(3.2ポイント減)、『60歳代』(0.9ポイント減)を除く年齢層では増加しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答／経年比較／県全体、ライフステージ別）

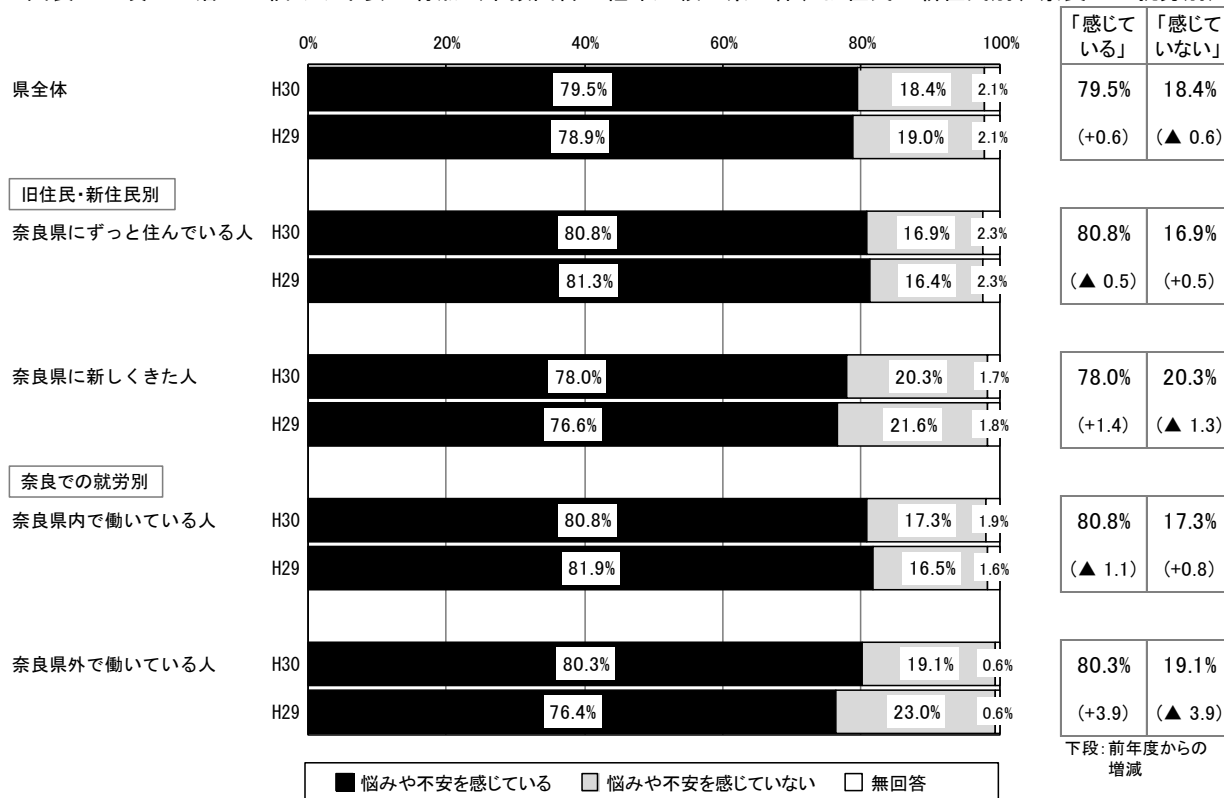


(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■ライフステージ別

「悩みや不安を感じている」と答えた人が最も多いのは『教育期後期』(82.2%)で、次いで『単身高齢者』(82.1%)、『教育期前期』(81.7%)となっています。平成29年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は『若者』(5.1ポイント減)、『夫婦』(4.9ポイント減)を除くライフステージでは増加しています。

図表 日頃の生活での悩みや不安の有無（単数回答／経年比較／県全体、旧住民・新住民別、奈良での就労別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■旧住民・新住民別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、『奈良県にずっと住んでいる人』(80.8%)が『奈良県に新しくきた人』(78.0%)と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は『奈良県にずっと住んでいる人』(0.5ポイント減)では減少していますが、『奈良県に新しくきた人』(1.4ポイント増)では増加しています。

### ■奈良での就労別

「悩みや不安を感じている」と答えた人は『奈良県内で働いている人』(80.8%)と『奈良県外で働いている人』(80.3%)が同程度となっています。平成29年度と比較すると、「悩みや不安を感じている」と答えた人は『奈良県内で働いている人』(1.1ポイント減)では減少していますが、『奈良県外で働いている人』(3.9ポイント増)では増加しています。

### 1-5 日頃の生活での悩みや不安の内容（問6）

図表 日頃の生活での悩みや不安の内容（5つ以内で複数回答／

県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

（上段：平成30年度結果、下段：前年度からの増減）

	母数	自分の健康について	老後の生活設計について	家族の健康について	今後の収入や資産の見	現在の収入や資産につ	就職・結婚など（進学、	家族・親族間の人間関	勤務先での仕事や人間	近い隣・地域との関係に	就職・生活など（進学、	問題や家業の経営上の	その他	無回答	
※5つ以内で複数回答															
県全体	2,009	<b>65.6%</b> (▲4.0)	<b>62.7%</b> (▲0.5)	<b>56.8%</b> (+1.1)	46.2% (+0.8)	43.4% (+0.3)	20.5% (▲2.5)	13.1% (+0.4)	11.1% (+0.3)	10.3% (+0.1)	9.9% (+0.2)	7.0% (+0.7)	2.9% (▲1.0)	0.9% (▲0.5)	
地域別	地域1(北部)	963	<b>64.4%</b> (+3.2)	<b>62.1%</b> (▲3.0)	<b>55.5%</b> (+0.4)	47.0% (+0.4)	43.1% (+0.6)	18.9% (▲3.8)	13.6% (+0.8)	10.5% (+0.5)	11.3% (+2.9)	11.5% (+1.1)	7.9% (+2.0)	3.0% (▲1.4)	0.8% (▲0.4)
	地域2(西部)	199	<b>65.3%</b> (+1.3)	<b>60.3%</b> (+2.8)	<b>58.3%</b> (▲0.3)	39.2% (▲3.3)	38.7% (+3.2)	22.6% (+1.1)	12.6% (+2.9)	13.6% (+0.1)	11.6% (▲1.9)	11.1% (▲0.2)	5.0% (+2.9)	3.0% (▲1.8)	2.0% (+0.4)
	地域3(中部)	484	<b>63.8%</b> (+4.5)	<b>64.5%</b> (+2.1)	<b>58.3%</b> (+3.9)	46.1% (+0.4)	44.4% (▲0.1)	22.3% (▲1.2)	14.0% (+0.5)	12.8% (+2.2)	8.9% (▲2.1)	7.9% (▲0.7)	6.6% (▲0.4)	4.1% (▲0.5)	1.0% (▲0.8)
	地域4(東部)	171	<b>69.0%</b> (+2.5)	<b>60.8%</b> (▲2.6)	<b>59.6%</b> (+0.5)	51.5% (+6.9)	45.0% (▲0.1)	21.1% (▲2.1)	14.0% (+1.8)	9.9% (▲5.9)	7.0% (▲2.1)	8.8% (▲0.4)	7.6% (▲0.3)	4.1% (+1.0)	0.0% (▲1.8)
	地域5(南東部)	126	<b>74.6%</b> (+10.0)	<b>67.5%</b> (+7.5)	<b>56.3%</b> (+1.0)	45.2% (+2.9)	46.0% (▲0.9)	25.4% (+4.6)	5.6% (▲2.9)	7.9% (+1.0)	11.9% (▲1.2)	6.3% (▲1.3)	5.6% (▲3.7)	0.8% (▲0.7)	1.6% (+0.8)
	地域6(南西部)	66	<b>71.2%</b> (+9.0)	<b>62.1%</b> (▲1.4)	<b>54.5%</b> (▲4.9)	43.9% (+3.4)	45.5% (▲4.5)	13.6% (▲16.1)	13.6% (▲10.7)	7.6% (▲3.2)	6.1% (▲11.5)	7.6% (▲3.2)	4.5% (▲3.6)	3.0% (▲2.4)	0.0% (+0.0)
性別	男性	797	<b>63.7%</b> (+4.1)	<b>60.2%</b> (▲1.6)	<b>54.7%</b> (+2.9)	51.4% (+0.9)	48.6% (+1.5)	17.7% (▲2.0)	11.4% (+1.1)	12.8% (+0.5)	12.3% (+3.4)	11.4% (+2.2)	8.0% (▲0.6)	2.5% (▲0.8)	0.6% (▲1.7)
	女性	1,183	<b>66.5%</b> (+3.4)	<b>64.5%</b> (+0.3)	<b>58.2%</b> (▲0.2)	43.2% (+1.4)	40.5% (▲0.1)	22.7% (▲2.7)	14.3% (▲0.3)	10.1% (+0.4)	8.9% (▲2.3)	9.1% (▲1.0)	6.4% (+1.7)	3.1% (▲1.2)	1.2% (+0.4)
年齢別	20歳代	117	30.8% (▲3.1)	24.8% (+0.6)	29.9% (+3.3)	<b>47.9%</b> (▲6.2)	<b>54.7%</b> (+5.5)	19.7% (+5.1)	11.1% (▲3.4)	30.8% (+2.5)	3.4% (+0.2)	<b>61.5%</b> (+2.7)	1.7% (+0.9)	1.7% (+0.9)	2.6% (+1.0)
	30歳代	170	38.2% (▲4.4)	<b>46.5%</b> (+4.3)	42.4% (+1.2)	<b>55.3%</b> (▲1.1)	<b>60.0%</b> (+4.1)	24.7% (▲0.8)	10.6% (▲3.1)	24.1% (+2.1)	8.2% (+1.4)	31.2% (+5.7)	5.3% (▲0.1)	2.9% (+0.0)	2.4% (▲2.1)
	40歳代	296	<b>50.3%</b> (+4.5)	<b>60.1%</b> (▲0.9)	<b>50.3%</b> (▲2.6)	<b>55.1%</b> (▲1.6)	49.7% (▲0.8)	32.1% (▲4.0)	13.5% (▲1.8)	22.3% (+3.3)	6.8% (▲2.3)	13.2% (▲4.3)	8.8% (+2.6)	2.7% (+0.2)	1.4% (▲0.2)
	50歳代	333	<b>58.3%</b> (+8.8)	<b>73.9%</b> (▲2.5)	<b>58.6%</b> (+0.2)	57.1% (+2.6)	42.0% (▲2.7)	29.1% (▲5.9)	13.2% (▲0.1)	14.7% (▲2.2)	9.6% (+0.2)	5.4% (+1.2)	9.9% (+1.9)	3.3% (▲1.1)	0.6% (▲1.1)
	60歳代	493	<b>77.9%</b> (+5.1)	<b>73.2%</b> (▲1.8)	<b>64.7%</b> (▲1.4)	47.5% (+4.0)	43.8% (+0.2)	19.5% (▲3.0)	12.8% (+2.4)	4.7% (+1.5)	11.6% (+1.4)	2.4% (+1.6)	6.7% (▲2.2)	1.8% (▲3.0)	0.4% (▲0.2)
	70歳代以上	570	<b>81.6%</b> (+0.1)	<b>61.8%</b> (▲0.5)	<b>62.3%</b> (+4.2)	32.6% (+3.2)	34.7% (+2.7)	9.8% (+0.5)	14.7% (+2.4)	1.2% (+0.2)	13.7% (▲0.4)	0.9% (+0.5)	6.5% (+2.0)	4.0% (▲0.5)	0.7% (+0.0)
ライフステージ別（複数回答）	若者	107	30.8% (▲0.5)	25.2% (+2.6)	28.0% (+4.6)	<b>45.8%</b> (▲7.2)	<b>54.2%</b> (+6.4)	17.8% (+3.0)	11.2% (▲2.7)	30.8% (+2.1)	3.7% (+0.3)	<b>63.6%</b> (+1.8)	0.9% (+0.1)	1.9% (+1.0)	2.8% (+1.9)
	夫婦	191	<b>67.5%</b> (▲0.5)	<b>75.4%</b> (▲4.0)	<b>67.0%</b> (+3.1)	49.7% (▲5.4)	44.0% (▲2.4)	12.0% (+0.7)	11.5% (▲2.4)	16.2% (+6.4)	6.8% (▲2.0)	5.8% (+0.6)	6.8% (+0.6)	2.1% (▲1.0)	0.0% (▲1.0)
	育児期	124	40.3% (▲2.5)	47.6% (▲7.1)	<b>48.4%</b> (▲2.5)	<b>51.6%</b> (▲13.0)	<b>53.2%</b> (▲5.2)	34.7% (+1.1)	14.5% (▲2.3)	12.1% (▲5.3)	10.5% (+1.8)	10.5% (+2.4)	5.6% (▲1.8)	3.2% (+0.1)	1.6% (+1.0)
	教育期前期	285	46.7% (+3.2)	<b>53.7%</b> (▲2.0)	48.1% (▲1.4)	<b>53.3%</b> (▲0.3)	<b>50.5%</b> (▲2.0)	42.8% (▲8.3)	14.4% (▲0.0)	14.7% (▲0.5)	10.9% (+2.4)	4.6% (▲5.9)	11.6% (+5.6)	3.5% (+0.7)	1.8% (+0.1)
	教育期後期	148	<b>47.3%</b> (+0.7)	<b>64.9%</b> (▲1.6)	<b>52.7%</b> (+3.4)	45.9% (▲2.0)	43.9% (▲6.1)	41.9% (▲10.2)	12.8% (▲5.0)	12.2% (▲0.9)	8.1% (▲0.1)	3.4% (▲1.4)	13.5% (+0.5)	3.4% (▲1.4)	1.4% (▲0.0)
	単身高齢者	101	<b>91.1%</b> (+8.7)	<b>63.4%</b> (▲0.6)	15.8% (▲4.7)	31.7% (+5.9)	<b>35.6%</b> (+3.3)	11.9% (+6.0)	14.9% (+2.4)	2.0% (▲0.2)	21.8% (+2.7)	6.9% (+6.2)	4.0% (+1.8)	3.0% (▲2.2)	0.0% (▲0.7)
	高齢者夫婦	403	<b>79.7%</b> (▲1.5)	<b>68.7%</b> (+1.9)	<b>73.7%</b> (+0.6)	38.0% (+2.2)	39.0% (+5.5)	6.7% (▲1.1)	13.2% (▲0.2)	2.0% (+1.7)	12.2% (▲0.6)	0.5% (▲0.0)	4.7% (+1.3)	2.7% (▲2.0)	0.7% (+0.5)
	旧住民・新住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,099	<b>64.9%</b> (+4.1)	<b>61.2%</b> (+0.5)	<b>57.7%</b> (+3.4)	48.5% (+3.4)	45.1% (+0.6)	21.0% (▲1.9)	11.8% (+0.7)	11.8% (+0.5)	10.2% (+0.6)	11.4% (+0.3)	8.1% (▲0.0)	2.8% (▲0.7)
奈良県に新しくきた人		887	<b>66.5%</b> (+4.0)	<b>64.6%</b> (▲1.4)	<b>55.8%</b> (▲1.7)	43.7% (▲2.9)	41.6% (▲0.0)	20.2% (▲3.3)	14.8% (▲0.3)	10.1% (▲0.2)	10.5% (+0.0)	8.3% (▲0.0)	5.9% (+1.7)	2.9% (▲1.4)	1.1% (+0.0)
奈良県内で働いている人		817	<b>56.3%</b> (+4.1)	<b>66.1%</b> (+1.7)	51.8% (▲0.5)	<b>57.5%</b> (+3.7)	51.3% (+1.9)	24.8% (▲3.8)	10.4% (▲1.7)	17.7% (+0.4)	8.2% (+0.3)	11.1% (▲1.1)	12.4% (+1.9)	2.4% (▲0.9)	1.2% (▲0.8)
奈良県外で働いている人	261	<b>50.2%</b> (+5.3)	<b>59.4%</b> (▲1.6)	48.7% (+3.0)	<b>51.7%</b> (▲3.0)	44.4% (▲2.4)	22.6% (▲3.2)	13.8% (+2.5)	24.1% (▲0.5)	8.8% (+3.3)	16.5% (▲0.3)	5.7% (+1.1)	0.8% (▲1.2)	1.1% (▲0.8)	

(注)集計結果は「県全体」の平成30年度の結果が多い順（「その他」を除く）に並べている。

太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。

また、網掛けは平成29年度よりも5ポイント以上増えた項目（「その他」及び「無回答」を除く）を示している。

母数は問5で「不安や悩みを感じている」と答えた人数であり、6～9ページの「5.回答者の状況」とは異なる。

## ■県全体

日頃の生活で「悩みや不安を感じている」人に対してその内容を尋ねたところ、「自分の健康について」(65.6%)が最も多く、次いで「老後の生活設計について」(62.7%)、「家族の健康について」(56.8%)となっています。平成29年度と比較すると、「自分の健康について」(4.0ポイント増)などの項目で増加しています。

## ■地域別

『地域3(中部)』では「老後の生活設計について」、他の地域では「自分の健康について」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『地域5(南東部)』と『地域6(南西部)』では「自分の健康について」が、それぞれ10.0ポイント、9.0ポイント増加しています。

## ■性別

『男性』、『女性』ともに「自分の健康について」を理由にあげる人が最も多く、次いで「老後の生活設計について」となっています。平成29年度と比較すると、『男性』では「自分の健康について」(4.1ポイント増)、「近隣・地域との関係について」(3.4ポイント増)、『女性』では「自分の健康について」(3.4ポイント増)などが増加しています。

## ■年齢別

『20歳代』では「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」、『30歳代』では「現在の収入や資産について」、『40歳代』と『50歳代』では「老後の生活設計について」、60歳代以上では「自分の健康について」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『50歳代』では「自分の健康について」(8.8ポイント増)、『30歳代』では「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」(5.7ポイント増)、『20歳代』では「現在の収入や資産について」(5.5ポイント増)などが増加しています。

## ■ライフステージ別

『若者』では「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」、『育児期』では「現在の収入や資産について」、『単身高齢者』、『高齢者夫婦』は「自分の健康について」、他のライフステージでは「老後の生活設計について」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『単身高齢者』では「自分の健康について」(8.7ポイント増)、「自分の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」(6.2ポイント増)、「家族の生活上(進学、就職、結婚など)の問題について」(6.0ポイント増)、『若者』では「現在の収入や資産について」(6.4ポイント増)、『夫婦』では「勤務先での仕事や人間関係について」(6.4ポイント増)などが増加しています。

## ■旧住民・新住民別

どちらの住民においても「自分の健康について」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、どちらの住民においても「自分の健康について」が増加(旧住民:4.1ポイント増、新住民4.0ポイント増)しています。

## ■奈良での就労別

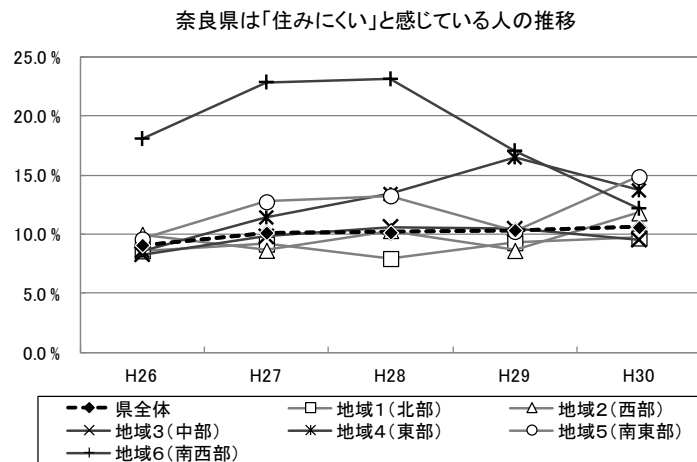
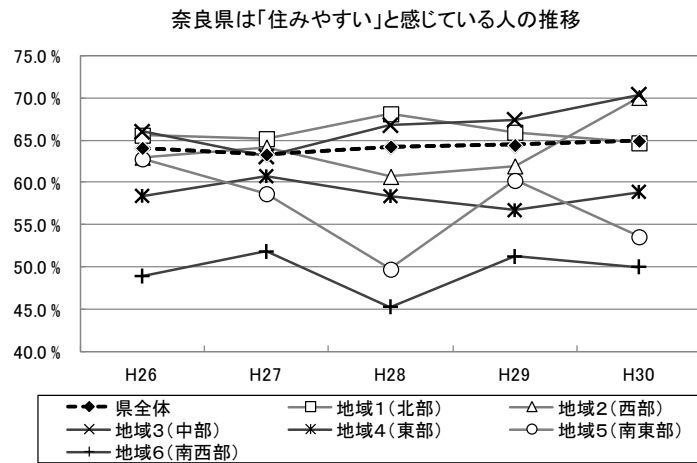
どちらの就労状況においても、「老後の生活設計について」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『奈良県外で働いている人』では「自分の健康について」が5.3ポイント増加しています。

## 1-6 奈良県の住みやすさの評価（問7）

### （1）経年比較

図表 奈良県の住みやすさの評価（経年比較／県全体、地域別）

		住みやすい	住みにくい
県全体	H26	64.1%	9.1%
	H27	63.3%	10.1%
	H28	64.3%	10.2%
	H29	64.4%	10.4%
	H30	<b>64.9%</b>	<b>10.6%</b>
地域1(北部)	H26	65.6%	8.6%
	H27	65.2%	9.2%
	H28	68.1%	7.9%
	H29	66.0%	9.3%
	H30	<b>64.7%</b>	<b>9.7%</b>
地域2(西部)	H26	63.0%	10.0%
	H27	64.2%	8.6%
	H28	60.7%	10.3%
	H29	62.0%	8.6%
	H30	<b>70.1%</b>	<b>11.8%</b>
地域3(中部)	H26	66.0%	8.3%
	H27	63.1%	9.8%
	H28	66.8%	10.6%
	H29	67.4%	10.5%
	H30	<b>70.4%</b>	<b>9.5%</b>
地域4(東部)	H26	58.4%	8.6%
	H27	60.7%	11.4%
	H28	58.4%	13.4%
	H29	56.7%	16.5%
	H30	<b>58.9%</b>	<b>13.7%</b>
地域5(南東部)	H26	62.8%	9.6%
	H27	58.7%	12.8%
	H28	49.7%	13.3%
	H29	60.2%	10.2%
	H30	<b>53.6%</b>	<b>14.9%</b>
地域6(南西部)	H26	48.9%	18.1%
	H27	51.8%	22.9%
	H28	45.3%	23.2%
	H29	51.2%	17.1%
	H30	<b>50.0%</b>	<b>12.2%</b>



(注) 上記図表は、問7を「住みやすい」(「とても住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)と「住みにくい」(「どちらかといえば住みにくい」+「とても住みにくい」)に再集計した結果である。母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

#### ■県全体

奈良県の住みやすさの評価について5カ年の調査結果を比較すると、「住みやすい」(「とても住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)と感じている人は平成26年度から概ね横ばい傾向にあります。一方、「住みにくい」(「どちらかといえば住みにくい」+「とても住みにくい」)と感じている人は平成26年度以降わずかながら増加傾向となっています。平成29年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人(0.5ポイント増)、「住みにくい」と感じている人(0.2ポイント増)ともわずかながら増加しています。

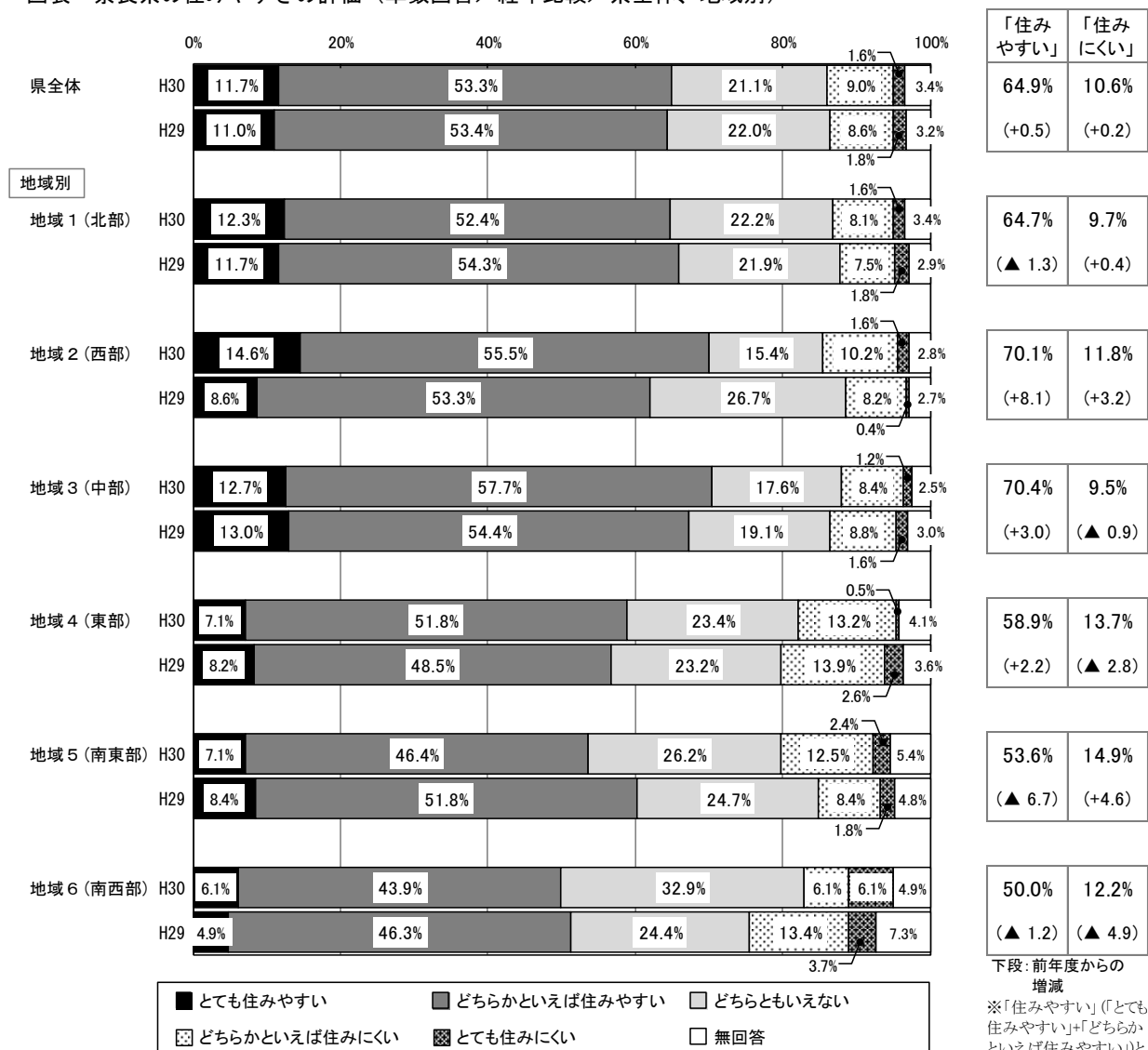
#### ■地域別

「住みやすい」と感じている人は、平成26年度と比較すると、『地域1(北部)』、『地域5(南東部)』では減少し、他の地域では増加しています。平成29年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は、『地域2(西部)』(8.1ポイント増)、『地域3(中部)』(3.0ポイント増)、『地域4(東部)』(2.2ポイント増)では増加していますが、他の3地域では減少しており、特に『地域5(南東部)』では6.7ポイント減少しています。

一方、「住みにくい」と感じている人は、平成26年度と比較すると、『地域6(南西部)』以外の地域では増加しています。平成29年度と比較すると、『地域5(南東部)』(4.6ポイント増)、『地域2(西部)』(3.2ポイント増)、『地域1(北部)』(0.4ポイント増)では増加していますが、他の3地域では減少しています。

## (2) 今年度調査結果

図表 奈良県の住みやすさの評価（単数回答／経年比較／県全体、地域別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■県全体

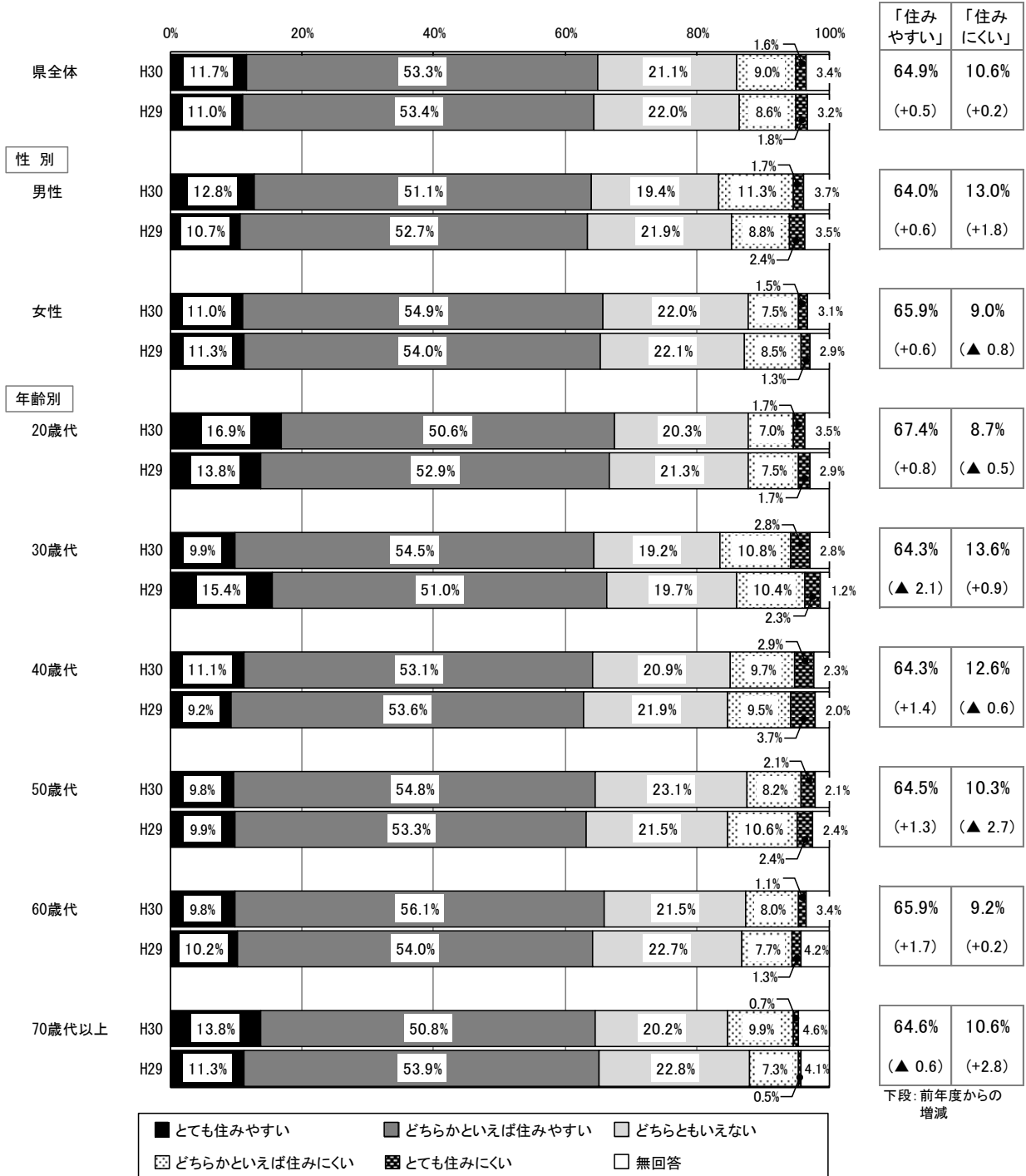
奈良県の住みやすさの評価について、64.9%の人が「住みやすい」と感じており、「住みにくい」と感じている人は、10.6%となっています。平成29年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人(0.5ポイント増)、「住みにくい」と感じている人(0.2ポイント増)ともにわずかながら増加しています。

### ■地域別

「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、『地域3(中部)』(70.4%)となっています。一方、最も少ないのは、『地域6(南西部)』(50.0%)となっています。平成29年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『地域2(西部)』(8.1ポイント増)、『地域3(中部)』(3.0ポイント増)、『地域4(東部)』(2.2ポイント増)では増加していますが、他の3地域では減少しており、特に『地域5(南東部)』では6.7ポイント減少しています。



図表 奈良県の住みやすさの評価（単数回答／経年比較／県全体、性別、年齢別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

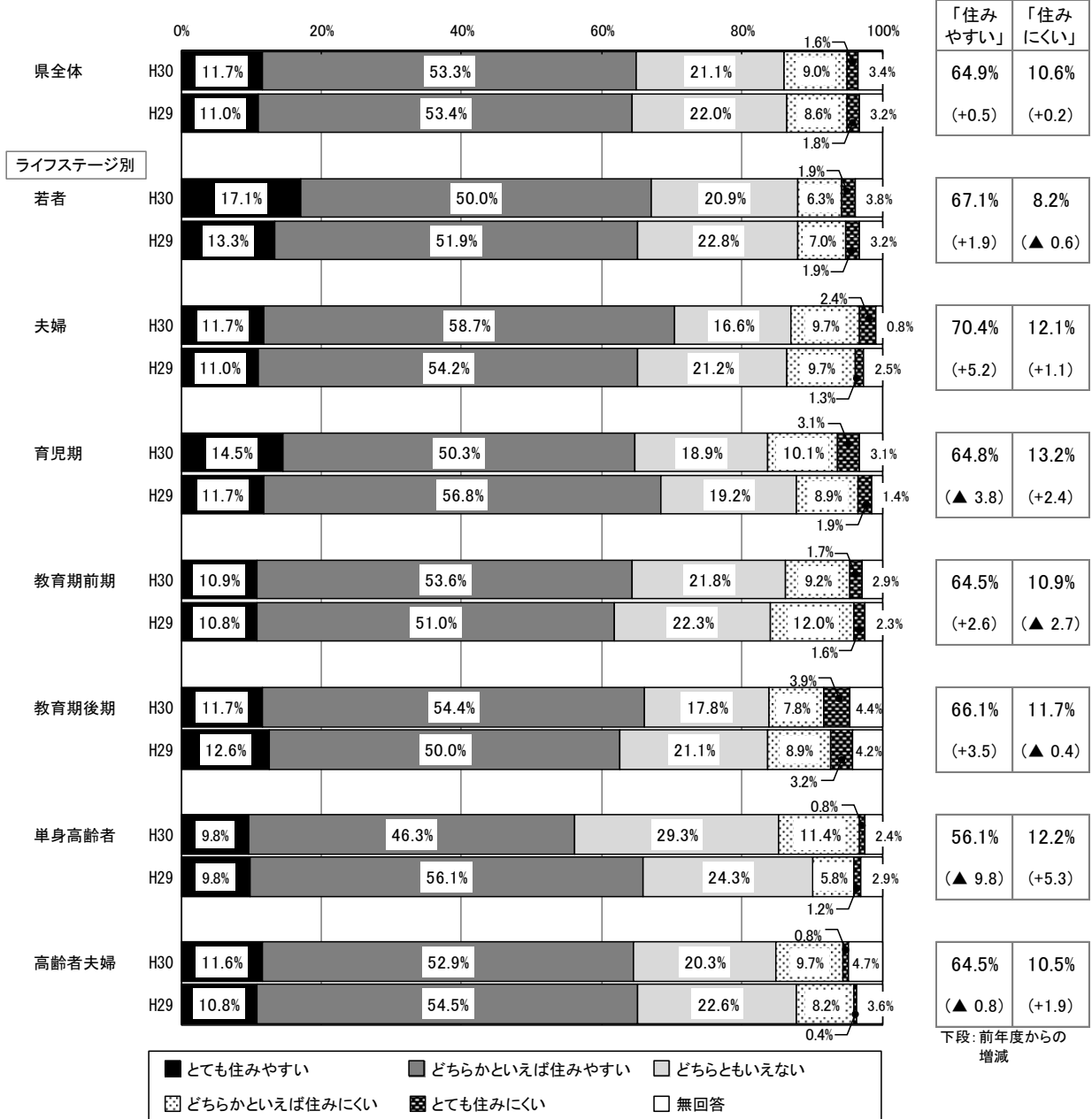
### ■性別

「住みやすい」と感じている人は、『女性』（65.9%）が『男性』（64.0%）と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『男性』、『女性』ともに0.6ポイント増加しています。

### ■年齢別

「住みやすい」と感じている人が最も多いのは、『20歳代』（67.4%）となっています。平成29年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『30歳代』、『70歳代以上』を除く年齢層で増加しています。

図表 奈良県の住みやすさの評価（単数回答／経年比較／県全体、ライフステージ別）

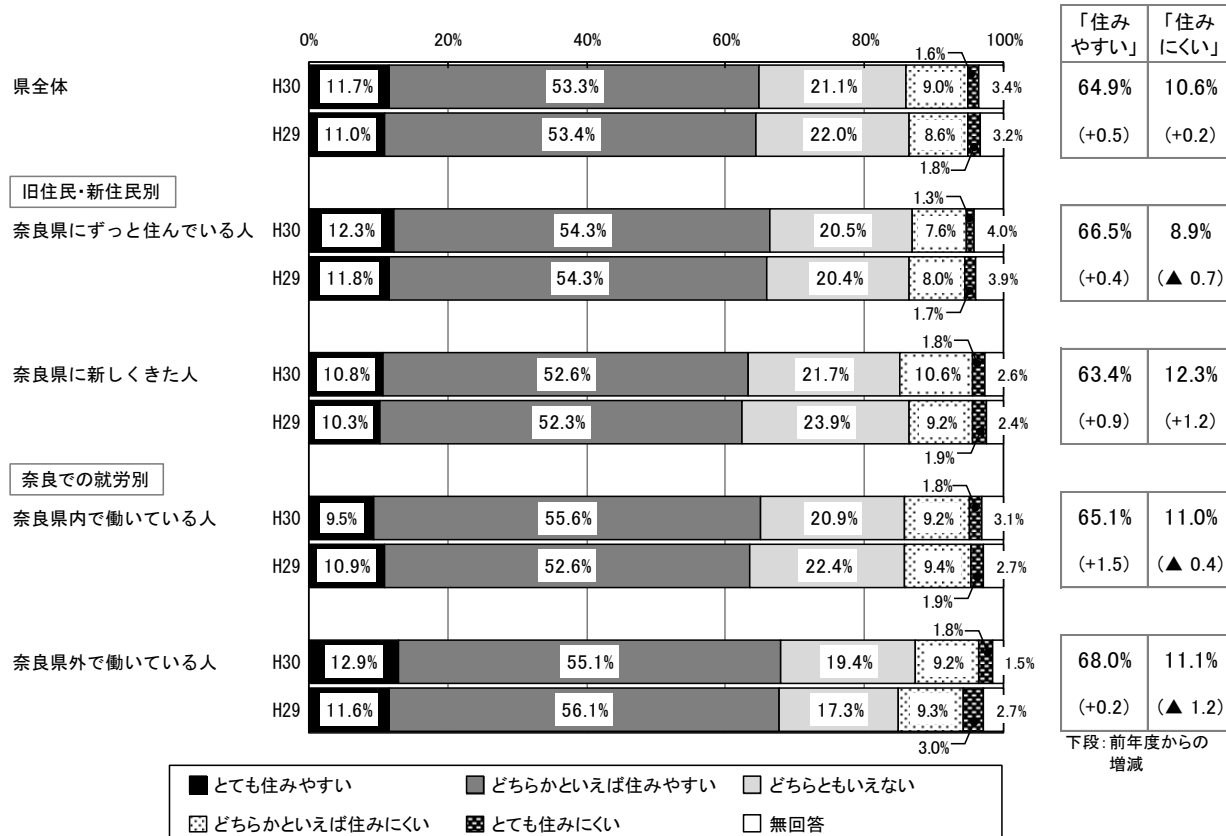


(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■ライフステージ別

「住みやすい」と感じている人は、『夫婦』（70.4%）が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『育児期』、『単身高齢者』、『高齢者夫婦』では減少し、特に『単身高齢者』では9.8ポイント減少していますが、他のライフステージでは増加しています。

図表 奈良県の住みやすさの評価（単数回答／経年比較／県全体、旧住民・新住民別、奈良での就労別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■旧住民・新住民別

「住みやすい」と感じている人は、『奈良県にずっと住んでいる人』（66.5%）が『奈良県に新しくきた人』（63.4%）と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『奈良県に新しくきた人』（0.9ポイント増）、『奈良県にずっと住んでいる人』（0.4ポイント増）ともに増加しています。

### ■奈良での就労別

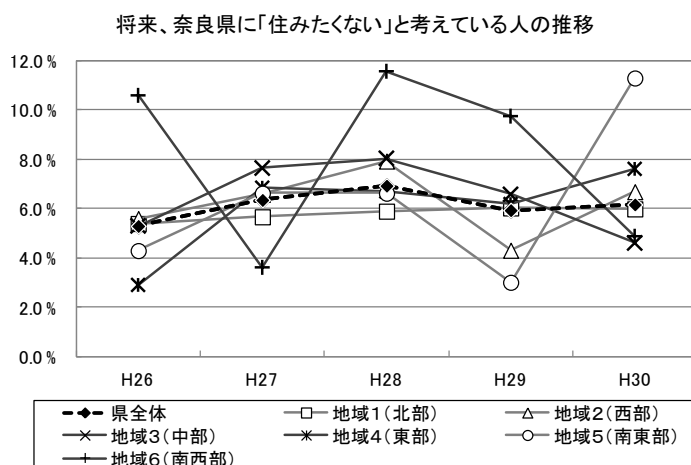
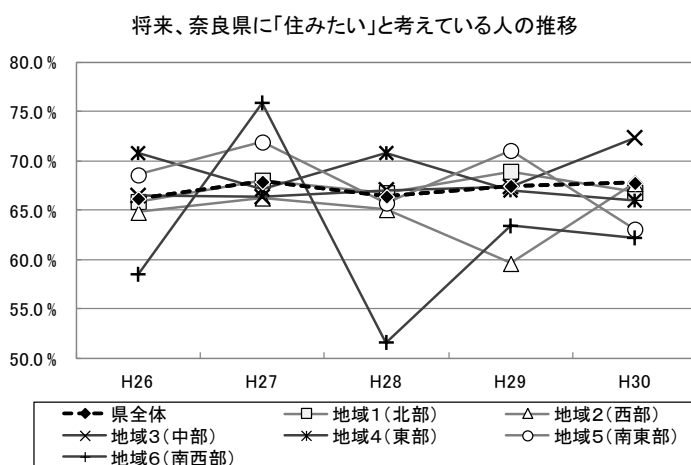
「住みやすい」と感じている人は、『奈良県外で働いている人』（68.0%）が『奈良県内で働いている人』（65.1%）と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「住みやすい」と感じている人は『奈良県内で働いている人』（1.5ポイント増）、『奈良県外で働いている人』（0.2ポイント増）ともに増加しています。

## 1-7 将来の奈良県での定住意向（問8）

### （1）経年比較

図表 将来の奈良県での定住意向（経年比較／県全体、地域別）

		住 み た い	住 み た く な い
県全体	H26	66.2%	5.3%
	H27	67.9%	6.4%
	H28	66.4%	6.9%
	H29	67.5%	5.9%
	<b>H30</b>	<b>67.8%</b>	<b>6.2%</b>
地域1(北部)	H26	65.9%	5.4%
	H27	68.1%	5.7%
	H28	66.8%	5.9%
	H29	69.0%	6.0%
	<b>H30</b>	<b>66.8%</b>	<b>6.0%</b>
地域2(西部)	H26	64.8%	5.6%
	H27	66.3%	6.6%
	H28	65.1%	7.9%
	H29	59.6%	4.3%
	<b>H30</b>	<b>67.7%</b>	<b>6.7%</b>
地域3(中部)	H26	66.5%	5.3%
	H27	66.4%	7.6%
	H28	67.1%	8.0%
	H29	67.4%	6.6%
	<b>H30</b>	<b>72.4%</b>	<b>4.6%</b>
地域4(東部)	H26	70.8%	2.9%
	H27	67.1%	6.8%
	H28	70.8%	6.7%
	H29	67.0%	6.2%
	<b>H30</b>	<b>66.0%</b>	<b>7.6%</b>
地域5(南東部)	H26	68.6%	4.3%
	H27	71.9%	6.6%
	H28	65.7%	6.6%
	H29	71.1%	3.0%
	<b>H30</b>	<b>63.1%</b>	<b>11.3%</b>
地域6(南西部)	H26	58.5%	10.6%
	H27	75.9%	3.6%
	H28	51.6%	11.6%
	H29	63.4%	9.8%
	<b>H30</b>	<b>62.2%</b>	<b>4.9%</b>



(注) 上記図表は、問8を「住みたい」(「ずっと住みたい」+「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」)と「住みたくない」に再集計した結果である。  
母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

#### ■県全体

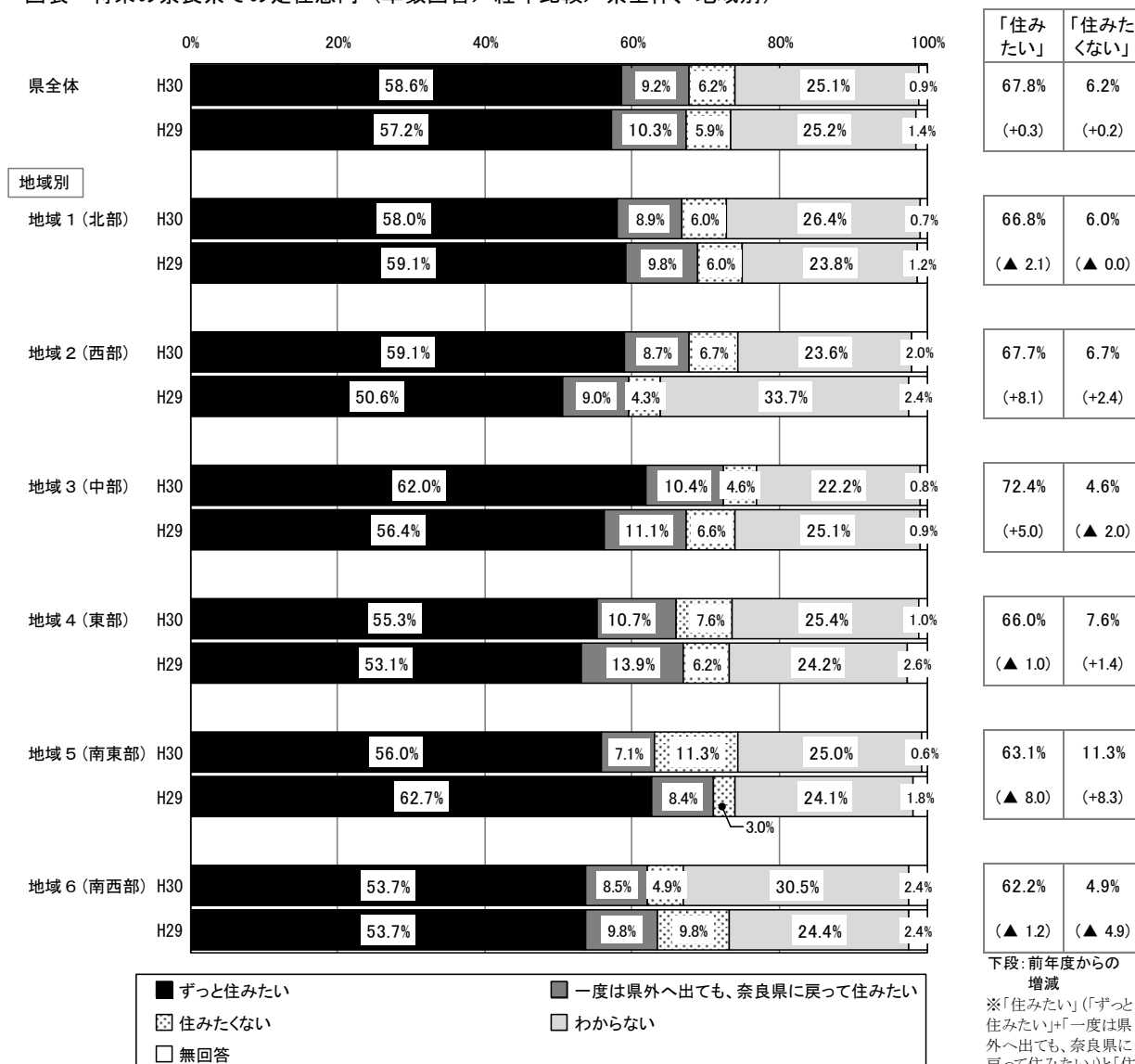
将来の奈良県での定住意向について5カ年の調査結果を比較すると、「住みたい」(「ずっと住みたい」+「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」)と考えている人は平成26年度から67%前後で推移しています。また平成29年度と比較すると、一方、「住みたくない」と考えている人は、平成26年以降6%前後で推移しています。また平成29年度と比較すると、「住みたい」と考えている人(0.3ポイント増)、「住みたくない」と考えている人(0.2ポイント増)ともにわずかながら増加しています。

#### ■地域別

奈良県に「住みたい」と考えている人は、平成26年度と比較すると、『地域4(東部)』、『地域5(南東部)』を除く地域で増加しています。平成29年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『地域2(西部)』(8.1ポイント増)、『地域3(中部)』(5.0ポイント増)を除く地域で減少しており、特に『地域5(南東部)』では8.0ポイント減少しています。

## (2) 今年度調査結果

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／経年比較／県全体、地域別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

下段：前年度からの増減  
 ※「住みたい」（「ずっと住みたい」+「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」）と「住みたくない」に再集計した結果である

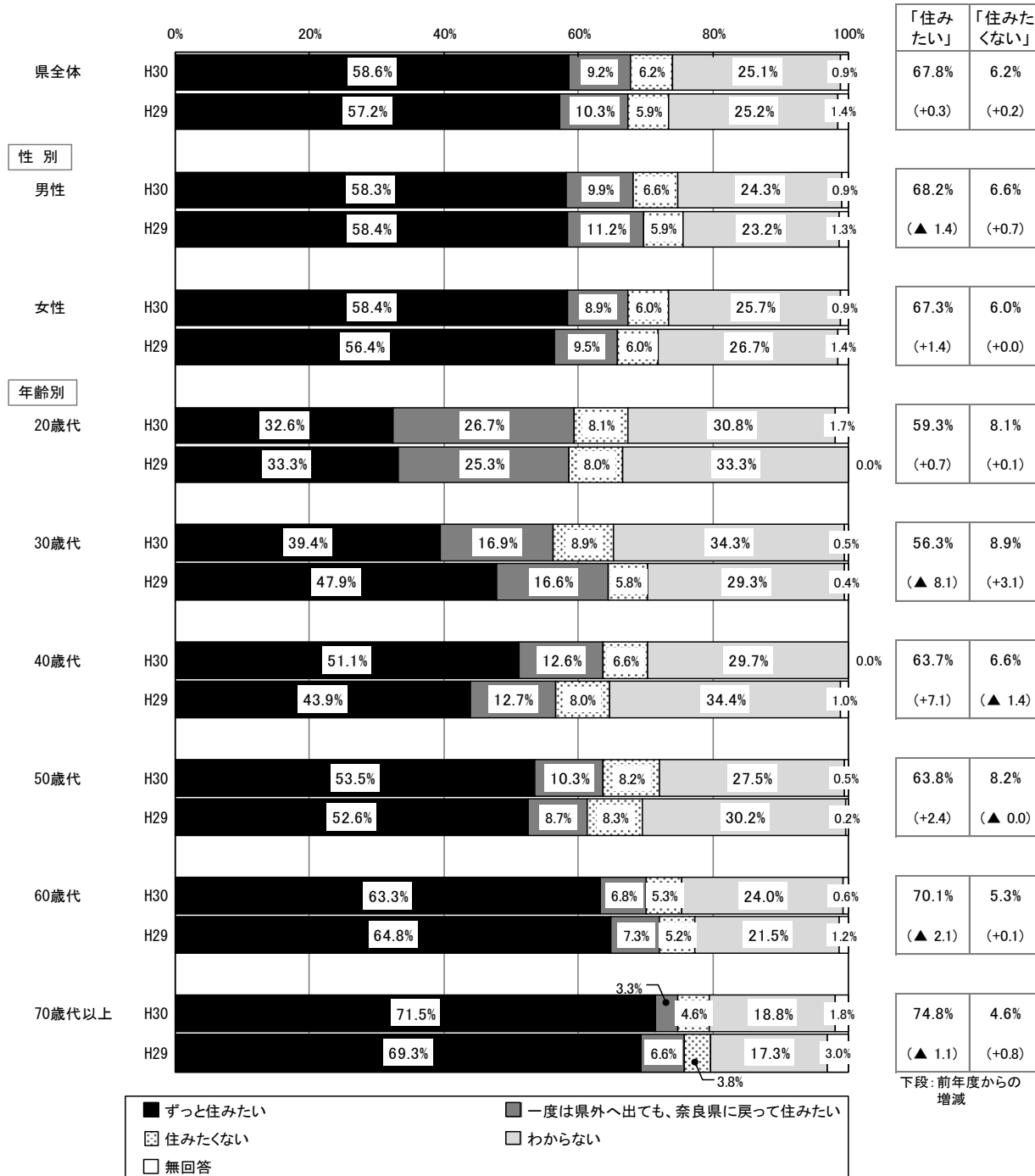
### ■県全体

将来の奈良県での定住意向について、58.6%の人が「ずっと住みたい」と考えており、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人を合わせると67.8%の人が「住みたい」と考えています。一方、「わからない」と答えた人は25.1%、「住みたくない」と答えた人は6.2%となっています。平成29年度と比較すると、「住みたい」（0.3ポイント増）と考えている人は増加しており、「ずっと住みたい」と考えている人の割合をみると1.4ポイント増加しています。

### ■地域別

「住みたい」と考えている人が最も多いのは、『地域3 (中部)』（72.4%）となっています。一方、「住みたくない」と考えている人が最も多いのは、『地域5 (南東部)』（11.3%）となっています。平成29年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『地域2 (西部)』（8.1ポイント増）、『地域3 (中部)』（5.0ポイント増)を除く地域では減少しており、特に『地域5 (南東部)』では8.0ポイント減少しています。一方、「住みたくない」と考えている人は『地域6 (南東部)』（8.3ポイント増）、『地域2 (西部)』（2.4ポイント増）、『地域4 (東部)』（1.4ポイント増)では増加していますが、他の3地域では減少しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／経年比較／県全体、性別、年齢別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

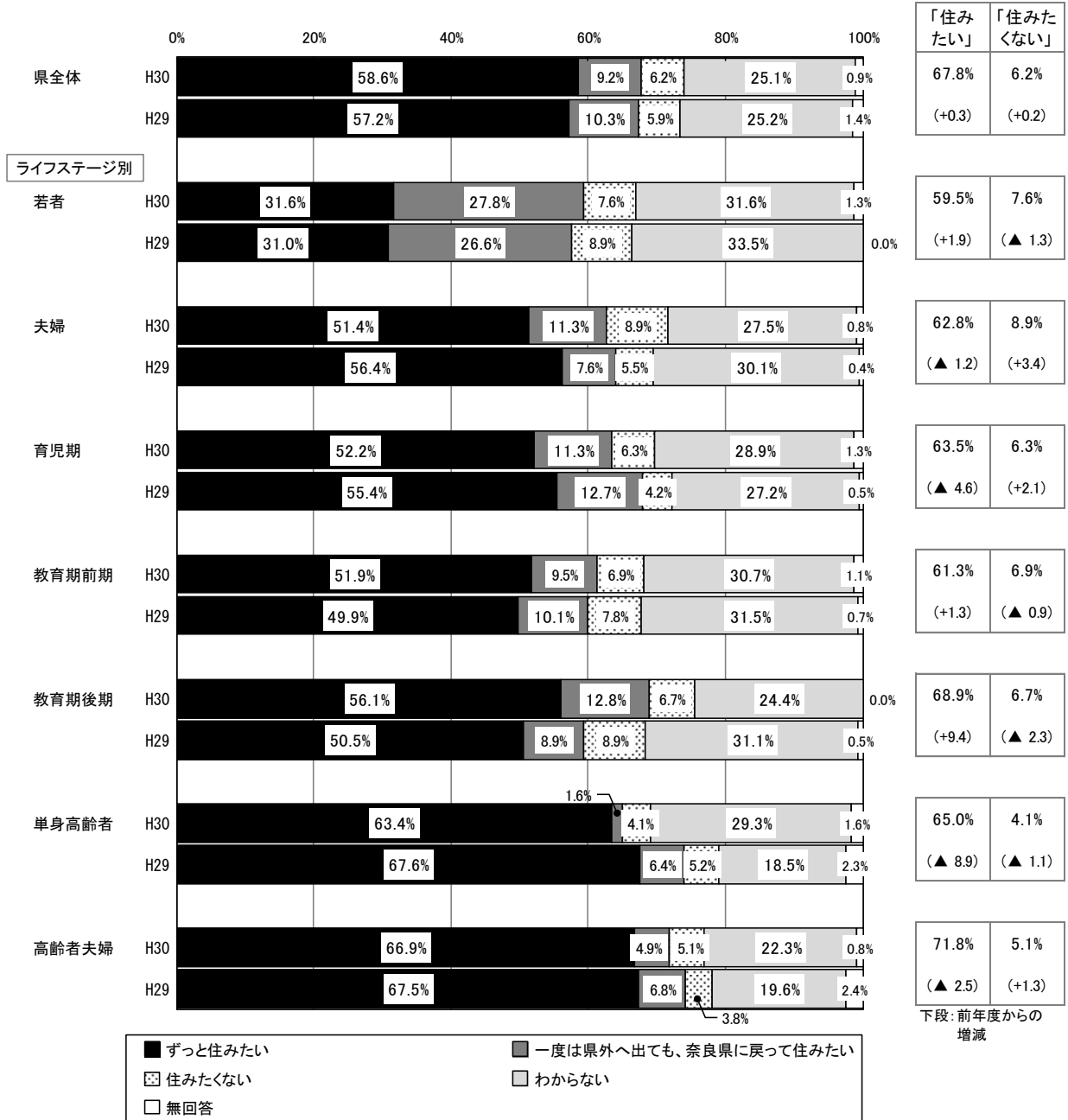
### ■性別

「住みたい」と考えている人は、『男性』(68.2%)が『女性』(67.3%)と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『女性』(1.4ポイント増)は増加していますが、『男性』(1.4ポイント減)は減少しています。

### ■年齢別

「住みたい」と考えている人が最も多いのは『70歳代以上』(74.8%)となっています。「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人は年齢層が低いほど多くなっており、『20歳代』では26.7%を占めています。平成29年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『40歳代』(7.1ポイント増)、『50歳代』(2.4ポイント増)、『20歳代』(0.7ポイント増)では増加していますが、他の年齢層では減少しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／経年比較／県全体、ライフステージ別）

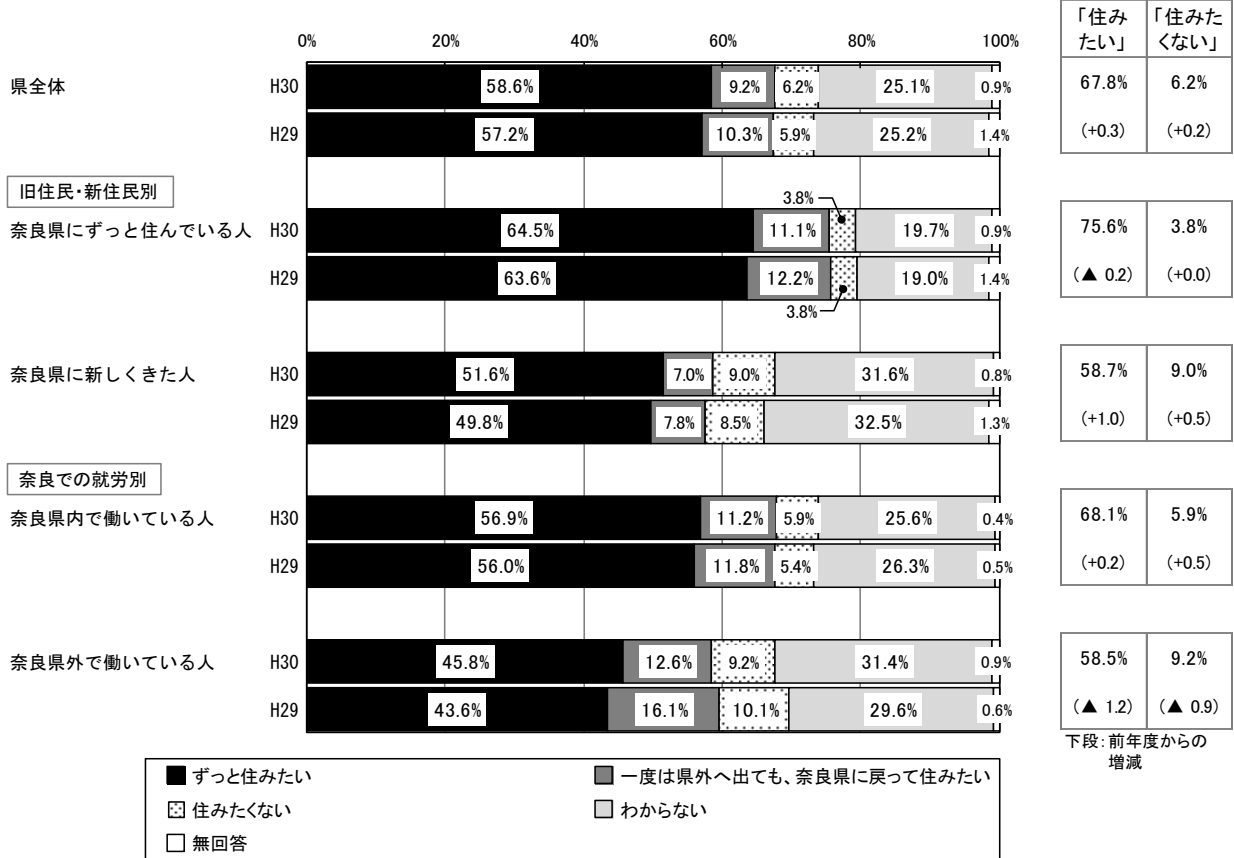


(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■ライフステージ別

「ずっと住みたい」と考えている人が最も多いのは『高齢者夫婦』（66.9%）、最も少ないのは『若者』（31.6%）となっています。一方、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人が最も多いのは『若者』（27.8%）となっています。平成29年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『教育期後期』（9.4ポイント増）、『若者』（1.9ポイント増）、『教育期前期』（1.3ポイント増）を除くライフステージでは減少しています。

図表 将来の奈良県での定住意向（単数回答／経年比較／県全体、旧住民・新住民別、奈良での就労別）



(注)母数については6～9ページの「5. 回答者の状況」参照

### ■旧住民・新住民別

「ずっと住みたい」と考えている人は、『奈良県にずっと住んでいる人』(64.5%)が『奈良県に新しくきた人』(51.6%)と比べ多くなっています。また、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」と考えている人も『奈良県にずっと住んでいる人』(11.1%)が『奈良県に新しくきた人』(7.0%)と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると、「住みたい」と考えている人は『奈良県に新しくきた人』(1.0ポイント増)では増加していますが、『奈良県にずっと住んでいる人』(0.2ポイント減)では減少しています。

### ■奈良での就労別

「住みたい」と考えている人は、『奈良県内で働いている人』(68.1%)が『奈良県外で働いている人』(58.5%)と比べ多くなっています。平成29年度と比較すると「住みたい」と考えている人は『奈良県内で働いている人』(0.2ポイント増)では増加していますが、『奈良県外で働いている人』(1.2ポイント減)では減少しています。



# 1-8 将来的に奈良県に定住したい／したくない理由（問9、問10）

## (1) 今年度調査結果

図表 将来的に奈良県に「住みたい」と答えた理由（5つ以内で複数回答／  
県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

（上段：平成30年度結果、下段：前年度からの増減）

※5つ以内で複数回答	母数	自然災害が少ないから	緑などの自然環境がよいから	騒音・振動がよいから	奈良県や身近な地域に愛着を感じ	史的な雰囲気を感じるから	世界遺産や文化財などが多く、歴史を感じるから	買物など日常生活環境が整っているから	通勤・通学に便利だから	医療が充実しているから	家賃など住居費が安いから	場が多から	福祉サービスが充実しているから	教育環境が充実しているから	治安を守るための対策が十分だから	お祭りやイベントが多いから	その他	無回答
		29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度	29年度
県全体	1,713	<b>71.3%</b> (▲1.4)	<b>54.4%</b> (▲5.3)	<b>46.8%</b> (▲4.6)	42.8% (+0.8)	37.0% (+2.2)	36.4% (+2.1)	16.8% (+1.1)	10.6% (+2.8)	6.6% (▲1.0)	5.8% (+0.6)	5.5% (+1.1)	2.9% (▲1.4)	2.6% (▲0.0)	2.2% (+0.5)	6.0% (▲0.3)	1.2% (▲0.1)	
地域別	地域1(北部)	814	<b>73.7%</b> (▲1.2)	<b>55.5%</b> (▲3.9)	<b>44.5%</b> (▲7.8)	41.2% (▲0.4)	41.8% (+2.1)	37.5% (+1.1)	18.3% (+2.0)	10.2% (+2.3)	5.3% (▲1.7)	5.8% (+0.8)	5.7% (+0.6)	2.8% (▲2.1)	2.7% (+0.3)	2.7% (+0.9)	5.0% (▲1.9)	1.4% (+0.2)
	地域2(西部)	172	<b>65.7%</b> (▲3.4)	<b>50.0%</b> (▲9.2)	<b>47.7%</b> (▲1.0)	41.3% (+9.0)	36.0% (▲0.1)	37.2% (+3.7)	22.7% (▲0.4)	8.7% (+2.1)	5.8% (▲4.1)	9.9% (+4.0)	8.7% (+2.8)	4.7% (▲2.6)	1.2% (▲2.1)	1.2% (+0.5)	4.1% (▲3.8)	1.7% (+0.4)
	地域3(中部)	440	<b>76.4%</b> (▲2.4)	<b>48.9%</b> (▲5.2)	<b>45.9%</b> (▲2.6)	43.4% (+4.6)	31.8% (+3.2)	45.7% (+2.2)	18.0% (+0.2)	12.5% (+3.2)	8.4% (+1.1)	5.7% (▲0.1)	4.1% (+0.5)	2.7% (+0.1)	2.5% (+0.3)	1.8% (+0.0)	5.2% (+0.6)	0.9% (▲0.2)
	地域4(東部)	130	<b>68.5%</b> (▲3.8)	<b>60.0%</b> (▲7.7)	<b>49.2%</b> (▲3.1)	40.8% (▲6.2)	33.1% (+6.9)	23.1% (+1.5)	10.8% (▲1.5)	5.4% (▲0.8)	6.2% (▲0.8)	3.8% (+0.8)	4.6% (+3.1)	3.8% (+0.8)	3.1% (+0.8)	1.5% (+0.0)	10.8% (+2.3)	0.0% (▲0.8)
	地域5(南東部)	106	<b>58.5%</b> (▲11.8)	<b>61.3%</b> (▲12.4)	55.7% (+2.3)	<b>58.5%</b> (+0.9)	33.0% (+3.4)	16.0% (+6.7)	4.7% (+2.2)	11.3% (+4.5)	9.4% (+0.1)	2.8% (▲4.8)	8.5% (+4.3)	1.9% (▲1.5)	2.8% (▲3.1)	0.9% (▲0.8)	7.5% (+4.2)	1.9% (▲1.5)
	地域6(南西部)	51	<b>41.2%</b> (▲1.1)	<b>70.6%</b> (+7.1)	<b>64.7%</b> (+1.2)	<b>41.2%</b> (▲16.5)	27.5% (▲9.1)	11.8% (+0.2)	2.0% (▲1.9)	17.6% (+17.6)	9.8% (▲1.7)	3.9% (+2.0)	2.0% (▲1.9)	0.0% (▲3.8)	3.9% (+3.9)	5.9% (+2.0)	19.6% (+13.8)	2.0% (▲1.9)
性別	男性	687	<b>71.3%</b> (▲4.4)	<b>53.9%</b> (▲2.0)	<b>49.6%</b> (▲2.0)	44.3% (+1.6)	37.8% (+3.9)	35.2% (+2.7)	18.2% (+0.8)	11.5% (+3.4)	7.4% (▲0.8)	6.4% (+0.9)	5.1% (+1.5)	2.8% (▲0.4)	3.6% (+1.1)	3.8% (+2.5)	4.7% (▲1.3)	1.2% (▲0.3)
	女性	994	<b>71.3%</b> (▲1.7)	<b>54.9%</b> (▲6.0)	<b>45.0%</b> (▲6.4)	42.0% (+0.4)	36.7% (+1.1)	37.1% (+1.3)	15.9% (+1.4)	9.8% (+2.2)	6.0% (▲0.8)	5.5% (+0.6)	5.6% (+0.6)	3.0% (▲2.1)	1.9% (▲0.8)	1.2% (▲0.9)	7.0% (+0.5)	1.3% (+0.1)
年齢別	20歳代	102	<b>45.1%</b> (▲11.8)	<b>46.1%</b> (+2.0)	37.3% (+1.0)	<b>52.9%</b> (+4.9)	24.5% (+2.9)	32.4% (+2.9)	25.5% (+1.0)	4.9% (+3.9)	28.4% (+10.8)	1.0% (▲2.0)	2.9% (+0.0)	6.9% (+2.9)	2.9% (+2.9)	5.9% (▲1.0)	5.9% (▲1.0)	2.0% (+1.0)
	30歳代	120	<b>57.5%</b> (▲0.6)	<b>40.0%</b> (▲11.5)	34.2% (▲4.2)	<b>49.2%</b> (+5.5)	24.2% (+3.8)	29.2% (▲6.2)	33.3% (+6.4)	1.7% (▲0.7)	15.0% (▲4.8)	3.3% (▲0.3)	0.8% (+0.2)	10.8% (+4.2)	0.0% (▲2.4)	3.3% (+2.7)	10.8% (▲3.5)	1.7% (+1.1)
	40歳代	223	<b>57.8%</b> (▲1.2)	<b>41.7%</b> (▲9.4)	35.9% (▲9.1)	<b>44.8%</b> (▲2.7)	35.0% (+6.3)	34.5% (▲2.9)	30.5% (+0.1)	4.5% (+1.0)	6.3% (▲4.3)	4.0% (▲0.4)	0.9% (▲0.9)	4.5% (▲4.8)	1.8% (+0.5)	1.8% (+0.9)	8.5% (+2.8)	2.7% (+2.3)
	50歳代	248	<b>69.0%</b> (▲5.3)	<b>49.6%</b> (▲2.7)	<b>40.7%</b> (▲12.0)	39.1% (▲4.7)	39.1% (▲1.7)	39.5% (+4.1)	18.1% (+0.1)	5.2% (+1.4)	4.0% (▲2.9)	3.2% (+0.1)	4.0% (+1.7)	2.0% (▲1.1)	3.2% (+0.5)	1.6% (▲0.3)	7.7% (+1.1)	0.0% (▲1.2)
	60歳代	436	<b>80.7%</b> (+0.6)	<b>64.4%</b> (▲4.6)	<b>52.3%</b> (▲9.4)	43.8% (+5.9)	40.6% (+0.9)	35.6% (+2.1)	16.3% (+5.4)	9.9% (+3.6)	4.6% (+1.6)	6.9% (+1.6)	5.7% (+3.0)	1.6% (▲0.0)	1.8% (▲1.2)	1.6% (▲0.0)	5.7% (+0.9)	0.5% (▲0.9)
	70歳代以上	549	<b>78.5%</b> (+0.1)	<b>58.7%</b> (▲4.0)	<b>54.5%</b> (+1.9)	39.9% (▲0.1)	39.9% (+2.0)	39.0% (+4.9)	6.0% (▲1.8)	18.8% (+3.9)	3.8% (▲1.0)	8.6% (+1.3)	8.9% (▲0.2)	1.3% (▲2.5)	3.8% (+0.5)	2.2% (+0.6)	3.6% (▲1.2)	1.5% (▲0.6)
ライフステージ別 (複数回答)	若者	94	<b>47.9%</b> (▲7.1)	<b>46.8%</b> (▲8.1)	38.3% (+0.9)	<b>52.1%</b> (+1.6)	25.5% (+5.8)	33.0% (+2.2)	25.5% (▲0.8)	4.3% (+4.3)	28.7% (+13.3)	1.1% (▲0.0)	3.2% (+2.1)	7.4% (+0.9)	3.2% (+3.2)	6.4% (▲0.2)	5.3% (▲1.3)	2.1% (+1.0)
	夫婦	155	<b>67.1%</b> (▲7.7)	<b>54.8%</b> (▲4.6)	<b>47.1%</b> (▲4.6)	44.5% (▲1.2)	38.7% (+2.9)	34.2% (▲0.2)	20.0% (+2.8)	5.2% (▲0.8)	7.1% (▲2.8)	5.8% (+1.2)	3.2% (+0.6)	3.2% (▲0.7)	1.9% (▲1.1)	0.6% (▲1.3)	6.5% (+0.5)	0.6% (▲0.0)
	育児期	101	<b>61.4%</b> (+2.1)	<b>45.5%</b> (▲5.5)	<b>45.5%</b> (▲7.8)	<b>44.6%</b> (▲5.8)	22.8% (+0.7)	34.7% (▲4.0)	32.7% (+5.1)	5.9% (+5.3)	8.9% (▲10.4)	3.0% (+0.2)	0.0% (▲3.4)	12.9% (+3.2)	0.0% (▲2.1)	4.0% (+3.3)	11.9% (▲3.3)	2.0% (+2.0)
	教育期前期	214	<b>64.0%</b> (+0.8)	<b>41.6%</b> (▲10.5)	37.4% (▲7.1)	<b>41.1%</b> (▲3.7)	34.6% (+8.5)	34.1% (▲7.7)	29.0% (+5.2)	5.1% (+1.3)	5.6% (▲4.0)	6.5% (+1.6)	2.8% (+0.1)	5.1% (▲5.2)	3.3% (+1.4)	3.7% (+1.8)	8.4% (+0.7)	0.9% (+0.2)
	教育期後期	124	<b>66.1%</b> (▲1.1)	<b>51.6%</b> (▲3.3)	<b>43.5%</b> (▲6.9)	37.9% (▲9.0)	42.7% (+5.6)	31.5% (▲4.8)	20.2% (▲3.7)	9.7% (+2.6)	4.8% (+2.2)	4.8% (▲0.5)	1.6% (▲2.8)	5.6% (+1.2)	3.2% (▲1.2)	0.8% (▲1.0)	4.8% (▲1.4)	0.8% (+0.8)
	単身高齢者	80	<b>75.0%</b> (+1.6)	<b>55.0%</b> (▲3.6)	38.8% (▲16.7)	41.3% (+5.3)	33.8% (+0.9)	<b>47.5%</b> (+17.0)	5.0% (+0.3)	15.0% (+4.8)	10.0% (+0.6)	12.5% (+10.2)	6.3% (▲3.9)	1.3% (▲1.9)	3.8% (+3.0)	1.3% (+0.5)	11.3% (+6.6)	1.3% (▲2.7)
	高齢者夫婦	364	<b>81.9%</b> (+2.6)	<b>64.8%</b> (▲1.8)	<b>58.8%</b> (▲2.2)	36.5% (+0.2)	44.2% (+4.7)	41.2% (+5.2)	6.0% (▲1.8)	17.3% (+3.9)	3.8% (+1.4)	8.2% (▲1.2)	6.9% (+0.4)	0.5% (▲2.9)	2.5% (▲1.0)	1.4% (▲0.2)	2.7% (▲0.7)	1.9% (+0.3)
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,028	<b>72.6%</b> (▲1.7)	<b>51.0%</b> (▲7.1)	45.3% (▲5.0)	<b>49.5%</b> (+0.8)	31.9% (+2.4)	30.8% (▲0.7)	16.6% (+2.0)	10.3% (+3.2)	7.2% (+0.5)	3.6% (▲0.7)	5.4% (+0.7)	2.6% (▲1.2)	3.0% (+0.2)	2.0% (+0.1)	6.7% (▲0.4)	1.5% (+0.3)
	奈良県に新しくきた人	667	<b>68.8%</b> (▲1.3)	<b>60.0%</b> (▲2.7)	<b>49.5%</b> (▲3.8)	32.8% (+1.2)	45.0% (+1.9)	44.7% (+5.6)	17.4% (▲0.6)	10.6% (+2.0)	5.5% (▲3.8)	9.1% (+2.4)	5.4% (+1.2)	3.4% (▲1.8)	1.9% (▲0.4)	2.5% (+1.2)	5.1% (+0.1)	0.9% (▲0.7)
奈良での就労別	奈良県内で働いている人	688	<b>71.2%</b> (▲1.6)	<b>50.4%</b> (▲7.1)	43.3% (▲4.0)	<b>43.9%</b> (▲2.5)	33.3% (+0.3)	32.1% (▲0.7)	17.9% (▲1.3)	7.4% (+3.6)	8.7% (▲1.1)	3.9% (▲0.8)	2.8% (+0.5)	3.5% (+1.1)	3.1% (+0.9)	2.3% (▲1.0)	7.1% (+1.0)	1.6% (+1.0)
	奈良県外で働いている人	190	<b>55.3%</b> (▲6.2)	<b>54.2%</b> (▲2.8)	<b>43.7%</b> (▲12.3)	<b>43.7%</b> (+6.7)	37.4% (+9.9)	36.3% (+0.3)	41.6% (+9.6)	3.2% (+1.7)	8.9% (▲2.6)	4.7% (+0.7)	1.6% (▲0.9)	4.7% (▲5.8)	2.6% (+0.6)	3.7% (+1.7)	3.7% (▲0.8)	0.5% (+0.0)

(注)集計結果は「県全体」の平成30年度の結果が多い順（「その他」を除く）に並べている。  
太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。  
また、網掛けは平成29年度よりも5ポイント以上増えた項目（「その他」及び「無回答」を除く）を示している。  
母数は問8で「住みたい」と答えた人数であり、6～9ページの「5.回答者の状況」とは異なる。

図表 将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた理由（5つ以内で複数回答／  
県全体、地域別、性別、年齢別、ライフステージ別、旧住民・新住民別、奈良での就労別）

（上段：平成30年度結果、下段：前年度からの増減）

		母数	整 買 つ て い な い 日 常 の 生 活 環 境 が	通 勤 ・ 通 学 に 不 便 だ か ら	医 療 が 充 実 し て い な い か ら	い 福 社 サ ー ビ ス が 充 実 し て い な い	分 災 害 を 防 ぐ た め の 対 策 が 不 十	感 じ な い か ら 身 近 な 地 域 に 愛 着 を	奈 良 県 や 身 近 な 地 域 に 愛 着 を	め る 近 に 文 化 や ス ポ ー ツ に 親 し	分 治 安 を 守 る た め の 対 策 が 不 十	ら 教 育 環 境 が 充 実 し て い な い	家 賃 な ど 住 居 費 が 高 い か ら	辺 騒 音 ・ 振 動 く ・ 大 気 汚 染 な ど 周	か ら 緑 な ど の 自 然 環 境 が よ く な い	そ の 他	無 回 答	
※5つ以内で複数回答																		
県全体		790	<b>49.2%</b> (+2.6)	<b>36.5%</b> (+1.0)	<b>35.7%</b> (+1.7)	29.2% (▲0.4)	20.6% (+5.6)	20.1% (▲1.5)	20.0% (+0.5)	11.6% (+3.3)	10.1% (▲2.8)	6.1% (▲1.0)	4.6% (+0.2)	2.3% (▲0.2)	24.2% (▲0.5)	2.3% (▲1.0)		
地域別	地域1(北部)	395	<b>46.3%</b> (+2.7)	<b>32.9%</b> (+3.7)	<b>31.4%</b> (▲2.7)	29.6% (+0.1)	21.5% (+9.8)	21.0% (▲1.9)	20.3% (▲0.2)	12.2% (+5.5)	9.6% (▲2.3)	6.8% (▲1.4)	4.1% (+0.6)	1.8% (▲0.6)	26.8% (+1.3)	1.8% (▲2.0)		
	地域2(西部)	77	<b>46.8%</b> (▲0.7)	<b>29.9%</b> (▲5.2)	<b>33.8%</b> (▲2.3)	23.4% (▲4.5)	20.8% (+0.2)	23.4% (+3.8)	11.7% (▲2.7)	14.3% (+6.0)	7.8% (+1.6)	2.6% (▲2.6)	2.6% (▲1.5)	0.0% (▲1.0)	24.7% (+5.1)	7.8% (+5.7)		
	地域3(中部)	163	<b>39.3%</b> (+1.5)	<b>36.2%</b> (+0.3)	<b>35.6%</b> (+4.5)	30.7% (▲0.9)	11.0% (▲3.1)	23.3% (▲2.6)	22.1% (+4.2)	12.3% (+0.0)	10.4% (▲2.8)	7.4% (▲0.2)	8.0% (+0.4)	4.3% (+1.0)	25.8% (▲3.0)	2.5% (▲1.3)		
	地域4(東部)	65	<b>64.6%</b> (+3.6)	<b>49.2%</b> (+1.8)	<b>47.7%</b> (+10.4)	29.2% (+2.1)	24.6% (+2.6)	16.9% (▲1.7)	24.6% (▲4.2)	13.8% (+5.4)	13.8% (▲3.1)	7.7% (+0.9)	4.6% (+1.2)	3.1% (▲2.0)	20.0% (▲7.1)	0.0% (+0.0)		
	地域5(南東部)	61	<b>73.8%</b> (+0.4)	<b>47.5%</b> (▲3.6)	<b>50.8%</b> (+17.5)	34.4% (+12.2)	34.4% (+12.2)	11.5% (+0.4)	18.0% (+0.3)	3.3% (▲3.4)	13.1% (▲9.1)	3.3% (+1.1)	1.6% (+1.6)	3.3% (+3.3)	16.4% (+0.8)	0.0% (▲2.2)		
	地域6(南西部)	29	<b>65.5%</b> (▲13.1)	<b>51.7%</b> (▲16.1)	<b>41.4%</b> (▲1.5)	20.7% (▲18.6)	24.1% (+2.7)	6.9% (+3.3)	20.7% (+2.8)	6.9% (▲3.3)	6.9% (▲18.1)	0.0% (▲3.6)	3.4% (▲0.1)	0.0% (+0.0)	3.4% (▲7.3)	3.4% (▲3.7)		
性別	男性	311	<b>47.3%</b> (+2.6)	<b>38.9%</b> (+0.9)	<b>35.4%</b> (+4.0)	30.5% (+4.3)	21.2% (+3.5)	19.3% (▲5.4)	18.0% (▲0.7)	12.9% (+3.4)	10.0% (▲4.9)	7.1% (▲0.5)	5.1% (+1.0)	2.3% (▲0.3)	26.0% (+5.5)	2.6% (+0.0)		
	女性	468	<b>49.6%</b> (+1.7)	<b>35.0%</b> (+1.1)	<b>35.3%</b> (▲0.5)	28.0% (▲3.7)	20.1% (+6.7)	20.7% (+1.0)	21.8% (+1.8)	10.7% (+3.1)	10.0% (▲1.7)	5.6% (▲1.2)	4.3% (▲0.3)	2.4% (▲0.0)	23.3% (▲4.1)	2.1% (▲1.7)		
年齢別	20歳代	67	<b>38.8%</b> (▲0.1)	<b>52.2%</b> (+12.0)	17.9% (+4.0)	13.4% (+2.3)	7.5% (+3.3)	<b>28.4%</b> (+4.7)	20.9% (+1.5)	7.5% (+3.3)	9.0% (+3.4)	9.0% (+6.2)	11.9% (+6.4)	1.5% (▲1.3)	29.9% (▲0.7)	0.0% (▲2.8)		
	30歳代	92	<b>37.0%</b> (+11.7)	<b>44.6%</b> (+7.2)	<b>28.3%</b> (+3.0)	15.2% (▲5.7)	12.0% (+7.6)	19.6% (▲6.8)	26.1% (+10.7)	16.3% (+9.7)	16.3% (▲3.5)	6.5% (▲4.5)	3.3% (▲0.0)	2.2% (▲0.0)	27.2% (▲6.9)	4.3% (+1.1)		
	40歳代	127	<b>36.2%</b> (▲11.4)	<b>32.3%</b> (▲9.5)	<b>26.0%</b> (▲5.2)	22.8% (+1.7)	15.0% (+2.6)	17.3% (▲4.4)	18.9% (▲1.1)	9.4% (+4.2)	16.5% (▲2.3)	8.7% (+1.6)	3.1% (▲1.0)	2.4% (▲0.6)	37.0% (+6.4)	0.8% (▲1.0)		
	50歳代	139	<b>51.1%</b> (+2.0)	<b>45.3%</b> (+3.6)	<b>42.4%</b> (+2.0)	32.4% (+2.9)	17.3% (+5.0)	25.9% (+10.6)	17.3% (▲2.4)	10.1% (+0.9)	7.2% (▲11.8)	5.0% (▲3.6)	2.9% (▲1.4)	3.6% (+2.4)	24.5% (▲0.7)	1.4% (▲1.0)		
	60歳代	182	<b>56.0%</b> (+10.4)	32.4% (+3.0)	<b>42.9%</b> (+3.5)	<b>36.8%</b> (+1.2)	25.8% (+1.4)	19.2% (▲10.1)	23.1% (+1.2)	9.3% (▲1.3)	10.4% (+3.6)	4.4% (▲5.0)	3.8% (▲2.4)	1.1% (▲0.8)	18.1% (▲2.5)	3.3% (+0.8)		
	70歳代以上	172	<b>58.7%</b> (▲0.9)	25.6% (+0.1)	<b>39.0%</b> (▲0.2)	<b>35.5%</b> (▲10.5)	30.8% (+8.5)	15.7% (▲1.1)	16.9% (▲1.8)	16.3% (+5.1)	4.7% (▲1.6)	5.8% (+2.7)	5.8% (+2.7)	2.9% (▲0.8)	18.6% (+4.3)	2.9% (▲3.9)		
ライフステージ別 (複数回答)	若者	62	<b>38.7%</b> (▲3.1)	<b>54.8%</b> (+14.5)	17.7% (+5.8)	14.5% (+2.0)	6.5% (+5.2)	<b>29.0%</b> (▲5.2)	19.4% (▲1.5)	8.1% (+5.1)	8.1% (+2.1)	9.7% (+6.7)	12.9% (+6.9)	1.6% (▲1.4)	30.6% (+3.8)	0.0% (▲3.0)		
	夫婦	90	<b>50.0%</b> (+7.1)	<b>32.2%</b> (+0.1)	<b>38.9%</b> (+2.0)	22.2% (▲2.8)	14.4% (▲3.4)	20.0% (▲3.8)	26.7% (+5.2)	8.9% (▲4.2)	7.8% (+0.6)	11.1% (▲6.7)	3.3% (+1.0)	1.1% (+1.1)	24.4% (▲4.1)	0.0% (▲4.8)		
	育児期	56	<b>48.2%</b> (+10.9)	<b>42.9%</b> (+8.5)	<b>35.7%</b> (+2.9)	23.2% (▲8.1)	17.9% (+11.9)	19.6% (+1.7)	23.2% (+0.8)	19.6% (+18.2)	26.8% (▲0.1)	1.8% (▲7.2)	5.4% (+0.9)	3.6% (▲2.4)	21.4% (▲6.9)	1.8% (▲1.2)		
	教育期前期	131	<b>38.2%</b> (▲2.8)	<b>38.9%</b> (▲6.7)	<b>32.1%</b> (▲4.2)	25.2% (+0.0)	13.0% (+2.5)	21.4% (+4.4)	23.7% (+6.1)	9.9% (+4.7)	26.7% (▲1.9)	3.1% (▲5.7)	1.5% (▲2.0)	3.1% (+1.9)	31.3% (+6.2)	0.8% (▲2.2)		
	教育期後期	56	<b>42.9%</b> (▲7.1)	<b>60.7%</b> (+10.7)	<b>37.5%</b> (+0.7)	32.1% (+0.6)	16.1% (+1.6)	21.4% (+3.0)	17.9% (▲9.8)	8.9% (▲2.9)	17.9% (▲5.8)	0.0% (▲3.9)	3.6% (▲0.4)	3.6% (+0.9)	25.0% (+0.0)	1.8% (+0.5)		
	単身高齢者	41	<b>63.4%</b> (+7.3)	22.0% (▲4.9)	<b>34.1%</b> (▲4.9)	<b>41.5%</b> (▲9.8)	22.0% (+12.2)	14.6% (▲9.8)	17.1% (+2.4)	22.0% (+14.6)	4.9% (+4.9)	7.3% (▲2.4)	7.3% (+2.4)	2.4% (▲2.4)	19.5% (+4.9)	0.0% (+0.0)		
	高齢者夫婦	139	<b>52.5%</b> (+0.4)	23.7% (▲1.9)	<b>38.8%</b> (+1.2)	<b>31.7%</b> (▲10.2)	30.2% (+2.9)	20.9% (+2.9)	20.1% (▲3.8)	10.1% (▲1.9)	6.5% (+0.5)	6.5% (+2.2)	5.8% (+1.5)	0.7% (▲2.7)	18.7% (+3.3)	5.0% (▲0.9)		
新住民別	旧住民																	
	奈良県にずっと 住んでいる人	320	<b>54.1%</b> (+2.6)	<b>45.3%</b> (+5.9)	<b>34.1%</b> (+0.3)	30.0% (+0.3)	23.4% (+7.3)	15.3% (+0.8)	22.2% (+0.1)	14.1% (+7.1)	13.1% (▲1.7)	6.6% (+0.6)	4.4% (+0.9)	1.9% (▲1.0)	22.5% (+2.3)	2.8% (+0.3)		
奈良県に新しく きた人	461	<b>45.1%</b> (+2.4)	<b>30.4%</b> (▲2.5)	<b>36.4%</b> (+1.7)	28.2% (▲1.6)	18.0% (+4.0)	23.9% (▲2.2)	18.9% (+1.6)	10.0% (+0.5)	8.0% (▲4.1)	5.9% (▲1.9)	4.8% (▲0.2)	2.6% (+0.3)	25.8% (▲2.3)	1.7% (▲2.0)			
就労別の 奈良での	奈良県内で 働いている人	319	<b>48.6%</b> (+6.1)	<b>42.6%</b> (+6.5)	<b>34.8%</b> (+2.1)	27.9% (+3.7)	16.6% (+1.9)	16.0% (▲5.7)	22.6% (+2.7)	8.8% (+1.1)	12.9% (▲3.0)	5.3% (▲3.5)	5.6% (▲0.2)	2.8% (+0.4)	30.1% (+2.0)	2.2% (+0.4)		
	奈良県外で 働いている人	132	<b>43.9%</b> (+0.3)	<b>44.7%</b> (▲5.7)	<b>31.8%</b> (▲0.5)	23.5% (+0.9)	12.9% (+1.6)	25.8% (+6.2)	18.2% (+2.4)	12.1% (+6.1)	9.1% (▲5.9)	9.1% (+0.1)	1.5% (▲0.7)	0.8% (+0.8)	24.2% (▲0.6)	2.3% (▲2.2)		

(注)集計結果は「県全体」の平成30年度の結果が多い順（「その他」を除く）に並べている。  
太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、下線を付した数値は最多項目を示している。  
また、網掛けは平成29年度よりも5ポイント以上増えた項目（「その他」及び「無回答」を除く）を示している。  
母数は問8で「住みたくない」または「わからない」と答えた人数であり、6～9ページの「5.回答者の状況」とは異なる。

## ■県全体

将来的に奈良県に「住みたい」と答えた人に対してその理由を尋ねたところ、「自然災害が少ないから」(71.3%)が最も多く、次いで「緑などの自然環境がよいから」(54.4%)、「騒音・振動・大気汚染などが少なく周辺環境がよいから」(46.8%)が多くなっています。平成29年度と比較すると、「医療が充実しているから」(2.8ポイント増)が最も増加しています。

将来的に奈良県に「住みたくない」または「わからない」と答えた人に対してその理由を尋ねたところ、「買物など日常の生活環境が整っていないから」(49.2%)が最も多く、次いで「通勤・通学に不便だから」(36.5%)、「医療が充実していないから」(35.7%)が多くなっています。平成29年度と比較すると「災害を防ぐための対策が不十分だから」(5.6ポイント増)が最も増加しています。

## ■地域別

「住みたい」と答えた人の理由をみると、『地域5(南東部)』と『地域6(南西部)』では「緑などの自然環境がよいから」、他の地域では「自然災害が少ないから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『地域6(南西部)』では「医療が充実しているから」(17.6ポイント増)が15ポイント以上増加しています。

「住みたくない」または「わからない」と答えた人の理由をみると、すべての地域で「買物など日常の生活環境が整っていないから」が最も多くなっています。次いで『地域2(西部)』、『地域5(南東部)』では「医療が充実していないから」、他の地域では「通勤・通学に不便だから」となっています。平成29年度と比較すると、『地域5(南東部)』では「医療が充実していないから」(17.5ポイント増)が大幅に増加しています。また、『地域5(南東部)』では「福祉サービスが充実していないから」(12.2ポイント増)、「災害を防ぐための対策が不十分だから」(12.2ポイント増)、『地域4(東部)』では「医療が充実していないから」(10.4ポイント増)も10ポイント以上増加しています。

## ■性別

「住みたい」と答えた人の理由をみると、『男性』、『女性』ともに「自然災害が少ないから」が最も多く、次いで「緑などの自然環境がよいから」となっています。平成29年度と比較すると、『男性』では「世界遺産や文化財などが多く、歴史的な雰囲気を感じるから」(3.9ポイント増)、『女性』では「医療が充実しているから」(2.2ポイント増)が最も増加しています。

「住みたくない」または「わからない」と答えた人の理由をみると、『男性』、『女性』ともに「買物など日常の生活環境が整っていないから」が最も多く、次いで、『男性』は「通勤・通学に不便だから」、『女性』は「医療が充実していないから」となっています。平成29年度と比較すると、『女性』では「災害を防ぐための対策が不十分だから」(6.7ポイント増)などが増加しています。

## ■年齢別

「住みたい」と答えた人の理由をみると、『20歳代』では「奈良県や身近な地域に愛着を感じるから」、他の年齢層では「自然災害が少ないから」が最も多くなっています。次いで、『30歳代』と『40歳代』では「奈良県や身近な地域に愛着を感じるから」、他の年齢層では「緑などの自然環境がよいから」となっています。平成29年度と比較すると、『20歳代』では「家賃など住居費が安いから」(10.8ポイント増)が10ポイント以上増加しています。

「住みたくない」または「わからない」と答えた人の理由をみると、『20歳代』、『30歳代』では「通勤・通学に不便だから」、他の年齢層では「買物など日常の生活環境が整っていないから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『20歳代』では「通勤・通学に不便だから」(12.0ポイント増)、『30歳代』では「買物など日常の生活環境が整っていないから」(11.7ポイント増)、「身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから」(10.7ポイント増)、『50歳代』では「奈良県や身近な地域に愛着を感じないから」(10.6ポイント増)、『60歳代』では「買物など日常の生活環境が整っていないから」(10.4ポイント増)が10ポイント以上増加しています。

## ■ライフステージ別

「住みたい」と答えた人の理由をみると、『若者』では「奈良県や身近な地域に愛着を感じるから」、他のライフステージでは「自然災害が少ないから」が最も多くなっています。次いで、『若者』では「自然災害が少ないから」、他の年齢層では「緑などの自然環境がよいから」となっています。平成29年度と比較すると、『単身高齢者』では「買物など日常の生活環境が整っているから」(17.0ポイント増)、「身近に文化やスポーツに親しめる場が多いから」(10.2ポイント増)、『若者』では「家賃など住居費が安いから」(13.3ポイント増)が10ポイント以上増加しています。

「住みたくない」または「わからない」と答えた人の理由をみると、『若者』、『教育期前期』、『教育期後期』では「通勤・通学に不便だから」、他のライフステージでは「買物など日常の生活環境が整っていないから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『育児期』では「治安を守るための対策が不十分だから」(18.2ポイント増)が大幅に増加しています。また、『若者』では「通勤・通学に不便だから」(14.5ポイント増)、『単身高齢者』では「治安を守るための対策が不十分だから」(14.6ポイント増)、「災害を防ぐための対策が不十分だから」(12.2ポイント増)、『育児期』では「災害を防ぐための対策が不十分だから」(11.9ポイント増)、「買物など日常の生活環境が整っていないから」(10.9ポイント増)、『教育期後期』では「通勤・通学に不便だから」(10.7ポイント増)も10ポイント以上増加しています。

## ■旧住民・新住民別

「住みたい」と答えた人の理由をみると、どちらの住民においても「自然災害が少ないから」が最も多く、次いで「緑などの自然環境がよいから」となっています。平成29年度と比較すると、『奈良県に新しくきた人』では「買物など日常の生活環境が整っているから」(5.6ポイント増)などが増加しています。

「住みたくない」または「わからない」と答えた人の理由をみると、どちらの住民においても「買物など日常の生活環境が整っていないから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『奈良県にずっと住んでいる人』では「災害を防ぐための対策が不十分だから」(7.3ポイント増)、「治安を守るための対策が不十分だから」(7.1ポイント増)、「通勤・通学に不便だから」(5.9ポイント増)などが増加しています。

## ■奈良での就労別

「住みたい」と答えた人の理由をみると、どちらの就労状況においても「自然災害が少ないから」が最も多く、次いで「緑などの自然環境がよいから」となっています。平成29年度と比較すると、『奈良県外で働いている人』では「世界遺産や文化財などが多く、歴史的な雰囲気を感じるから」(9.9ポイント増)、「通勤・通学に便利だから」(9.6ポイント増)、「奈良県や身近な地域に愛着を感じるから」(6.7ポイント増)などが増加しています。

「住みたくない」または「わからない」と答えた人の理由をみると、『奈良県内で働いている人』では「買物など日常の生活環境が整っていないから」、『奈良県外で働いている人』では「通勤・通学に不便だから」が最も多くなっています。平成29年度と比較すると、『奈良県内で働いている人』では「通勤・通学に不便だから」(6.5ポイント増)、「買物など日常の生活環境が整っていないから」(6.1ポイント増)、『奈良県外で働いている人』では「奈良県や身近な地域に愛着を感じないから」(6.2ポイント増)、「治安を守るための対策が不十分だから」(6.1ポイント増)などが増加しています。

## (2) 住みにくく移住したいと考えている人の理由 (問7×問8×問10)

図表 住みにくく移住したいと考えている人の理由 (設問間クロス/県全体)  
(上段:件数、下段:比率)

順位	問10 定住しない理由	計
1位	1. 買物など日常の生活環境が整っていないから	59 64.1%
2位	5. 医療が充実していないから	41 44.6%
3位	2. 通勤・通学に不便だから	40 43.5%
4位	12. 緑などの自然環境がよくないから	38 41.3%
5位	6. 奈良県や身近な地域に愛着を感じないから	32 34.8%
6位	4. 災害を防ぐための対策が不十分だから	23 25.0%
7位	7. 身近に文化やスポーツに親しめる場が少ないから	18 19.6%
8位	3. 教育環境が充実していないから	10 10.9%
	9. 家賃など住居費が高いから	10 10.9%
	10. 治安を守るための対策が不十分だから	10 10.9%
11位	11. 福祉サービスが充実していないから	6 6.5%
12位	8. 騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから	4 4.3%
-	13. その他	24 26.1%
無回答		2 2.2%
合計		92 100.0%

(注)上記図表は奈良県が「住みにくい」かつ「移住したい」と考えている回答者が、どのような理由で移住したいのかを把握するため、問7、問8、問10のクロス集計を行った結果である。なお、順位は小数点第2位以下も考慮し決定している。対象者は、問7で「住みにくい」(「どちらかといえば住みにくい」+「とても住みにくい」と回答し、かつ、問8で「住みたくない」と回答した人数である。

### ■県全体

奈良県に「住みにくい」と考えていて、かつ奈良県から移住したいと考えている人の理由としては、「買物など日常の生活環境が整っていないから」(64.1%)が最も多く、次いで「医療が充実していないから」(44.6%)、「通勤・通学に不便だから」(43.5%)、「緑などの自然環境がよくないから」(41.3%)となっています。

## 2. 県民の生活に関する重要度・満足度について(問11)

### 2-1 県全体の重要度・満足度・ニーズ得点の順位

#### (1) 重要度の順位

図表 県全体の重要度の順位<平成30年度調査の重要度の高い順>(経年比較/県全体)

順位	項目番号	項目	重要度				
			H30	H29	H28	H27	H26
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.57	4.58	4.57	4.62	4.57
2位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.48	4.50	4.50	4.53	4.50
3位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.38	4.39	4.42	4.43	4.39
4位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.36	4.43	4.42	4.46	4.43
5位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.31	4.29	4.26	4.40	4.34
6位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.28	4.27	4.29	4.32	4.27
7位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.21	4.22	4.24	4.31	4.29
8位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.18	4.15	4.15	4.22	4.19
9位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.16	4.14	4.12	4.21	4.18
10位	30	失業の不安がなく働けること	4.15	4.16	4.22	4.26	4.24
11位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること	4.14	4.16	4.19	4.16	4.16
12位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	4.13	4.12	4.11	4.10	4.07
13位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	4.05	4.03	4.06	4.03	4.01
14位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.03	4.01	3.99	4.13	4.10
15位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	3.99	3.98	3.92	-	-
16位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	3.98	3.96	4.00	4.03	4.00
17位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.97	4.03	3.90	3.95	3.92
18位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.97	4.03	3.96	4.00	3.96
19位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	3.95	3.96	4.03	4.03	4.03
20位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.95	3.86	3.84	3.95	3.90
21位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.92	3.91	3.90	3.92	3.92
22位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	3.90	3.88	3.93	3.94	3.91
23位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.82	3.85	3.84	3.89	3.95
24位	32	県内で買いたいものが販売されていること	3.80	3.79	3.81	3.76	3.77
25位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.79	3.80	3.79	3.84	3.84
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.77	3.78	3.77	3.83	3.81
27位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.72	3.75	3.76	3.79	3.82
28位	28	一人ひとりが普通の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.71	3.68	3.67	3.75	3.74
29位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.68	3.65	3.67	3.72	3.70
30位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.52	3.52	3.53	3.53	3.55
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.43	3.38	3.38	3.38	3.41
32位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.42	3.37	3.42	3.39	3.42
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.05	3.03	3.03	3.05	3.06
項目全体の平均			3.96	3.96	3.96	4.00	3.98

(注)集計結果は「県全体」の平成30年度の重要度が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

下線は前年度より重要度が上昇したこと、網掛けは3年連続で重要度が上昇したことを意味しており、

比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、前年度と点数が同じ場合にも下線を付していることがある。

なお、「-」はその年度において未調査のため、数値がないことを示している。

#### ■県全体

医療、暮らしの安全、災害対策に関する項目の重要度が高くなっています。平成29年度と比較すると、上位10項目のうち、「11.地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」と「25.地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること」、「24.高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること」の順位が上がっています。

## (2) 満足度の順位

図表 県全体の満足度の順位<平成30年度調査の満足度の高い順> (経年比較/県全体)

順位	項目番号	項目	満足度				
			H30	H29	H28	H27	H26
1位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	<u>3.51</u>	<u>3.55</u>	3.58	<u>3.52</u>	<u>3.53</u>
2位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	<u>3.26</u>	3.26	<u>3.15</u>	3.24	3.20
3位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	<u>3.21</u>	3.26	3.19	<u>3.16</u>	3.17
4位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	<u>3.16</u>	3.20	3.18	3.13	3.11
5位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	<u>3.16</u>	3.20	3.14	<u>3.09</u>	3.13
6位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	<u>3.06</u>	<u>3.07</u>	3.08	<u>3.05</u>	3.09
7位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	<u>3.04</u>	3.04	2.98	<u>2.95</u>	2.96
8位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	<u>3.03</u>	3.03	3.02	<u>2.99</u>	3.03
9位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	<u>3.01</u>	2.99	2.94	<u>2.90</u>	2.95
10位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	<u>3.01</u>	2.95	2.84	2.84	2.80
11位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	<u>3.00</u>	<u>3.06</u>	3.09	<u>2.94</u>	<u>3.07</u>
12位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	<u>3.00</u>	3.00	<u>2.90</u>	2.91	2.89
13位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	<u>3.00</u>	3.04	2.98	-	-
14位	32	県内で買いたいものが販売されていること	<u>2.99</u>	2.99	<u>2.94</u>	<u>2.98</u>	<u>2.98</u>
15位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	<u>2.97</u>	2.99	<u>2.92</u>	<u>2.94</u>	2.96
16位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	<u>2.97</u>	2.98	2.92	<u>2.87</u>	2.89
17位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	<u>2.97</u>	<u>2.96</u>	2.98	<u>2.97</u>	2.98
18位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	<u>2.96</u>	<u>2.96</u>	2.96	<u>2.91</u>	2.93
19位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	<u>2.95</u>	2.96	2.92	<u>2.86</u>	<u>2.90</u>
20位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	<u>2.92</u>	2.92	2.91	<u>2.88</u>	2.93
21位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	<u>2.91</u>	2.93	<u>2.83</u>	2.83	2.77
22位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	<u>2.89</u>	2.89	<u>2.86</u>	2.88	2.88
23位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	<u>2.88</u>	2.90	2.88	<u>2.82</u>	2.84
24位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	<u>2.84</u>	2.85	2.84	<u>2.82</u>	2.85
25位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	<u>2.84</u>	<u>2.89</u>	3.01	<u>2.81</u>	3.02
26位	30	失業の不安がなく働けること	<u>2.82</u>	2.81	2.73	2.70	2.68
27位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	<u>2.82</u>	2.83	2.80	<u>2.74</u>	2.77
28位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	<u>2.80</u>	2.83	2.78	<u>2.70</u>	2.72
29位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	<u>2.79</u>	2.79	<u>2.72</u>	2.76	2.71
30位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	<u>2.77</u>	2.82	2.78	<u>2.75</u>	2.79
31位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	<u>2.71</u>	2.67	2.59	2.59	2.59
32位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	<u>2.69</u>	2.73	2.69	<u>2.62</u>	2.70
33位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	<u>2.58</u>	2.61	<u>2.53</u>	<u>2.54</u>	2.57
項目全体の平均			<u>2.96</u>	2.97	2.93	<u>2.90</u>	2.92

(注)集計結果は「県全体」の平成30年度の満足度が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

下線は前年度より満足度が低下したこと、網掛けは3年連続で満足度が低下したことを意味しており、

比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、前年度と点数が同じ場合にも下線を付していることがある。

なお、「-」はその年度において未調査のため、数値がないことを示している。

### ■県全体

政治への住民意向の反映、地域の活性化、就業に関する満足度が低くなっています。平成29年度と比較すると、全33項目のうち24項目で満足度が低下していますが、差が最も大きい「1.品揃えの豊富な店が近くにあること」でもわずかな低下(0.06低下)となっています。

### (3) ニーズ得点の順位

図表 県全体のニーズ得点の順位<平成30年度調査のニーズ得点の高い順> (経年比較/県全体)

順位	項目番号	項目	ニーズ得点				
			H30	H29	H28	H27	H26
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	<b>13.67</b>	13.95	14.43	14.61	14.61
2位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	<b>13.63</b>	13.41	13.88	<u>13.96</u>	13.73
3位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	<b>13.55</b>	13.49	<u>14.02</u>	14.01	14.18
4位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	<b>13.47</b>	13.40	13.66	<u>14.22</u>	14.09
5位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	<b>13.31</b>	13.35	<u>13.76</u>	13.48	13.69
6位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	<b>13.22</b>	13.13	13.20	<u>13.71</u>	13.50
7位	30	失業の不安がなく働けること	<b>13.18</b>	13.29	13.82	14.07	14.07
8位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	<b>13.06</b>	<u>12.80</u>	12.28	<u>13.10</u>	12.12
9位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	<b>13.04</b>	12.97	13.11	<u>13.74</u>	13.51
10位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	<b>13.04</b>	13.34	13.55	<u>13.85</u>	13.51
11位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	<b>13.01</b>	13.18	13.72	13.74	13.76
12位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	<b>12.76</b>	12.61	12.90	<u>13.20</u>	12.91
13位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	<b>12.56</b>	12.44	12.48	<u>13.13</u>	12.96
14位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	<b>12.53</b>	12.42	12.56	<u>12.97</u>	12.67
15位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	<b>12.40</b>	12.28	12.54	<u>12.85</u>	12.75
16位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	<b>12.26</b>	12.14	<u>12.50</u>	<u>12.32</u>	<u>12.19</u>
17位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	<b>12.13</b>	11.98	12.12	<u>12.41</u>	12.37
18位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	<b>11.99</b>	11.77	11.87	-	-
19位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	<b>11.90</b>	<u>11.82</u>	11.33	<u>12.08</u>	<u>11.47</u>
20位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	<b>11.90</b>	11.60	11.82	<u>12.09</u>	11.87
21位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	<b>11.69</b>	11.64	<u>12.18</u>	12.15	12.17
22位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	<b>11.62</b>	<u>11.70</u>	11.67	12.01	12.10
23位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	<b>11.54</b>	11.44	11.52	<u>11.70</u>	11.69
24位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	<b>11.46</b>	11.53	11.61	<u>11.81</u>	11.75
25位	32	県内で買いたいものが販売されていること	<b>11.43</b>	11.42	<u>11.67</u>	11.36	<u>11.40</u>
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	<b>11.20</b>	11.23	11.23	<u>11.50</u>	11.34
27位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	<b>10.95</b>	10.74	10.97	<u>11.13</u>	11.09
28位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	<b>10.82</b>	10.56	<u>10.96</u>	10.88	10.90
29位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	<b>10.73</b>	10.70	10.88	<u>11.08</u>	<u>10.98</u>
30位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	<b>10.35</b>	10.23	<u>10.32</u>	10.25	10.33
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	<b>10.06</b>	<u>9.91</u>	9.88	<u>9.95</u>	9.92
32位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	<b>9.87</b>	<u>9.84</u>	9.59	<u>9.92</u>	9.78
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	<b>9.63</b>	9.55	9.58	<u>9.70</u>	9.64
項目全体の平均			<b>12.06</b>	12.00	12.17	<u>12.41</u>	12.28

(注)集計結果は「県全体」の平成30年度のニーズ得点が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

下線は前年度よりニーズ得点が増加したこと、網掛けは3年連続でニーズ得点が増加したことを意味しており、

比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、前年度と点数が同じ場合にも下線を付していることがある。

なお、「-」はその年度において未調査のため、数値がないことを示している。

#### ■県全体

医療、政治への住民意向の反映、災害対策に関する項目のニーズ得点が高くなっています。平成29年度と比較すると、全33項目中のうち25項目でニーズ得点が増加しており、上位5項目では「18.市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること」の順位が上がっています。



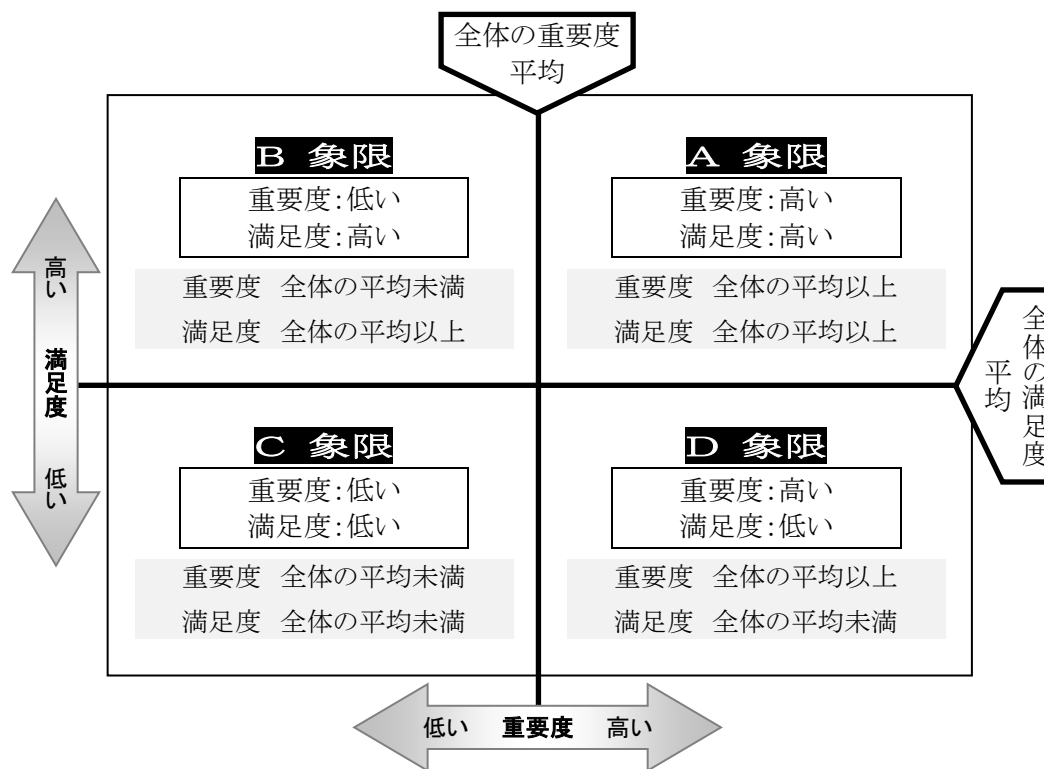
## 2-2 県全体の重要度と満足度の関係

### (1) 重要度と満足度の関係についての考え方

「県民の身近な生活に関する項目」33項目全体での重要度と満足度の平均点を求め、各平均点と33項目それぞれの重要度・満足度の対応を分析します。

33項目それぞれの重要度・満足度の評価は、「重要度が高く、満足度が高い（A象限）」、「重要度が低く、満足度が高い（B象限）」、「重要度が低く、満足度が低い（C象限）」、「重要度が高く、満足度が低い（D象限）」という4つの象限でその関係を整理することができます。

図表 全体の重要度と満足度の平均点及び33項目の重要度と満足度の関係図



33項目それぞれがどの象限に位置し、全体の重要度と満足度の平均点に対して重要度あるいは満足度が高いのか、低いのかを検討する際には、以下の点に留意する必要があります。

今回の調査の重要度・満足度それぞれの評価の中間は「どちらともいえない=3.00」ですが、例えば県全体の33項目全体での重要度の平均点は3.96、満足度の平均点は2.96です。重要度は「かなり重要」、満足度は「あまり満たされていない」という評価だといえます。

このことから、重要度については、全体の重要度の平均点(3.96)が「どちらともいえない=3.00」よりも高いことから、全体の重要度の平均点と「どちらともいえない」の間に属する項目は、全体の重要度に比べて低い評価になりますが、厳密には、「かなり重要であるが、全体の重要度の平均点からみると重要度は低いほうだ」という解釈ができることとなります。今回の調査では33項目すべてが3.01以上であり、すべての項目が「重要である」という評価だということになります。

また、満足度については、全体の満足度の平均点(2.96)が「どちらともいえない=3.00」よりも低いことから、全体の満足度の平均点と「どちらともいえない」の間に属する項目は、全体の満足度に比べて高い評価になりますが、厳密には、「あまり満たされていないが、全体の満足度の平均点からみると満足度は高いほうだ」という解釈ができることとなります。

## (2) 県民の身近な生活に関する 33 項目の重要度と満足度の関係

### ① 県全体

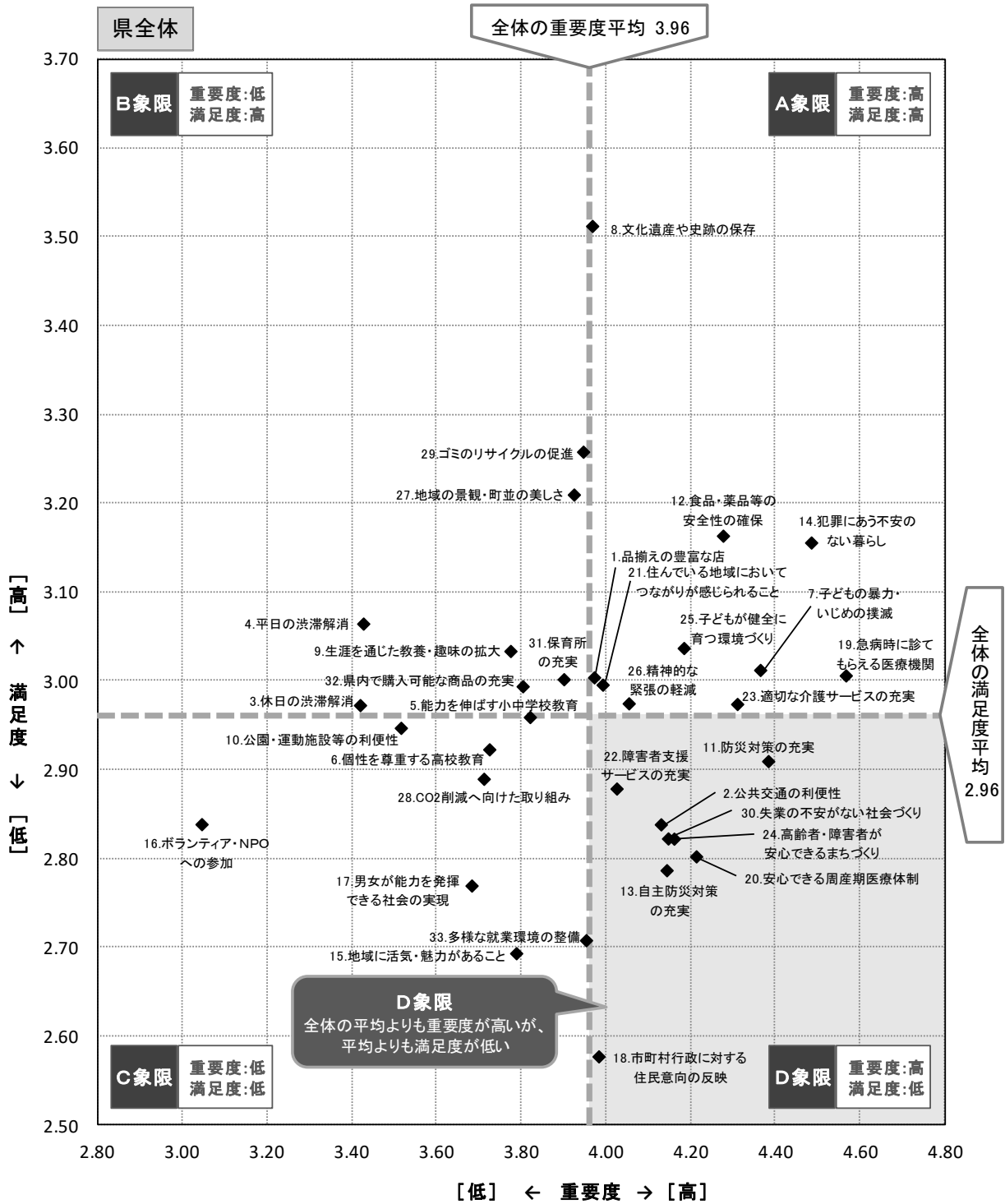
図表 項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧<ニーズ得点の高い順> (県全体)

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	象限	ニーズ得点
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	3.01	A	13.67
2位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	3.98	2.58	D	13.63
3位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.38	2.91	D	13.55
4位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.21	2.80	D	13.47
5位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.14	2.79	D	13.31
6位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.16	2.82	D	13.22
7位	30	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.15	2.82	D	13.18
8位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.13	2.84	D	13.06
9位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.31	2.97	A	13.04
10位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.36	3.01	A	13.04
11位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	3.95	2.71	C	13.01
12位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.48	3.16	A	12.76
13位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	4.03	2.88	D	12.56
14位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.79	2.69	C	12.53
15位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.18	3.04	A	12.40
16位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.05	2.97	A	12.26
17位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	3.16	A	12.13
18位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.99	3.00	A	11.99
19位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.97	3.00	A	11.90
20位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を發揮できる社会の実現	3.68	2.77	C	11.90
21位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.90	3.00	B	11.69
22位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.82	2.96	B	11.62
23位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.71	2.89	C	11.54
24位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.72	2.92	C	11.46
25位	32	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.80	2.99	B	11.43
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.77	3.03	B	11.20
27位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.92	3.21	B	10.95
28位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.95	3.26	B	10.82
29位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.52	2.95	C	10.73
30位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.42	2.97	B	10.35
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.43	3.06	B	10.06
32位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.97	3.51	A	9.87
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.05	2.84	C	9.63
項目全体の平均				3.96	2.96	-	12.06

(注)集計結果はニーズ得点が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（県全体）



■県全体

「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」、「11. 防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

## ②旧住民・新住民別

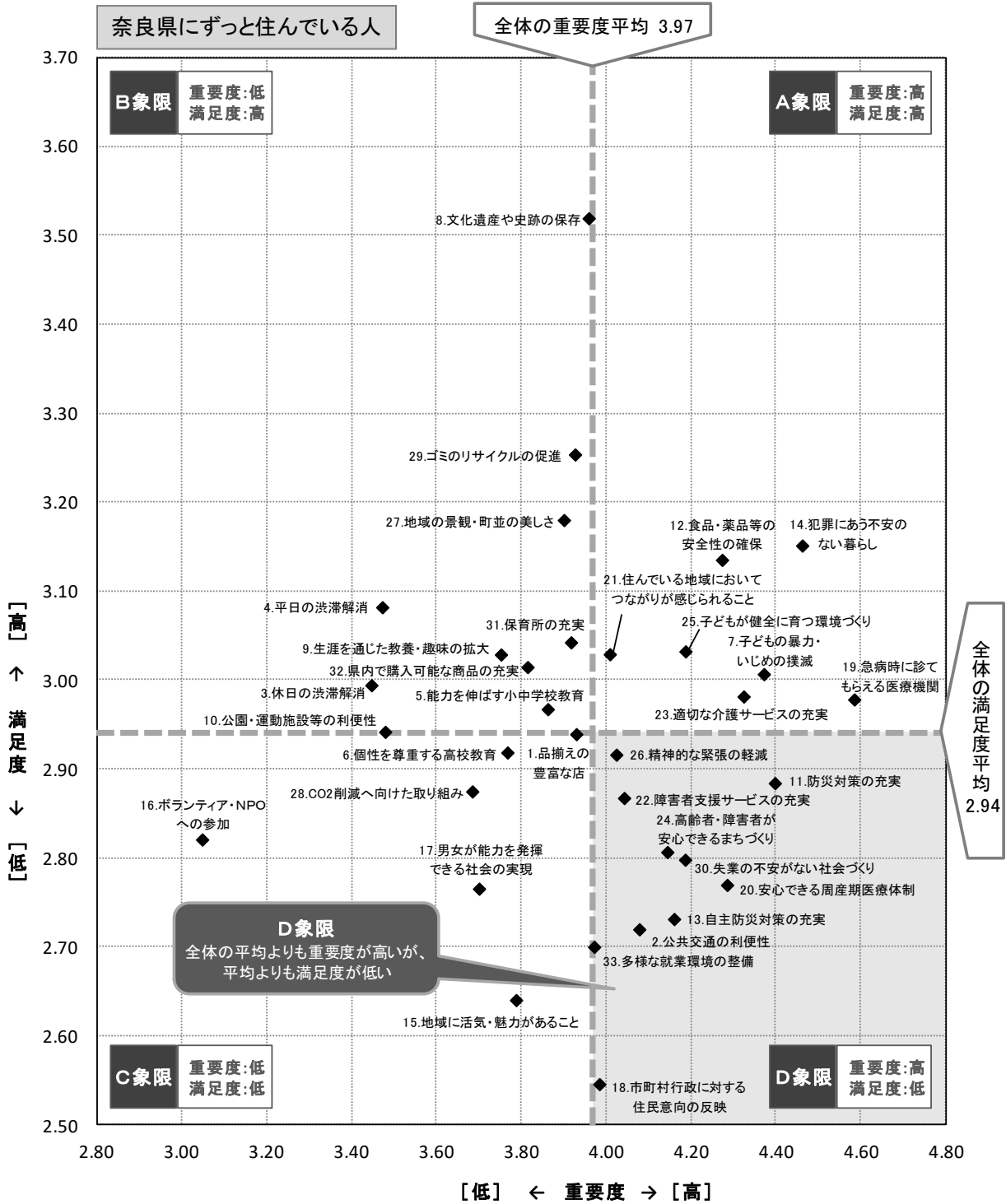
図表 項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧<ニーズ得点の高い順>  
(旧住民=奈良県にずっと住んでいる人)

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	象限	ニーズ得点
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.58	2.98	A	13.85
2位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.29	2.77	D	13.84
3位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	3.98	2.55	D	13.76
4位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.40	2.88	D	13.70
5位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.16	2.73	D	13.60
6位	30	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.19	2.80	D	13.40
7位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.08	2.72	D	13.38
8位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.14	2.81	D	13.23
9位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	3.97	2.70	D	13.11
10位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.37	3.01	A	13.09
11位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.32	2.98	A	13.05
12位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.79	2.64	C	12.73
13位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.46	3.15	A	12.71
14位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	4.04	2.87	D	12.66
15位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	3.03	A	12.43
16位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.02	2.92	D	12.41
17位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	3.14	A	12.24
18位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.93	2.94	C	12.03
19位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.70	2.77	C	11.97
20位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	住んでいる地域においてつながりが感じられること	4.01	3.03	A	11.91
21位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.86	2.97	B	11.71
22位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.77	2.92	C	11.61
23位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.92	3.04	B	11.59
24位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.68	2.87	C	11.52
25位	32	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.81	3.01	B	11.39
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.75	3.03	B	11.15
27位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.90	3.18	B	11.00
28位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.93	3.25	B	10.78
29位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.48	2.94	B	10.64
30位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.45	2.99	B	10.36
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.47	3.08	B	10.13
32位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.96	3.52	B	9.82
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.05	2.82	C	9.69
[旧住民] 項目全体の平均				3.97	2.94	-	12.14

(注)集計結果はニーズ得点が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（旧住民＝奈良県にずっと住んでいる人）



■旧住民・新住民別（旧住民）

『奈良県にずっと住んでいる人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「20. 安心できる周産期医療体制」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」などのニーズ得点が高くなっています。

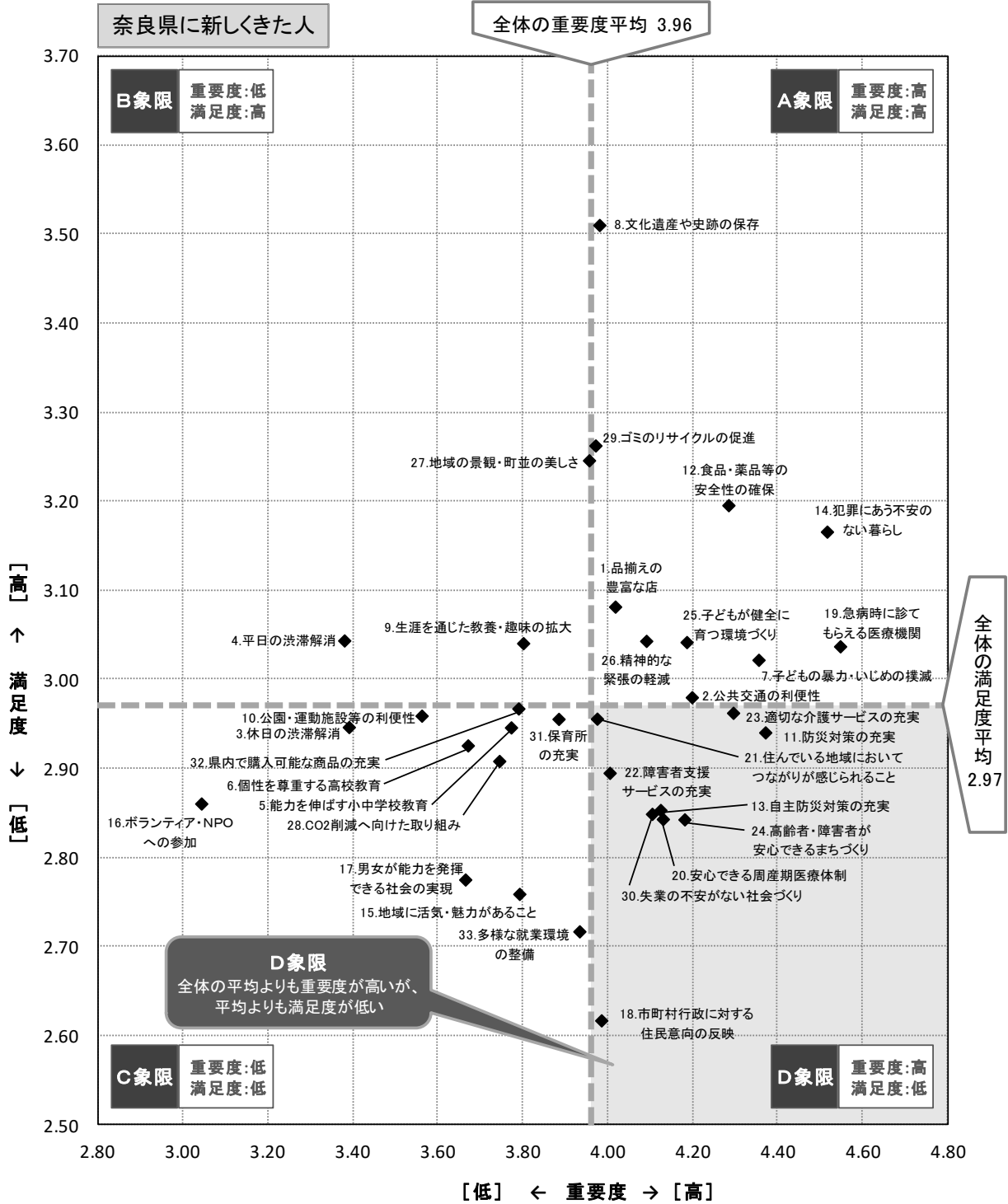
図表 項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧<ニーズ得点の高い順>  
(新住民=奈良県に新しくきた人)

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	象限	ニーズ得点
1位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	3.98	2.62	D	13.48
2位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.55	3.04	A	13.47
3位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.37	2.94	D	13.37
4位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.18	2.84	D	13.20
5位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.30	2.96	D	13.05
6位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.13	2.84	D	13.04
7位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.12	2.85	D	12.98
8位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.36	3.02	A	12.97
9位	30	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.10	2.85	D	12.93
10位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	3.93	2.72	C	12.91
11位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.52	3.17	A	12.80
12位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.20	2.98	A	12.68
13位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	4.00	2.90	D	12.43
14位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.19	3.04	A	12.38
15位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.79	2.76	C	12.29
16位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.97	2.96	D	12.10
17位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.09	3.04	A	12.10
18位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	3.20	A	12.01
19位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.88	2.96	C	11.83
20位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.66	2.78	C	11.82
21位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	4.02	3.08	A	11.72
22位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.74	2.91	C	11.58
23位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.77	2.95	C	11.52
24位	32	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.79	2.97	C	11.49
25位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.67	2.93	C	11.28
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.80	3.04	B	11.25
27位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.96	3.25	B	10.90
28位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.97	3.26	A	10.87
29位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.56	2.96	C	10.83
30位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.39	2.95	C	10.35
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.38	3.04	B	9.99
32位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.98	3.51	A	9.91
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	3.04	2.86	C	9.55
「新住民」 項目全体の平均				3.96	2.97	-	11.97

(注)集計結果はニーズ得点が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（新住民＝奈良県に新しくきた人）



■旧住民・新住民別（新住民）

『奈良県に新しくきた人』においては、「18.市町村行政に対する住民意向の反映」、「19.急病時に診てもらえる医療機関」、「11.防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

### ③奈良県での就労別

図表 項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧<ニーズ得点の高い順>  
(奈良県内で働いている人)

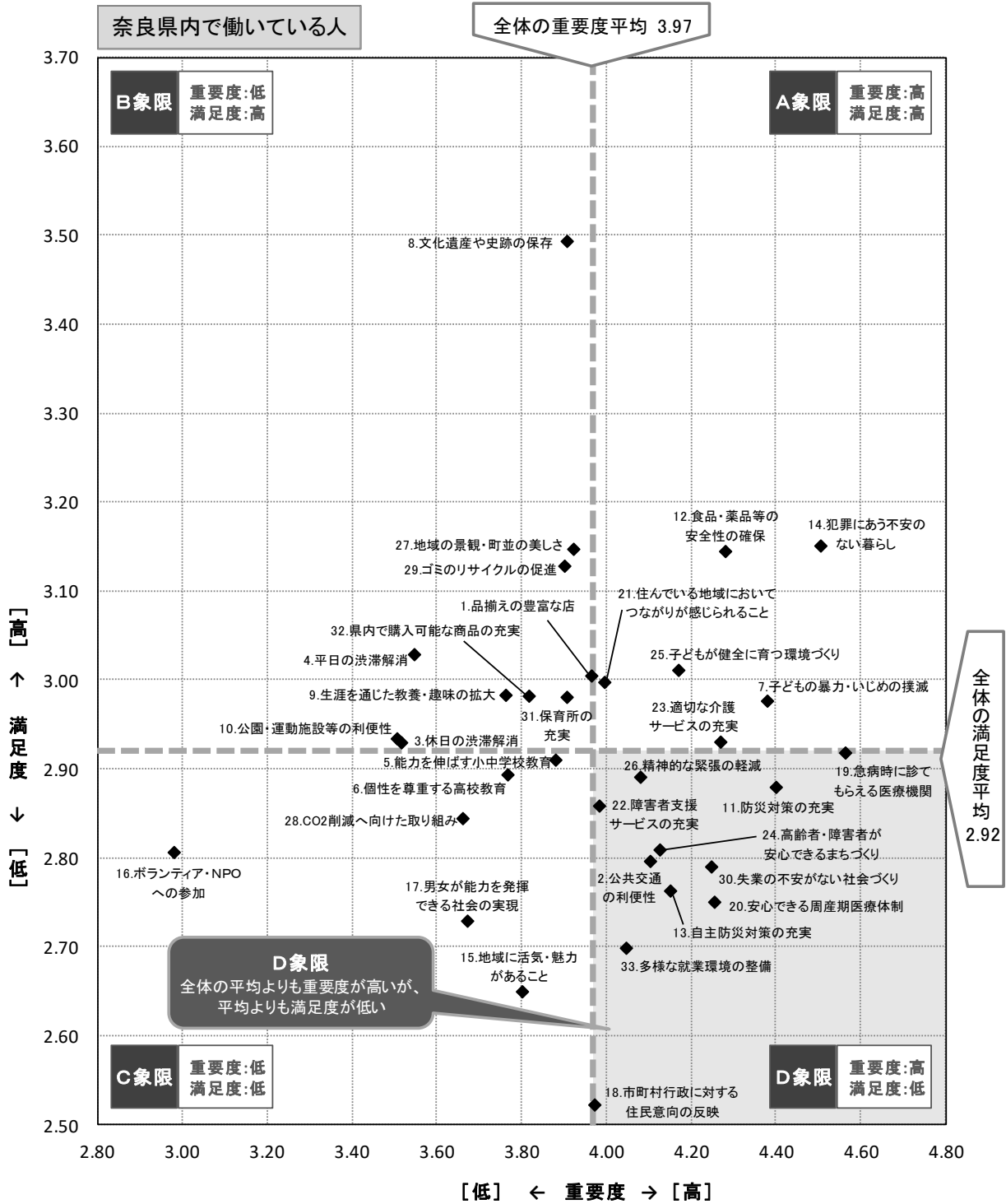
順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	象限	ニーズ得点
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.56	2.92	D	14.06
2位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.25	2.75	D	13.82
3位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	3.97	2.52	D	13.81
4位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.40	2.88	D	13.73
5位	30	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.25	2.79	D	13.63
6位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること	自主防災対策の充実	4.15	2.76	D	13.43
7位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	4.05	2.70	D	13.36
8位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.38	2.98	A	13.24
9位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.13	2.81	D	13.16
10位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.10	2.80	D	13.14
11位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.27	2.93	A	13.10
12位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.50	3.15	A	12.83
13位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.80	2.65	C	12.73
14位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.08	2.89	D	12.68
15位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	3.98	2.86	D	12.51
16位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.17	3.01	A	12.46
17位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	3.15	A	12.22
18位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.67	2.73	C	12.01
19位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.99	3.00	A	11.99
20位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.88	2.91	C	11.99
21位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.96	3.01	B	11.87
22位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.91	2.98	B	11.79
23位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.77	2.89	C	11.70
24位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.66	2.84	C	11.55
25位	32	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.82	2.98	B	11.52
26位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.76	2.98	B	11.35
27位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.90	3.13	B	11.20
28位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並の美しさ	3.92	3.15	B	11.19
29位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.52	2.93	B	10.79
30位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.51	2.93	B	10.75
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.55	3.03	B	10.54
32位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.91	3.49	B	9.79
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	2.98	2.81	C	9.51
[県内で働いている人] 項目全体の平均				3.97	2.92	-	12.23

(注)集計結果は「ニーズ得点」が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。



図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（奈良県内で働いている人）



■奈良での就労別（奈良県内で働いている人）

『奈良県内で働いている人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「20. 安心できる周産期医療体制」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」などのニーズ得点が高くなっています。

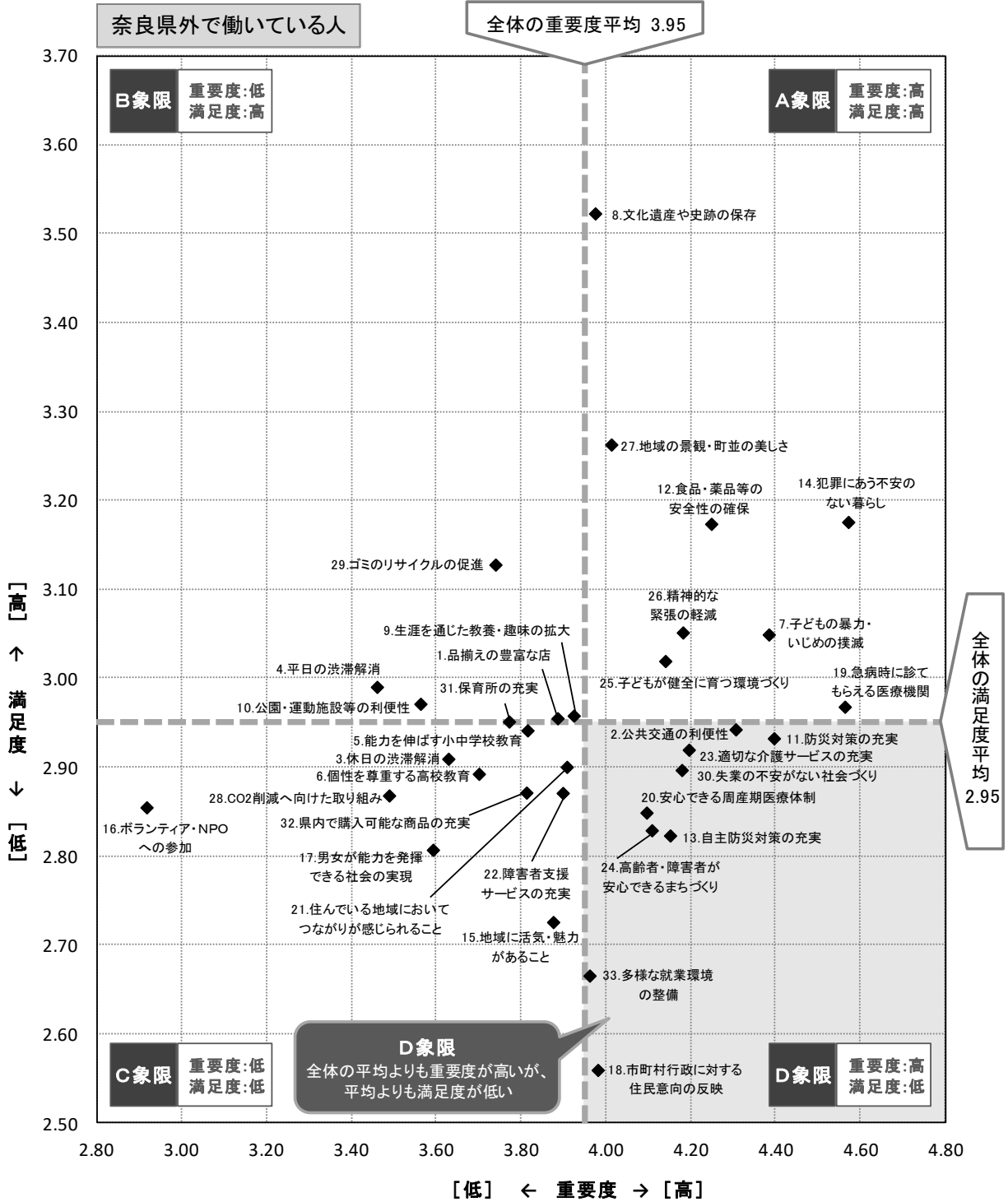
図表 項目と項目の略称との対応及び重要度・満足度・ニーズ得点の一覧<ニーズ得点の高い順>  
(奈良県外で働いている人)

順位	項目番号	項目	項目の略称	重要度	満足度	象限	ニーズ得点
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関があること	急病時に診てもらえる医療機関	4.56	2.97	A	13.84
2位	18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	市町村行政に対する住民意向の反映	3.98	2.56	D	13.70
3位	11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	防災対策の充実	4.40	2.93	D	13.49
4位	33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	多様な就業環境の整備	3.96	2.67	D	13.21
5位	13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	自主防災対策の充実	4.15	2.82	D	13.19
6位	2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	公共交通の利便性	4.31	2.94	D	13.17
7位	24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.11	2.83	D	13.03
8位	30	失業の不安がなく働けること	失業の不安がない社会づくり	4.18	2.90	D	12.97
9位	7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.38	3.05	A	12.94
10位	23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	適切な介護サービスの充実	4.20	2.92	D	12.92
11位	14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	犯罪にあう不安のない暮らし	4.57	3.18	A	12.91
12位	20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	安心できる周産期医療体制	4.10	2.85	D	12.91
13位	15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	地域に活気・魅力があること	3.88	2.73	C	12.69
14位	25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	子どもが健全に育つ環境づくり	4.14	3.02	A	12.34
15位	26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	精神的な緊張の軽減	4.18	3.05	A	12.33
16位	22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	障害者支援サービスの充実	3.90	2.87	C	12.20
17位	21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.91	2.90	C	12.11
18位	12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	食品・薬品等の安全性の確保	4.25	3.17	A	12.01
19位	9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.92	2.96	B	11.94
20位	32	県内で買いたいものが販売されていること	県内で購入可能な商品の充実	3.81	2.87	C	11.93
21位	1	品揃えの豊富な店が近くにあること	品揃えの豊富な店	3.89	2.95	B	11.83
22位	5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	能力を伸ばす小中学校教育	3.82	2.94	C	11.67
23位	6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	個性を尊重する高校教育	3.70	2.89	C	11.50
24位	31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	保育所の充実	3.77	2.95	B	11.50
25位	17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.59	2.81	C	11.47
26位	3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	休日の渋滞解消	3.63	2.91	C	11.21
27位	27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	地域の景観・町並みの美しさ	4.01	3.26	A	10.98
28位	28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	CO2削減へ向けた取り組み	3.49	2.87	C	10.93
29位	10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	公園・運動施設等の利便性	3.56	2.97	B	10.79
30位	29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	ゴミのリサイクルの促進	3.74	3.13	B	10.74
31位	4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	平日の渋滞解消	3.46	2.99	B	10.41
32位	8	文化遺産や史跡が大事にされること	文化遺産や史跡の保存	3.97	3.52	A	9.85
33位	16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	ボランティア・NPOへの参加	2.92	2.85	C	9.18
[県外で働いている人] 項目全体の平均				3.95	2.95	-	12.06

(注)集計結果は「ニーズ得点」が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（奈良県外で働いている人）



■奈良での就労別（奈良県外で働いている人）

『奈良県外で働いている人』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」、「11. 防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

### (3) 県民の身近な生活に関する 33 項目の重要度と満足度の前回調査との比較

図表 重要度と満足度の関係の前回調査との比較

項目番号	項目	重要度					満足度					ニーズ得点					重要度と満足度の関係				
		H30	H29	H28	H27	H26	H30	H29	H28	H27	H26	H30	H29	H28	H27	H26	H30	H29	H28	H27	H26
1	品揃えの豊富な店が近くにあること	3.97	4.03	3.90	3.95	3.92	3.00	3.06	3.09	2.94	3.07	11.90	11.82	11.33	12.08	11.47	A	A	B	B	B
2	電車、バス、タクシーなどの公共的な交通機関が利用しやすいこと	4.13	4.12	4.11	4.10	4.07	2.84	2.89	3.01	2.81	3.02	13.06	12.80	12.28	13.10	12.12	D	D	A	D	A
3	休日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.42	3.37	3.42	3.39	3.42	2.97	2.96	2.98	2.97	2.98	10.35	10.23	10.32	10.25	10.33	B	C	B	B	B
4	平日の道路の渋滞が解消され、自動車での外出が快適なこと	3.43	3.38	3.38	3.38	3.41	3.06	3.07	3.08	3.05	3.09	10.06	9.91	9.88	9.95	9.92	B	B	B	B	B
5	小・中学校で子どもの能力を伸ばす教育が受けられること	3.82	3.85	3.84	3.89	3.95	2.96	2.96	2.96	2.91	2.93	11.62	11.70	11.67	12.01	12.10	B	C	B	B	B
6	高校で生徒一人ひとりに適した教育が受けられること	3.72	3.75	3.76	3.79	3.82	2.92	2.92	2.91	2.88	2.93	11.46	11.53	11.61	11.81	11.75	C	C	C	C	B
7	子どもたちが、暴力行為・いじめなどを行わないこと	4.36	4.43	4.42	4.46	4.43	3.01	2.99	2.94	2.90	2.95	13.04	13.34	13.55	13.85	13.51	A	A	A	D	A
8	文化遺産や史跡が大事にされること	3.97	4.03	3.96	4.00	3.96	3.51	3.55	3.58	3.52	3.53	9.87	9.84	9.59	9.92	9.78	A	A	A	B	B
9	生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること	3.77	3.78	3.77	3.83	3.81	3.03	3.03	3.02	2.99	3.03	11.20	11.23	11.23	11.50	11.34	B	B	B	B	B
10	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすいこと	3.52	3.52	3.53	3.53	3.55	2.95	2.96	2.92	2.86	2.90	10.73	10.70	10.88	11.08	10.98	C	C	C	C	C
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること	4.38	4.39	4.42	4.43	4.39	2.91	2.93	2.83	2.83	2.77	13.55	13.49	14.02	14.01	14.18	D	D	D	D	D
12	食品や薬品などの商品・サービスの安全性が確保されていること	4.28	4.27	4.29	4.32	4.27	3.16	3.20	3.18	3.13	3.11	12.13	11.98	12.12	12.41	12.37	A	A	A	A	A
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと	4.14	4.16	4.19	4.16	4.16	2.79	2.79	2.72	2.76	2.71	13.31	13.35	13.76	13.48	13.69	D	D	D	D	D
14	住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること	4.48	4.50	4.50	4.53	4.50	3.16	3.20	3.14	3.09	3.13	12.76	12.61	12.90	13.20	12.91	A	A	A	A	A
15	自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること	3.79	3.80	3.79	3.84	3.84	2.69	2.73	2.69	2.62	2.70	12.53	12.42	12.56	12.97	12.67	C	C	C	C	C
16	ボランティア・NPO活動に気軽に参加できること	3.05	3.03	3.03	3.05	3.06	2.84	2.85	2.84	2.82	2.85	9.63	9.55	9.58	9.70	9.64	C	C	C	C	C
17	男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現すること	3.68	3.65	3.67	3.72	3.70	2.77	2.82	2.78	2.75	2.79	11.90	11.60	11.82	12.09	11.87	C	C	C	C	C
18	市町村の政治に住民の要望や意見が十分採り入れられること	3.98	3.96	4.00	4.03	4.00	2.58	2.61	2.53	2.54	2.57	13.63	13.41	13.88	13.96	13.73	D	C	D	D	D
19	急病時に診てもらえる医療機関があること	4.57	4.58	4.57	4.62	4.57	3.01	2.95	2.84	2.84	2.80	13.67	13.95	14.43	14.61	14.61	A	D	D	D	D
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること	4.21	4.22	4.24	4.31	4.29	2.80	2.83	2.78	2.70	2.72	13.47	13.40	13.66	14.22	14.09	D	D	D	D	D
21	住んでいる地域において、互いに見守り、助け合うなどつながりが感じられること	3.99	3.98	3.92	-	-	3.00	3.04	2.98	-	-	11.99	11.77	11.87	-	-	A	A	B	-	-
22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること	4.03	4.01	3.99	4.13	4.10	2.88	2.90	2.88	2.82	2.84	12.56	12.44	12.48	13.13	12.96	D	D	D	D	D
23	高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること	4.31	4.29	4.26	4.40	4.34	2.97	2.98	2.92	2.87	2.89	13.04	12.97	13.11	13.74	13.51	A	A	D	D	D
24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること	4.16	4.14	4.12	4.21	4.18	2.82	2.83	2.80	2.74	2.77	13.22	13.13	13.20	13.71	13.50	D	D	D	D	D
25	地域・家庭・学校が一体となって、子どもが健全に育つ環境づくりを行っていること	4.18	4.15	4.15	4.22	4.19	3.04	3.04	2.98	2.95	2.96	12.40	12.28	12.54	12.85	12.75	A	A	A	A	A
26	イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	4.05	4.03	4.06	4.03	4.01	2.97	2.99	2.92	2.94	2.96	12.26	12.14	12.50	12.32	12.19	A	A	D	A	A
27	自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと	3.92	3.91	3.90	3.92	3.92	3.21	3.26	3.19	3.16	3.17	10.95	10.74	10.97	11.13	11.09	B	B	B	B	B
28	一人ひとりが普段の生活においてCO2削減に取り組むこと	3.71	3.68	3.67	3.75	3.74	2.89	2.89	2.86	2.88	2.88	11.54	11.44	11.52	11.70	11.69	C	C	C	C	C
29	ゴミのリサイクルのしくみが整っていること	3.95	3.86	3.84	3.95	3.90	3.26	3.26	3.15	3.24	3.20	10.82	10.56	10.96	10.88	10.90	B	B	B	B	B
30	失業の不安がなく働けること	4.15	4.16	4.22	4.26	4.24	2.82	2.81	2.73	2.70	2.68	13.18	13.29	13.82	14.07	14.07	D	D	D	D	D
31	保育所の数や定員を増やすことにより、待機児童を解消すること	3.90	3.88	3.93	3.94	3.91	3.00	3.00	2.90	2.91	2.89	11.69	11.64	12.18	12.15	12.17	B	B	C	B	C
32	県内で買いたいものが販売されていること	3.80	3.79	3.81	3.76	3.77	2.99	2.99	2.94	2.98	2.98	11.43	11.42	11.67	11.36	11.40	B	B	B	B	B
33	いろいろな働き方が用意され、自分の生活に合った就業ができること	3.95	3.96	4.03	4.03	4.03	2.71	2.67	2.59	2.59	2.59	13.01	13.18	13.72	13.74	13.76	C	C	D	D	D
項目全体の平均		3.96	3.96	3.96	4.00	3.98	2.96	2.97	2.93	2.90	2.92	12.06	12.00	12.17	12.41	12.28					

(注)「重要度と満足度の関係」の各年度のA～Dの記号の対応については、53ページ参照。  
 網掛けした項目は満足度が当該年度の全項目の平均値を下回るもの（C象限・D象限）であり、濃い網掛けはそのうち重要度が平均値を上回るもの（D象限）、すなわち重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目である。  
 なお、「-」はその年度において未調査のため、数値がないことを示している。

図表 5年間を通じてD象限にある項目（重要度が平均値以上、かつ満足度が平均値未満）

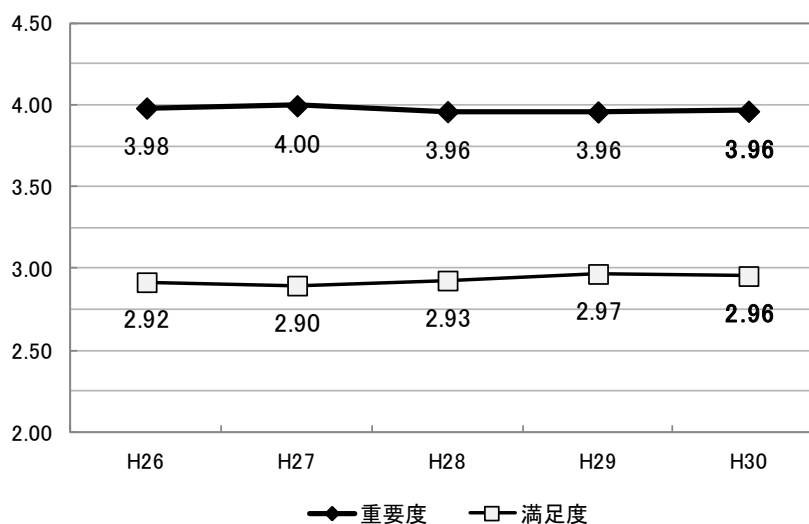
項目番号	項目
11	地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること
13	家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていること
20	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること
22	障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること
24	高齢者や障害者が安心してまちに出かけられること
30	失業の不安がなく働けること

### ■県全体

県民の身近な生活に関する33項目の重要度と満足度の関係を平成26年度から平成30年度の5年間についてみると、5年間を通じて、重要度が平均値以上であるにもかかわらず、満足度が平均値を下回っていた（D象限にある）ものが6項目ありました。

## （4）県民の身近な生活に関する33項目の重要度と満足度の平均値の推移（県全体）

図表 重要度と満足度の平均値の推移（県全体）



### ■県全体

県民の身近な生活に関する33項目の重要度と満足度の平均値の推移をみると、重要度の平均値は平成26年度からほぼ横ばい傾向となっています。また、満足度の平均値は昨年度までは上昇傾向にありましたが、今年度はほぼ横ばいとなっています。

## 2-3 地域別の重要度と満足度の関係及び経年比較

### (1) 地域1 (北部)

図表 重要度と満足度の経年比較＜平成30年度調査の重要度の高い順＞(地域1 (北部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限 H30	ニーズ得点 H30
			H30①	H29②	①-②	H30①	H29②	①-②		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.58	▲0.01	3.01	3.02	▲0.01	A	<b>13.67</b>
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.48	4.52	▲0.04	3.14	3.20	▲0.07	A	12.83
3位	11	防災対策の充実	4.35	4.39	▲0.04	2.91	2.94	▲0.02	D	<b>13.42</b>
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.35	4.42	▲0.07	2.98	2.98	+0.00	A	13.14
5位	23	適切な介護サービスの充実	4.31	4.29	+0.02	2.99	3.00	▲0.01	A	12.98
6位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	4.28	+0.00	3.17	3.22	▲0.05	A	12.13
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.22	4.18	+0.04	2.88	2.94	▲0.05	D	13.16
8位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.18	4.13	+0.05	3.04	3.08	▲0.03	A	12.37
9位	2	公共交通の利便性	4.18	4.16	+0.02	2.91	3.03	▲0.12	D	12.92
10位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.16	4.12	+0.04	2.84	2.85	▲0.01	D	13.14
11位	30	失業の不安がない社会づくり	4.11	4.14	▲0.02	2.84	2.84	▲0.00	D	13.00
12位	13	自主防災対策の充実	4.11	4.15	▲0.04	2.79	2.78	+0.01	D	13.21
13位	26	精神的な緊張の軽減	4.05	4.02	+0.03	2.98	3.01	▲0.03	A	12.23
14位	1	品揃えの豊富な店	4.01	4.06	▲0.05	3.01	3.11	▲0.10	A	11.97
15位	22	障害者支援サービスの充実	4.01	3.97	+0.03	2.90	2.93	▲0.02	D	12.42
16位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.00	3.93	+0.07	2.60	2.64	▲0.03	D	<b>13.58</b>
17位	8	文化遺産や史跡の保存	3.98	4.06	▲0.07	3.56	3.59	▲0.04	A	9.74
18位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.98	3.96	+0.02	2.99	3.05	▲0.05	A	11.97
19位	33	多様な就業環境の整備	3.95	3.93	+0.02	2.72	2.71	+0.02	C	12.93
20位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.93	3.86	+0.07	3.20	3.27	▲0.06	B	11.00
21位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.93	3.92	+0.01	3.22	3.32	▲0.10	B	10.93
22位	31	保育所の充実	3.92	3.88	+0.04	2.92	2.96	▲0.04	C	12.05
23位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.82	3.87	▲0.05	2.98	2.98	+0.00	B	11.55
24位	15	地域に活気・魅力があること	3.80	3.80	+0.00	2.73	2.78	▲0.05	C	12.42
25位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.80	3.79	+0.01	3.04	3.06	▲0.02	B	11.25
26位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.77	3.76	+0.02	2.96	2.99	▲0.03	C	11.49
27位	6	個性を尊重する高校教育	3.74	3.77	▲0.03	2.94	2.93	+0.01	C	11.43
28位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.71	3.68	+0.04	2.90	2.92	▲0.02	C	11.52
29位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.70	3.64	+0.05	2.78	2.84	▲0.06	C	11.92
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.52	3.52	▲0.01	2.92	2.95	▲0.03	C	10.82
31位	4	平日の渋滞解消	3.45	3.41	+0.04	2.97	3.04	▲0.07	B	10.45
32位	3	休日の渋滞解消	3.45	3.39	+0.06	2.89	2.93	▲0.04	C	10.73
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.06	3.00	+0.06	2.87	2.87	▲0.00	C	9.57
[地域1 (北部)] 項目全体の平均			3.97	3.96	+0.01	2.96	2.99	▲0.03	-	12.06

(注)集計結果は重要度が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数点第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

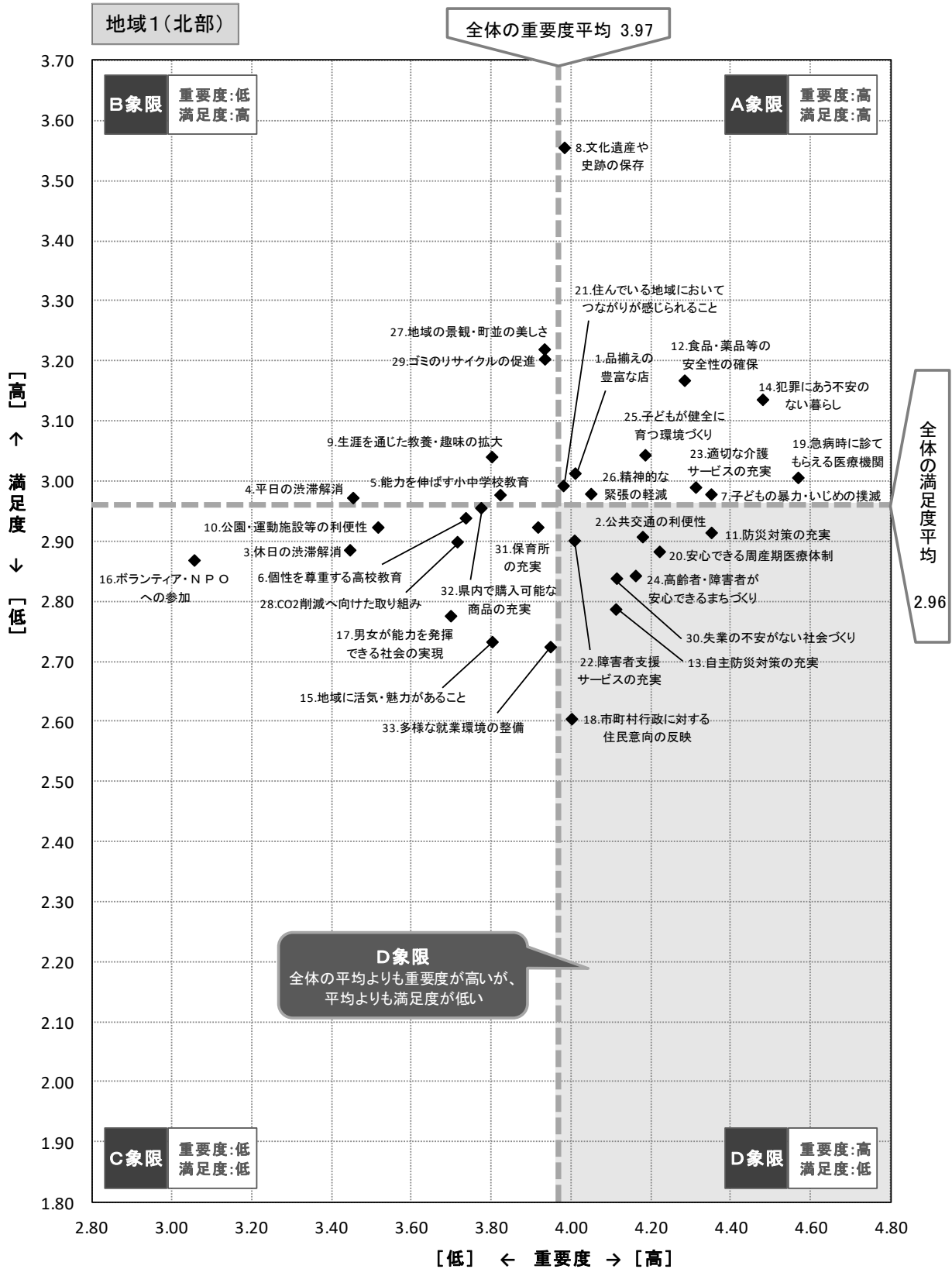
網掛けは、重要度では平成30年度の点数が29年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成30年度の点数が29年度に

比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

#### ■地域別 (地域1 (北部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「23. 適切な介護サービスの充実」、「12. 食品・薬品等の安全性の確保」、「20. 安心できる周産期医療体制」など33項目中21項目となっています。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域1（北部））



■地域別（地域1（北部））

『地域1（北部）』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」、「11. 防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

## (2) 地域2 (西部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成30年度調査の重要度の高い順> (地域2 (西部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限 H30	ニーズ得点 H30
			H30①	H29②	①-②	H30①	H29②	①-②		
1位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.57	4.49	+0.09	3.27	3.30	▲0.03	A	12.50
2位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.56	+0.01	3.14	2.95	+0.19	A	13.06
3位	11	防災対策の充実	4.48	4.40	+0.07	3.03	3.08	▲0.05	A	13.29
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.46	4.39	+0.07	3.02	3.05	▲0.03	D	13.28
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.36	4.23	+0.13	3.29	3.26	+0.03	A	11.83
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.33	4.25	+0.08	3.05	3.02	+0.02	A	12.78
7位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.28	4.11	+0.18	3.05	3.11	▲0.06	A	12.65
8位	2	公共交通の利便性	4.21	4.19	+0.02	3.02	3.10	▲0.08	D	12.57
9位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.21	4.11	+0.09	2.91	2.93	▲0.02	D	13.01
10位	13	自主防災対策の充実	4.19	4.16	+0.02	2.86	2.94	▲0.08	D	13.15
11位	26	精神的な緊張の軽減	4.16	4.04	+0.13	3.03	3.08	▲0.05	A	12.39
12位	30	失業の不安がない社会づくり	4.15	4.14	+0.02	2.90	2.86	+0.04	D	12.88
13位	20	安心できる周産期医療体制	4.15	4.22	▲0.07	2.90	2.84	+0.06	D	12.86
14位	22	障害者支援サービスの充実	4.07	3.99	+0.08	2.97	2.92	+0.05	D	12.34
15位	33	多様な就業環境の整備	4.00	3.91	+0.08	2.79	2.69	+0.10	C	12.82
16位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.99	3.90	+0.09	3.00	3.05	▲0.05	C	11.96
17位	31	保育所の充実	3.99	3.93	+0.06	3.04	2.96	+0.07	B	11.81
18位	1	品揃えの豊富な店	3.98	3.98	+0.00	3.20	3.14	+0.05	B	11.17
19位	8	文化遺産や史跡の保存	3.98	4.07	▲0.09	3.51	3.66	▲0.15	B	9.91
20位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	3.98	3.93	+0.04	2.62	2.63	▲0.00	C	13.42
21位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.97	4.03	▲0.06	3.26	3.21	+0.06	B	10.86
22位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.96	3.86	+0.10	3.28	3.41	▲0.14	B	10.80
23位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.89	3.75	+0.14	2.98	3.07	▲0.09	C	11.77
24位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.84	3.86	▲0.02	3.04	3.03	+0.02	B	11.36
25位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.77	3.79	▲0.02	3.15	3.15	+0.00	B	10.73
26位	6	個性を尊重する高校教育	3.75	3.64	+0.11	2.97	3.05	▲0.08	C	11.36
27位	15	地域に活気・魅力があること	3.73	3.77	▲0.04	2.76	2.83	▲0.07	C	12.08
28位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.71	3.74	▲0.02	2.92	2.92	+0.01	C	11.42
29位	17	男女が能力を發揮できる社会の実現	3.69	3.59	+0.10	2.84	2.90	▲0.06	C	11.64
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.55	3.56	▲0.01	3.03	3.11	▲0.08	B	10.55
31位	4	平日の渋滞解消	3.48	3.27	+0.21	3.06	3.08	▲0.02	B	10.22
32位	3	休日の渋滞解消	3.46	3.29	+0.17	2.99	2.99	▲0.00	C	10.41
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.98	3.08	▲0.10	2.88	2.96	▲0.08	C	9.30
[地域2 (西部)] 項目全体の平均			4.00	3.95	+0.05	3.02	3.04	▲0.02	-	11.88

(注)集計結果は重要度が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数点第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

網掛けは、重要度では平成30年度の点数が29年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成30年度の点数が29年度に

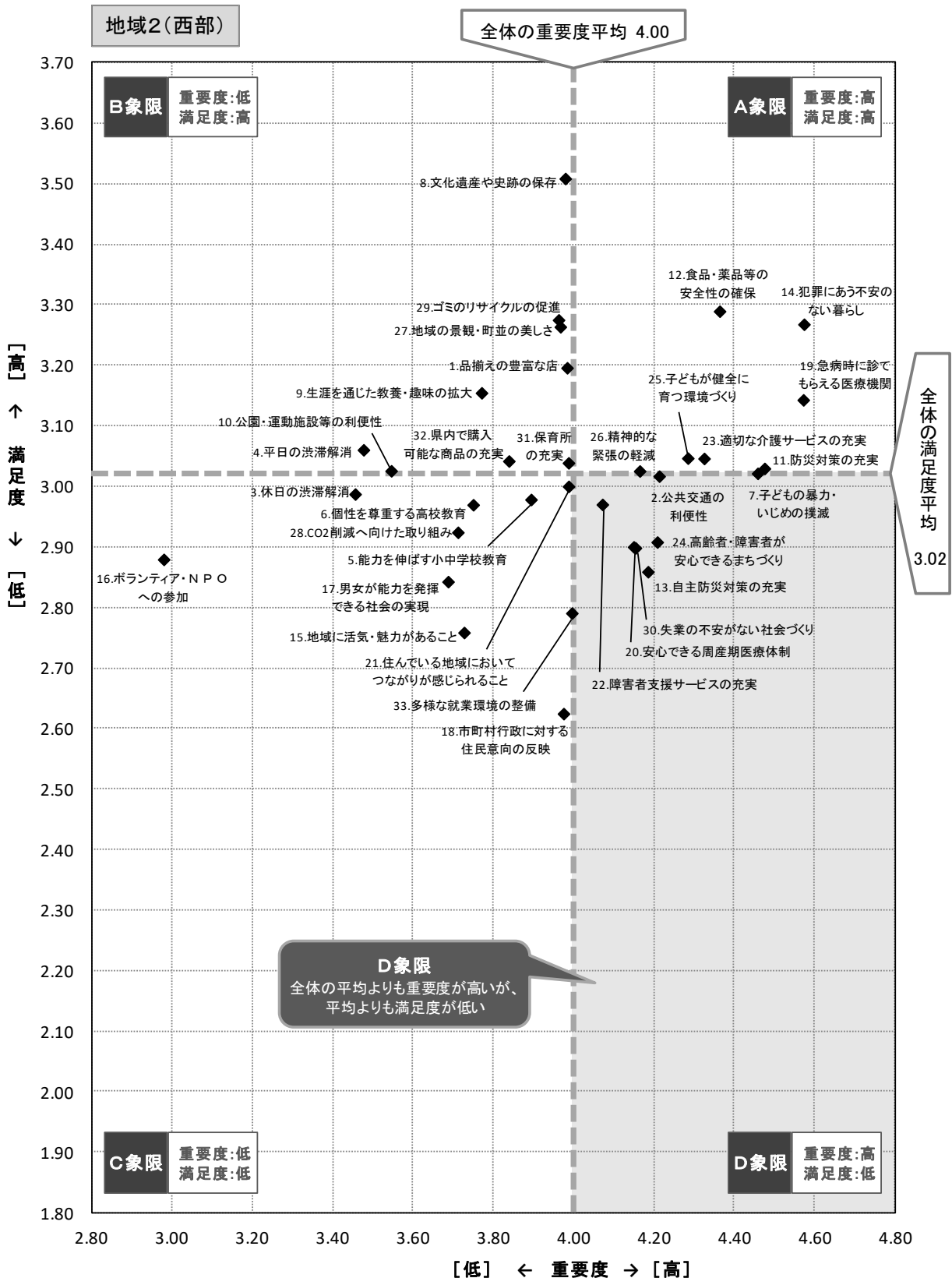
比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

### ■地域別 (地域2 (西部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「14. 犯罪にあう不安のない暮らし」、「11. 防災対策の充実」、「7. 子どもの暴力・いじめの撲滅」など33項目中16項目となっています。



図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域2（西部））



■地域別（地域2（西部））

『地域2（西部）』においては、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」、「11. 防災対策の充実」、「7. 子どもの暴力・いじめの撲滅」などのニーズ得点が高くなっています。

### (3) 地域3 (中部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成30年度調査の重要度の高い順> (地域3 (中部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限 H30	ニーズ得点 H30
			H30①	H29②	①-②	H30①	H29②	①-②		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.50	4.57	▲0.07	3.10	2.99	+0.11	A	13.05
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.47	4.52	▲0.05	3.12	3.16	▲0.03	A	12.87
3位	11	防災対策の充実	4.38	4.35	+0.03	2.98	2.97	+0.01	D	<b>13.23</b>
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.37	4.43	▲0.06	3.03	2.98	+0.05	A	12.97
5位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.25	4.27	▲0.01	3.25	3.26	▲0.00	A	11.68
6位	23	適切な介護サービスの充実	4.23	4.31	▲0.08	2.99	3.00	▲0.01	D	12.74
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.18	4.26	▲0.08	2.92	2.88	+0.05	D	12.86
8位	30	失業の不安がない社会づくり	4.14	4.18	▲0.03	2.87	2.83	+0.04	D	12.97
9位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.14	4.20	▲0.07	3.03	3.02	+0.01	A	12.28
10位	13	自主防災対策の充実	4.13	4.15	▲0.02	2.84	2.80	+0.04	D	<b>13.06</b>
11位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.10	4.17	▲0.07	2.88	2.88	▲0.00	D	12.82
12位	2	公共交通の利便性	4.08	4.07	+0.02	3.06	3.07	▲0.01	A	12.00
13位	26	精神的な緊張の軽減	4.01	4.06	▲0.06	2.96	2.97	▲0.00	D	12.17
14位	22	障害者支援サービスの充実	3.97	4.05	▲0.09	2.89	2.92	▲0.03	D	12.33
15位	8	文化遺産や史跡の保存	3.96	3.97	▲0.01	3.49	3.54	▲0.05	A	9.93
16位	1	品揃えの豊富な店	3.93	4.03	▲0.09	3.37	3.41	▲0.04	A	10.35
17位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	3.93	3.96	▲0.03	2.97	3.03	▲0.06	D	11.93
18位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	3.91	4.00	▲0.09	2.60	2.62	▲0.02	C	<b>13.28</b>
19位	33	多様な就業環境の整備	3.91	3.99	▲0.08	2.77	2.73	+0.04	C	12.64
20位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.90	3.84	+0.06	3.32	3.23	+0.09	B	10.46
21位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.89	3.86	+0.02	3.16	3.17	▲0.01	B	11.03
22位	31	保育所の充実	3.86	3.90	▲0.04	2.98	2.99	▲0.01	C	11.67
23位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.81	3.82	▲0.00	3.12	3.09	+0.03	B	10.99
24位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.73	3.84	▲0.10	2.97	2.99	▲0.01	C	11.30
25位	15	地域に活気・魅力があること	3.72	3.76	▲0.04	2.79	2.80	▲0.00	C	11.94
26位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.72	3.76	▲0.04	3.11	3.04	+0.07	B	10.74
27位	6	個性を尊重する高校教育	3.67	3.74	▲0.07	2.96	2.93	+0.03	C	11.16
28位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.67	3.64	+0.03	2.86	2.84	+0.03	C	11.50
29位	17	男女が能力を發揮できる社会の実現	3.57	3.67	▲0.10	2.82	2.85	▲0.03	C	11.36
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.54	3.53	+0.02	3.06	3.01	+0.05	B	10.41
31位	3	休日の渋滞解消	3.45	3.47	▲0.02	3.03	2.94	+0.09	B	10.24
32位	4	平日の渋滞解消	3.42	3.45	▲0.03	3.14	3.05	+0.09	B	9.79
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.04	3.02	+0.02	2.85	2.86	▲0.01	C	9.58
[地域3 (中部)] の項目全体の平均			3.93	3.97	▲0.04	3.01	2.99	+0.02	-	11.74

(注)集計結果は重要度が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数点第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

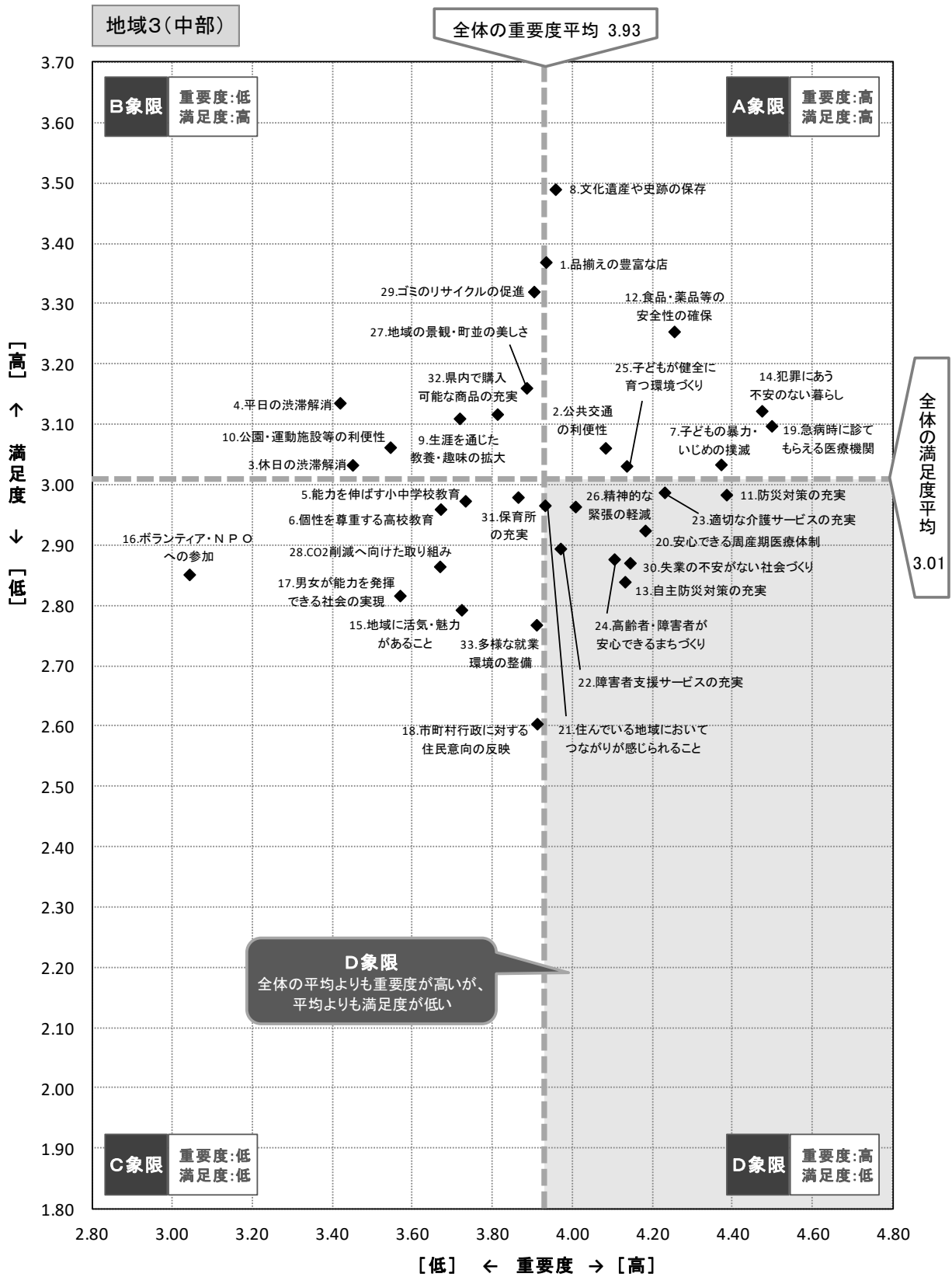
網掛けは、重要度では平成30年度の点数が29年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成30年度の点数が29年度に

比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

#### ■地域別 (地域3 (中部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「2. 公共交通の利便性」、「27. 地域の景観・町並の美しさ」、「16. ボランティア・NPOへの参加」で、33項目中3項目となっています。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域3（中部））



■地域別（地域3（中部））

『地域3（中部）』においては、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」、「11. 防災対策の充実」、「13. 自主防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

#### (4) 地域4 (東部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成30年度調査の重要度の高い順> (地域4 (東部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限 H30	ニーズ得点 H30
			H30①	H29②	①-②	H30①	H29②	①-②		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.66	4.57	+0.09	2.79	2.67	+0.12	D	<b>14.95</b>
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.53	4.48	+0.05	3.13	3.15	▲0.02	A	12.98
3位	11	防災対策の充実	4.43	4.45	▲0.02	2.71	2.70	+0.01	D	<b>14.58</b>
4位	23	適切な介護サービスの充実	4.40	4.29	+0.12	2.84	2.82	+0.02	D	13.91
5位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.38	4.49	▲0.11	2.90	2.90	▲0.00	A	13.58
6位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.27	4.32	▲0.05	3.01	2.96	+0.05	A	12.79
7位	13	自主防災対策の充実	4.26	4.19	+0.08	2.61	2.71	▲0.10	D	14.45
8位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.25	4.17	+0.08	2.70	2.61	+0.09	D	14.03
9位	30	失業の不安がない社会づくり	4.21	4.24	▲0.03	2.75	2.58	+0.17	D	13.69
10位	20	安心できる周産期医療体制	4.19	4.23	▲0.05	2.54	2.56	▲0.02	D	14.49
11位	2	公共交通の利便性	4.14	4.15	▲0.01	2.43	2.30	+0.13	D	<b>14.79</b>
12位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.13	4.21	▲0.08	2.99	2.85	+0.14	A	12.42
13位	22	障害者支援サービスの充実	4.11	4.02	+0.09	2.82	2.77	+0.04	D	13.08
14位	26	精神的な緊張の軽減	4.07	4.04	+0.03	2.96	2.84	+0.12	A	12.38
15位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	4.07	4.06	+0.02	3.03	2.88	+0.15	A	12.10
16位	1	品揃えの豊富な店	4.04	3.97	+0.07	2.51	2.58	▲0.07	D	14.12
17位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.02	3.99	+0.03	2.39	2.41	▲0.02	D	14.52
18位	8	文化遺産や史跡の保存	3.99	4.06	▲0.06	3.43	3.39	+0.04	A	10.28
19位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.97	3.90	+0.07	3.28	3.15	+0.13	B	10.80
20位	33	多様な就業環境の整備	3.93	4.02	▲0.09	2.59	2.41	+0.18	C	13.41
21位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.91	3.89	+0.01	2.85	2.79	+0.06	B	12.29
22位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.89	3.90	▲0.01	3.17	3.16	+0.01	B	11.03
23位	15	地域に活気・魅力があること	3.86	3.86	▲0.00	2.45	2.43	+0.03	C	13.68
24位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.78	3.67	+0.12	2.71	2.65	+0.06	C	12.44
25位	31	保育所の充実	3.78	3.85	▲0.07	3.22	3.05	+0.17	B	10.50
26位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.77	3.84	▲0.07	2.92	2.82	+0.09	B	11.63
27位	6	個性を尊重する高校教育	3.76	3.78	▲0.02	2.80	2.83	▲0.03	C	12.04
28位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.75	3.76	▲0.00	2.83	2.79	+0.03	C	11.91
29位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.69	3.65	+0.03	2.83	2.79	+0.04	C	11.68
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.49	3.40	+0.08	2.77	2.73	+0.03	C	11.28
31位	4	平日の渋滞解消	3.36	3.23	+0.12	3.22	3.22	+0.00	B	9.33
32位	3	休日の渋滞解消	3.32	3.16	+0.16	3.12	3.10	+0.03	B	9.55
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.01	3.11	▲0.11	2.77	2.67	+0.10	C	9.71
[地域4 (東部)] 項目全体の平均			3.98	3.97	+0.02	2.85	2.80	+0.05	-	12.56

(注)集計結果は重要度が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数点第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

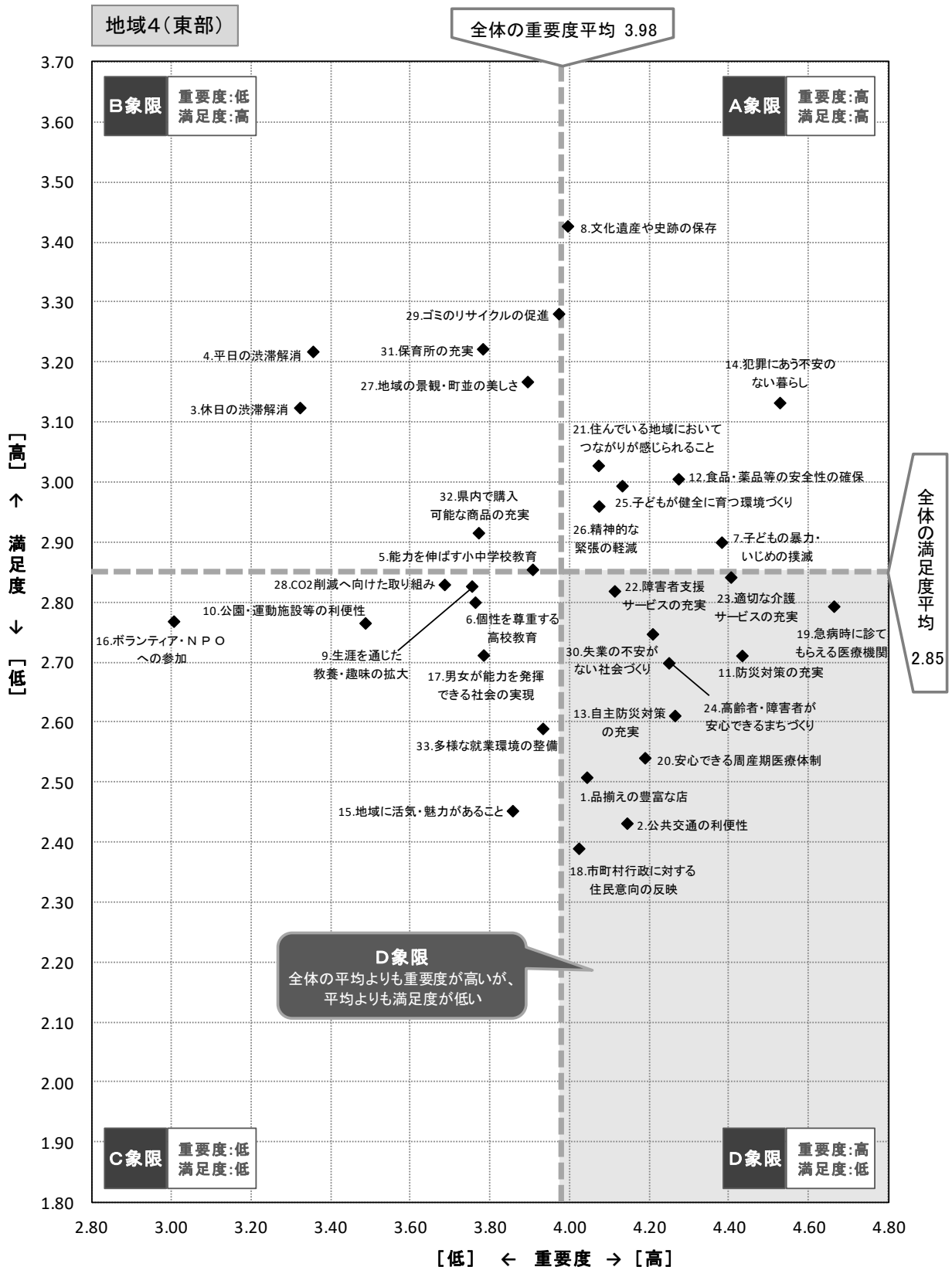
網掛けは、重要度では平成30年度の点数が29年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成30年度の点数が29年度に

比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

#### ■地域別 (地域4 (東部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「14. 犯罪にあう不安のない暮らし」、「13. 自主防災対策の充実」、「1. 品揃えの豊富な店」、「18. 市町村行政に対する住民意向の反映」で、33項目中4項目となっています。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域4（東部））



■地域別（地域4（東部））

『地域4（東部）』においては、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」、「2. 公共交通の利便性」、「11. 防災対策の充実」などのニーズ得点が高くなっています。

## (5) 地域5 (南東部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成30年度調査の重要度の高い順> (地域5 (南東部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限 H30	ニーズ得点 H30
			H30①	H29②	①-②	H30①	H29②	①-②		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.65	4.66	▲0.01	2.73	2.75	▲0.01	D	15.21
2位	23	適切な介護サービスの充実	4.45	4.35	+0.10	2.91	2.93	▲0.02	A	13.74
3位	11	防災対策の充実	4.41	4.48	▲0.07	2.74	2.75	▲0.01	D	14.36
4位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.37	4.38	▲0.00	3.30	3.25	+0.06	A	11.79
5位	20	安心できる周産期医療体制	4.29	4.40	▲0.11	2.21	2.25	▲0.03	D	16.26
6位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.27	4.41	▲0.14	3.19	3.09	+0.10	A	11.99
7位	30	失業の不安がない社会づくり	4.23	4.23	+0.00	2.59	2.69	▲0.10	D	14.44
8位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.21	4.27	▲0.06	2.84	2.96	▲0.13	A	13.33
9位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.21	4.11	+0.10	3.10	3.03	+0.07	A	12.19
10位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.18	4.20	▲0.03	2.61	2.65	▲0.03	D	14.15
11位	13	自主防災対策の充実	4.17	4.26	▲0.09	2.73	2.81	▲0.08	D	13.66
12位	22	障害者支援サービスの充実	4.15	4.21	▲0.06	2.69	2.80	▲0.11	D	13.73
13位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	4.13	4.17	▲0.04	3.05	3.19	▲0.13	A	12.18
14位	29	ゴミのリサイクルの促進	4.09	3.94	+0.16	3.37	3.36	+0.02	A	10.75
15位	26	精神的な緊張の軽減	4.08	3.93	+0.15	2.91	3.04	▲0.13	A	12.60
16位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.05	3.99	+0.07	2.48	2.63	▲0.16	D	14.28
17位	33	多様な就業環境の整備	4.01	3.99	+0.02	2.46	2.45	+0.01	D	14.20
18位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.94	3.94	▲0.00	3.28	3.30	▲0.01	B	10.70
19位	2	公共交通の利便性	3.93	3.94	▲0.01	2.09	1.93	+0.15	C	15.40
20位	32	県内で購入可能な商品の充実	3.89	3.83	+0.05	2.92	2.85	+0.07	B	11.95
21位	8	文化遺産や史跡の保存	3.88	3.99	▲0.11	3.44	3.43	+0.01	B	9.94
22位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.86	3.74	+0.13	2.85	2.90	▲0.05	B	12.18
23位	31	保育所の充実	3.85	3.84	+0.01	3.28	3.20	+0.08	B	10.48
24位	15	地域に活気・魅力があること	3.85	3.93	▲0.08	2.39	2.41	▲0.03	C	13.91
25位	5	能力を伸ばす小中学校教育	3.82	3.90	▲0.09	2.90	2.83	+0.08	B	11.81
26位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.77	3.77	+0.00	2.93	2.92	+0.02	B	11.58
27位	1	品揃えの豊富な店	3.76	3.93	▲0.17	2.21	2.10	+0.11	C	14.27
28位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	3.76	3.67	+0.09	2.59	2.75	▲0.16	C	12.84
29位	6	個性を尊重する高校教育	3.65	3.79	▲0.14	2.75	2.83	▲0.07	C	11.86
30位	10	公園・運動施設等の利便性	3.46	3.53	▲0.07	2.88	2.86	+0.01	B	10.81
31位	4	平日の渋滞解消	3.27	3.28	▲0.01	3.25	3.16	+0.08	B	8.99
32位	3	休日の渋滞解消	3.20	3.20	▲0.00	3.15	3.15	▲0.00	B	9.11
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.08	3.14	▲0.06	2.66	2.72	▲0.05	C	10.26
[地域5 (南東部)] 項目全体の平均			3.97	3.98	▲0.01	2.83	2.85	▲0.01	-	12.57

(注)集計結果は重要度が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数点第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

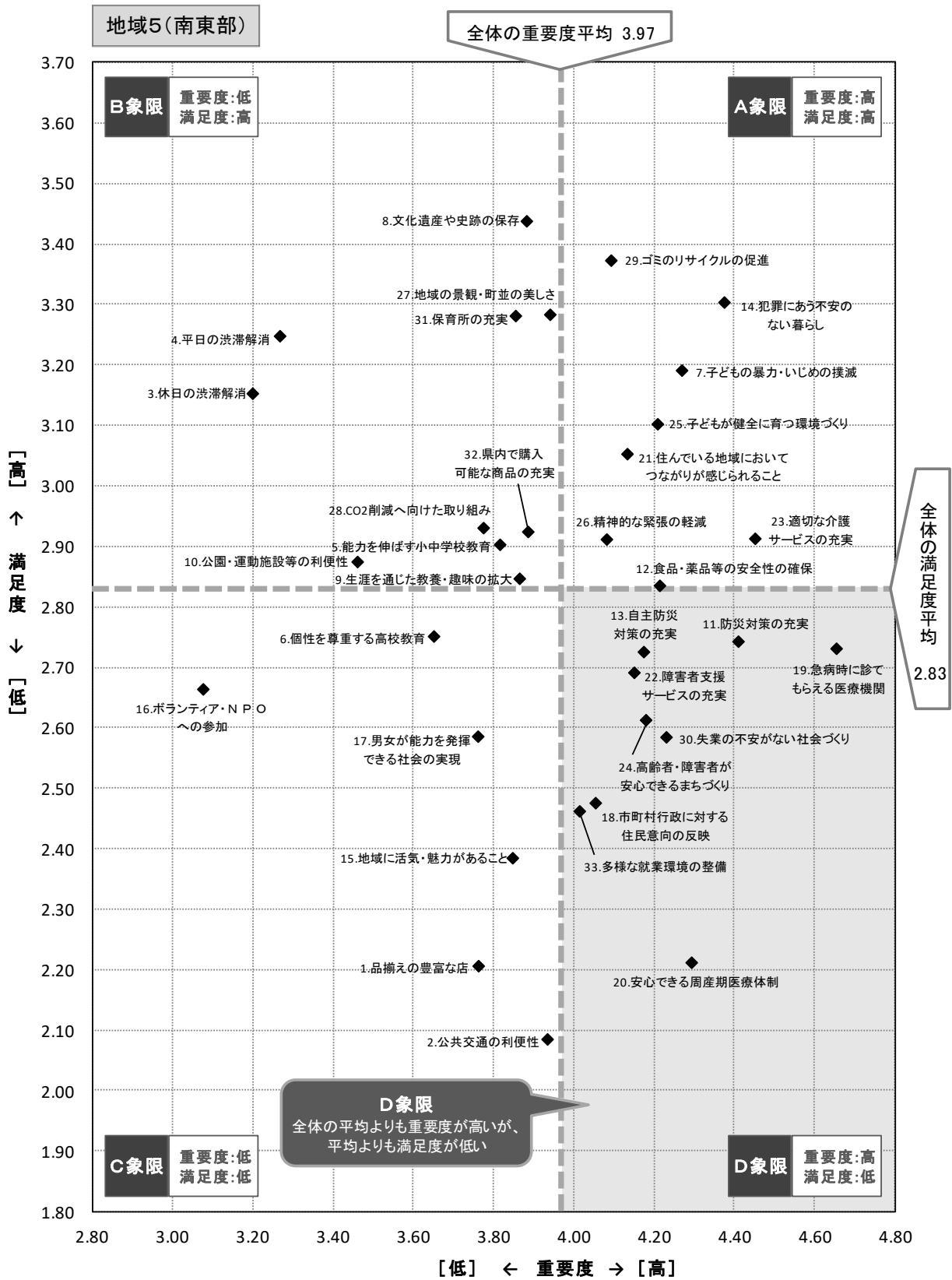
網掛けは、重要度では平成30年度の点数が29年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成30年度の点数が29年度に

比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

### ■地域別 (地域5 (南東部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「23. 適切な介護サービスの充実」、「30. 失業の不安がない社会づくり」、「26. 精神的な緊張の軽減」など33項目中6項目となっています。

図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域5（南東部））



■地域別（地域5（南東部））

『地域5（南東部）』においては、「20. 安心できる周産期医療体制」、「2. 公共交通の利便性」、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」などのニーズ得点が高くなっています。

## (6) 地域6 (南西部)

図表 重要度と満足度の経年比較<平成30年度調査の重要度の高い順> (地域6 (南西部))

順位	項目番号	項目の略称	重要度			満足度			象限 H30	ニーズ得点 H30
			H30①	H29②	①-②	H30①	H29②	①-②		
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.66	4.65	+0.01	2.92	2.77	+0.14	A	14.35
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.49	4.38	+0.11	3.08	3.21	▲0.12	A	13.10
3位	20	安心できる周産期医療体制	4.48	4.19	+0.28	2.05	2.29	▲0.24	D	17.68
4位	11	防災対策の充実	4.40	4.36	+0.04	2.68	2.76	▲0.08	D	14.60
5位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.38	4.47	▲0.09	3.27	2.94	+0.33	A	11.94
6位	30	失業の不安がない社会づくり	4.37	4.19	+0.17	2.60	2.69	▲0.09	D	14.86
7位	23	適切な介護サービスの充実	4.34	4.26	+0.08	2.80	2.88	▲0.08	A	13.90
8位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.30	4.11	+0.19	2.88	2.90	▲0.02	A	13.42
9位	13	自主防災対策の充実	4.26	4.11	+0.15	2.68	2.64	+0.04	D	14.16
10位	21	住んでいる地域においてつながりが感じられること	4.22	4.04	+0.17	3.07	3.14	▲0.07	A	12.37
11位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.19	4.11	+0.08	2.47	2.62	▲0.15	D	14.76
12位	33	多様な就業環境の整備	4.18	4.07	+0.11	2.48	2.47	+0.01	D	14.72
13位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.18	4.27	▲0.08	3.03	3.18	▲0.15	A	12.41
14位	22	障害者支援サービスの充実	4.13	4.00	+0.13	2.58	2.75	▲0.17	D	14.10
15位	29	ゴミのリサイクルの促進	4.08	3.84	+0.24	3.27	3.15	+0.12	A	11.15
16位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	4.05	3.99	+0.06	2.43	2.52	▲0.09	D	14.44
17位	31	保育所の充実	4.05	3.71	+0.34	3.19	3.32	▲0.13	A	11.39
18位	5	能力を伸ばす小中学校教育	4.05	3.76	+0.28	2.87	2.80	+0.07	A	12.67
19位	15	地域に活気・魅力があること	4.03	3.90	+0.13	2.25	2.36	▲0.11	C	15.10
20位	32	県内で購入可能な商品の充実	4.03	3.82	+0.21	2.77	2.76	+0.00	C	13.03
21位	26	精神的な緊張の軽減	4.02	3.99	+0.03	2.98	2.79	+0.19	B	12.11
22位	27	地域の景観・町並の美しさ	4.02	3.79	+0.22	3.20	3.22	▲0.02	B	11.24
23位	28	CO2削減へ向けた取り組み	3.98	3.72	+0.26	2.88	2.99	▲0.10	B	12.42
24位	6	個性を尊重する高校教育	3.97	3.65	+0.32	2.89	2.81	+0.08	B	12.35
25位	17	男女が能力を發揮できる社会の実現	3.95	3.70	+0.25	2.54	2.62	▲0.08	C	13.66
26位	1	品揃えの豊富な店	3.90	3.88	+0.02	2.23	2.18	+0.05	C	14.70
27位	8	文化遺産や史跡の保存	3.88	3.83	+0.04	3.37	3.35	+0.02	B	10.22
28位	2	公共交通の利便性	3.79	3.93	▲0.14	1.97	1.85	+0.12	C	15.28
29位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.68	3.86	▲0.18	2.81	2.80	+0.01	B	11.76
30位	4	平日の渋滞解消	3.44	3.21	+0.23	3.19	3.01	+0.17	B	9.67
31位	10	公園・運動施設等の利便性	3.38	3.48	▲0.10	2.75	2.83	▲0.08	C	10.99
32位	3	休日の渋滞解消	3.36	3.18	+0.18	3.05	2.90	+0.15	B	9.92
33位	16	ボランティア・NPOへの参加	3.19	3.14	+0.05	2.63	2.73	▲0.10	C	10.77
[地域6 (南西部)] 項目全体の平均			4.04	3.93	+0.12	2.78	2.80	▲0.01	-	13.01

(注)集計結果は重要度が高い項目順に並べている。

点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数点第3位以下も考慮し決定している。象限のA～Dの記号の対応は、53ページ参照。

網掛けは、重要度では平成30年度の点数が29年度に比べて上昇したことを示し、満足度では平成30年度の点数が29年度に

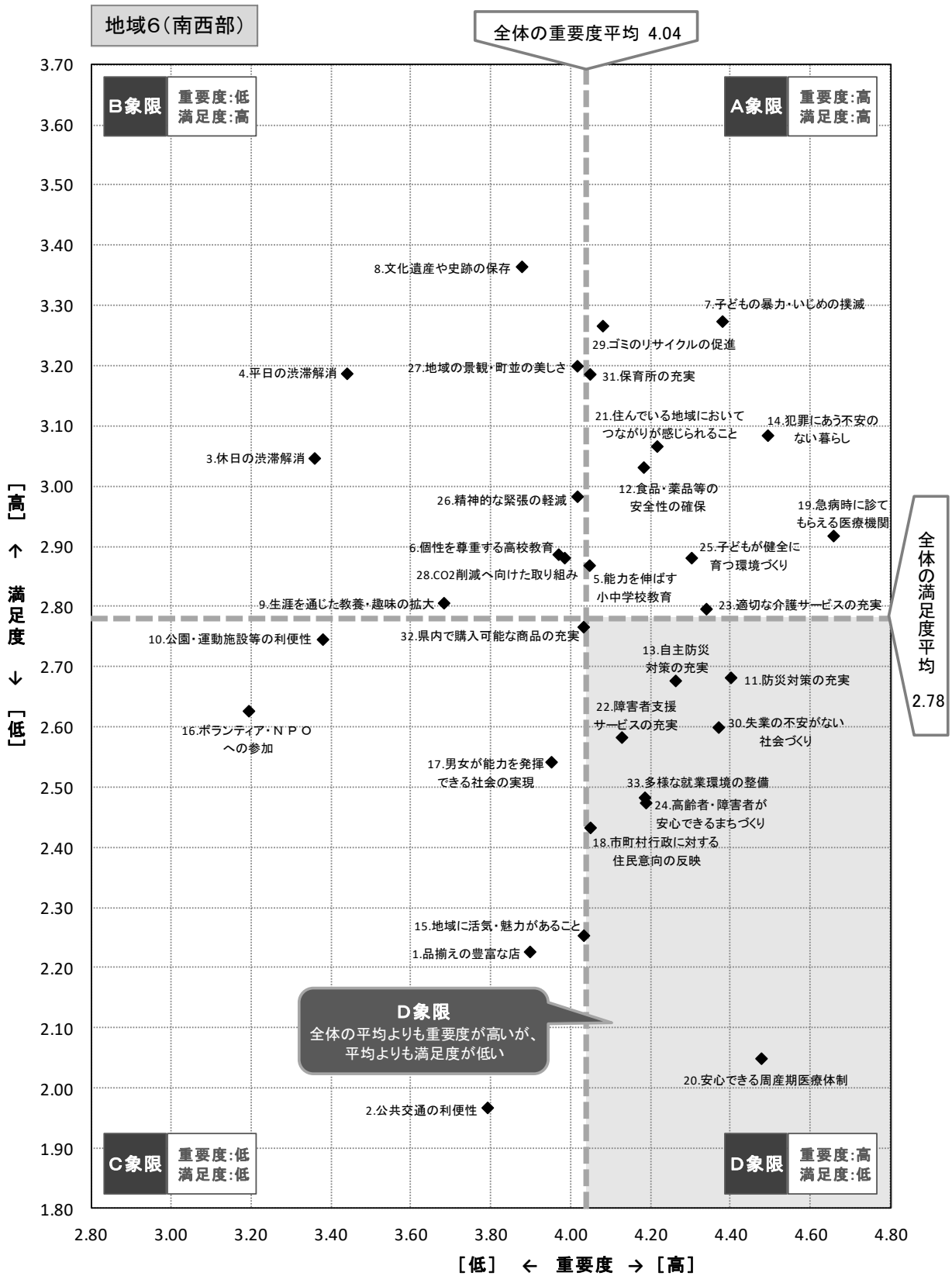
比べて低下したことを示している。ニーズ得点の太字は、ニーズ得点が高い上位3項目を示している。

### ■地域別 (地域6 (南西部))

重要度が上昇したにも関わらず満足度が低下した項目は、「14. 犯罪にあう不安のない暮らし」、「20. 安心できる周産期医療体制」、「11. 防災対策の充実」など33項目中16項目となっています。



図表 今回調査の重要度と満足度の関係図（地域6（南西部））



■地域別（地域6（南西部））

『地域6（南西部）』においては、「20. 安心できる周産期医療体制」、「2. 公共交通の利便性」、「15. 地域に活気・魅力があること」などのニーズ得点が高くなっています。

## 2-4 県全体と属性別の重要度・満足度の傾向の比較

### (1) 地域別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位 10 項目及び地域別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度						
			県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.57	4.57	4.50	4.66	4.65	4.66
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.48	4.48	4.57	4.47	4.53	4.37	4.49
3位	11	防災対策の充実	4.38	4.35	4.48	4.38	4.43	4.41	4.40
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.36	4.35	4.46	4.37	4.38	4.27	4.38
5位	23	適切な介護サービスの充実	4.31	4.31	4.33	4.23	4.40	4.45	4.34
6位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	4.28	4.36	4.25	4.27	4.21	4.18
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.21	4.22	4.15	4.18	4.19	4.29	4.48
8位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.18	4.18	4.28	4.14	4.13	4.21	4.30
9位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.16	4.16	4.21	4.10	4.25	4.18	4.19
10位	30	失業の不安がない社会づくり	4.15	4.11	4.15	4.14	4.21	4.23	4.37

(注) 網掛けは、地域別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。

比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛けしていることがある。

#### ■ 県全体の重要度との比較（地域別）

『県全体』の重要度上位 10 項目を地域別にみると、『地域 2 (西部)』、『地域 6 (南西部)』では『県全体』と比べ重要度が高い項目が多くなっています。一方、『地域 3 (中部)』では少なくなっています。

図表 地域別の重要度上位 5 項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.48	11 防災対策の充実 4.38	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.36	23 適切な介護サービスの充実 4.31
地域1 (北部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.48	11 防災対策の充実 4.35	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.35	23 適切な介護サービスの充実 4.31
地域2 (西部)	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.57	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	11 防災対策の充実 4.48	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.46	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.36
地域3 (中部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.50	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.47	11 防災対策の充実 4.38	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.37	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.25
地域4 (東部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.66	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.53	11 防災対策の充実 4.43	23 適切な介護サービスの充実 4.40	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.38
地域5 (南東部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.65	23 適切な介護サービスの充実 4.45	11 防災対策の充実 4.41	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.37	20 安心できる周産期医療体制 4.29
地域6 (南西部)	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.66	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.49	20 安心できる周産期医療体制 4.48	11 防災対策の充実 4.40	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.38

(注) 網掛けは、地域別にはあるが「県全体」の上位 5 項目にはない項目。

点数表記は小数点第 2 位までだが、順位は小数第 3 位以下も考慮し決定している。

#### ■ 重要度上位 5 項目の傾向（地域別）

地域別の重要度上位 5 項目で、個別の地域にあるが『県全体』にはない項目は、「12. 食品・薬品等の安全性の確保」（地域 2 (西部)、地域 3 (中部)）、「20. 安心できる周産期医療体制」（地域 6 (南西部)、地域 5 (南東部)）となっています。

図表 県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及び地域別での比較

順位	項目番号	項目の略称	満足度						
			県全体	地域1 (北部)	地域2 (西部)	地域3 (中部)	地域4 (東部)	地域5 (南東部)	地域6 (南西部)
1位	8	文化遺産や史跡の保存	3.51	3.56	3.51	3.49	3.43	3.44	3.37
2位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.26	3.20	3.28	3.32	3.28	3.37	3.27
3位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.21	3.22	3.26	3.16	3.17	3.28	3.20
4位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.16	3.17	3.29	3.25	3.01	2.84	3.03
5位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.16	3.14	3.27	3.12	3.13	3.30	3.08
6位	4	平日の渋滞解消	3.06	2.97	3.06	3.14	3.22	3.25	3.19
7位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	3.04	3.04	3.05	3.03	2.99	3.10	2.88
8位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	3.04	3.15	3.11	2.83	2.85	2.81
9位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	3.01	2.98	3.02	3.03	2.90	3.19	3.27
10位	19	急病時に診てもらえる医療機関	3.01	3.01	3.14	3.10	2.79	2.73	2.92
⋮	⋮	⋮							
24位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.87	2.88	2.85	2.77	2.66	2.63
25位	2	公共交通の利便性	2.84	2.91	3.02	3.06	2.43	2.09	1.97
26位	30	失業の不安がない社会づくり	2.82	2.84	2.90	2.87	2.75	2.59	2.60
27位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.82	2.84	2.91	2.88	2.70	2.61	2.47
28位	20	安心できる周産期医療体制	2.80	2.88	2.90	2.92	2.54	2.21	2.05
29位	13	自主防災対策の充実	2.79	2.79	2.86	2.84	2.61	2.73	2.68
30位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.77	2.78	2.84	2.82	2.71	2.59	2.54
31位	33	多様な就業環境の整備	2.71	2.72	2.79	2.77	2.59	2.46	2.48
32位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.73	2.76	2.79	2.45	2.39	2.25
33位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.58	2.60	2.62	2.60	2.39	2.48	2.43

(注) 網掛け・白抜きは、地域別での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。

比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛け・白抜きしていることがある。

### ■満足度上位 10 項目・下位 10 項目の傾向（地域別）

『県全体』の満足度の上位 10 項目について地域別でみると、『地域 2 (西部)』では『県全体』を下回る項目が少ないのに比べ、『地域 4 (東部)』では上位 10 項目中 8 項目、『地域 6 (南西部)』では上位 10 項目中 7 項目で『県全体』を下回っています。

また、下位 10 項目については、『地域 1 (北部)』、『地域 2 (西部)』、『地域 3 (中部)』では 10 項目すべてで『県全体』を上回っていますが、他の 3 地域では 10 項目すべてで『県全体』を下回っています。

図表 地域別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存 3.51	29 ゴミのリサイクルの促進 3.26	27 地域の景観・町並の美しさ 3.21	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.16	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.16
地域1 (北部)	8 文化遺産や史跡の保存 3.56	27 地域の景観・町並の美しさ 3.22	29 ゴミのリサイクルの促進 3.20	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.17	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.14
地域2 (西部)	8 文化遺産や史跡の保存 3.51	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.29	29 ゴミのリサイクルの促進 3.28	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.27	27 地域の景観・町並の美しさ 3.26
地域3 (中部)	8 文化遺産や史跡の保存 3.49	1 品揃えの豊富な店 3.37	29 ゴミのリサイクルの促進 3.32	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.25	27 地域の景観・町並の美しさ 3.16
地域4 (東部)	8 文化遺産や史跡の保存 3.43	29 ゴミのリサイクルの促進 3.28	31 保育所の充実 3.22	4 平日の渋滞解消 3.22	27 地域の景観・町並の美しさ 3.17
地域5 (南東部)	8 文化遺産や史跡の保存 3.44	29 ゴミのリサイクルの促進 3.37	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.30	27 地域の景観・町並の美しさ 3.28	31 保育所の充実 3.28
地域6 (南西部)	8 文化遺産や史跡の保存 3.37	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 3.27	29 ゴミのリサイクルの促進 3.27	27 地域の景観・町並の美しさ 3.20	4 平日の渋滞解消 3.19

(注) 網掛けは、地域別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
 点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 地域別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.58	15 地域に活気・魅力があること 2.69	33 多様な就業環境の整備 2.71	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.77	13 自主防災対策の充実 2.79
地域1 (北部)	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.60	33 多様な就業環境の整備 2.72	15 地域に活気・魅力があること 2.73	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.78	13 自主防災対策の充実 2.79
地域2 (西部)	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.62	15 地域に活気・魅力があること 2.76	33 多様な就業環境の整備 2.79	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.84	13 自主防災対策の充実 2.86
地域3 (中部)	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.60	33 多様な就業環境の整備 2.77	15 地域に活気・魅力があること 2.79	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.82	13 自主防災対策の充実 2.84
地域4 (東部)	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.39	2 公共交通の利便性 2.43	15 地域に活気・魅力があること 2.45	1 品揃えの豊富な店 2.51	20 安心できる周産期医療体制 2.54
地域5 (南東部)	2 公共交通の利便性 2.09	1 品揃えの豊富な店 2.21	20 安心できる周産期医療体制 2.21	15 地域に活気・魅力があること 2.39	33 多様な就業環境の整備 2.46
地域6 (南西部)	2 公共交通の利便性 1.97	20 安心できる周産期医療体制 2.05	1 品揃えの豊富な店 2.23	15 地域に活気・魅力があること 2.25	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.43

(注) 網掛けは、地域別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。  
 点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目 (地域別)

地域別の満足度上位5項目で、個別の地域にあるが『県全体』にはない項目は、「31. 保育所の充実」(地域4 (東部)、地域5 (南東部))、「4. 平日の渋滞解消」(地域4 (東部)、地域6 (南西部))、「1. 品揃えの豊富な店」(地域3 (中部))、「7. 子どもの暴力・いじめの撲滅」(地域6 (南西部))となっています。

■満足度下位5項目 (地域別)

地域別の満足度下位5項目で、個別の地域にあるが『県全体』にはない項目は、「2. 公共交通の利便性」(地域5 (南東部)、地域6 (南西部)、地域4 (東部))、「1. 品揃えの豊富な店」(地域5 (南東部)、地域6 (南西部)、地域4 (東部))、「20. 安心できる周産期医療体制」(地域6 (南西部)、地域5 (南東部)、地域4 (東部))となっています。

## (2) ライフステージ別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位 10 項目及びライフステージ別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度							
			県全体	若者	夫婦	育児期	教育期前期	教育期後期	単身高齢者	高齢者夫婦
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.63	4.56	4.72	4.57	4.60	4.39	4.53
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.48	4.62	4.52	4.72	4.57	4.53	4.21	4.37
3位	11	防災対策の充実	4.38	4.46	4.38	4.53	4.44	4.45	4.21	4.32
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.36	4.39	4.30	4.75	4.65	4.45	4.16	4.33
5位	23	適切な介護サービスの充実	4.31	4.23	4.26	4.13	4.23	4.35	4.26	4.40
6位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	4.48	4.31	4.39	4.29	4.30	4.11	4.24
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.21	4.49	4.22	4.54	4.26	4.18	4.05	4.15
8位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.18	4.27	4.07	4.54	4.35	4.25	4.12	4.18
9位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.16	4.17	4.13	4.04	4.14	4.21	4.17	4.19
10位	30	失業の不安がない社会づくり	4.15	4.49	4.24	4.25	4.21	4.25	3.87	3.98

(注) 網掛けは、ライフステージ別の重要度が「県全体」よりも高いことを示している。

比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛けしていることがある。

### ■県全体の重要度との比較（ライフステージ別）

『県全体』の重要度上位 10 項目をライフステージ別にみると、『若者』、『教育期後期』、『育児期』では『県全体』と比べ重要度が高い項目が多くなっています。一方、『単身高齢者』、『高齢者夫婦』では少なくなっています。

図表 ライフステージ別の重要度上位 5 項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.48	11 防災対策の充実 4.38	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.36	23 適切な介護サービスの充実 4.31
若者	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.63	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.62	20 安心できる周産期医療体制 4.49	30 失業の不安がない社会づくり 4.49	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.48
夫婦	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.56	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.52	11 防災対策の充実 4.38	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.31	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.30
育児期	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.75	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.72	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.72	20 安心できる周産期医療体制 4.54	25 子どもが健全に育つ環境づくり 4.54
教育期前期	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.65	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.57	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	11 防災対策の充実 4.44	25 子どもが健全に育つ環境づくり 4.35
教育期後期	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.60	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.53	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.45	11 防災対策の充実 4.45	23 適切な介護サービスの充実 4.35
単身高齢者	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.39	23 適切な介護サービスの充実 4.26	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.21	11 防災対策の充実 4.21	24 高齢者・障害者が安心できるまちづくり 4.17
高齢者夫婦	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.53	23 適切な介護サービスの充実 4.40	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.37	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.33	11 防災対策の充実 4.32

(注) 網掛けは、ライフステージ別にはあるが『県全体』の上位 5 項目にはない項目。

点数表記は小数第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

### ■重要度上位 5 項目の傾向（ライフステージ別）

ライフステージ別の重要度上位 5 項目で、個別のライフステージにあるが『県全体』にはない項目は、「20. 安心できる周産期医療体制」（若者、育児期）、「12. 食品・薬品等の安全性の確保」（夫婦、若者）、「25. 子どもが健全に育つ環境づくり」（育児期、教育期前期）、「30. 失業の不安がない社会づくり」（若者）、「24. 高齢者・障害者が安心できるまちづくり」（単身高齢者）となっています。

図表 県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及びライフステージ別での比較

順位	項目番号	項目の略称	満足度							
			県全体	若者	夫婦	育児期	教育期前期	教育期後期	単身高齢者	高齢者夫婦
1 位	8	文化遺産や史跡の保存	3.51	3.60	3.45	3.52	3.57	3.53	3.53	3.54
2 位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.26	3.22	3.19	3.04	3.08	3.20	3.47	3.50
3 位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.21	3.38	3.18	3.13	3.18	3.21	3.26	3.26
4 位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.16	3.39	3.09	3.19	3.25	3.08	3.08	3.15
5 位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.16	3.34	3.16	2.97	3.11	3.17	3.30	3.19
6 位	4	平日の渋滞解消	3.06	3.14	2.94	2.87	3.05	3.13	3.03	3.13
7 位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	3.04	3.15	2.91	3.04	3.11	3.03	3.04	3.07
8 位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	3.09	2.95	3.08	2.98	2.99	3.17	3.14
9 位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	3.01	2.96	2.90	3.02	3.17	3.04	3.03	3.11
10 位	19	急病時に診てもらえる医療機関	3.01	3.12	2.86	2.97	3.01	3.02	3.33	3.14
⋮	⋮	⋮								
24 位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.80	2.84	2.88	2.89	2.78	2.78	2.84
25 位	2	公共交通の利便性	2.84	2.90	2.84	2.83	2.86	2.76	3.01	2.86
26 位	30	失業の不安がない社会づくり	2.82	2.90	2.87	2.91	2.83	2.81	2.86	2.87
27 位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.82	3.01	2.77	2.81	2.83	2.77	2.90	2.84
28 位	20	安心できる周産期医療体制	2.80	2.88	2.81	2.93	2.87	2.78	2.85	2.81
29 位	13	自主防災対策の充実	2.79	2.86	2.83	2.71	2.87	2.86	3.02	2.78
30 位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.77	2.91	2.75	2.75	2.76	2.74	2.85	2.78
31 位	33	多様な就業環境の整備	2.71	2.89	2.66	2.68	2.68	2.64	2.77	2.79
32 位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.79	2.69	2.76	2.76	2.63	2.82	2.67
33 位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.58	2.70	2.51	2.56	2.61	2.54	2.73	2.61

(注) 網掛け・白抜きは、ライフステージ別での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。

比較の際に小数第 3 位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛け・白抜きしていることがある。

### ■満足度上位 10 項目・下位 10 項目の傾向（ライフステージ別）

『県全体』の満足度の上位 10 項目についてライフステージ別でみると、『高齢者夫婦』、『若者』、『単身高齢者』では『県全体』を下回る項目が少ないのに比べ、『夫婦』では上位 10 項目中 9 項目で『県全体』を下回っています。

また、下位 10 項目については、『若者』と『単身高齢者』では下位 10 項目中 9 項目で『県全体』を上回っているのに比べ、『教育期後期』では下位 10 項目中 9 項目で『県全体』を下回っています。

図表 ライフステージ別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存 3.51	29 ゴミのリサイクルの促進 3.26	27 地域の景観・町並の美しさ 3.21	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.16	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.16
若者	8 文化遺産や史跡の保存 3.60	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.39	27 地域の景観・町並の美しさ 3.38	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.34	29 ゴミのリサイクルの促進 3.22
夫婦	8 文化遺産や史跡の保存 3.45	29 ゴミのリサイクルの促進 3.19	27 地域の景観・町並の美しさ 3.18	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.16	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.09
育児期	8 文化遺産や史跡の保存 3.52	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.19	27 地域の景観・町並の美しさ 3.13	9 生涯を通じた教養・趣味の拡大 3.08	10 公園・運動施設等の利便性 3.08
教育期前期	8 文化遺産や史跡の保存 3.57	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.25	27 地域の景観・町並の美しさ 3.18	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 3.17	25 子どもが健全に育つ環境づくり 3.11
教育期後期	8 文化遺産や史跡の保存 3.53	27 地域の景観・町並の美しさ 3.21	29 ゴミのリサイクルの促進 3.20	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.17	4 平日の渋滞解消 3.13
単身高齢者	8 文化遺産や史跡の保存 3.53	29 ゴミのリサイクルの促進 3.47	19 急病時に診てもらえる医療機関 3.33	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.30	27 地域の景観・町並の美しさ 3.26
高齢者夫婦	8 文化遺産や史跡の保存 3.54	29 ゴミのリサイクルの促進 3.50	27 地域の景観・町並の美しさ 3.26	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.19	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.15

(注) 網掛けは、ライフステージ別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 ライフステージ別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.58	15 地域に活気・魅力があること 2.69	33 多様な就業環境の整備 2.71	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.77	13 自主防災対策の充実 2.79
若者	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.70	15 地域に活気・魅力があること 2.79	16 ボランティア・NPOへの参加 2.80	13 自主防災対策の充実 2.86	20 安心できる周産期医療体制 2.88
夫婦	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.51	33 多様な就業環境の整備 2.66	15 地域に活気・魅力があること 2.69	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.75	24 高齢者・障害者が安心できるまちづくり 2.77
育児期	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.56	33 多様な就業環境の整備 2.68	3 休日の渋滞解消 2.70	13 自主防災対策の充実 2.71	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.75
教育期前期	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.61	33 多様な就業環境の整備 2.68	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.76	15 地域に活気・魅力があること 2.76	24 高齢者・障害者が安心できるまちづくり 2.83
教育期後期	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.54	15 地域に活気・魅力があること 2.63	33 多様な就業環境の整備 2.64	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.74	2 公共交通の利便性 2.76
単身高齢者	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.73	33 多様な就業環境の整備 2.77	16 ボランティア・NPOへの参加 2.78	15 地域に活気・魅力があること 2.82	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.85
高齢者夫婦	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.61	15 地域に活気・魅力があること 2.67	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.78	13 自主防災対策の充実 2.78	33 多様な就業環境の整備 2.79

(注) 網掛けは、ライフステージ別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。  
点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

### ■満足度上位5項目（ライフステージ別）

ライフステージ別の満足度上位5項目で、個別のライフステージにあるが『県全体』にはない項目は、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」（単身高齢者）、「9. 生涯を通じた教養・趣味の拡大」（育児期）、「7. 子どもの暴力・いじめの撲滅」（教育期前期）、「10. 公園・運動施設等の利便性」（育児期）、「25. 子どもが健全に育つ環境づくり」（教育期前期）、「4. 平日の渋滞解消」（教育期後期）となっています。

### ■満足度下位5項目（ライフステージ別）

ライフステージ別の満足度下位5項目で、個別のライフステージにあるが『県全体』にはない項目は、「16. ボランティア・NPOへの参加」（若者、単身高齢者）、「24. 高齢者・障害者が安心できるまちづくり」（夫婦、教育期前期）、「3. 休日の渋滞解消」（育児期）、「20. 安心できる周産期医療体制」（若者）、「2. 公共交通の利便性」（教育期後期）となっています。

### (3) 性別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位 10 項目及び性別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度		
			県全体	男性	女性
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.53	4.59
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.48	4.42	4.53
3位	11	防災対策の充実	4.38	4.30	4.44
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.36	4.28	4.43
5位	23	適切な介護サービスの充実	4.31	4.24	4.36
6位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	4.18	4.35
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.21	4.12	4.27
8位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.18	4.11	4.24
9位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.16	4.07	4.22
10位	30	失業の不安がない社会づくり	4.15	4.08	4.20

(注) 網掛けは、性別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。  
比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛けしていることがある。

#### ■県全体の重要度との比較（性別）

『県全体』の重要度上位 10 項目を性別にみると、『女性』は 10 項目すべての重要度が『県全体』と比べて高くなっています。

図表 性別の重要度上位 5 項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.48	11 防災対策の充実 4.38	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.36	23 適切な介護サービスの充実 4.31
男性	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.53	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.42	11 防災対策の充実 4.30	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.28	23 適切な介護サービスの充実 4.24
女性	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.59	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.53	11 防災対策の充実 4.44	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.43	23 適切な介護サービスの充実 4.36

(注) 網掛けは、性別にはあるが「県全体」の上位 5 項目にはない項目。  
点数表記は小数点第 2 位までだが、順位は小数第 3 位以下も考慮し決定している。

#### ■重要度上位 5 項目の傾向（性別）

性別の重要度上位 5 項目で、性別にあるが『県全体』にはない項目は、1 項目もない結果となっています。



図表 県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及び性別での比較

順位	項目番号	項目の略称	満足度		
			県全体	男性	女性
1 位	8	文化遺産や史跡の保存	3.51	3.52	3.50
2 位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.26	3.20	3.29
3 位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.21	3.16	3.24
4 位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.16	3.18	3.15
5 位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.16	3.17	3.15
6 位	4	平日の渋滞解消	3.06	2.97	3.13
7 位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	3.04	3.00	3.06
8 位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	3.04	3.03
9 位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	3.01	3.03	3.00
10 位	19	急病時に診てもらえる医療機関	3.01	3.06	2.96
⋮	⋮	⋮			
24 位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.86	2.83
25 位	2	公共交通の利便性	2.84	2.86	2.82
26 位	30	失業の不安がない社会づくり	2.82	2.80	2.84
27 位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.82	2.84	2.81
28 位	20	安心できる周産期医療体制	2.80	2.81	2.80
29 位	13	自主防災対策の充実	2.79	2.78	2.80
30 位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.77	2.81	2.75
31 位	33	多様な就業環境の整備	2.71	2.68	2.73
32 位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.63	2.74
33 位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.58	2.55	2.60

(注) 網掛け・白抜きは、性別での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。

比較の際に小数第 3 位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛け・白抜きしていることがある。

### ■満足度上位 10 項目・下位 10 項目の傾向（性別）

『県全体』の満足度の上位・下位 10 項目について性別でみると、『男性』では『県全体』と比べ 9 項目で満足度を下回り、『女性』では 11 項目で満足度を下回っています。

図表 性別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存 3.51	29 ゴミのリサイクルの促進 3.26	27 地域の景観・町並の美しさ 3.21	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.16	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.16
男性	8 文化遺産や史跡の保存 3.52	29 ゴミのリサイクルの促進 3.20	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.18	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.17	27 地域の景観・町並の美しさ 3.16
女性	8 文化遺産や史跡の保存 3.50	29 ゴミのリサイクルの促進 3.29	27 地域の景観・町並の美しさ 3.24	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.15	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.15

(注) 網掛けは、性別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 性別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.58	15 地域に活気・魅力があること 2.69	33 多様な就業環境の整備 2.71	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.77	13 自主防災対策の充実 2.79
男性	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.55	15 地域に活気・魅力があること 2.63	33 多様な就業環境の整備 2.68	13 自主防災対策の充実 2.78	30 失業の不安がない社会づくり 2.80
女性	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.60	33 多様な就業環境の整備 2.73	15 地域に活気・魅力があること 2.74	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.75	20 安心できる周産期医療体制 2.80

(注) 網掛けは、性別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。  
点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目（性別）

性別の満足度上位5項目で、性別にあるが『県全体』にはない項目は、1項目もない結果となっています。

■満足度下位5項目（性別）

性別の満足度下位5項目で、性別にあるが『県全体』にはない項目は、「30. 失業の不安がない社会づくり」（男性）、「20. 安心できる周産期医療体制」（女性）となっています。

#### (4) 年齢別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位 10 項目及び年齢別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度						
			県全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.62	4.64	4.57	4.58	4.56	4.51
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.48	4.64	4.71	4.60	4.50	4.44	4.35
3位	11	防災対策の充実	4.38	4.46	4.56	4.42	4.47	4.33	4.28
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.36	4.42	4.55	4.45	4.34	4.31	4.31
5位	23	適切な介護サービスの充実	4.31	4.21	4.11	4.25	4.28	4.36	4.40
6位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	4.47	4.43	4.29	4.34	4.22	4.18
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.21	4.51	4.44	4.11	4.16	4.26	4.09
8位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.18	4.26	4.33	4.22	4.14	4.17	4.15
9位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.16	4.15	4.07	4.12	4.20	4.16	4.19
10位	30	失業の不安がない社会づくり	4.15	4.46	4.36	4.23	4.24	4.07	3.96

(注) 網掛けは、年齢別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。

比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛けしていることがある。

#### ■県全体の重要度との比較（年齢別）

『県全体』の重要度上位 10 項目を年齢別にみると、『20 歳代』、『30 歳代』では『県全体』と比べ重要度が高い項目が多くなっています。一方、『70 歳代以上』、『60 歳代』では少なくなっています。

図表 年齢別の重要度上位 5 項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.48	11 防災対策の充実 4.38	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.36	23 適切な介護サービスの充実 4.31
20歳代	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.64	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.62	20 安心できる周産期医療体制 4.51	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.47	30 失業の不安がない社会づくり 4.46
30歳代	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.71	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.64	11 防災対策の充実 4.56	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.55	20 安心できる周産期医療体制 4.44
40歳代	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.60	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.45	11 防災対策の充実 4.42	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.29
50歳代	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.58	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	11 防災対策の充実 4.47	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.34	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.34
60歳代	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.56	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.44	23 適切な介護サービスの充実 4.36	11 防災対策の充実 4.33	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.31
70歳代以上	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.51	23 適切な介護サービスの充実 4.40	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.35	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.31	11 防災対策の充実 4.28

(注) 網掛けは、年齢別にはあるが「県全体」の上位 5 項目にはない項目。

点数表記は小数点第 2 位までだが、順位は小数第 3 位以下も考慮し決定している。

#### ■重要度上位 5 項目の傾向（年齢別）

年齢別の重要度上位 5 項目で、個別の年齢にあるが『県全体』にはない項目は、「12. 食品・薬品等の安全性の確保」(20 歳代、40 歳代、50 歳代)、「20. 安心できる周産期医療体制」(20 歳代、30 歳代)、「30. 失業の不安がない社会づくり」(20 歳代)となっています。

図表 県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及び年齢別での比較

順位	項目番号	項目の略称	満足度						
			県全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
1位	8	文化遺産や史跡の保存	3.51	3.60	3.42	3.50	3.46	3.46	3.61
2位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.26	3.23	3.03	3.03	3.11	3.27	3.55
3位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.21	3.39	3.19	3.19	3.08	3.17	3.29
4位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.16	3.39	3.17	3.21	3.09	3.09	3.19
5位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.16	3.32	3.02	3.09	3.11	3.18	3.21
6位	4	平日の渋滞解消	3.06	3.15	2.87	3.02	3.06	3.12	3.08
7位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	3.04	3.14	2.95	3.05	2.96	2.98	3.15
8位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	3.08	2.96	3.00	2.96	2.99	3.17
9位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	3.01	2.96	2.89	3.06	2.94	2.98	3.14
10位	19	急病時に診てもらえる医療機関	3.01	3.10	2.89	2.97	2.82	2.94	3.22
⋮	⋮	⋮							
24位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.79	2.90	2.86	2.80	2.82	2.88
25位	2	公共交通の利便性	2.84	2.90	2.88	2.90	2.81	2.79	2.83
26位	30	失業の不安がない社会づくり	2.82	2.91	2.77	2.85	2.73	2.82	2.88
27位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.82	2.99	2.80	2.86	2.74	2.75	2.89
28位	20	安心できる周産期医療体制	2.80	2.88	2.82	2.83	2.78	2.73	2.86
29位	13	自主防災対策の充実	2.79	2.86	2.73	2.76	2.77	2.80	2.81
30位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.77	2.91	2.69	2.79	2.73	2.75	2.80
31位	33	多様な就業環境の整備	2.71	2.89	2.55	2.65	2.62	2.73	2.80
32位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.82	2.66	2.74	2.66	2.65	2.72
33位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.58	2.69	2.57	2.57	2.49	2.53	2.65

(注) 網掛け・白抜きは、年齢別での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。

比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛け・白抜きしていることがある。

### ■満足度上位 10 項目・下位 10 項目の傾向（年齢別）

『県全体』の満足度の上位・下位 10 項目について年齢別で見ると、『70 歳代以上』では『県全体』を下回る項目が 1 項目であるのに比べ、『50 歳代』では上位・下位のすべての項目で『県全体』を下回っています。

図表 年齢別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存 3.51	29 ゴミのリサイクルの促進 3.26	27 地域の景観・町並の美しさ 3.21	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.16	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.16
20歳代	8 文化遺産や史跡の保存 3.60	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.39	27 地域の景観・町並の美しさ 3.39	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.32	29 ゴミのリサイクルの促進 3.23
30歳代	8 文化遺産や史跡の保存 3.42	27 地域の景観・町並の美しさ 3.19	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.17	29 ゴミのリサイクルの促進 3.03	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.02
40歳代	8 文化遺産や史跡の保存 3.50	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.21	27 地域の景観・町並の美しさ 3.19	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.09	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 3.06
50歳代	8 文化遺産や史跡の保存 3.46	29 ゴミのリサイクルの促進 3.11	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.11	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.09	27 地域の景観・町並の美しさ 3.08
60歳代	8 文化遺産や史跡の保存 3.46	29 ゴミのリサイクルの促進 3.27	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.18	27 地域の景観・町並の美しさ 3.17	4 平日の渋滞解消 3.12
70歳代以上	8 文化遺産や史跡の保存 3.61	29 ゴミのリサイクルの促進 3.55	27 地域の景観・町並の美しさ 3.29	19 急病時に診てもらえる医療機関 3.22	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.21

(注) 網掛けは、年齢別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
 点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 年齢別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.58	15 地域に活気・魅力があること 2.69	33 多様な就業環境の整備 2.71	17 男女が能力を發揮できる社会の実現 2.77	13 自主防災対策の充実 2.79
20歳代	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.69	16 ボランティア・NPOへの参加 2.79	15 地域に活気・魅力があること 2.82	13 自主防災対策の充実 2.86	20 安心できる周産期医療体制 2.88
30歳代	33 多様な就業環境の整備 2.55	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.57	15 地域に活気・魅力があること 2.66	17 男女が能力を發揮できる社会の実現 2.69	13 自主防災対策の充実 2.73
40歳代	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.57	33 多様な就業環境の整備 2.65	15 地域に活気・魅力があること 2.74	13 自主防災対策の充実 2.76	17 男女が能力を發揮できる社会の実現 2.79
50歳代	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.49	33 多様な就業環境の整備 2.62	15 地域に活気・魅力があること 2.66	30 失業の不安がない社会づくり 2.73	17 男女が能力を發揮できる社会の実現 2.73
60歳代	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.53	15 地域に活気・魅力があること 2.65	33 多様な就業環境の整備 2.73	20 安心できる周産期医療体制 2.73	17 男女が能力を發揮できる社会の実現 2.75
70歳代以上	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.65	15 地域に活気・魅力があること 2.72	17 男女が能力を發揮できる社会の実現 2.80	33 多様な就業環境の整備 2.80	13 自主防災対策の充実 2.81

(注) 網掛けは、地域別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。  
 点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目（年齢別）

年齢別の満足度上位5項目で、個別の年齢にあるが『県全体』にはない項目は、「19. 急病時に診てもらえる医療機関」（70歳代以上）、「7. 子どもの暴力・いじめの撲滅」（40歳代）、「4. 平日の渋滞解消」（60歳代）となっています。

■満足度下位5項目（年齢別）

年齢別の満足度下位5項目で、個別の年齢にあるが『県全体』にはない項目は、「20. 安心できる周産期医療体制」（60歳代、20歳代）、「16. ボランティア・NPOへの参加」（20歳代）、「30. 失業の不安がない社会づくり」（50歳代）となっています。

## (5) 旧住民・新住民別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位 10 項目及び旧住民・新住民別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度		
			県全体	奈良県にずっと住んでいる人	奈良県に新しくきた人
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.58	4.55
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.48	4.46	4.52
3位	11	防災対策の充実	4.38	4.40	4.37
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.36	4.37	4.36
5位	23	適切な介護サービスの充実	4.31	4.32	4.30
6位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	4.27	4.28
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.21	4.29	4.13
8位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.18	4.19	4.19
9位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.16	4.14	4.18
10位	30	失業の不安がない社会づくり	4.15	4.19	4.10

(注) 網掛けは、旧住民・新住民別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。

比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛けしていることがある。

### ■県全体の重要度との比較（旧住民・新住民別）

『県全体』の重要度上位 10 項目を旧住民・新住民別にみると、『奈良県にずっと住んでいる人』では『県全体』と比べ 7 項目で重要度が高く、『奈良県に新しくきた人』では 4 項目で重要度が高くなっています。

図表 旧住民・新住民別の重要度上位 5 項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.48	11 防災対策の充実 4.38	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.36	23 適切な介護サービスの充実 4.31
奈良県にずっと住んでいる人	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.58	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.46	11 防災対策の充実 4.40	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.37	23 適切な介護サービスの充実 4.32
奈良県に新しくきた人	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.55	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.52	11 防災対策の充実 4.37	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.36	23 適切な介護サービスの充実 4.30

(注) 網掛けは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の上位 5 項目にはない項目。

点数表記は小数第 2 位までだが、順位は小数第 3 位以下も考慮し決定している。

### ■重要度上位 5 項目の傾向（旧住民・新住民別）

旧住民・新住民別の重要度上位 5 項目で、旧住民・新住民別にあるが『県全体』にはない項目は、1 項目もない結果となっています。

図表 県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及び旧住民・新住民別での比較

順位	項目番号	項目の略称	満足度		
			県全体	奈良県にずっと住んでいる人	奈良県に新しくきた人
1 位	8	文化遺産や史跡の保存	3.51	3.52	3.51
2 位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.26	3.25	3.26
3 位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.21	3.18	3.25
4 位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.16	3.14	3.20
5 位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.16	3.15	3.17
6 位	4	平日の渋滞解消	3.06	3.08	3.04
7 位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	3.04	3.03	3.04
8 位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	3.03	3.04
9 位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	3.01	3.01	3.02
10 位	19	急病時に診てもらえる医療機関	3.01	2.98	3.04
⋮	⋮	⋮			
24 位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.82	2.86
25 位	2	公共交通の利便性	2.84	2.72	2.98
26 位	30	失業の不安がない社会づくり	2.82	2.80	2.85
27 位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.82	2.81	2.84
28 位	20	安心できる周産期医療体制	2.80	2.77	2.84
29 位	13	自主防災対策の充実	2.79	2.73	2.85
30 位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.77	2.77	2.78
31 位	33	多様な就業環境の整備	2.71	2.70	2.72
32 位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.64	2.76
33 位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.58	2.55	2.62

(注)網掛け・白抜きは、旧住民・新住民別での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。

比較の際に小数第 3 位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛け・白抜きしていることがある。

### ■満足度上位 10 項目・下位 10 項目の傾向（旧住民・新住民別）

『県全体』の満足度の上位・下位 10 項目について旧住民・新住民別でみると、『奈良県に新しくきた人』では 2 項目を除いて『県全体』を上回っている一方、『奈良県にずっと住んでいる人』では『県全体』を下回る項目が 18 項目と多くなっています。

図表 旧住民・新住民別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存 3.51	29 ゴミのリサイクルの促進 3.26	27 地域の景観・町並の美しさ 3.21	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.16	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.16
奈良県にずっと住んでいる人	8 文化遺産や史跡の保存 3.52	29 ゴミのリサイクルの促進 3.25	27 地域の景観・町並の美しさ 3.18	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.15	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.14
奈良県に新しくきた人	8 文化遺産や史跡の保存 3.51	29 ゴミのリサイクルの促進 3.26	27 地域の景観・町並の美しさ 3.25	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.20	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.17

(注) 網掛けは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
 点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 旧住民・新住民別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.58	15 地域に活気・魅力があること 2.69	33 多様な就業環境の整備 2.71	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.77	13 自主防災対策の充実 2.79
奈良県にずっと住んでいる人	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.55	15 地域に活気・魅力があること 2.64	33 多様な就業環境の整備 2.70	2 公共交通の利便性 2.72	13 自主防災対策の充実 2.73
奈良県に新しくきた人	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.62	33 多様な就業環境の整備 2.72	15 地域に活気・魅力があること 2.76	17 男女が能力を発揮できる社会の実現 2.78	24 高齢者・障害者が安心できるまちづくり 2.84

(注) 網掛けは、旧住民・新住民別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。  
 点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目（旧住民・新住民別）

旧住民・新住民別の満足度上位5項目で、旧住民・新住民別にあるが『県全体』にはない項目は、1項目もない結果となっています。

■満足度下位5項目（旧住民・新住民別）

旧住民・新住民別の満足度下位5項目で、旧住民・新住民別にあるが『県全体』にはない項目は、「2.公共交通の利便性」（奈良県にずっと住んでいる人）、「24.高齢者・障害者が安心できるまちづくり」（奈良県に新しくきた人）となっています。



## (6) 奈良での就労別の重要度・満足度の比較

図表 県全体の重要度上位 10 項目及び奈良での就労別での比較

順位	項目番号	項目の略称	重要度		
			県全体	奈良県内で働いている人	奈良県外で働いている人
1位	19	急病時に診てもらえる医療機関	4.57	4.56	4.56
2位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	4.48	4.50	4.57
3位	11	防災対策の充実	4.38	4.40	4.40
4位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	4.36	4.38	4.38
5位	23	適切な介護サービスの充実	4.31	4.27	4.20
6位	12	食品・薬品等の安全性の確保	4.28	4.28	4.25
7位	20	安心できる周産期医療体制	4.21	4.25	4.10
8位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	4.18	4.17	4.14
9位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	4.16	4.13	4.11
10位	30	失業の不安がない社会づくり	4.15	4.25	4.18

(注) 網掛けは、奈良での就労別での重要度が「県全体」よりも高いことを示している。

比較の際に小数第3位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛けしていることがある。

### ■県全体の重要度との比較（奈良での就労別）

『県全体』の重要度上位 10 項目を奈良での就労別にみると、『奈良県内で働いている人』では『県全体』と比べて 6 項目で重要度が高く、『奈良県外で働いている人』では 4 項目で重要度が高くなっています。

図表 奈良での就労別の重要度上位 5 項目の傾向

	重要度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.57	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.48	11 防災対策の充実 4.38	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.36	23 適切な介護サービスの充実 4.31
奈良県内で働いている人	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.56	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.50	11 防災対策の充実 4.40	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.38	12 食品・薬品等の安全性の確保 4.28
奈良県外で働いている人	14 犯罪にあう不安のない暮らし 4.57	19 急病時に診てもらえる医療機関 4.56	11 防災対策の充実 4.40	7 子どもの暴力・いじめの撲滅 4.38	2 公共交通の利便性 4.31

(注) 網掛けは、奈良での就労別にはあるが「県全体」の上位 5 項目にはない項目。

点数表記は小数点第 2 位までだが、順位は小数第 3 位以下も考慮し決定している。

### ■重要度上位 5 項目の傾向（奈良での就労別）

奈良での就労別の重要度上位 5 項目で、奈良での就労別にあるが『県全体』にはない項目は、「12. 食品・薬品等の安全性の確保」(奈良県内で働いている人)、「2. 公共交通の利便性」(奈良県外で働いている人)となっています。

図表 県全体の満足度上位 10 項目と下位 10 項目及び奈良での就労別での比較

順位	項目番号	項目の略称	満足度		
			県全体	奈良県内で働いている人	奈良県外で働いている人
1 位	8	文化遺産や史跡の保存	3.51	3.49	3.52
2 位	29	ゴミのリサイクルの促進	3.26	3.13	3.13
3 位	27	地域の景観・町並の美しさ	3.21	3.15	3.26
4 位	12	食品・薬品等の安全性の確保	3.16	3.15	3.17
5 位	14	犯罪にあう不安のない暮らし	3.16	3.15	3.18
6 位	4	平日の渋滞解消	3.06	3.03	2.99
7 位	25	子どもが健全に育つ環境づくり	3.04	3.01	3.02
8 位	9	生涯を通じた教養・趣味の拡大	3.03	2.98	2.96
9 位	7	子どもの暴力・いじめの撲滅	3.01	2.98	3.05
10 位	19	急病時に診てもらえる医療機関	3.01	2.92	2.97
⋮	⋮	⋮			
24 位	16	ボランティア・NPOへの参加	2.84	2.81	2.85
25 位	2	公共交通の利便性	2.84	2.80	2.94
26 位	30	失業の不安がない社会づくり	2.82	2.79	2.90
27 位	24	高齢者・障害者が安心できるまちづくり	2.82	2.81	2.83
28 位	20	安心できる周産期医療体制	2.80	2.75	2.85
29 位	13	自主防災対策の充実	2.79	2.76	2.82
30 位	17	男女が能力を発揮できる社会の実現	2.77	2.73	2.81
31 位	33	多様な就業環境の整備	2.71	2.70	2.67
32 位	15	地域に活気・魅力があること	2.69	2.65	2.73
33 位	18	市町村行政に対する住民意向の反映	2.58	2.52	2.56

(注)網掛け・白抜きは、奈良での就労別での満足度が「県全体」よりも低いことを示している。

比較の際に小数第 3 位以下も考慮しているため、「県全体」と点数が同じ場合にも網掛け・白抜きしていることがある。

### ■満足度上位 10 項目・下位 10 項目の傾向（奈良での就労別）

『県全体』の満足度の上位・下位 10 項目について奈良での就労別でみると、『奈良県内で働いている人』では上位・下位のすべての項目で『県全体』を下回り、『奈良県外で働いている人』では 7 項目で『県全体』を下回っています。

図表 奈良での就労別の満足度上位5項目の傾向

	満足度				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	8 文化遺産や史跡の保存 3.51	29 ゴミのリサイクルの促進 3.26	27 地域の景観・町並の美しさ 3.21	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.16	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.16
奈良県内で働いている人	8 文化遺産や史跡の保存 3.49	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.15	27 地域の景観・町並の美しさ 3.15	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.15	29 ゴミのリサイクルの促進 3.13
奈良県外で働いている人	8 文化遺産や史跡の保存 3.52	27 地域の景観・町並の美しさ 3.26	14 犯罪にあう不安のない暮らし 3.18	12 食品・薬品等の安全性の確保 3.17	29 ゴミのリサイクルの促進 3.13

(注) 網掛けは、奈良での就労別にはあるが「県全体」の上位5項目にはない項目。  
点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

図表 奈良での就労別の満足度下位5項目の傾向

	満足度				
	第33位	第32位	第31位	第30位	第29位
県全体	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.58	15 地域に活気・魅力があること 2.69	33 多様な就業環境の整備 2.71	17 男女が能力を發揮できる社会の実現 2.77	13 自主防災対策の充実 2.79
奈良県内で働いている人	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.52	15 地域に活気・魅力があること 2.65	33 多様な就業環境の整備 2.70	17 男女が能力を發揮できる社会の実現 2.73	20 安心できる周産期医療体制 2.75
奈良県外で働いている人	18 市町村行政に対する住民意向の反映 2.56	33 多様な就業環境の整備 2.67	15 地域に活気・魅力があること 2.73	17 男女が能力を發揮できる社会の実現 2.81	13 自主防災対策の充実 2.82

(注) 網掛けは、奈良での就労別にはあるが「県全体」の下位5項目にはない項目。  
点数表記は小数点第2位までだが、順位は小数第3位以下も考慮し決定している。

■満足度上位5項目（奈良での就労別）

奈良での就労別の満足度上位5項目で、奈良での就労別にあるが『県全体』にはない項目は、1項目もない結果となっています。

■満足度下位5項目（奈良での就労別）

奈良での就労別の満足度下位5項目で、奈良での就労別にあるが『県全体』にはない項目は、「20. 安心できる周産期医療体制」（奈良県内で働いている人）となっています。

### 3～11. 県民の生活に関する意識やニーズについて

#### 3. 産業・雇用について

##### (1) 県外で利用することが多い商業施設 (問 12 2つ以内で複数回答)

(上段:件数、下段:比率)

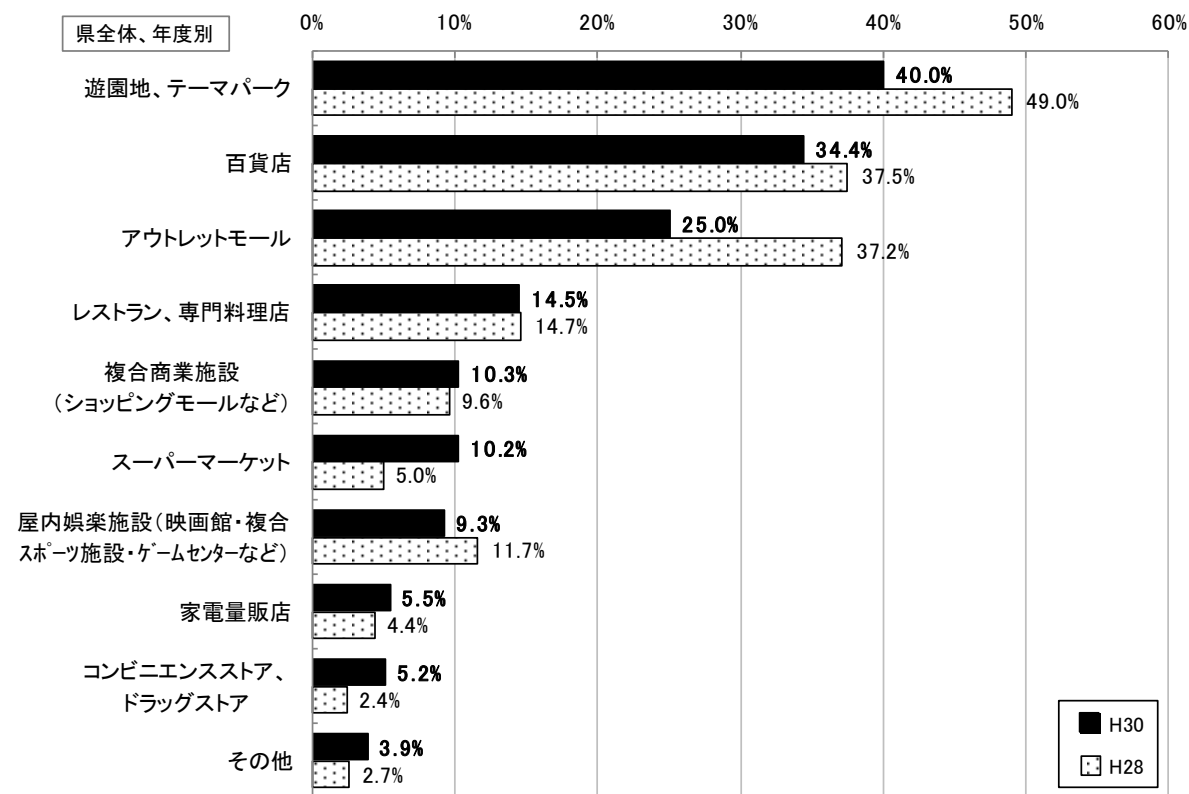
	全 体	遊 園地、 テ ー マ パ ー ク	百 貨 店	ア ウ ト レ ッ ト モ ー ル	レ ス ト ラ ン、 専 門 料 理 店	複 合 商 業 施 設 ( シ ョ ッ ピ ン グ モ ー ル な ど )	ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	複 合 ス ポ ー ツ 施 設 ( 映 画 館 ・ ゲ ー ム セ ン タ ー な ど )	屋 内 娯 楽 施 設 ( 映 画 館 ・ ゲ ー ム セ ン タ ー な ど )	家 電 量 販 店	ド ラ ン ビ ニ エ ン ス ス ト ア	そ の 他	無 回 答
※2つ以内で複数回答													
県全体	2,527	1,011 40.0%	869 34.4%	633 25.0%	367 14.5%	260 10.3%	259 10.2%	235 9.3%	139 5.5%	131 5.2%	99 3.9%	245 9.7%	
H28からの増減	-	(▲9.0)	(▲3.1)	(▲12.1)	(▲0.1)	(+0.7)	(+5.3)	(▲2.4)	(+1.1)	(+2.7)	(+1.3)	(+7.9)	
地域別	地域1(北部)	1,218	487 40.0%	415 34.1%	305 25.0%	191 15.7%	141 11.6%	111 9.1%	149 12.2%	58 4.8%	58 4.8%	50 4.1%	108 8.9%
	地域2(西部)	254	97 38.2%	124 48.8%	67 26.4%	41 16.1%	19 7.5%	20 7.9%	24 9.4%	8 3.1%	13 5.1%	12 4.7%	14 5.5%
	地域3(中部)	608	271 44.6%	217 35.7%	172 28.3%	76 12.5%	49 8.1%	50 8.2%	32 5.3%	20 3.3%	24 3.9%	23 3.8%	67 11.0%
	地域4(東部)	197	77 39.1%	50 25.4%	55 27.9%	32 16.2%	25 12.7%	24 12.2%	15 7.6%	20 10.2%	11 5.6%	8 4.1%	15 7.6%
	地域5(南東部)	168	60 35.7%	51 30.4%	26 15.5%	20 11.9%	20 11.9%	26 15.5%	8 4.8%	13 7.7%	15 8.9%	5 3.0%	26 15.5%
	地域6(南西部)	82	19 23.2%	12 14.6%	8 9.8%	7 8.5%	6 7.3%	28 34.1%	7 8.5%	20 24.4%	10 12.2%	1 1.2%	15 18.3%
性別	男性	1,007	417 41.4%	321 31.9%	240 23.8%	148 14.7%	105 10.4%	96 9.5%	124 12.3%	70 7.0%	59 5.9%	44 4.4%	85 8.4%
	女性	1,476	583 39.5%	537 36.4%	388 26.3%	216 14.6%	150 10.2%	156 10.6%	108 7.3%	63 4.3%	70 4.7%	51 3.5%	150 10.2%
年齢別	20歳代	172	87 50.6%	47 27.3%	66 38.4%	18 10.5%	30 17.4%	7 4.1%	26 15.1%	7 4.1%	9 5.2%	4 2.3%	12 7.0%
	30歳代	213	101 47.4%	69 32.4%	82 38.5%	23 10.8%	28 13.1%	9 4.2%	22 10.3%	7 3.3%	5 2.3%	10 4.7%	16 7.5%
	40歳代	350	188 53.7%	106 30.3%	125 35.7%	36 10.3%	32 9.1%	24 6.9%	42 12.0%	10 2.9%	16 4.6%	16 4.6%	16 4.6%
	50歳代	389	189 48.6%	150 38.6%	130 33.4%	57 14.7%	25 6.4%	31 8.0%	28 7.2%	18 4.6%	22 5.7%	9 2.3%	17 4.4%
	60歳代	622	261 42.0%	230 37.0%	159 25.6%	111 17.8%	55 8.8%	62 10.0%	52 8.4%	34 5.5%	25 4.0%	26 4.2%	36 5.8%
	70歳代以上	734	174 23.7%	256 34.9%	66 9.0%	120 16.3%	85 11.6%	117 15.9%	62 8.4%	57 7.8%	53 7.2%	30 4.1%	135 18.4%
婚姻状況別	未婚	369	133 36.0%	123 33.3%	99 26.8%	57 15.4%	50 13.6%	19 5.1%	66 17.9%	25 6.8%	18 4.9%	15 4.1%	28 7.6%
	既婚	1,788	761 42.6%	628 35.1%	484 27.1%	248 13.9%	184 10.3%	188 10.5%	138 7.7%	94 5.3%	88 4.9%	66 3.7%	152 8.5%
	離婚・死別	328	108 32.9%	110 33.5%	46 14.0%	59 18.0%	24 7.3%	44 13.4%	28 8.5%	15 4.6%	23 7.0%	13 4.0%	53 16.2%
ライフステージ別 (複数回答)	若者	158	78 49.4%	43 27.2%	57 36.1%	18 11.4%	29 18.4%	7 4.4%	26 16.5%	7 4.4%	8 5.1%	4 2.5%	11 7.0%
	夫婦	247	109 44.1%	93 37.7%	86 34.8%	46 18.6%	19 7.7%	21 8.5%	17 6.9%	9 3.6%	12 4.9%	10 4.0%	11 4.5%
	育児期	159	97 61.0%	50 31.4%	64 40.3%	11 6.9%	15 9.4%	12 7.5%	8 5.0%	3 1.9%	6 3.8%	6 3.8%	12 7.5%
	教育期前期	349	202 57.9%	94 26.9%	128 36.7%	29 8.3%	34 9.7%	24 6.9%	34 9.7%	10 2.9%	12 3.4%	10 2.9%	27 7.7%
	教育期後期	180	93 51.7%	63 35.0%	64 35.6%	25 13.9%	15 8.3%	17 9.4%	17 9.4%	7 3.9%	4 2.2%	8 4.4%	9 5.0%
	単身高齢者	123	22 17.9%	50 40.7%	7 5.7%	29 23.6%	11 8.9%	20 16.3%	14 11.4%	11 8.9%	12 9.8%	6 4.9%	15 12.2%
	高齢者夫婦	507	166 32.7%	196 38.7%	69 13.6%	69 13.6%	59 11.6%	65 12.8%	43 8.5%	43 8.5%	21 4.1%	23 4.5%	63 12.4%
新旧住民別	奈良県にずっと 住んでいる人	1,360	582 42.8%	414 30.4%	353 26.0%	173 12.7%	142 10.4%	154 11.3%	125 9.2%	79 5.8%	81 6.0%	49 3.6%	138 10.1%
	奈良県に新しく きた人	1,137	423 37.2%	447 39.3%	277 24.4%	194 17.1%	116 10.2%	99 8.7%	109 9.6%	59 5.2%	49 4.3%	50 4.4%	95 8.4%
奈良での 就労別	奈良県内で 働いている人	1,011	502 49.7%	338 33.4%	325 32.1%	125 12.4%	105 10.4%	87 8.6%	85 8.4%	43 4.3%	48 4.7%	30 3.0%	66 6.5%
	奈良県外で 働いている人	325	127 39.1%	136 41.8%	94 28.9%	57 17.5%	41 12.6%	23 7.1%	43 13.2%	17 5.2%	19 5.8%	11 3.4%	10 3.1%

(注)集計結果は「県全体」の結果が多い順(「その他」を除く)に並べている。

太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

平成28年度調査では、選択肢に「特になし」があったため、比較には注意が必要である。

図表 県外で利用することが多い商業施設（問 12 2つ以内で複数回答／県全体、年度別）

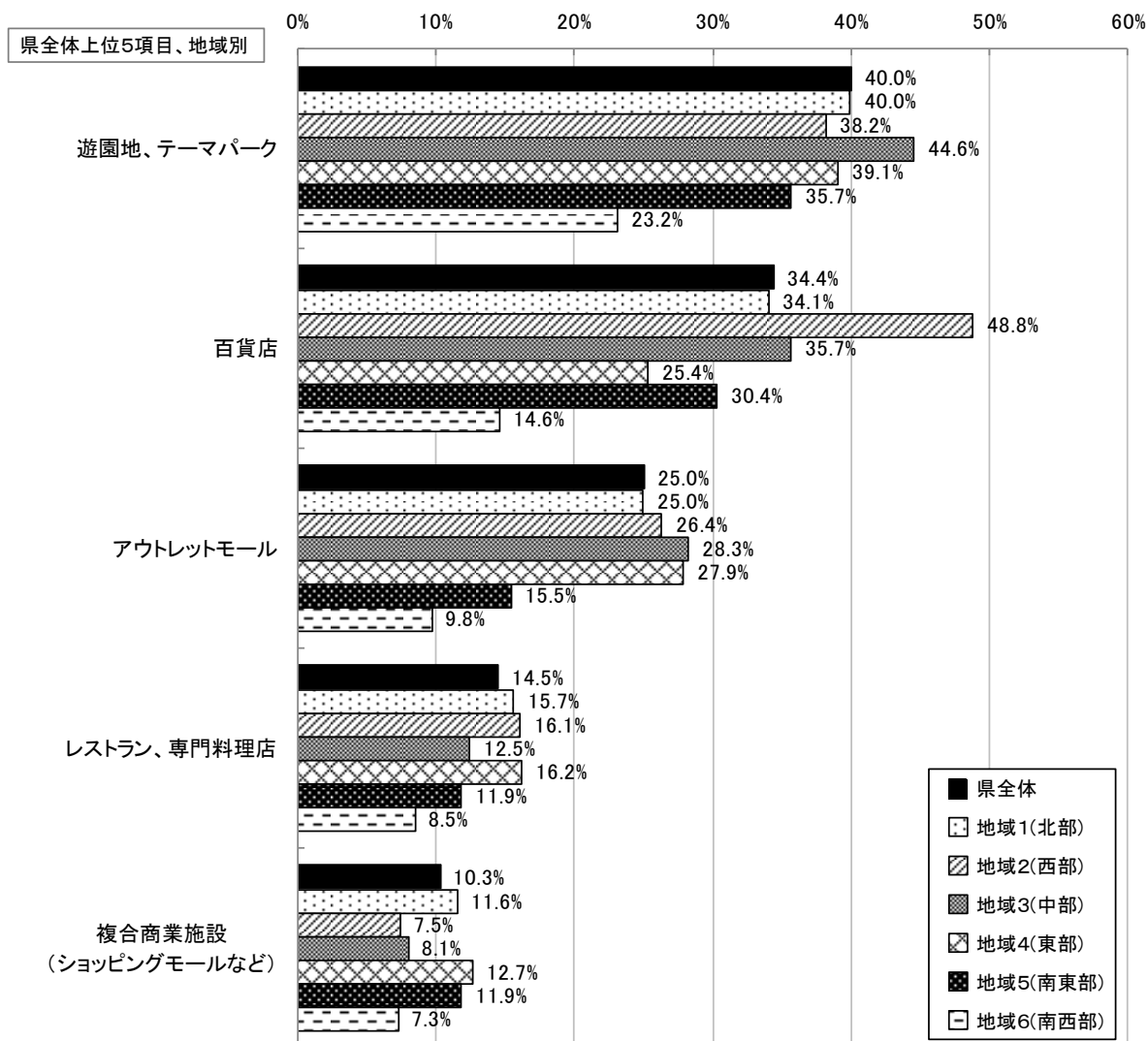


※無回答を除く

(2つ以内で複数回答)

(注)母数については前ページの表参照 (H28母数は2,667件 / H28では選択肢「特になし」があったため比較には注意が必要。)

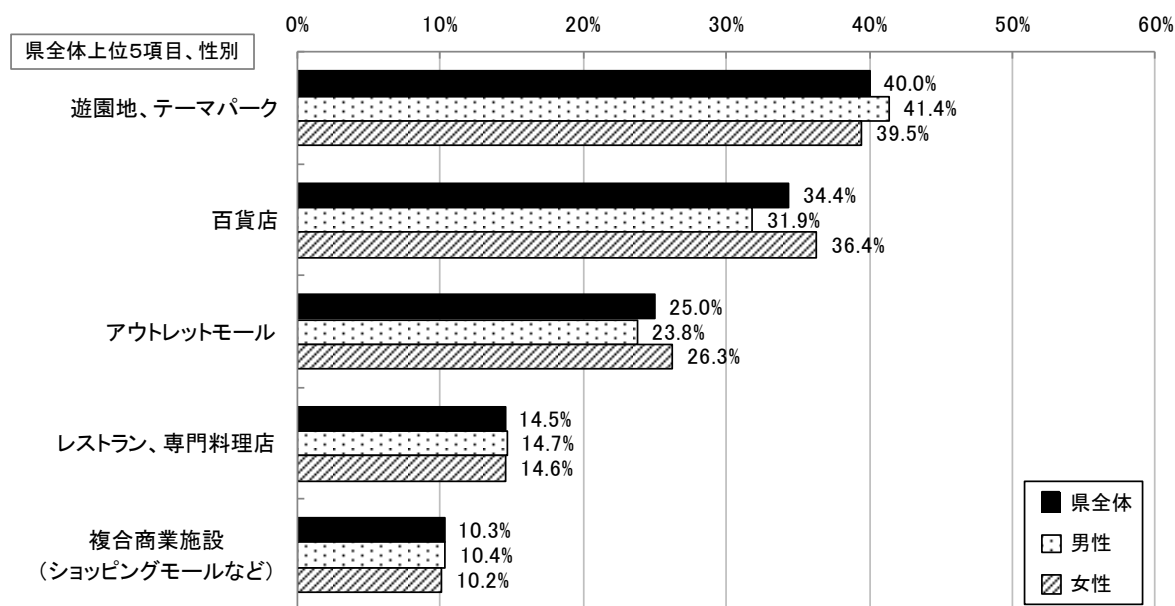
図表 県外で利用することが多い商業施設（問 12 2つ以内で複数回答／県全体上位5項目、地域別）



(注)母数については前ページの表参照

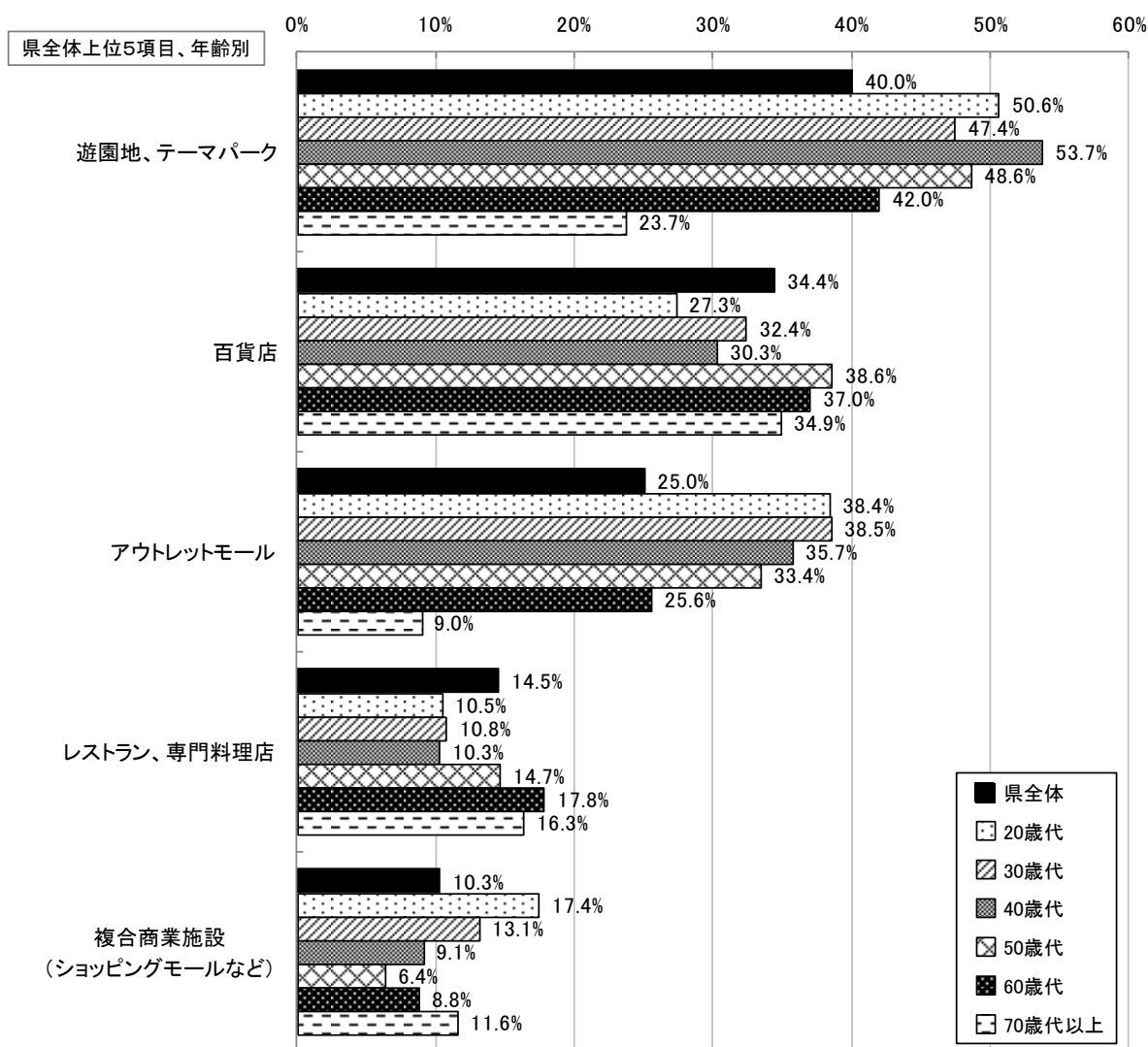
(2つ以内で複数回答)

図表 県外で利用することが多い商業施設（問 12 2つ以内で複数回答／県全体上位5項目、性別、年齢別）



(2つ以内で複数回答)

(注)母数については前ページの表参照



(2つ以内で複数回答)

(注)母数については前ページの表参照

(2) 買い物しようと思う店舗 (問13 3つ以内で複数回答)

(上段:件数、下段:比率)

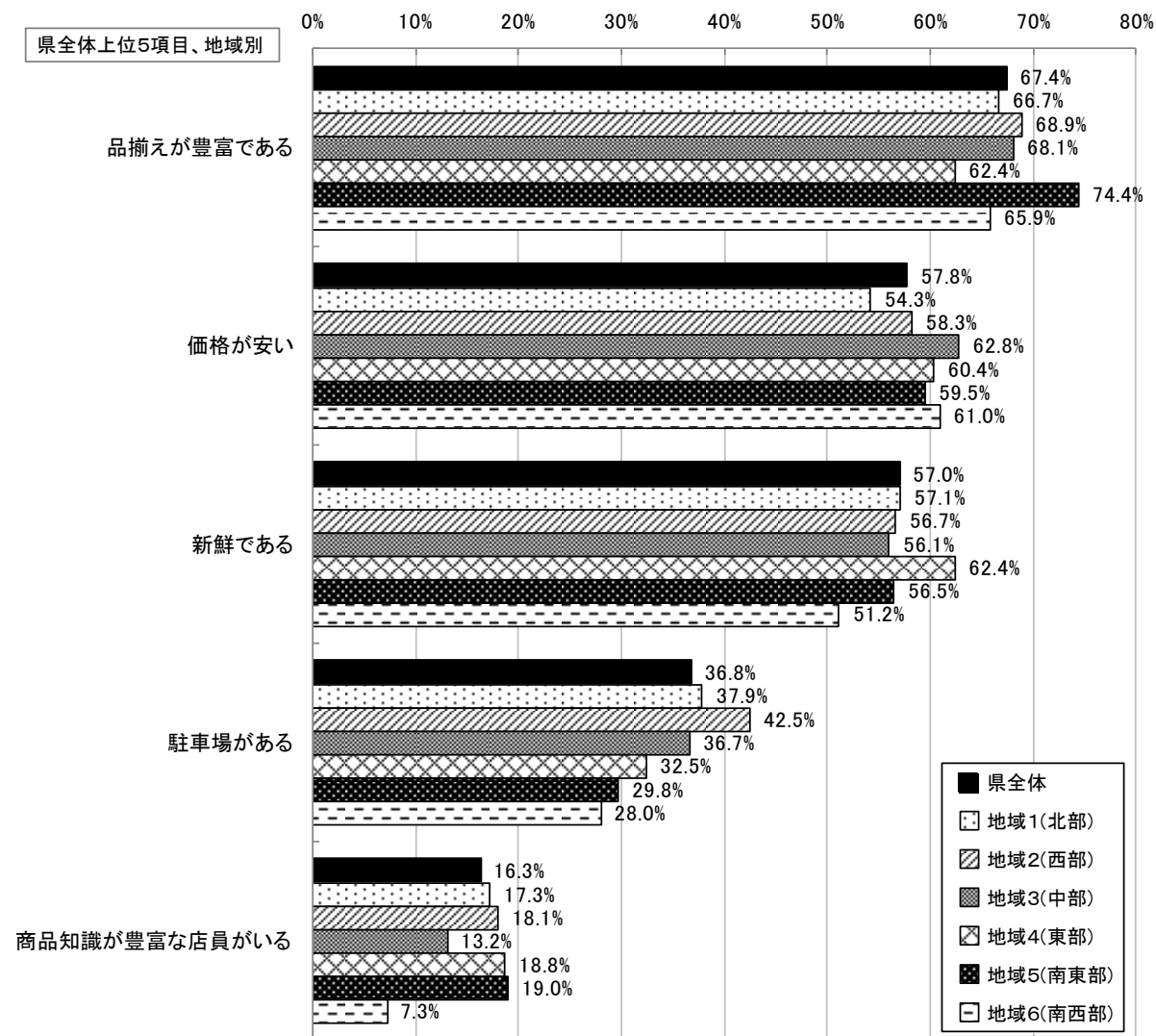
	全体	品揃えが豊富である	価格が安い	新鮮である	駐車場がある	商品知識が豊富な店員がいる	商品を家で届けてくれる	県産商品を多く取り扱っている	店員やお客同士で会話や交流ができる	おしゃれである (SNS)	評判が良い (SNSなど)	雑誌などに取り上げられている	よくメディア (テレビ、ネット) に取り上げられている	移動販売もある	その他	無回答
※3つ以内で複数回答																
県全体	2,527	1,703 67.4%	1,460 57.8%	1,441 57.0%	930 36.8%	412 16.3%	176 7.0%	169 6.7%	160 6.3%	123 4.9%	95 3.8%	89 3.5%	30 1.2%	31 1.2%	93 3.7%	
地域別	地域1(北部)	1,218	812 66.7%	661 54.3%	696 57.1%	462 37.9%	211 17.3%	92 7.6%	79 6.5%	95 7.8%	70 5.7%	48 3.9%	7 0.6%	10 0.8%	35 2.9%	
	地域2(西部)	254	175 68.9%	148 58.3%	144 56.7%	108 42.5%	46 18.1%	15 5.9%	19 7.5%	7 2.8%	10 3.9%	6 2.4%	7 2.8%	3 1.2%	7 2.8%	8 3.1%
	地域3(中部)	608	414 68.1%	382 62.8%	341 56.1%	223 36.7%	80 13.2%	28 4.6%	39 6.4%	29 4.8%	25 4.1%	27 4.4%	23 3.8%	5 0.8%	6 1.0%	27 4.4%
	地域4(東部)	197	123 62.4%	119 60.4%	123 62.4%	64 32.5%	37 18.8%	14 7.1%	12 6.1%	10 5.1%	9 4.6%	3 1.5%	7 3.6%	4 2.0%	7 3.6%	8 4.1%
	地域5(南東部)	168	125 74.4%	100 59.5%	95 56.5%	50 29.8%	32 19.0%	19 11.3%	13 7.7%	11 6.5%	5 3.0%	4 2.4%	3 1.8%	4 2.4%	0 0.0%	10 6.0%
	地域6(南西部)	82	54 65.9%	50 61.0%	42 51.2%	23 28.0%	6 7.3%	8 9.8%	7 8.5%	8 9.8%	4 4.9%	3 3.7%	1 1.2%	7 8.5%	1 1.2%	5 6.1%
性別	男性	1,007	695 69.0%	629 62.5%	487 48.4%	394 39.1%	184 18.3%	53 5.3%	52 5.2%	75 7.4%	40 4.0%	53 5.3%	43 4.3%	11 1.1%	14 1.4%	26 2.6%
	女性	1,476	983 66.6%	813 55.1%	934 63.3%	522 35.4%	221 15.0%	119 8.1%	114 7.7%	82 5.6%	83 5.6%	42 2.8%	46 3.1%	18 1.2%	16 1.1%	59 4.0%
年齢別	20歳代	172	119 69.2%	106 61.6%	53 30.8%	43 25.0%	25 14.5%	6 3.5%	4 2.3%	9 5.2%	32 18.6%	27 15.7%	22 12.8%	0 0.0%	4 2.3%	7 4.1%
	30歳代	213	141 66.2%	121 56.8%	118 55.4%	89 41.8%	20 9.4%	7 3.3%	14 6.6%	5 2.3%	28 13.1%	19 8.9%	16 7.5%	0 0.0%	8 3.8%	5 2.3%
	40歳代	350	249 71.1%	225 64.3%	173 49.4%	147 42.0%	40 11.4%	9 2.6%	23 6.6%	18 5.1%	16 4.6%	23 6.6%	16 4.6%	2 0.6%	5 1.4%	9 2.6%
	50歳代	389	270 69.4%	240 61.7%	232 59.6%	167 42.9%	58 14.9%	14 3.6%	24 6.2%	18 4.6%	13 3.3%	12 3.1%	10 2.6%	3 0.8%	2 0.5%	8 2.1%
	60歳代	622	437 70.3%	358 57.6%	406 65.3%	252 40.5%	118 19.0%	45 7.2%	48 7.7%	37 5.9%	13 2.1%	8 1.3%	15 2.4%	5 0.8%	3 0.5%	9 1.4%
	70歳代以上	734	459 62.5%	391 53.3%	435 59.3%	217 29.6%	144 19.6%	92 12.5%	53 7.2%	70 9.5%	21 2.9%	6 0.8%	10 1.4%	19 2.6%	8 1.1%	46 6.3%
婚姻状況別	未婚	369	269 72.9%	214 58.0%	151 40.9%	97 26.3%	58 15.7%	18 4.9%	20 5.4%	21 5.7%	40 10.8%	37 10.0%	29 7.9%	3 0.8%	11 3.0%	11 3.0%
	既婚	1,788	1,209 67.6%	1,048 58.6%	1,074 60.1%	726 40.6%	303 16.9%	112 6.3%	115 6.4%	108 6.0%	71 4.0%	54 3.0%	56 3.1%	22 1.2%	14 0.8%	52 2.9%
	離婚・死別	328	203 61.9%	184 56.1%	197 60.1%	94 28.7%	44 13.4%	45 13.7%	31 9.5%	27 8.2%	12 3.7%	4 1.2%	4 1.2%	5 1.5%	5 1.5%	20 6.1%
ライフステージ別 (複数回答)	若者	158	111 70.3%	95 60.1%	46 29.1%	37 23.4%	23 14.6%	6 3.8%	4 2.5%	8 5.1%	31 19.6%	25 15.8%	20 12.7%	0 0.0%	4 2.5%	7 4.4%
	夫婦	247	162 65.6%	141 57.1%	153 61.9%	106 42.9%	40 16.2%	17 6.9%	20 8.1%	12 4.9%	12 4.9%	15 6.1%	8 3.2%	2 0.8%	2 0.8%	3 1.2%
	育児期	159	103 64.8%	100 62.9%	93 58.5%	78 49.1%	10 6.3%	2 1.3%	10 6.3%	5 3.1%	13 8.2%	12 7.5%	7 4.4%	0 0.0%	3 1.9%	4 2.5%
	教育期前期	349	243 69.6%	211 60.5%	194 55.6%	146 41.8%	41 11.7%	10 2.9%	21 6.0%	15 4.3%	23 6.6%	18 5.2%	16 4.6%	1 0.3%	2 0.6%	12 3.4%
	教育期後期	180	130 72.2%	110 61.1%	108 60.0%	70 38.9%	29 16.1%	5 2.8%	9 5.0%	9 5.0%	8 4.4%	5 2.8%	7 3.9%	1 0.6%	0 0.0%	6 3.3%
	単身高齢者	123	76 61.8%	60 48.8%	75 61.0%	31 25.2%	20 16.3%	26 21.1%	12 9.8%	15 12.2%	5 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.3%	2 1.6%	4 3.3%
	高齢者夫婦	507	335 66.1%	268 52.9%	318 62.7%	176 34.7%	104 20.5%	48 9.5%	43 8.5%	41 8.1%	15 3.0%	5 1.0%	10 2.0%	13 2.6%	7 1.4%	22 4.3%
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,360	887 65.2%	829 61.0%	743 54.6%	477 35.1%	208 15.3%	99 7.3%	86 6.3%	79 5.8%	73 5.4%	56 4.1%	57 4.2%	21 1.5%	15 1.1%	52 3.8%
	奈良県に新しくきた人	1,137	800 70.4%	622 54.7%	684 60.2%	445 39.1%	201 17.7%	73 6.4%	82 7.2%	74 6.5%	50 4.4%	39 3.4%	31 2.7%	9 0.8%	16 1.4%	35 3.1%
就労別の	奈良県内で働いている人	1,011	709 70.1%	647 64.0%	554 54.8%	394 39.0%	143 14.1%	44 4.4%	64 6.3%	53 5.2%	50 4.9%	48 4.7%	43 4.3%	6 0.6%	11 1.1%	24 2.4%
	奈良県外で働いている人	325	225 69.2%	182 56.0%	172 52.9%	122 37.5%	55 16.9%	10 3.1%	23 7.1%	21 6.5%	29 8.9%	21 6.5%	20 6.2%	3 0.9%	6 1.8%	6 1.8%

(注)集計結果は「県全体」の結果が多い順(「その他」を除く)に並べている。

太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。



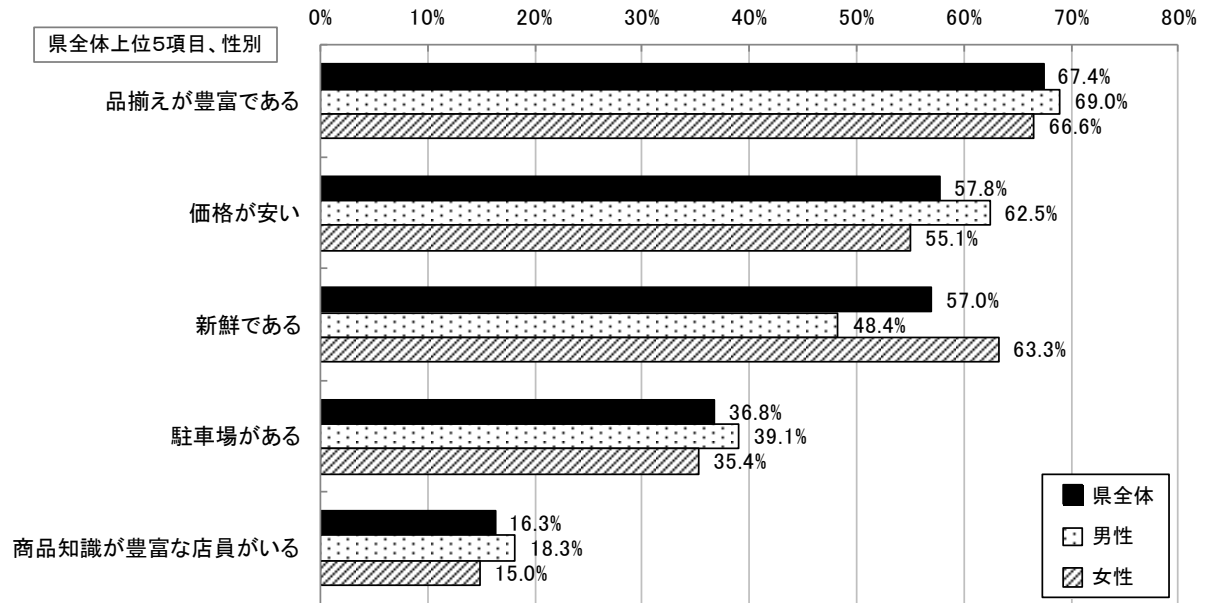
図表 買い物しようと思う店舗（問13 3つ以内で複数回答／県全体上位5項目、地域別）



(注)母数については前ページの表参照

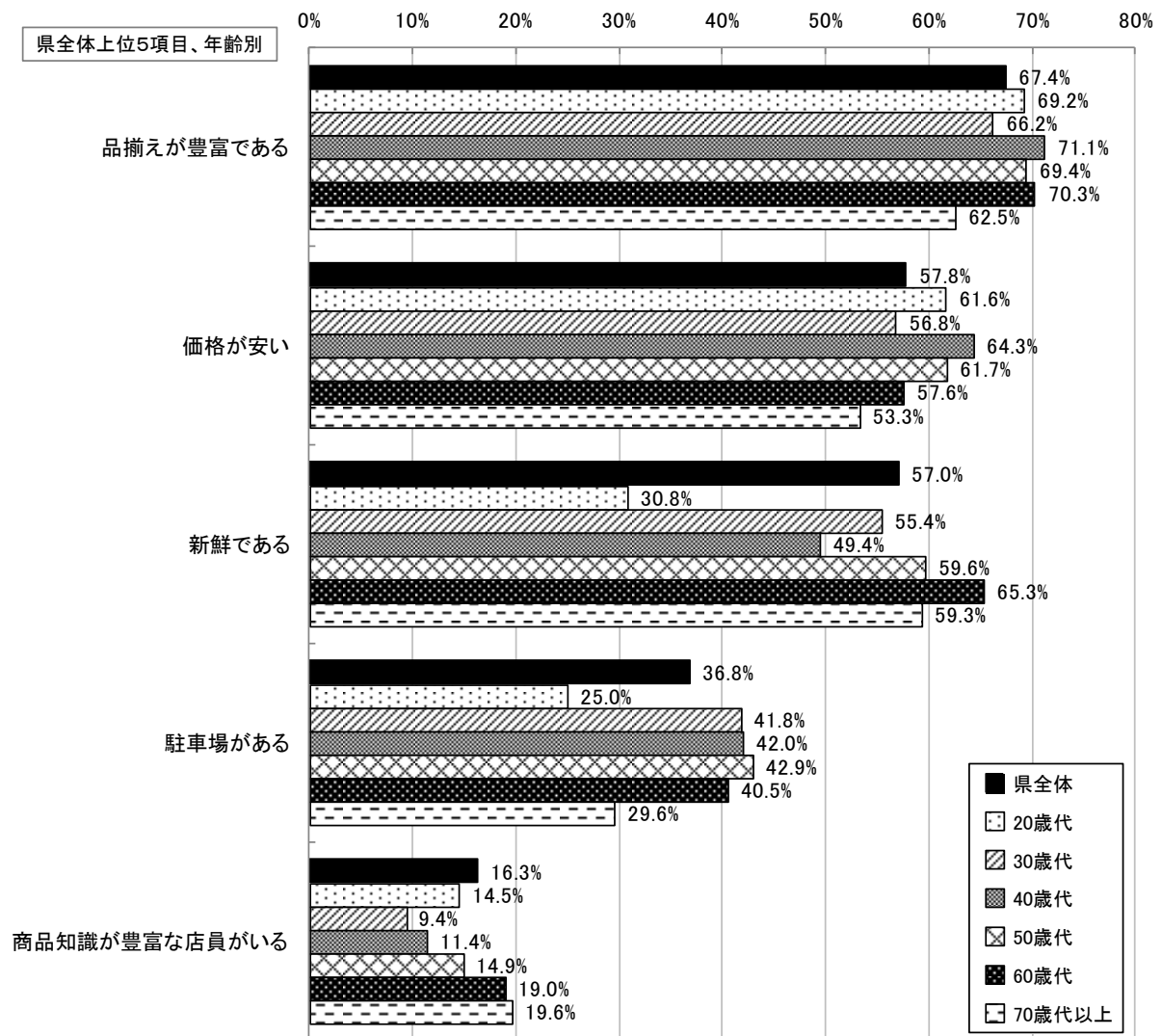
(3つ以内で複数回答)

図表 買い物しようと思う店舗（問13 3つ以内で複数回答／県全体上位5項目、性別、年齢別）



(3つ以内で複数回答)

(注)母数については前ページの表参照



(3つ以内で複数回答)

(注)母数については前ページの表参照

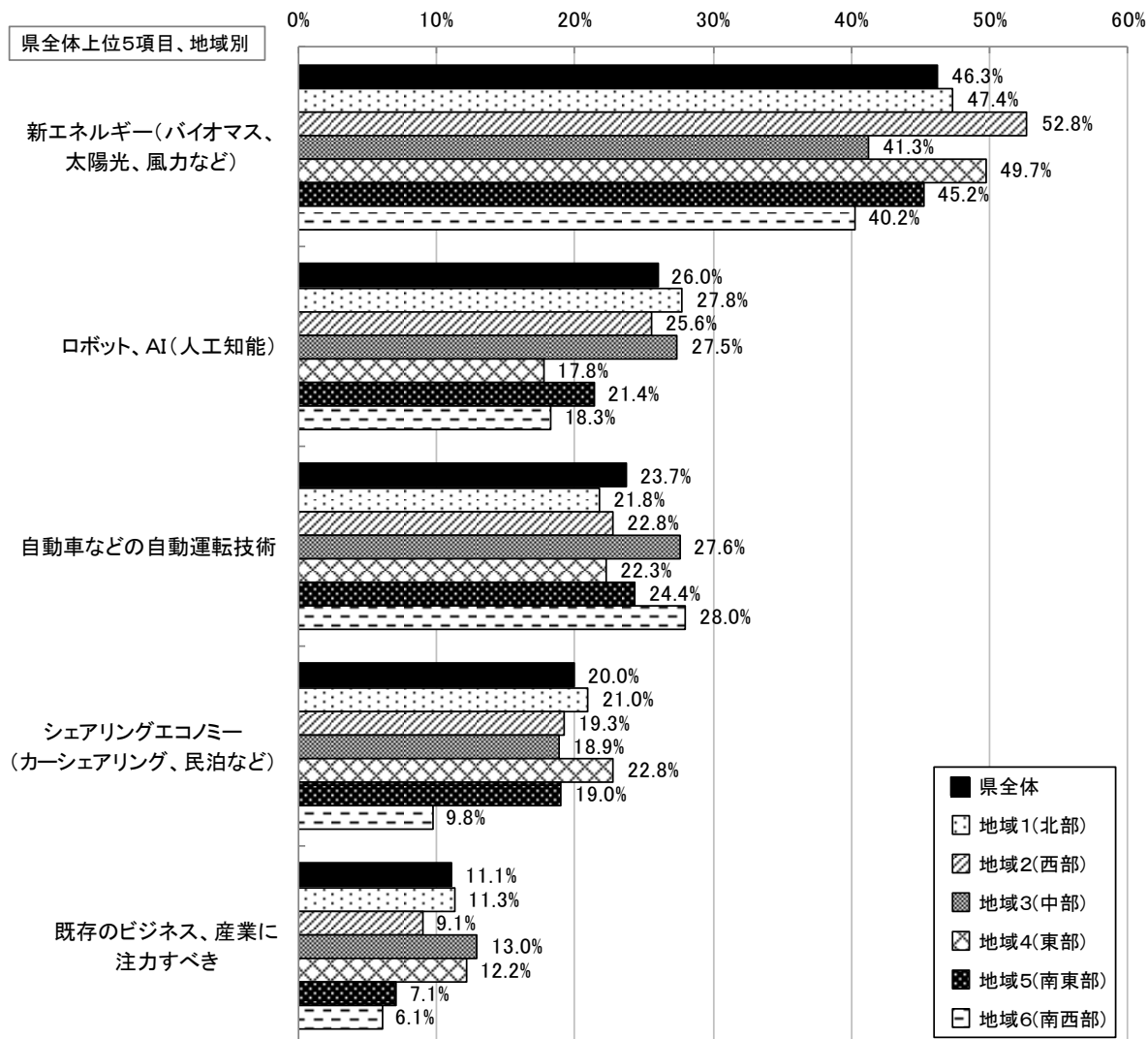
(3) 今後、県内で発展したら良いと思うビジネス (問 14 3つ以内で複数回答)

(上段:件数、下段:比率)

※3つ以内で複数回答		全 体	新 エ ネ ル ギ ー ( パ イ オ マ ス 、 太 陽 光 、 風 力 な ど )	ロ ボ ッ ト 、 A I ( 人 工 知 能 )	自 動 車 な ど の 自 動 運 転 技 術	ど の カ ー シ ェ ア リ ン グ 、 民 泊 な ど	シ ェ ア リ ン グ エ コ ノ ミ ー	ト 、 ビ ッ グ デ ー タ	I o T ( モ ノ の イ ン タ ー ネ ッ ト )	コ ン 機 な ど ( ド ロ ー ン 、 ラ ジ オ な ど )	無 人 航 空 機 ( ド ロ ー ン 、 ラ ジ オ な ど )	済 、 仮 想 通 貨 な ど ( モ バ イ ル 決 算 な ど )	そ の 他	す べ き の ビ ジ ネ ス 、 産 業 に 注 力	無 回 答
県全体		2,527	1,169 46.3%	657 26.0%	600 23.7%	505 20.0%	248 9.8%	202 8.0%	78 3.1%	152 6.0%	281 11.1%	290 11.5%			
地域別	地域1(北部)	1,218	577 47.4%	339 27.8%	266 21.8%	256 21.0%	124 10.2%	82 6.7%	34 2.8%	85 7.0%	138 11.3%	123 10.1%			
	地域2(西部)	254	134 52.8%	65 25.6%	58 22.8%	49 19.3%	28 11.0%	18 7.1%	16 6.3%	19 7.5%	23 9.1%	24 9.4%			
	地域3(中部)	608	251 41.3%	167 27.5%	168 27.6%	115 18.9%	55 9.0%	46 7.6%	20 3.3%	27 4.4%	79 13.0%	77 12.7%			
	地域4(東部)	197	98 49.7%	35 17.8%	44 22.3%	45 22.8%	14 7.1%	22 11.2%	4 2.0%	12 6.1%	24 12.2%	23 11.7%			
	地域5(南東部)	168	76 45.2%	36 21.4%	41 24.4%	32 19.0%	19 11.3%	21 12.5%	3 1.8%	6 3.6%	12 7.1%	26 15.5%			
	地域6(南西部)	82	33 40.2%	15 18.3%	23 28.0%	8 9.8%	8 9.8%	13 15.9%	1 1.2%	3 3.7%	5 6.1%	17 20.7%			
性別	男性	1,007	490 48.7%	328 32.6%	233 23.1%	195 19.4%	148 14.7%	109 10.8%	39 3.9%	72 7.1%	105 10.4%	80 7.9%			
	女性	1,476	664 45.0%	319 21.6%	356 24.1%	306 20.7%	95 6.4%	91 6.2%	39 2.6%	78 5.3%	171 11.6%	197 13.3%			
年齢別	20歳代	172	74 43.0%	44 25.6%	36 20.9%	44 25.6%	40 23.3%	9 5.2%	15 8.7%	13 7.6%	24 14.0%	4 2.3%			
	30歳代	213	100 46.9%	50 23.5%	49 23.0%	44 20.7%	29 13.6%	14 6.6%	15 7.0%	16 7.5%	35 16.4%	7 3.3%			
	40歳代	350	150 42.9%	81 23.1%	70 20.0%	75 21.4%	37 10.6%	27 7.7%	16 4.6%	34 9.7%	50 14.3%	23 6.6%			
	50歳代	389	183 47.0%	112 28.8%	83 21.3%	74 19.0%	40 10.3%	24 6.2%	17 4.4%	24 6.2%	50 12.9%	22 5.7%			
	60歳代	622	324 52.1%	168 27.0%	185 29.7%	148 23.8%	49 7.9%	70 11.3%	9 1.4%	32 5.1%	48 7.7%	52 8.4%			
	70歳代以上	734	324 44.1%	191 26.0%	168 22.9%	115 15.7%	48 6.5%	56 7.6%	6 0.8%	31 4.2%	69 9.4%	165 22.5%			
婚姻状況別	未婚	369	179 48.5%	93 25.2%	79 21.4%	75 20.3%	58 15.7%	25 6.8%	24 6.5%	33 8.9%	41 11.1%	17 4.6%			
	既婚	1,788	852 47.7%	476 26.6%	461 25.8%	366 20.5%	168 9.4%	143 8.0%	48 2.7%	101 5.6%	204 11.4%	179 10.0%			
	離婚・死別	328	127 38.7%	78 23.8%	52 15.9%	59 18.0%	18 5.5%	33 10.1%	6 1.8%	16 4.9%	32 9.8%	78 23.8%			
ライフステージ別(複数回答)	若者	158	68 43.0%	40 25.3%	33 20.9%	41 25.9%	37 23.4%	8 5.1%	15 9.5%	12 7.6%	20 12.7%	4 2.5%			
	夫婦	247	117 47.4%	81 32.8%	76 30.8%	50 20.2%	30 12.1%	22 8.9%	10 4.0%	16 6.5%	26 10.5%	11 4.5%			
	育児期	159	77 48.4%	35 22.0%	31 19.5%	33 20.8%	22 13.8%	11 6.9%	10 6.3%	11 6.9%	27 17.0%	9 5.7%			
	教育期前期	349	149 42.7%	85 24.4%	69 19.8%	74 21.2%	42 12.0%	31 8.9%	14 4.0%	23 6.6%	50 14.3%	26 7.4%			
	教育期後期	180	77 42.8%	47 26.1%	51 28.3%	34 18.9%	28 15.6%	16 8.9%	5 2.8%	15 8.3%	19 10.6%	10 5.6%			
	単身高齢者	123	44 35.8%	34 27.6%	19 15.4%	21 17.1%	3 2.4%	12 9.8%	1 0.8%	7 5.7%	13 10.6%	30 24.4%			
	高齢者夫婦	507	270 53.3%	137 27.0%	145 28.6%	87 17.2%	43 8.5%	41 8.1%	6 1.2%	25 4.9%	40 7.9%	74 14.6%			
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,360	605 44.5%	366 26.9%	329 24.2%	259 19.0%	126 9.3%	120 8.8%	39 2.9%	72 5.3%	155 11.4%	170 12.5%			
	奈良県に新しくきた人	1,137	556 48.9%	286 25.2%	267 23.5%	245 21.5%	119 10.5%	81 7.1%	39 3.4%	80 7.0%	123 10.8%	104 9.1%			
就労別の	奈良県内で働いている人	1,011	472 46.7%	268 26.5%	239 23.6%	213 21.1%	105 10.4%	85 8.4%	37 3.7%	59 5.8%	133 13.2%	64 6.3%			
	奈良県外で働いている人	325	151 46.5%	95 29.2%	81 24.9%	74 22.8%	55 16.9%	32 9.8%	21 6.5%	32 9.8%	27 8.3%	18 5.5%			

(注)集計結果は「県全体」の結果が多い順(「その他」、「既存のビジネス、産業に注力すべき」を除く)に並べている。  
太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

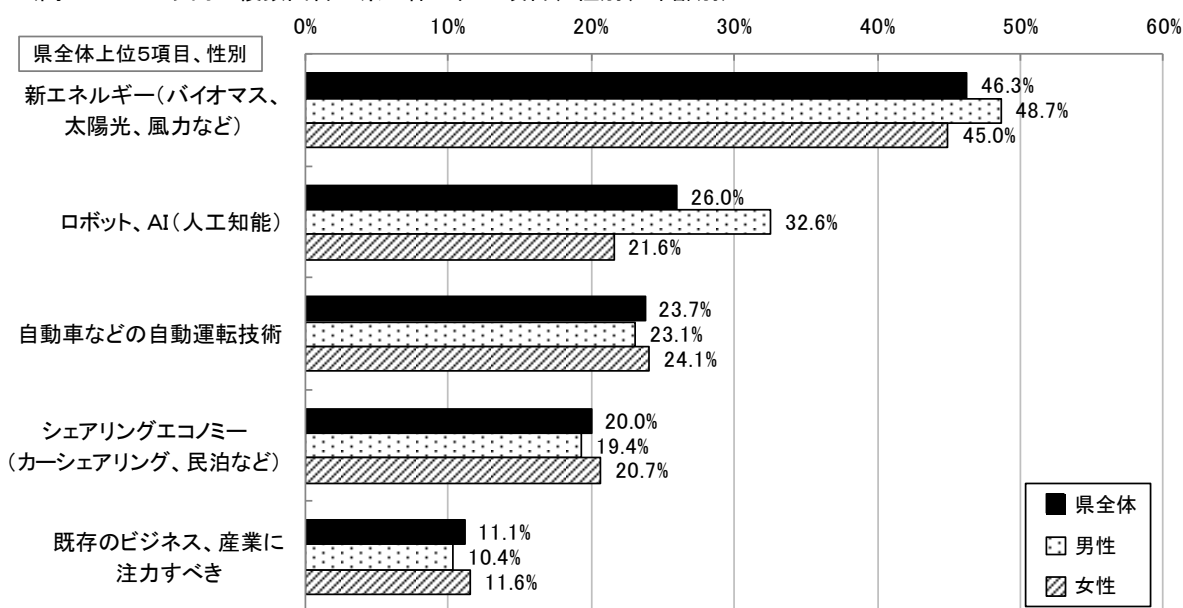
図表 今後、県内で発展したら良いと思うビジネス（問 14 3つ以内で複数回答／県全体上位5項目、地域別）



(注)母数については前ページの表参照

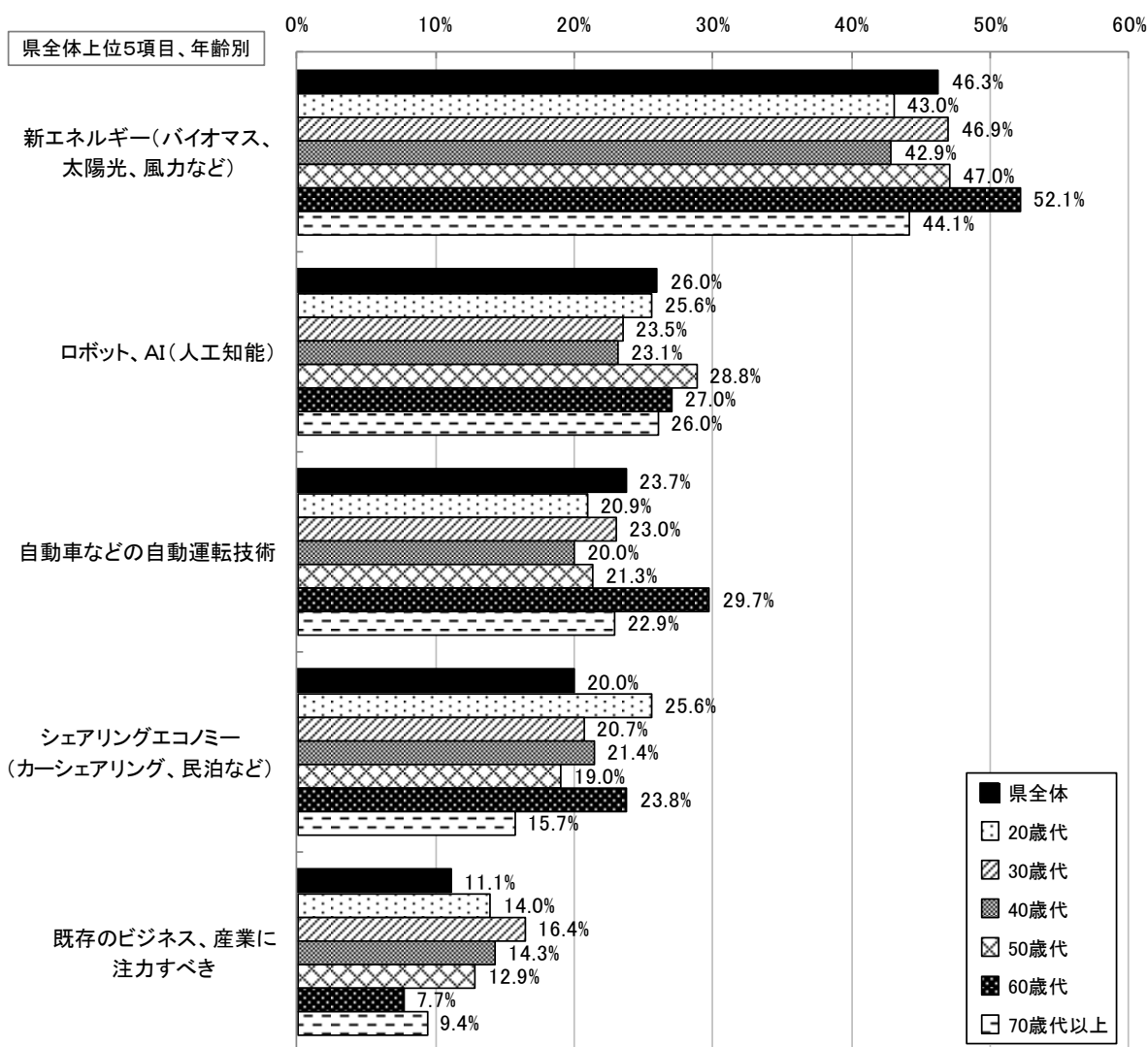
(3つ以内で複数回答)

図表 今後、県内で発展したら良いと思うビジネス  
 (問 14 3つ以内で複数回答/県全体上位5項目、性別、年齢別)



(3つ以内で複数回答)

(注)母数については前ページの表参照



(3つ以内で複数回答)

(注)母数については前ページの表参照

(4) 県産生薬や漢方薬について

①県が優良な生薬の栽培地であることの認知状況 (問 15 単数回答)

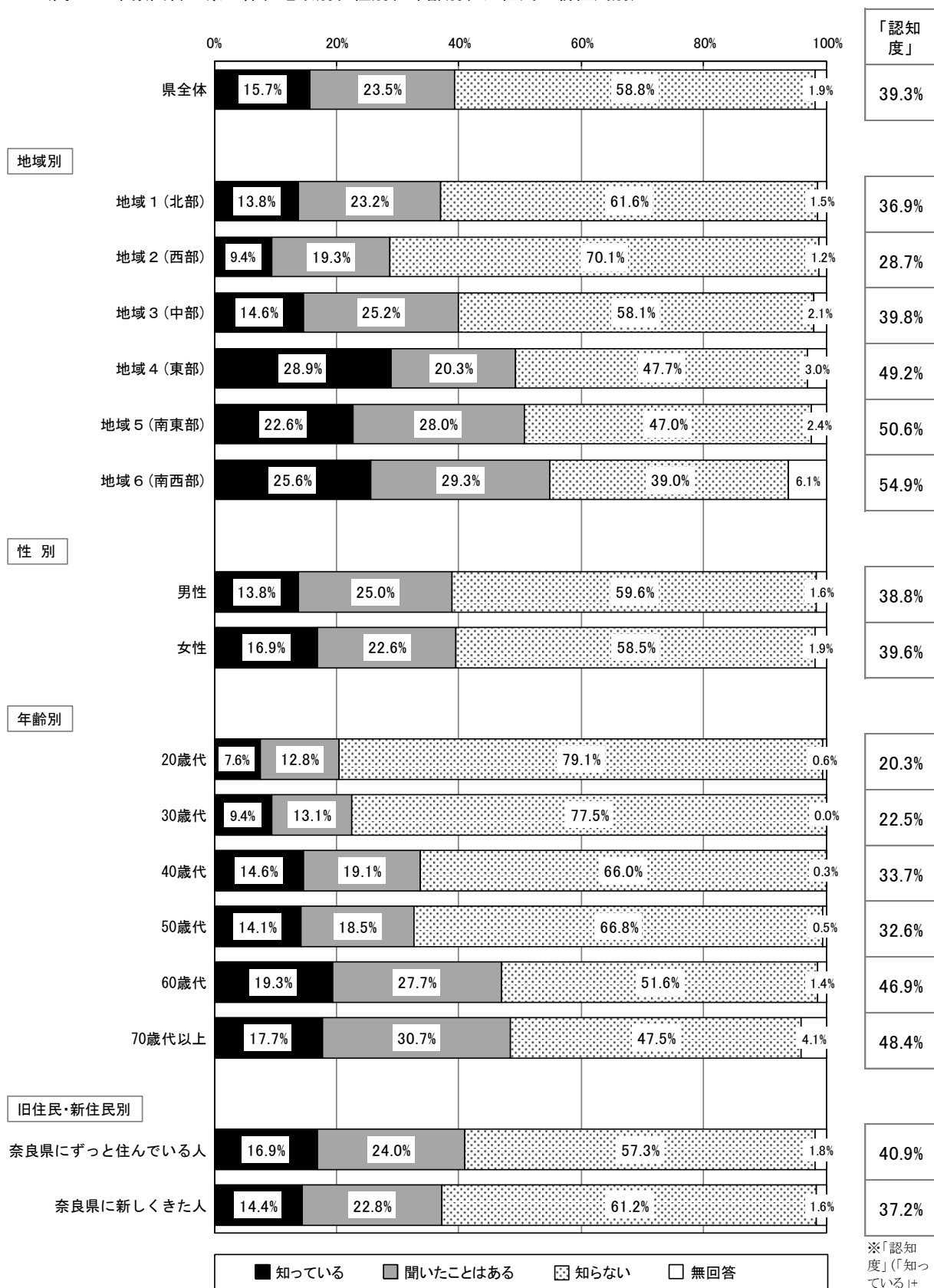
(上段:件数、下段:比率)

	全 体	知 っ て い る	聞 い た こ と は あ る	知 ら な い	無 回 答	認 知 度 「 * 」	
県全体	2,527	397 15.7%	595 23.5%	1,486 58.8%	49 1.9%	39.3%	
地域別	地域1(北部)	1,218	168 13.8%	282 23.2%	750 61.6%	18 1.5%	36.9%
	地域2(西部)	254	24 9.4%	49 19.3%	178 70.1%	3 1.2%	28.7%
	地域3(中部)	608	89 14.6%	153 25.2%	353 58.1%	13 2.1%	39.8%
	地域4(東部)	197	57 28.9%	40 20.3%	94 47.7%	6 3.0%	49.2%
	地域5(南東部)	168	38 22.6%	47 28.0%	79 47.0%	4 2.4%	50.6%
	地域6(南西部)	82	21 25.6%	24 29.3%	32 39.0%	5 6.1%	54.9%
性別	男性	1,007	139 13.8%	252 25.0%	600 59.6%	16 1.6%	38.8%
	女性	1,476	250 16.9%	334 22.6%	864 58.5%	28 1.9%	39.6%
年齢別	20歳代	172	13 7.6%	22 12.8%	136 79.1%	1 0.6%	20.3%
	30歳代	213	20 9.4%	28 13.1%	165 77.5%	0 0.0%	22.5%
	40歳代	350	51 14.6%	67 19.1%	231 66.0%	1 0.3%	33.7%
	50歳代	389	55 14.1%	72 18.5%	260 66.8%	2 0.5%	32.6%
	60歳代	622	120 19.3%	172 27.7%	321 51.6%	9 1.4%	46.9%
	70歳代以上	734	130 17.7%	225 30.7%	349 47.5%	30 4.1%	48.4%
婚姻状況別	未婚	369	41 11.1%	75 20.3%	248 67.2%	5 1.4%	31.4%
	既婚	1,788	298 16.7%	423 23.7%	1,037 58.0%	30 1.7%	40.3%
	離婚・死別	328	54 16.5%	90 27.4%	176 53.7%	8 2.4%	43.9%
ライフステージ別 (複数回答)	若者	158	11 7.0%	22 13.9%	124 78.5%	1 0.6%	20.9%
	夫婦	247	38 15.4%	51 20.6%	157 63.6%	1 0.4%	36.0%
	育児期	159	10 6.3%	22 13.8%	127 79.9%	0 0.0%	20.1%
	教育期前期	349	41 11.7%	55 15.8%	249 71.3%	4 1.1%	27.5%
	教育期後期	180	33 18.3%	40 22.2%	104 57.8%	3 1.7%	40.6%
	単身高齢者	123	24 19.5%	34 27.6%	61 49.6%	4 3.3%	47.2%
	高齢者夫婦	507	95 18.7%	155 30.6%	236 46.5%	21 4.1%	49.3%
新旧住民別	奈良県にずっと 住んでいる人	1,360	230 16.9%	326 24.0%	779 57.3%	25 1.8%	40.9%
	奈良県に新しく きた人	1,137	164 14.4%	259 22.8%	696 61.2%	18 1.6%	37.2%
奈良での 就業別	奈良県内で 働いている人	1,011	158 15.6%	229 22.7%	616 60.9%	8 0.8%	38.3%
	奈良県外で 働いている人	325	31 9.5%	56 17.2%	235 72.3%	3 0.9%	26.8%

(注)太字は「無回答」を除いた各属性区分の上位2項目を示し、濃い網掛けは  
最多項目を示している。

\*右列は、「認知度」(「知っている」+「聞いたことはある」)に再集計した結果である。

図表 県が優良な生薬の栽培地であることの認知状況  
 (問 15 単数回答/県全体、地域別、性別、年齢別、旧住民・新住民別)



(注)母数については前ページの表参照

※「認知度」(「知っている」+「聞いたことはある」)に再集計した結果である

②県産生薬・これらを活用した漢方薬の購入希望場所（問16 複数回答）

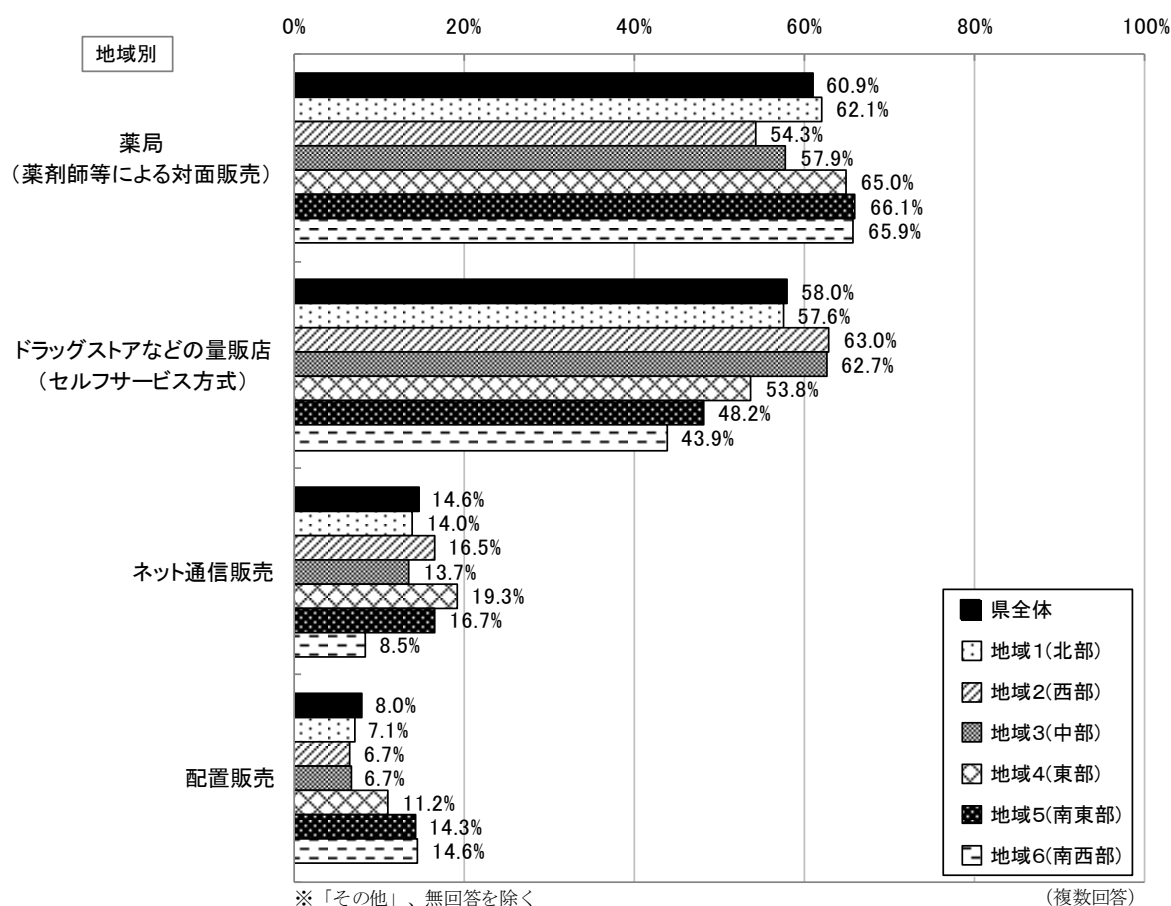
（上段：件数、下段：比率）

※複数回答		全 体	売 薬 局 （ 薬 劑 師 等 に よ る 対 面 販	ド ラ グ ス ト ア な ど の 量 販 店 （ セ ル フ サ ー ビ ス 方 式 ）	ネ ッ ト 通 信 販 売	配 置 販 売	そ の 他	無 回 答
県全体		2,527	1,539 60.9%	1,465 58.0%	369 14.6%	203 8.0%	45 1.8%	69 2.7%
地域別	地域1(北部)	1,218	756 62.1%	701 57.6%	171 14.0%	87 7.1%	19 1.6%	37 3.0%
	地域2(西部)	254	138 54.3%	160 63.0%	42 16.5%	17 6.7%	8 3.1%	4 1.6%
	地域3(中部)	608	352 57.9%	381 62.7%	83 13.7%	41 6.7%	7 1.2%	14 2.3%
	地域4(東部)	197	128 65.0%	106 53.8%	38 19.3%	22 11.2%	7 3.6%	6 3.0%
	地域5(南東部)	168	111 66.1%	81 48.2%	28 16.7%	24 14.3%	4 2.4%	1 0.6%
	地域6(南西部)	82	54 65.9%	36 43.9%	7 8.5%	12 14.6%	0 0.0%	7 8.5%
性別	男性	1,007	581 57.7%	604 60.0%	171 17.0%	83 8.2%	19 1.9%	20 2.0%
	女性	1,476	931 63.1%	844 57.2%	192 13.0%	116 7.9%	24 1.6%	45 3.0%
年齢別	20歳代	172	78 45.3%	128 74.4%	35 20.3%	9 5.2%	5 2.9%	1 0.6%
	30歳代	213	100 46.9%	152 71.4%	53 24.9%	17 8.0%	4 1.9%	0 0.0%
	40歳代	350	178 50.9%	235 67.1%	77 22.0%	26 7.4%	3 0.9%	2 0.6%
	50歳代	389	213 54.8%	250 64.3%	70 18.0%	19 4.9%	7 1.8%	5 1.3%
	60歳代	622	414 66.6%	352 56.6%	70 11.3%	57 9.2%	9 1.4%	14 2.3%
	70歳代以上	734	527 71.8%	332 45.2%	59 8.0%	71 9.7%	15 2.0%	41 5.6%
婚姻状況別	未婚	369	181 49.1%	250 67.8%	75 20.3%	28 7.6%	10 2.7%	5 1.4%
	既婚	1,788	1,116 62.4%	1,039 58.1%	260 14.5%	149 8.3%	28 1.6%	42 2.3%
	離婚・死別	328	217 66.2%	165 50.3%	31 9.5%	24 7.3%	5 1.5%	14 4.3%
ライフステージ別 （複数回答）	若者	158	74 46.8%	117 74.1%	33 20.9%	9 5.7%	5 3.2%	1 0.6%
	夫婦	247	143 57.9%	153 61.9%	47 19.0%	16 6.5%	5 2.0%	3 1.2%
	育児期	159	79 49.7%	104 65.4%	36 22.6%	9 5.7%	2 1.3%	0 0.0%
	教育期前期	349	179 51.3%	241 69.1%	78 22.3%	26 7.4%	4 1.1%	3 0.9%
	教育期後期	180	111 61.7%	120 66.7%	32 17.8%	14 7.8%	2 1.1%	2 1.1%
	単身高齢者	123	67 54.5%	61 49.6%	11 8.9%	13 10.6%	4 3.3%	4 3.3%
	高齢者夫婦	507	354 69.8%	249 49.1%	45 8.9%	53 10.5%	9 1.8%	22 4.3%
旧住民別・ 新住民別	奈良県にずっと 住んでいる人	1,360	852 62.6%	760 55.9%	189 13.9%	120 8.8%	22 1.6%	33 2.4%
	奈良県に新しく きた人	1,137	670 58.9%	699 61.5%	180 15.8%	78 6.9%	22 1.9%	29 2.6%
就労別の 奈良での	奈良県内で 働いている人	1,011	577 57.1%	641 63.4%	164 16.2%	78 7.7%	13 1.3%	9 0.9%
	奈良県外で 働いている人	325	164 50.5%	218 67.1%	69 21.2%	19 5.8%	9 2.8%	5 1.5%

（注）集計結果は「県全体」の結果が多い順（「その他」を除く）に並べている。  
太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、  
濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。



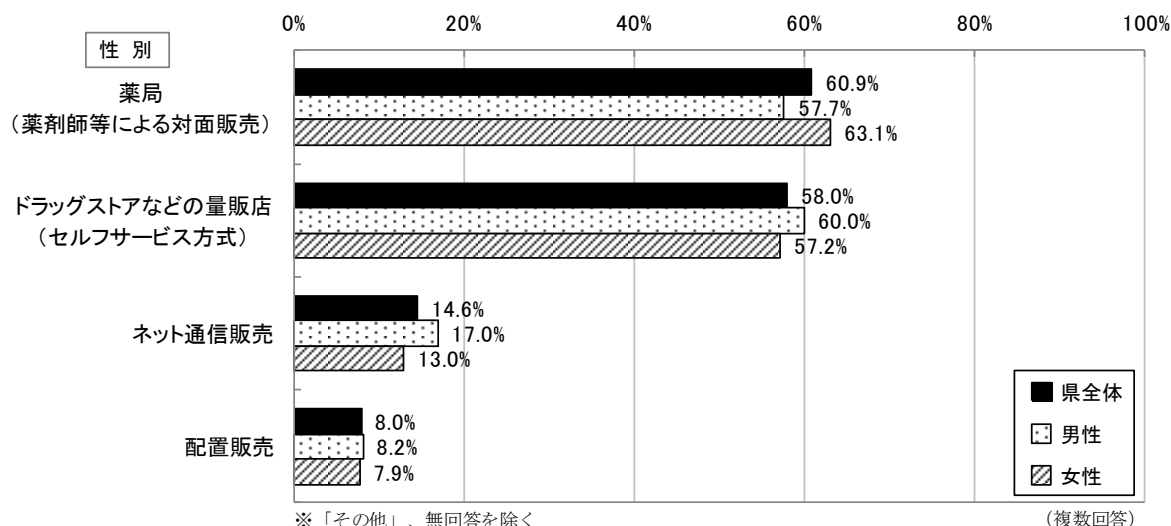
図表 県産生薬・これらを活用した漢方薬の購入希望場所（問 16 複数回答／県全体、地域別、性別）



※「その他」、無回答を除く

(複数回答)

(注)母数については前ページの表参照

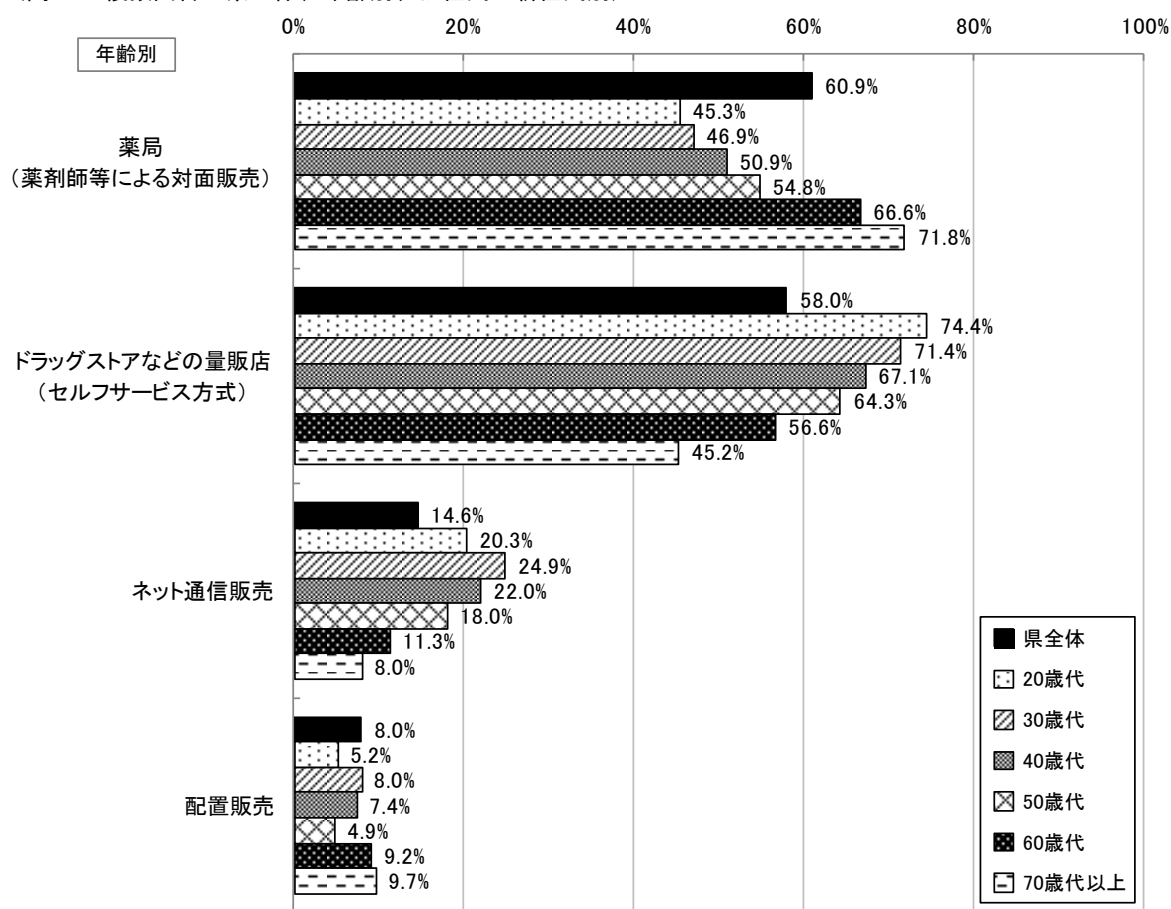


※「その他」、無回答を除く

(複数回答)

(注)母数については前ページの表参照

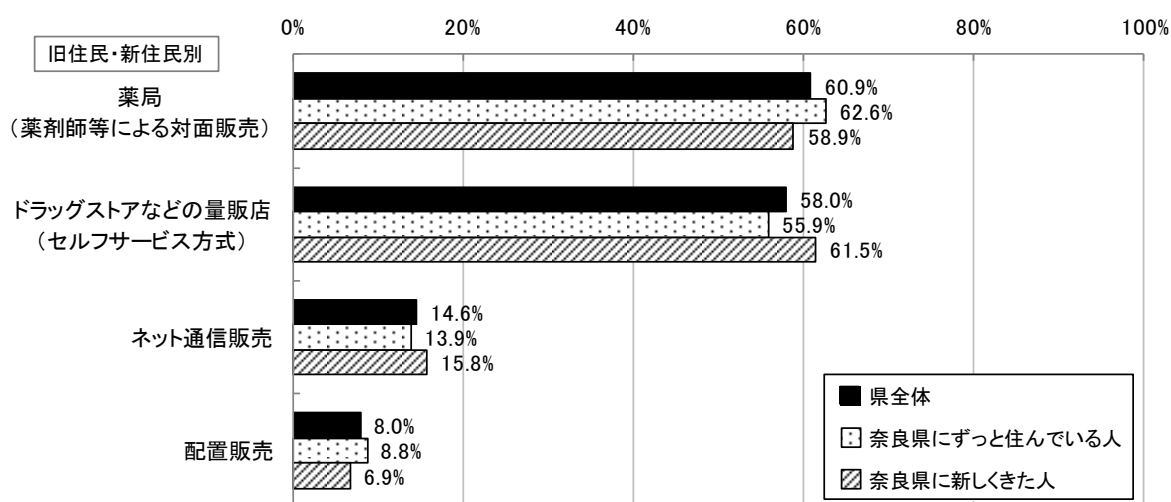
図表 県産生薬・これらを活用した漢方薬の購入希望場所  
 (問 16 複数回答/県全体、年齢別、旧住民・新住民別)



※「その他」、無回答を除く

(複数回答)

(注)母数については前ページの表参照



※「その他」、無回答を除く

(複数回答)

(注)母数については前ページの表参照

(5) 職業と勤務地

①職業 (問 17 単数回答)

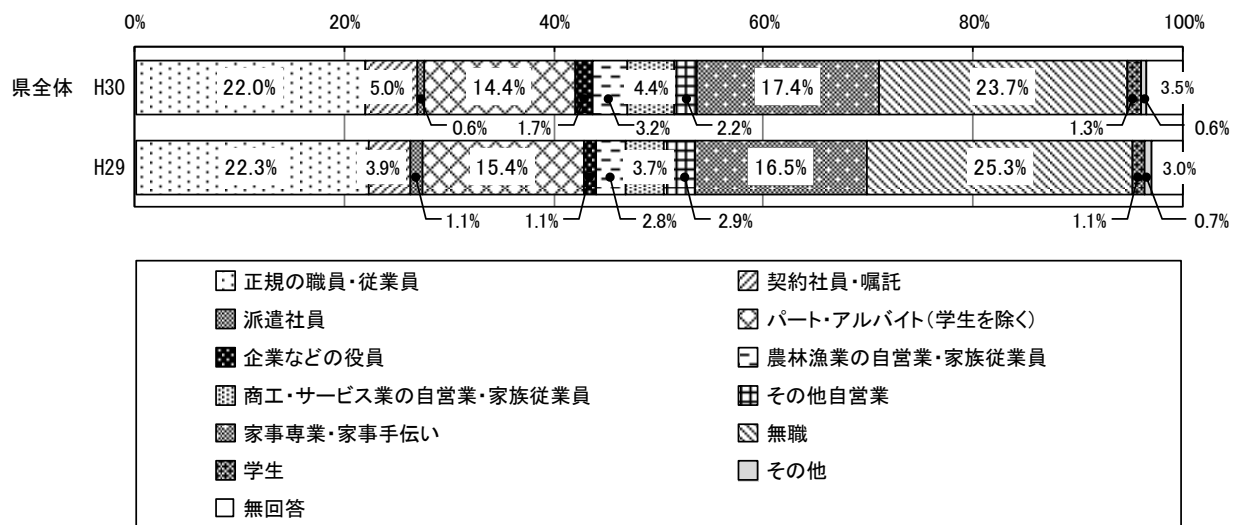
(上段:件数、下段:比率)

	全 体	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	契 約 社 員 ・ 嘱 託	派 遣 社 員	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト (学 生 を 除 く)	企 業 な ど の 役 員	農 林 漁 業 の 自 営 業 ・ 家 族 従 業 員	※ 1 自 営 業 ・ 家 族 従 業 員	※ 2 商 工 ・ サ ー ビ ス 業 の 自 営 業	そ の 他 自 営 業	家 事 専 業 ・ 家 事 手 伝 い	無 職	学 生	そ の 他	無 回 答
県全体	2,527	<b>555</b> 22.0%	126 5.0%	15 0.6%	365 14.4%	44 1.7%	82 3.2%	111 4.4%	55 2.2%	<b>439</b> 17.4%	<b>599</b> 23.7%	33 1.3%	15 0.6%	88 3.5%	
H29からの増減	-	(▲ 0.3)	(+ 1.1)	(▲ 0.5)	(▲ 1.0)	(+ 0.6)	(+ 0.4)	(+ 0.7)	(▲ 0.7)	(+ 0.8)	(▲ 1.6)	(+ 0.2)	(▲ 0.1)	(+ 0.5)	
地域別	地域1(北部)	1,218	<b>273</b> 22.4%	60 4.9%	9 0.7%	172 14.1%	18 1.5%	39 3.2%	50 4.1%	19 1.6%	<b>215</b> 17.7%	<b>297</b> 24.4%	19 1.6%	4 0.3%	43 3.5%
	地域2(西部)	254	<b>62</b> 24.4%	18 7.1%	1 0.4%	33 13.0%	7 2.8%	4 1.6%	6 2.4%	9 3.5%	<b>45</b> 17.7%	<b>59</b> 23.2%	3 1.2%	2 0.8%	5 2.0%
	地域3(中部)	608	<b>147</b> 24.2%	27 4.4%	2 0.3%	98 16.1%	9 1.5%	16 2.6%	26 4.3%	17 2.8%	<b>116</b> 19.1%	<b>115</b> 18.9%	8 1.3%	6 1.0%	21 3.5%
	地域4(東部)	197	<b>36</b> 18.3%	10 5.1%	2 1.0%	27 13.7%	4 2.0%	5 2.5%	11 5.6%	6 3.0%	<b>29</b> 14.7%	<b>58</b> 29.4%	1 0.5%	2 1.0%	6 3.0%
	地域5(南東部)	168	<b>24</b> 14.3%	7 4.2%	1 0.6%	<b>29</b> 17.3%	5 3.0%	9 5.4%	13 7.7%	4 2.4%	<b>24</b> 14.3%	<b>45</b> 26.8%	1 0.6%	0 0.0%	6 3.6%
	地域6(南西部)	82	<b>13</b> 15.9%	4 4.9%	0 0.0%	6 7.3%	1 1.2%	9 11.0%	5 6.1%	0 0.0%	<b>10</b> 12.2%	<b>25</b> 30.5%	1 1.2%	1 1.2%	7 8.5%
性別	男性	1,007	<b>314</b> 31.2%	<b>80</b> 7.9%	5 0.5%	75 7.4%	30 3.0%	55 5.5%	58 5.8%	33 3.3%	4 0.4%	<b>297</b> 29.5%	17 1.7%	11 1.1%	28 2.8%
	女性	1,476	<b>239</b> 16.2%	46 3.1%	10 0.7%	<b>287</b> 19.4%	12 0.8%	24 1.6%	52 3.5%	22 1.5%	<b>428</b> 29.0%	<b>279</b> 18.9%	16 1.1%	4 0.3%	57 3.9%
年齢別	20歳代	172	<b>88</b> 51.2%	9 5.2%	1 0.6%	<b>19</b> 11.0%	0 0.0%	2 1.2%	2 1.7%	3 1.7%	6 3.5%	9 5.2%	<b>33</b> 19.2%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	213	<b>110</b> 51.6%	13 6.1%	4 1.9%	<b>32</b> 15.0%	2 0.9%	1 0.5%	5 2.3%	8 3.8%	<b>34</b> 16.0%	4 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	350	<b>170</b> 48.6%	12 3.4%	2 0.6%	<b>69</b> 19.7%	5 1.4%	4 1.1%	17 4.9%	5 1.4%	<b>43</b> 12.3%	16 4.6%	0 0.0%	0 0.0%	7 2.0%
	50歳代	389	<b>140</b> 36.0%	18 4.6%	2 0.5%	<b>94</b> 24.2%	13 3.3%	7 1.8%	21 5.4%	6 1.5%	<b>61</b> 15.7%	24 6.2%	0 0.0%	1 0.3%	2 0.5%
	60歳代	622	<b>39</b> 6.3%	61 9.8%	5 0.8%	<b>119</b> 19.1%	10 1.6%	24 3.9%	40 6.4%	20 3.2%	<b>141</b> 22.7%	<b>137</b> 22.0%	0 0.0%	9 1.4%	17 2.7%
	70歳代以上	734	<b>6</b> 0.8%	13 1.8%	1 0.1%	30 4.1%	13 1.8%	13 5.6%	25 3.4%	13 1.8%	<b>145</b> 19.8%	<b>386</b> 52.6%	0 0.0%	5 0.7%	56 7.6%
婚姻状況別	未婚	369	<b>180</b> 48.8%	22 6.0%	1 0.3%	<b>42</b> 11.4%	0 0.0%	3 0.8%	7 1.9%	10 2.7%	11 3.0%	<b>55</b> 14.9%	32 8.7%	1 0.3%	5 1.4%
	既婚	1,788	<b>340</b> 19.0%	86 4.8%	14 0.8%	270 15.1%	37 2.1%	69 3.9%	91 5.1%	43 2.4%	<b>383</b> 21.4%	<b>391</b> 21.9%	1 0.1%	11 0.6%	52 2.9%
	離婚・死別	328	<b>33</b> 10.1%	18 5.5%	0 0.0%	<b>49</b> 14.9%	6 1.8%	10 3.0%	12 3.7%	2 0.6%	<b>41</b> 12.5%	<b>130</b> 39.6%	0 0.0%	3 0.9%	24 7.3%
ライフステージ別(複数回答)	若者	158	<b>81</b> 51.3%	9 5.7%	0 0.0%	<b>17</b> 10.8%	0 0.0%	2 1.3%	2 1.3%	3 1.9%	4 2.5%	8 5.1%	<b>32</b> 20.3%	0 0.0%	0 0.0%
	夫婦	247	<b>67</b> 27.1%	28 11.3%	6 2.4%	<b>57</b> 23.1%	5 2.0%	4 1.6%	12 4.9%	7 2.8%	<b>41</b> 16.6%	14 5.7%	1 0.4%	0 0.0%	5 2.0%
	育児期	159	<b>78</b> 49.1%	5 3.1%	1 0.6%	<b>15</b> 9.4%	3 1.9%	0 0.0%	5 3.1%	2 1.3%	<b>41</b> 25.8%	9 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	教育期前期	349	<b>136</b> 39.0%	7 2.0%	2 0.6%	<b>71</b> 20.3%	11 3.2%	9 2.6%	23 6.6%	5 1.4%	<b>56</b> 16.0%	19 5.4%	0 0.0%	1 0.3%	9 2.6%
	教育期後期	180	<b>55</b> 30.6%	4 2.2%	1 0.6%	<b>44</b> 24.4%	7 3.9%	7 3.9%	9 5.0%	5 2.8%	<b>29</b> 16.1%	15 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.2%
	単身高齢者	123	0 0.0%	5 4.1%	0 0.0%	<b>14</b> 11.4%	1 0.8%	2 1.6%	4 3.3%	0 0.0%	<b>17</b> 13.8%	<b>69</b> 56.1%	0 0.0%	2 1.6%	9 7.3%
高齢者夫婦	507	<b>8</b> 1.6%	14 2.8%	2 0.4%	<b>36</b> 7.1%	6 1.2%	18 3.6%	21 4.1%	13 2.6%	<b>125</b> 24.7%	<b>234</b> 46.2%	0 0.0%	5 1.0%	25 4.9%	
新旧住民別	奈良県にずっと住んでいる人	1,360	<b>316</b> 23.2%	71 5.2%	5 0.4%	<b>209</b> 15.4%	24 1.8%	71 5.2%	71 5.2%	30 2.2%	186 13.7%	<b>305</b> 22.4%	20 1.5%	8 0.6%	44 3.2%
	奈良県に新しくきた人	1,137	<b>237</b> 20.8%	55 4.8%	10 0.9%	156 13.7%	20 1.8%	10 0.9%	39 3.4%	24 2.1%	<b>252</b> 22.2%	<b>281</b> 24.7%	13 1.1%	7 0.6%	33 2.9%
就労別	奈良県内で働いている人	1,011	<b>348</b> 34.4%	86 8.5%	9 0.9%	<b>322</b> 31.8%	24 2.4%	77 7.6%	<b>100</b> 9.9%	45 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	奈良県外で働いている人	325	<b>206</b> 63.4%	<b>39</b> 12.0%	6 1.8%	<b>35</b> 10.8%	19 5.8%	2 0.6%	10 3.1%	8 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

※1:卸売業・飲食業・製造業・建設業など ※2:開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など

(注)太字は「その他」及び「無回答」を除いた各属性区分の上位3項目を示し、濃い網掛けは最多項目を、薄い網掛けは2番目に多い項目を示している。

図表 職業（問 17 単数回答／県全体、年度別）



(注) 母数については前ページの表参照 (H29母数は2,626件)

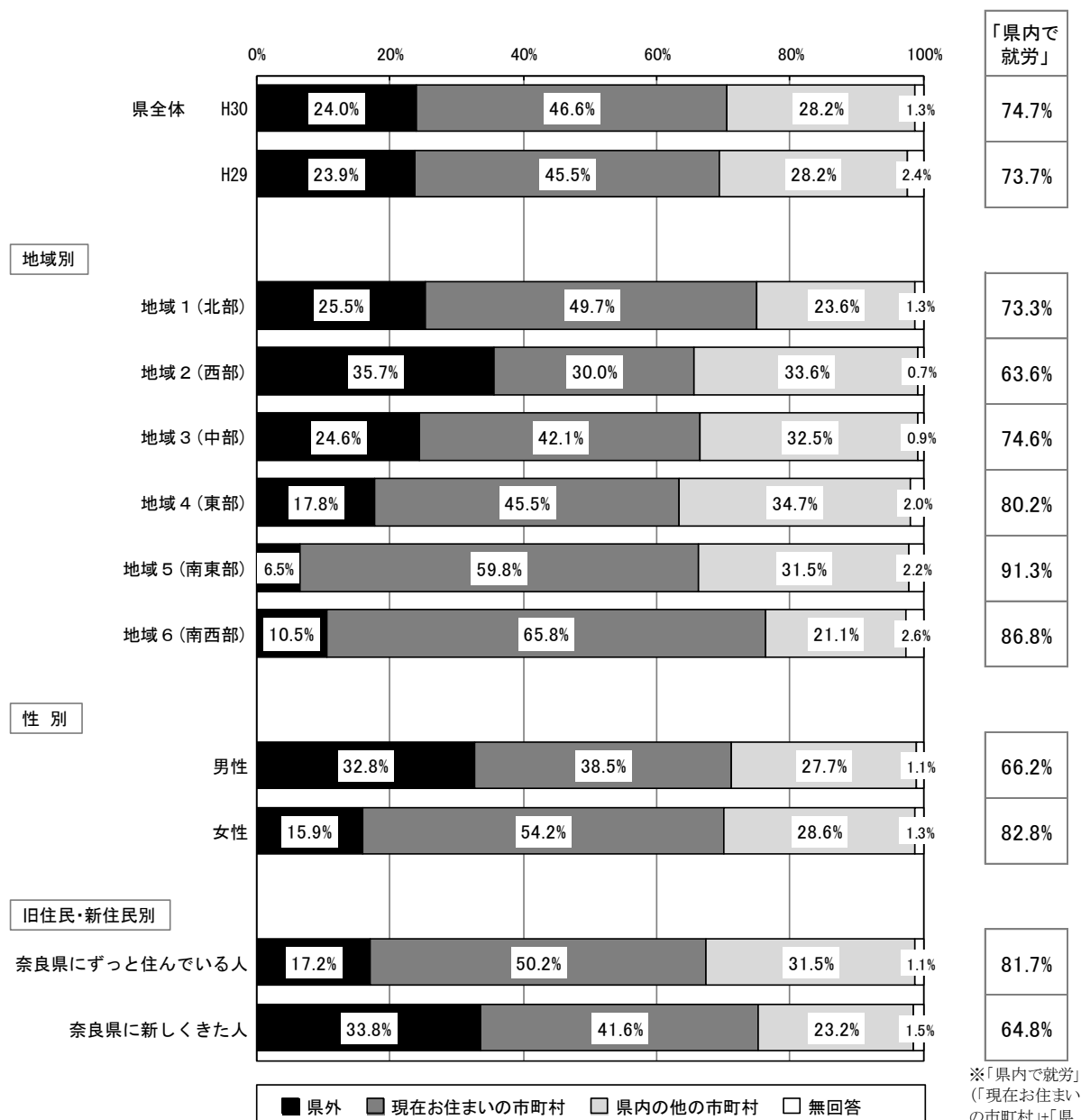
②勤務地（問18 単数回答）

（上段：件数、下段：比率）

☆働いている人のみ	全 体	県 外	（県外勤務地の内訳）				市 町 村 現 在 お 住 ま い の	県 内 の 他 の 市 町 村	無 回 答	「県 内 で 就 労」 * （+1.1）
			大 阪 府	京 都 府	そ の 他	無 回 答				
県全体 ☆	1,353	325 24.0%	245 75.4%	19 5.8%	57 17.5%	4 1.2%	630 46.6%	381 28.2%	17 1.3%	74.7%
H29からの増減	-	(+ 0.1)	(▲ 3.4)	(▲ 0.7)	(+ 5.0)	(▲ 0.9)	(+ 1.1)	(▲ 0.0)	(▲ 1.2)	(+ 1.1)
問17 正規の職員・従業員	555	206 37.1%	158 76.7%	13 6.3%	33 16.0%	2 1.0%	165 29.7%	183 33.0%	1 0.2%	62.7%
契約社員・嘱託	126	39 31.0%	31 79.5%	1 2.6%	6 15.4%	1 2.6%	40 31.7%	46 36.5%	1 0.8%	68.3%
派遣社員	15	6 40.0%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	3 20.0%	6 40.0%	0 0.0%	60.0%
パート・アルバイト （学生を除く）	365	35 9.6%	25 71.4%	2 5.7%	8 22.9%	0 0.0%	211 57.8%	111 30.4%	8 2.2%	88.2%
企業などの役員	44	19 43.2%	17 89.5%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	18 40.9%	6 13.6%	1 2.3%	54.5%
農林漁業の自営業・家族従業員	82	2 2.4%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	73 89.0%	4 4.9%	3 3.7%	93.9%
商工・サービス業の自営業・家族従業員	111	10 9.0%	3 30.0%	2 20.0%	5 50.0%	0 0.0%	78 70.3%	22 19.8%	1 0.9%	90.1%
その他自営業	55	8 14.5%	6 75.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	42 76.4%	3 5.5%	2 3.6%	81.8%
地域別										
地域1（北部）	640	163 25.5%	114 69.9%	15 9.2%	32 19.6%	2 1.2%	318 49.7%	151 23.6%	8 1.3%	73.3%
地域2（西部）	140	50 35.7%	44 88.0%	2 4.0%	4 8.0%	0 0.0%	42 30.0%	47 33.6%	1 0.7%	63.6%
地域3（中部）	342	84 24.6%	73 86.9%	2 2.4%	8 9.5%	1 1.2%	144 42.1%	111 32.5%	3 0.9%	74.6%
地域4（東部）	101	18 17.8%	11 61.1%	0 0.0%	6 33.3%	1 5.6%	46 45.5%	35 34.7%	2 2.0%	80.2%
地域5（南東部）	92	6 6.5%	2 33.3%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	55 59.8%	29 31.5%	2 2.2%	91.3%
地域6（南西部）	38	4 10.5%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	25 65.8%	8 21.1%	1 2.6%	86.8%
性別										
男性	650	213 32.8%	156 73.2%	15 7.0%	41 19.2%	1 0.5%	250 38.5%	180 27.7%	7 1.1%	66.2%
女性	692	110 15.9%	88 80.0%	4 3.6%	16 14.5%	2 1.8%	375 54.2%	198 28.6%	9 1.3%	82.8%
年齢別										
20歳代	124	37 29.8%	28 75.7%	1 2.7%	8 21.6%	0 0.0%	54 43.5%	33 26.6%	0 0.0%	70.2%
30歳代	175	53 30.3%	42 79.2%	5 9.4%	5 9.4%	1 1.9%	60 34.3%	62 35.4%	0 0.0%	69.7%
40歳代	284	81 28.5%	61 75.3%	3 3.7%	16 19.8%	1 1.2%	122 43.0%	80 28.2%	1 0.4%	71.1%
50歳代	301	71 23.6%	53 74.6%	6 8.5%	12 16.9%	0 0.0%	122 40.5%	105 34.9%	3 1.0%	75.4%
60歳代	318	61 19.2%	47 77.0%	3 4.9%	11 18.0%	0 0.0%	171 53.8%	81 25.5%	5 1.6%	79.2%
70歳代以上	142	20 14.1%	13 65.0%	1 5.0%	5 25.0%	1 5.0%	96 67.6%	18 12.7%	8 5.6%	80.3%
婚姻状況別										
未婚	265	95 35.8%	76 80.0%	6 6.3%	12 12.6%	1 1.1%	90 34.0%	80 30.2%	0 0.0%	64.2%
既婚	950	209 22.0%	153 73.2%	11 5.3%	43 20.6%	2 1.0%	475 50.0%	251 26.4%	15 1.6%	76.4%
離婚・死別	130	19 14.6%	15 78.9%	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%	62 47.7%	47 36.2%	2 1.5%	83.8%
ライフステージ別（複数回答）										
若者	114	35 30.7%	27 77.1%	1 2.9%	7 20.0%	0 0.0%	49 43.0%	30 26.3%	0 0.0%	69.3%
夫婦	186	41 22.0%	32 78.0%	2 4.9%	7 17.1%	0 0.0%	92 49.5%	51 27.4%	2 1.1%	76.9%
育児期	109	31 28.4%	26 83.9%	2 6.5%	3 9.7%	0 0.0%	42 38.5%	36 33.0%	0 0.0%	71.6%
教育期前期	264	66 25.0%	48 72.7%	5 7.6%	13 19.7%	0 0.0%	116 43.9%	81 30.7%	1 0.4%	74.6%
教育期後期	132	29 22.0%	19 65.5%	2 6.9%	8 27.6%	0 0.0%	67 50.8%	36 27.3%	0 0.0%	78.0%
単身高齢者	26	4 15.4%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 57.7%	5 19.2%	2 7.7%	76.9%
高齢者夫婦	118	21 17.8%	14 66.7%	0 0.0%	6 28.6%	1 4.8%	71 60.2%	21 17.8%	5 4.2%	78.0%
新旧住民別										
奈良県にずっと住んでいる人	797	137 17.2%	105 76.6%	9 6.6%	19 13.9%	4 2.9%	400 50.2%	251 31.5%	9 1.1%	81.7%
奈良県に新しくきた人	551	186 33.8%	140 75.3%	10 5.4%	36 19.4%	0 0.0%	229 41.6%	128 23.2%	8 1.5%	64.8%
就労別の 奈良での 働いている人	1,011	-	-	-	-	-	630 62.3%	381 37.7%	-	-
奈良県外で 働いている人	325	325 100.0%	245 75.4%	19 5.8%	57 17.5%	4 1.2%	-	-	-	-

\*右列は、「県内で就労」（「現在お住まいの市町村」+「県内の他の市町村」）に再集計した結果である。

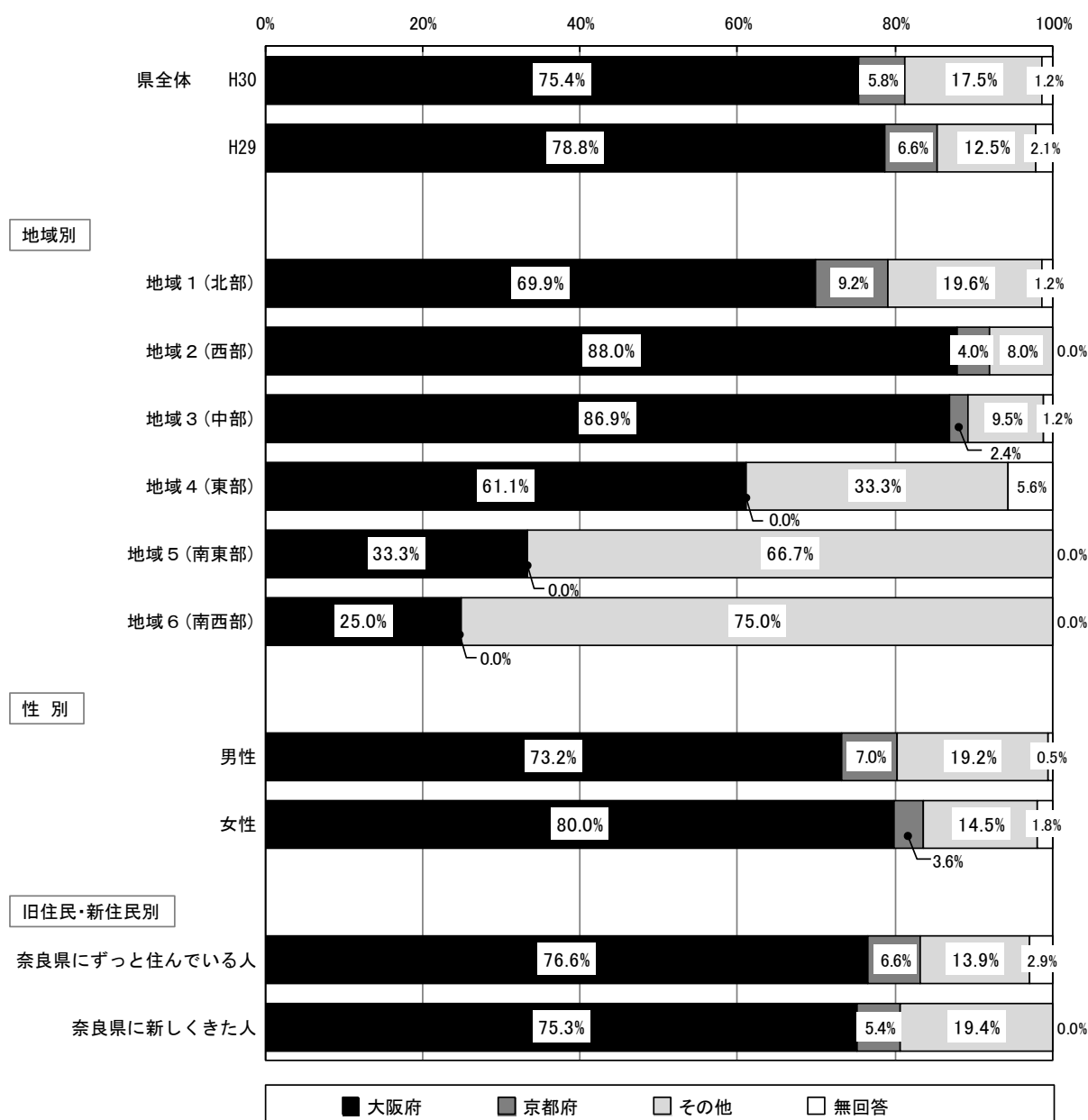
図表 勤務地（問 18 単数回答／県全体、年度別、地域別、性別、旧住民・新住民別）



(注) 母数については前ページの表参照 (H29母数は2,626件)

※「県内で就労」  
 (「現在お住まいの市町村」+「県内の他の市町村」)に再集計した結果である

図表 県外の勤務地（問 18 単数回答／県全体、年度別、地域別、性別、旧住民・新住民別）



(注)母数については前ページの表参照 (H29母数は335件)